

ビデオカード

Video Card

Carte vidéo

Videokarte

PDA-5003

PDA-5004

取扱説明書

Operating Instructions

Mode d'emploi

Bedienungsanleitung

「据付工事」について

- 本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
- なお、据付け・取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。



K042_Ja

販売店様へ

この取扱説明書は据え付け終了後お客様に必ずお渡しして、取り扱い方法の説明を行ってください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

図記号について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

図記号の意味



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は、やってはいけない（禁止）内容です。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、必ず行っていただく（強制）内容です。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

使用環境

本機の内部に水が入ったり、濡れたりしないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



注意

設置

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。



使用方法

本機の上に花瓶、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



本機の端子などに金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



使用環境

周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。



本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に水滴が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合はよく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。



本機の特長

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

本機はパイオニア製プラズマディスプレイPDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMX専用の拡張カードです。PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMXはパソコン用モニターとして設計されていますが、本機を取り付けることにより、次のような機能が得られます。

1. S-ビデオ、コンポジットビデオ、コンポーネントビデオ、アナログRGB信号に対応した入力端子が追加されます。(INPUT3、4、5)
2. パソコン以外の多くのAV機器との接続が可能となります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

D50-3-9-2-2_Ja

もくじ

安全上のご注意	i
はじめに	2
付属品	2
本書の使いかた	2
各部の名称と機能	4
接続パネル	4
設置と接続	6
プラズマディスプレイへの取り付け	6
本機の入力端子について	7
INPUT1とINPUT5への接続	7
INPUT1またはINPUT5への接続	8
INPUT2への接続	13
INPUT3への接続	13
INPUT4への接続	13
デジタル放送チューナーの接続について	14
オーディオ機器との接続	15
接続ケーブルの処理	17
システムの設定	18
メニュー表示言語を設定する	18
接続後の設定	19
操作	22
入力ソースを選ぶ	22
音量を調整する	23
一時的に音を消す	23
現在の状態を確認する	23
画面サイズの切り換え	24
画面を部分的に拡大する (POINT ZOOM)	25
マルチ画面にする	26
電源を自動的に切る	27

映像と画面の調整	28
映像を調整する	28
画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<自動調整>	29
画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<手動調整>	30
その他の機能	32
オービターを設定する	32
サイドマスク位置移動を設定する	32
スクリーンマネージメントを設定する	33
省電力の設定	34
色温度を変更する	35
映像のノイズ感を軽減する (DNR)	36
MPEG映像をすっきりさせる (MPEG NR)	37
色の境目を際立たせる (CTI)	38
ピュアシネマを設定する	39
カラーシステムを設定する	40
自動で入力を切り換える (優先入力モード)	41
オーディオ出力について (PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMXのみ)	42
その他	43
仕様	43
付録1	44
付録2	45
付録3	47
付録4	48
用語解説	49
保証とアフターサービスについて	50

付属品

以下の付属品をご確認ください。

① リモコンラベル

PDA-5003

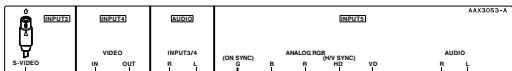
S-VIDEO VIDEO RGB (BNC)

PDA-5004

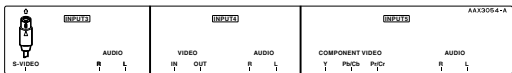
S-VIDEO VIDEO COMPONENT

② 端子表示ラベル

PDA-5003

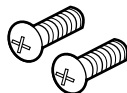


PDA-5004



③ ねじ×2

(ビデオカード取付用予備ねじ)



- 取扱説明書（本書）
- 保証書

本書の使いかた

本書は、本機をプラズマディスプレイに取り付けて使用される方にわかりやすいよう作業と操作の順で説明しています。

ビデオカードを外箱から取り出し、付属品をすべて確認したあとは、本書およびプラズマディスプレイの取扱説明書4ページからの「各部の名称と機能」の章をご覧ください。本書の説明文ではボタンの名称が多く使われますので、事前にプラズマディスプレイの取扱説明書を参照し、プラズマディスプレイ本体とリモコンについて概略をご確認ください。

6ページからの「設置と接続」の章では、ビデオカードの取り付け方やプラズマディスプレイとさまざまな機器との接続方法について、必要な情報が書かれています。

18ページからの「システムの設定」の章では、接続した機器に合わせてプラズマディスプレイが正しく動作するために必要な画面上の設定が書かれています。機器の接続方法によっては、この章は不要になる場合があります。

22ページからは、入力選択のような基本的な動作から、特定の機器や好みに合わせた映像の調整方法などの詳しい手順まで、さまざまな操作方法を説明します。

各項目のメニュー表示に関して

本書に記載されているメニュー表示例は、すべてPDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-Sの場合の表示例です。PDP-434CMXのメニュー表示例は下記ようになります。

PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-SとPDP-434CMXでメニュー表示される内容は同じです。PDP-505CMXとPDP-504CMX/PDP-504CMX-Sでは、一部のメニュー表示が異なります。

PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-Sの場合のメニュー表示例



PDP-434CMXの場合のメニュー表示例



本書の操作について

各操作は、番号順に手順が説明されています。文中では、本体側にしかないものを除きすべてリモコンのボタンを使用しています。本体側にリモコンと同じかまたは類似の名称のボタンがあれば、同じように操作ができます。

以下は、「映像を調整する」の、実際の操作説明です。各手順の画面の例で、正しく操作したか確認できるようになっています。

映像と画面の調整

映像を調整する

プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする

- 2 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選び、「SET」ボタンを押す

- 3 「◀/▶」ボタンを押して、好みの画質に調整する

- 4 「SET」ボタンを押す
調整値がメモリーされ、手順2の画面に戻ります。
- 5 調整が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
この調整は、各入力 (INPUT1～INPUT5)、および各信号ごとに行ってください。

「映像の調整」の調整項目
「映像の調整」から以下の項目を選択し調整します。
 コントラスト …… 周囲の明るさに合わせて、見やすくなるようにする
 明るさ …… 画面の暗い部分が見やすくなるようにする
 色の濃さ …… 好みの濃さにする (やや濃いめに設定すると自然に見えます)
 色あい …… 肌色がきれいに見えるようにする
 シャープネス …… 通常はセンターでご使用ください。柔らかい感じを出したいときはセンターより左側に、シャープな感じにしたいときは右側に設定してください。

ご注意
パソコン信号入力時の映像の調整については、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

「映像の調整」の調整内容を元の状態に戻すには
調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「映像の調整」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がかえってうまくいく場合があります。

- 1 左の手順2で「▲/▼」ボタンを押して、「映像の調整 リセット」を選び、「SET」ボタンを押す

- 2 「▶/▶」ボタンを押して、「はい」を選び、「SET」ボタンを押す
「映像の調整」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

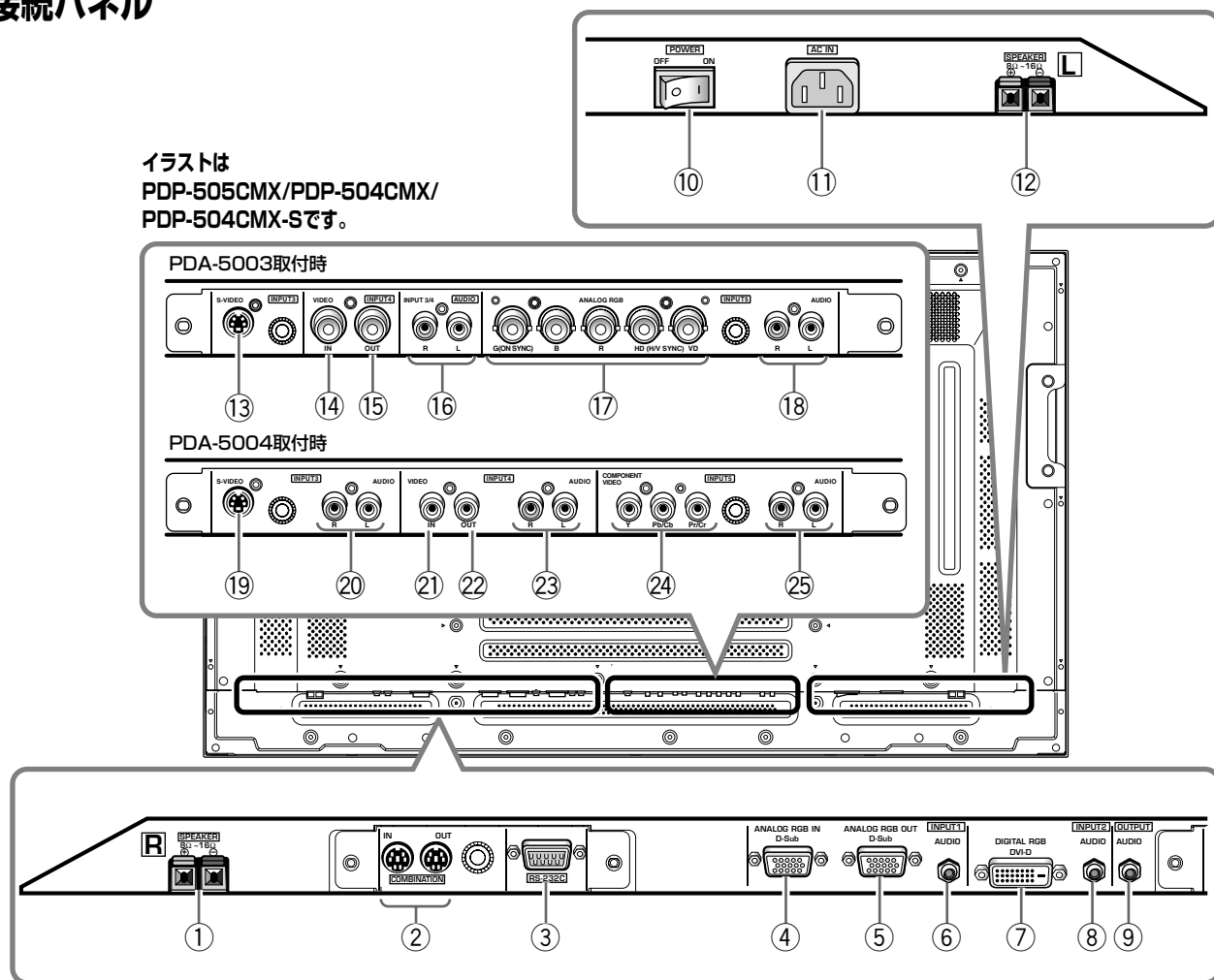
28
Ja

ご注意

本書に記載されている画面は、基本的な表示例です。画面の表示項目や表示内容は、入力ソースや各種の設定状態によって変わります。

各部の名称と機能

接続パネル



イラストは
PDP-505CMX/PDP-504CMX/
PDP-504CMX-Sです。

プラズマディスプレイ部

プラズマディスプレイには2つの映像入力端子と1つの映像出力端子があります。

また、音声入出力端子やスピーカー出力端子も備えています。

本機を取り付けると、映像入力端子が3つ増えて5つになり、映像出力端子が1つ増えて2つになります。

それぞれの接続方法は、()内のページまたはプラズマディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

① SPEAKER (R)

右側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが8~16Ωのスピーカーを接続します。

② COMBINATION IN/OUT

これらの端子に接続する際は必ず設置業者にお問い合わせください。
プラズマディスプレイ調整用の端子です。

③ RS-232C端子

この端子に接続する際は必ず設置業者にお問い合わせください。
プラズマディスプレイ調整用の端子です。

④ ANALOG RGB IN (INPUT1) (ミニD-sub 15ピン)

パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。(7~10ページ)

⑤ ANALOG RGB OUT (INPUT1) (ミニD-sub 15ピン)

外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、ANALOG RGB OUT (INPUT1)端子から映像信号は出力されません。(10ページ)

⑥ AUDIO (INPUT1) (ステレオミニジャック)

入力(映像)がINPUT1のときの音声入力です。
プラズマディスプレイのINPUT1に接続した機器の音声出力端子と接続します。(15ページ)

- ⑦ **DIGITAL RGB (INPUT2) (DVI-D端子)**
パソコン(PC)を接続します。またはPDP-505CMXの場合、DVI出力を持つAV機器(HDCP対応)を接続できます。
注：PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMXはコピーガード信号が付加されている映像信号(HDCPなど)には対応していません。(13ページ)
- ⑧ **AUDIO (INPUT2) (ステレオミニジャック)**
入力(映像)がINPUT2のときの音声入力です。プラズマディスプレイのINPUT2に接続した機器の音声出力端子と接続します。(15ページ)
- ⑨ **AUDIO (OUTPUT) (ステレオミニジャック)**
プラズマディスプレイに接続した機器の音声をAVアンプなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)OFF時またはスタンバイ時は、AUDIO(OUTPUT)端子から音声は出力されません。(15ページ)
- ⑩ **MAIN POWER スイッチ**
プラズマディスプレイの主電源の入/切をします。
- ⑪ **AC IN**
プラズマディスプレイに付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。
- ⑫ **SPEAKER (L)**
左側用外部スピーカー出力端子です。
インピーダンスが8~16Ωのスピーカーを接続します。

本機(ビデオカード<PDA-5003>)部

ビデオカードには3つの映像入力端子と、1つの映像出力端子、2つの音声入力端子があります。
それぞれの接続方法は()内のページをご覧ください。

- ⑬ **S-VIDEO (INPUT3) (Sビデオ端子)**
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(13ページ)
- ⑭ **VIDEO IN (INPUT4) (BNC端子)**
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(13ページ)
- ⑮ **VIDEO OUT (INPUT4) (BNC端子)**
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT (INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(13ページ)
- ⑯ **AUDIO R/L (INPUT3/4) (RCAピンジャック)**
入力(映像)がINPUT3またはINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT3またはINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(16ページ)

- ⑰ **ANALOG RGB (INPUT5) (BNC端子)**
パソコンやRGBデコーダなどのRGB出力、またはDVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。接続した機器の信号出力方式と接続方法が正しく行われているか確認してください。(7~10ページ)
- ⑱ **AUDIO R/L (INPUT5) (RCAピンジャック)**
入力(映像)がINPUT5のときの音声入力です。
本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(15ページ)

本機(ビデオカード<PDA-5004>)部

ビデオカードには3つの映像入力端子と、1つの映像出力端子、3つの音声入力端子があります。
それぞれの接続方法は()内のページをご覧ください。

- ⑲ **S-VIDEO (INPUT3) (Sビデオ端子)**
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどの、S映像出力を持つ機器を接続します。(13ページ)
- ⑳ **AUDIO R/L (INPUT3) (RCAピンジャック)**
入力(映像)がINPUT3のときの音声入力です。
本機のINPUT3に接続した機器の音声出力端子と接続します。(16ページ)
- ㉑ **VIDEO IN (INPUT4) (RCAピンジャック)**
ビデオデッキ、ビデオカメラ、レーザーディスクプレーヤー、DVDレコーダーなどのコンポジット映像出力を持つ機器と接続します。(13ページ)
- ㉒ **VIDEO OUT (INPUT4) (RCAピンジャック)**
外部モニターなどの機器に出力するときに使います。
注：主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT (INPUT4)端子から映像信号は出力されません。(13ページ)
- ㉓ **AUDIO R/L (INPUT4) (RCAピンジャック)**
入力(映像)がINPUT4のときの音声入力です。
本機のINPUT4に接続した機器の音声出力端子と接続します。(16ページ)
- ㉔ **COMPONENT VIDEO (INPUT5) (RCAピンジャック)**
DVDレコーダーなどのコンポーネント出力を持つ機器を接続します。(7~8ページ)
- ㉕ **AUDIO R/L (INPUT5) (RCAピンジャック)**
入力(映像)がINPUT5のときの音声入力です。
本機のINPUT5に接続した機器の音声出力端子と接続します。(15ページ)

プラズマディスプレイへの取り付け

お客様へ

この製品は十分な技術・技能を有する専門業者が取り付けを行うことを前提に販売されています。

販売店様へ

取り付けの手順は下記をご覧ください。

取り付けの際、万一ねじなどをプラズマディスプレイ内部に落とした場合は、すぐに最寄りのパイオニアサービスセンターまでご連絡ください。そのまま作業を続けると故障の原因になることがあります。本機はパイオニア製プラズマディスプレイPDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMXに取り付けて使用します。プラズマディスプレイへの取り付けは以下の手順に従ってください。

取り付けの前に次のことを確認してください。

- プラズマディスプレイに接続したパソコンまたはその他の機器を外してください。
- プラズマディスプレイの電源プラグをコンセントから抜いてください。

取り付けの際の注意

- 取り付け部の保護カバーを開ける際は、開口部にねじなどを落とさないように注意してください。ディスプレイ内部にねじを落とすと故障の原因となることがあります。
- 取り付けの際、プラズマディスプレイの画面側を下にして寝かせておく場合は、水平な安定した場所に梱包用のマットや毛布などの柔らかいものを敷いておいてください。本体に傷がつかないように、異物には十分注意してください。また前面パネル部だけに荷重をかけるような置き方は、決してしないでください。
- 本機はプラズマディスプレイPDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMX専用設計されたビデオカードです。本機を改造したり、加工したりしないでください。誤動作する恐れがあります。
- 内部のユニット類を傷つけたり、加工したりしないでください。
- 取り付けの際には静電気対策を十分に行ってください。また部品や回路パターンには触れないように注意してください。
- 本機は再度、取り付けや取り外しができるように設計されていませんので、一度プラズマディスプレイに取り付けを行ったら取り外さないようにしてください。再度、取り付けや取り外しを行うと破損する恐れがあります。
- PDA-5003をご使用の際は、インピーダンス切り換えスイッチの設定が必要な場合があります。あらかじめご確認のうえ、取り付けてください。(10、12ページ)
- PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMXには、PDA-5002を取り付けしないでください。

取り付け方

イラストはPDA-5003です。

- 1 プラズマディスプレイの端子部にあるビデオカード挿入口の保護カバーを外します。



保護カバー

- 2 開口部から見える両側のレールに沿って、ビデオカードを静かに、まっすぐ挿入します。

6

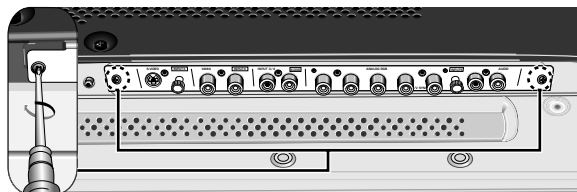
Ja

ご注意

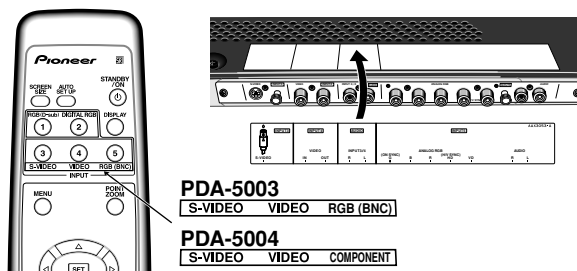
- 本機の挿入には十分注意してください。部品実装面をプラズマディスプレイの背面カバー側に向け、必ずまっすぐ挿入してください。斜めに挿入したり、無理に挿入したりすると本機を破損したり、ディスプレイ本体側に傷をつけたりする場合があります。
- インピーダンス切り換えスイッチはPDA-5003にしかありません。



- 3 最後までしっかりとビデオカードが挿入されていることを確認してから、手順1で外したねじを使ってしっかりと固定します。



- 4 付属の端子表示ラベルをプラズマディスプレイに貼り付けます。また付属のリモコンラベルをプラズマディスプレイに付属のリモコンに貼り付けます。

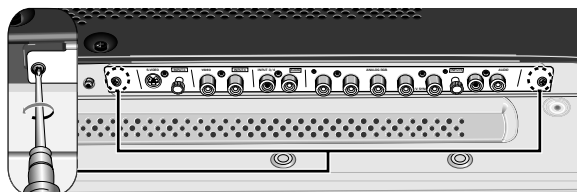


ご注意

ラベル貼付面のよこれなどは柔らかい布などできれいに拭き取ってください。

外し方(基本的には行わないでください)

- 1 ビデオカードを固定している両側のねじを外してください。



- 2 内側のツマミを持ってまっすぐ引いてビデオカードを抜いてください。



■ PDA-5003をご使用の場合

本機の入力端子について

下の表に従って機器の出力端子をプラズマディスプレイと本機の入力端子に接続します。
(7～16ページ)

接続する機器と信号		本機の入力端子				
		INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
AV 機器	アナログRGB	○				○
	コンポーネント映像	○				○
	S映像			○		
	コンボジット映像				○	
	デジタルRGB		○*5			
パン コン	アナログRGB	○*2				○
	S映像			○*3		
	コンボジット映像				○*3	
	デジタルRGB		○*4			

- *1 INPUT1、5は様々な種類の信号に対応していますが、接続したあとは、それぞれの機器に合わせてシステムの設定(18～21ページ)を行ってください。
- *2 INPUT1 はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 1/2B)に対応しています。
- *3 お使いのモニター出力ボードの種類によっては、出力できないことがあります。
- *4 INPUT2はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 2B) に対応しています。
- *5 PDP-505CMX のみ対応しています。

INPUT1とINPUT5への接続

INPUT1とINPUT5は様々な機器が接続できます。接続のあとには、それぞれの機器に合わせて画面上の設定を行ってください。接続後の設定については18～21ページをご覧ください。

出力する機器	INPUT5 端子	[ON SYNC]	B	R	[H/V SYNC]	VD
	G	G	B	R	HD	
RGB出力を持つ ビデオ機器 パソコン(PC)	○ G ON SYNC	○ G	○ B	○ R	×	×
	○ G	○ G	○ B	○ R	○ H/V SYNC	×
	○ G	○ G	○ B	○ R	○ HD	○ VD
コンポーネント 映像出力を持つ 映像機器	○ Y	○ Pb/Cb	○ Pr/Cr	×	×	

×：何も接続しないでください。○：ここに接続してください。

お知らせ

INPUT1およびINPUT5で対応している機器は同一です。INPUT1に接続の際は、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

INPUT1、5で対応している信号および表示画面サイズについては44～46ページの付録1、付録2をご覧ください。

■ PDA-5004をご使用の場合

本機の入力端子について

下の表に従って機器の出力端子をプラズマディスプレイと本機の入力端子に接続します。
(7～16ページ)

接続する機器と信号		本機の入力端子				
		INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
AV 機器	アナログRGB	○				○
	コンポーネント映像	○				○
	S映像			○		
	コンボジット映像				○	
	デジタルRGB		○*5			
パン コン	アナログRGB	○*2				○
	S映像			○*3		
	コンボジット映像				○*3	
	デジタルRGB		○*4			

- *1 INPUT1、5は様々な種類の信号に対応していますが、接続したあとは、それぞれの機器に合わせてシステムの設定(18～21ページ)を行ってください。
- *2 INPUT1 はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 1/2B)に対応しています。
- *3 お使いのモニター出力ボードの種類によっては、出力できないことがあります。
- *4 INPUT2はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 2B) に対応しています。
- *5 PDP-505CMX のみ対応しています。

INPUT1とINPUT5への接続

INPUT1とINPUT5は様々な機器が接続できます。接続のあとには、それぞれの機器に合わせて画面上の設定を行ってください。接続後の設定については18～21ページをご覧ください。

出力する機器	INPUT5 端子	Y	Pb/Cb	Pr/Cr
	G ON SYNC	Y	Pb/Cb	Pr/Cr
RGB出力を持つ ビデオ機器 パソコン(PC)	○ G ON SYNC	○ Y	○ Pb/Cb	○ Pr/Cr
コンポーネント 映像出力を持つ 映像機器		○ Y	○ Pb/Cb	○ Pr/Cr

○：ここに接続してください。

お知らせ

INPUT1に接続の際は、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

INPUT1で対応している信号および表示画面サイズについては44～46ページの付録1、付録2をご覧ください。

INPUT1またはINPUT5への接続

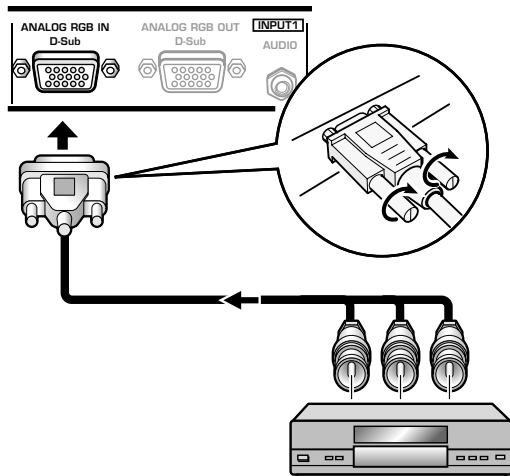
■ PDA-5003をご使用の場合

AV機器との接続

コンポーネント映像端子を持つAV機器の接続

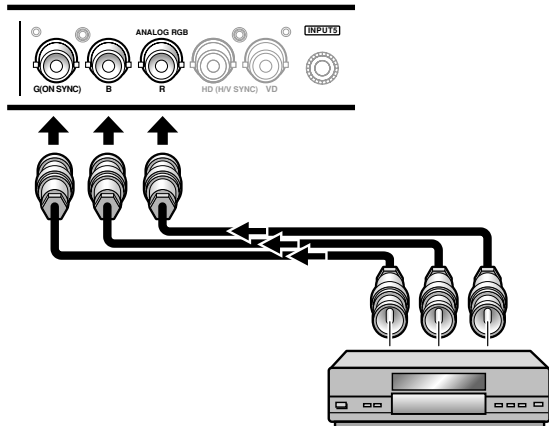
コンポーネント映像出力を持つAV機器を、コンポーネント映像接続します。

ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合



接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合



Y信号をG端子、PB/CB信号をB端子、PR/CR信号をR端子に接続してください。

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

INPUT5はすべてBNC端子です。

接続の際は、必要に応じて、BNC/ピン変換アダプター（市販）をお使いください。

ご注意

プラズマディスプレイおよび本機は、信号レベルや同期信号が標準かつ安定なコンポーネント映像信号に対応しています。AV機器のトリックプレイ中に映像の乱れなどが発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

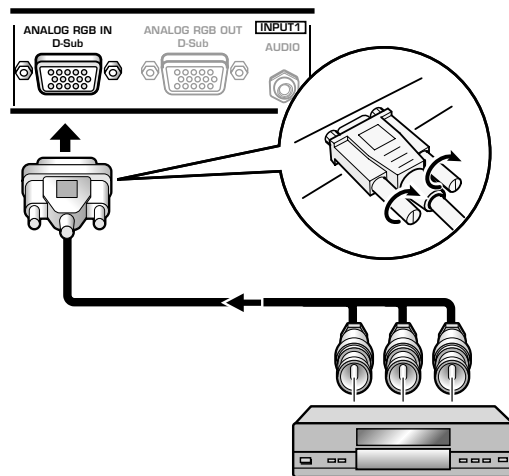
■ PDA-5004をご使用の場合

AV機器との接続

コンポーネント映像端子を持つAV機器の接続

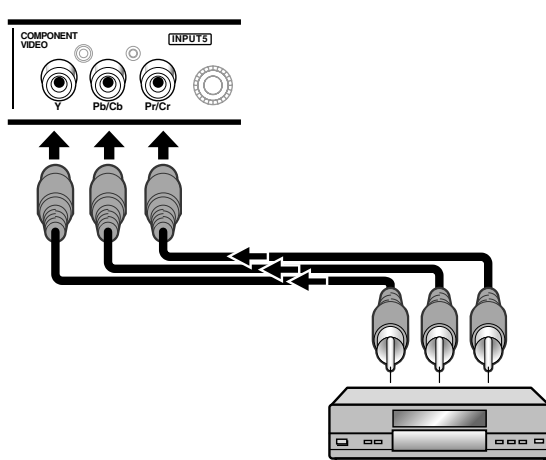
コンポーネント映像出力を持つAV機器を、コンポーネント映像接続します。

ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合



接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

COMPONENT VIDEO (INPUT5) へ接続する場合



Y信号をY端子、PB/CB信号をPb/Cb端子、PR/CR信号をPr/Cr端子に接続してください。

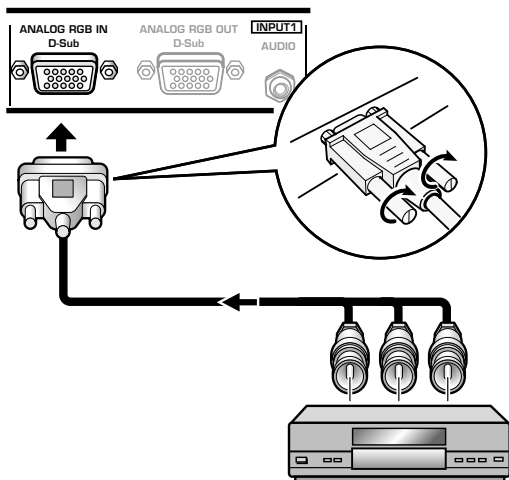
ご注意

プラズマディスプレイおよび本機は、信号レベルや同期信号が標準かつ安定なコンポーネント映像信号に対応しています。AV機器のトリックプレイ中に映像の乱れなどが発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

G ON SYNCアナログRGB機器の接続

緑信号に同期信号が組み合わされた出力を持つ機器を、G ON SYNC接続します。

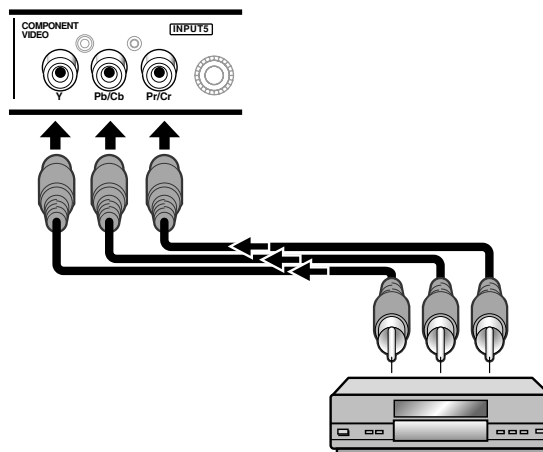
ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合



接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

COMPONENT VIDEO (INPUT5) へ接続する場合

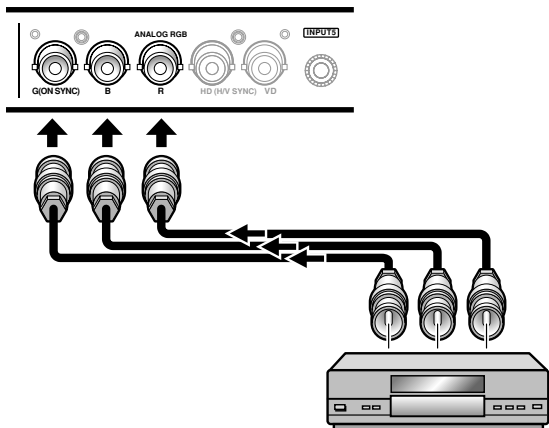
[PDA-5004の場合のみ]



G ON SYNC信号をY端子、B信号をPB/CB端子、R信号をPR/CR端子に接続してください。
接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

[PDA-5003の場合のみ]



接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

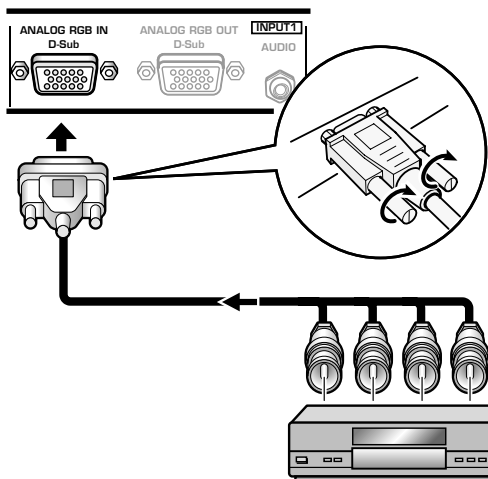
ご注意

G ON SYNC接続を行った場合は、VD端子やHD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されない場合があります。

コンポジットSYNCアナログRGB機器の接続

水平同期信号と垂直同期信号が組み合わされた出力を持つ機器を、コンポジットSYNC接続します。

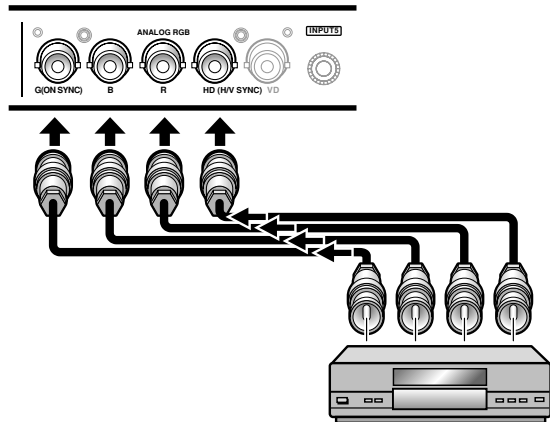
ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合



接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

[PDA-5003の場合のみ]



INPUT5入力を使うときは、接続する機器の同期信号の出カインピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。
接続する機器の同期信号の出カインピーダンスが75Ω以下のときは、本機を外し、切り換えスイッチを75Ωに設定してください。(6ページ)

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

ご注意

コンポジットSYNC接続を行った場合は、VD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されなくなる場合があります。

パソコンとの接続

パソコンの種類によって接続方法が異なります。
接続の際は、お使いのパソコンの取扱説明書をよくお読みください。

接続する前に、パソコンとプラズマディスプレイの主電源が切れていることをご確認ください。

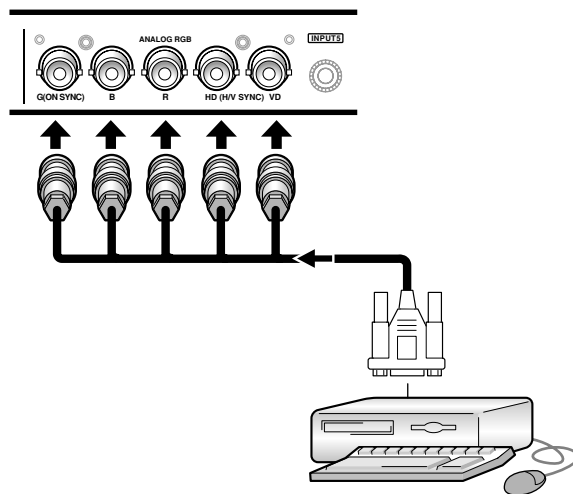
本機で対応しているパソコン信号および表示画面サイズは、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

セパレートSYNCアナログRGB機器の接続

赤、緑、青、水平同期、垂直同期の5つの信号に分離したRGB出力を持つパソコンを、セパレートSYNC接続します。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

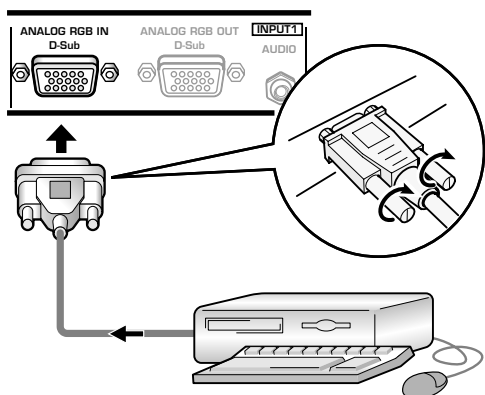
[PDA-5003の場合のみ]



INPUT5入力を使うときは、接続するパソコンの同期信号の出カインピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。
接続するパソコンの同期信号の出カインピーダンスが75Ω以下のときは、本機を外し、切り換えスイッチを75Ωに設定してください。(6ページ)

接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合



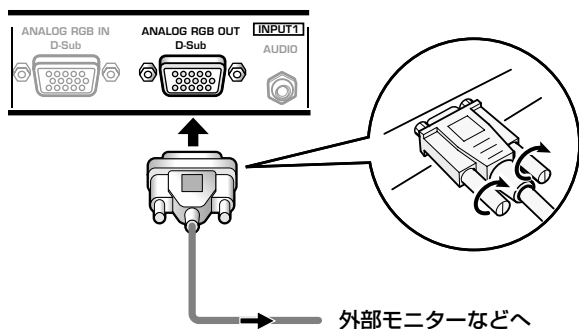
プラズマディスプレイの入力端子とパソコンの出力端子の形状に合ったケーブルをお使いください。また、ねじでしっかりとそれぞれの端子に固定してください。

接続のあとは、画面上の設定が必要です。18～21ページをご覧ください。

ご注意

接続するパソコンの種類によっては、パソコンに付属または別売の変換コネクタやアダプターが必要になる場合があります。詳しくはお使いのパソコンに付属の取扱説明書をお読みになるか、パソコンの製造元または取扱店にお尋ねください。

ANALOG RGB OUT (INPUT1) へ接続する場合



ANALOG RGB OUT (INPUT1)端子は、モニターなど映像入力が可能な機器との接続に使います。

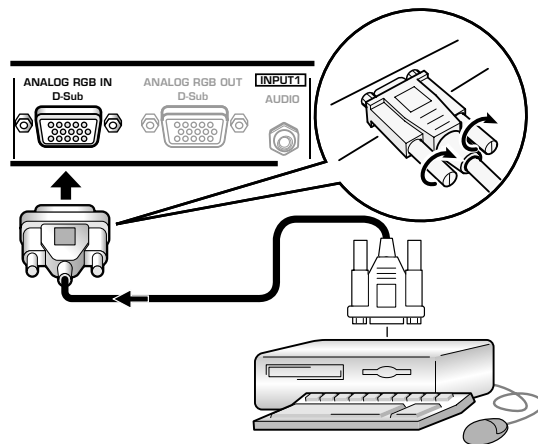
ご注意

主電源 (MAIN POWER) 「OFF」時またはスタンバイ時は、ANALOG RGB OUT (INPUT1)端子から映像信号は出力されません。

G ON SYNCアナログRGB機器の接続

緑信号に同期信号が組み合わされた出力を持つパソコンを、G ON SYNC接続します。

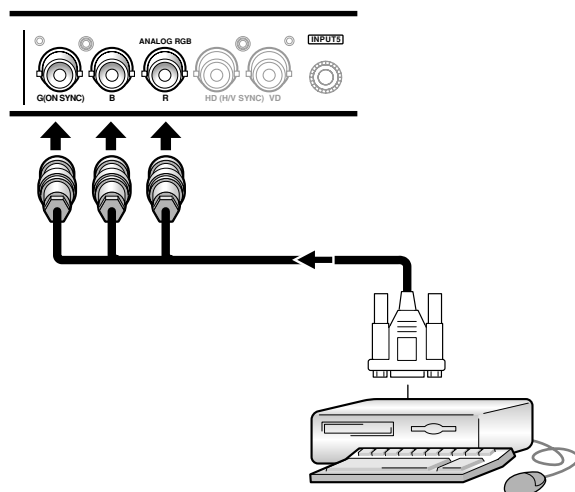
ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合



接続のあとは、画面上の設定が必要です。18～21ページをご覧ください。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合

[PDA-5003の場合のみ]

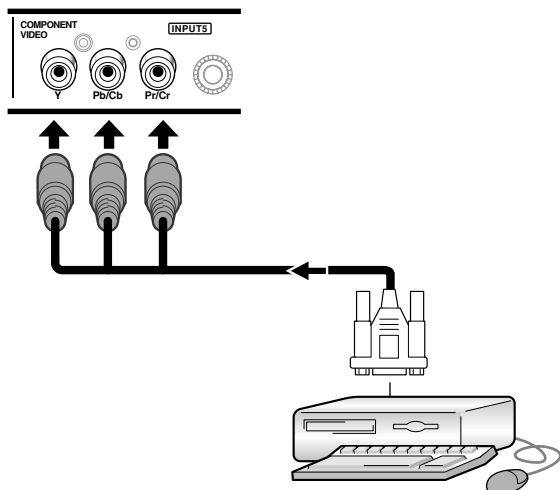


接続のあとは、画面上の設定が必要です。18～21ページをご覧ください。

ご注意

G ON SYNC接続を行った場合は、VD端子やHD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されない場合があります。

COMPONENT VIDEO (INPUT5) へ接続する場合
[PDA-5004の場合のみ]

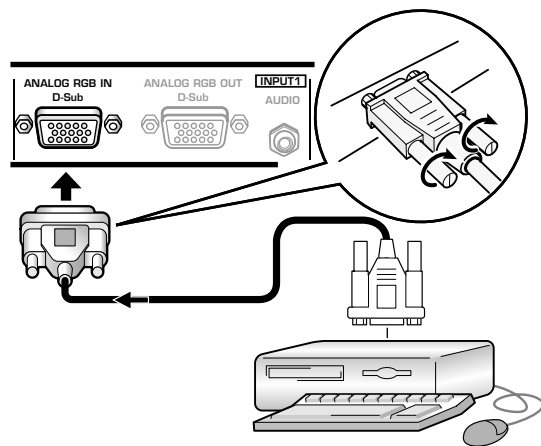


接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

コンポジットSYNCアナログRGB機器の接続

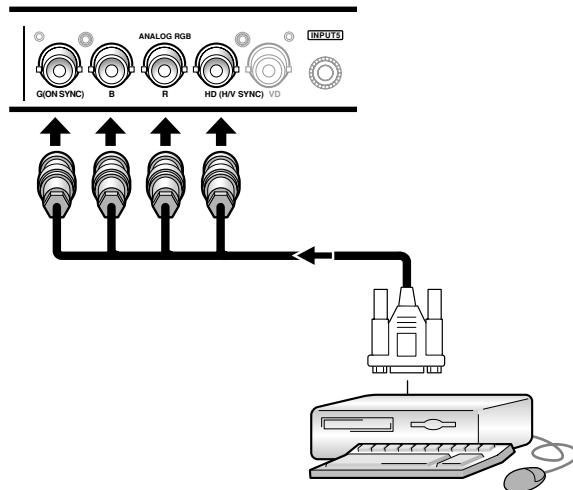
水平同期信号と垂直同期信号が組み合わされた出力を持つパソコンを、コンポジットSYNC接続します。

ANALOG RGB IN (INPUT1) へ接続する場合



接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

ANALOG RGB (INPUT5) へ接続する場合
[PDA-5003の場合のみ]



INPUT5入力を使うときは、接続するパソコンの同期信号の出カインピーダンスに合わせてインピーダンス切り換えスイッチを設定してください。

接続するパソコンの同期信号の出カインピーダンスが75Ω以下のときは、本機を外し、切り換えスイッチを75Ωに設定してください。(6ページ)

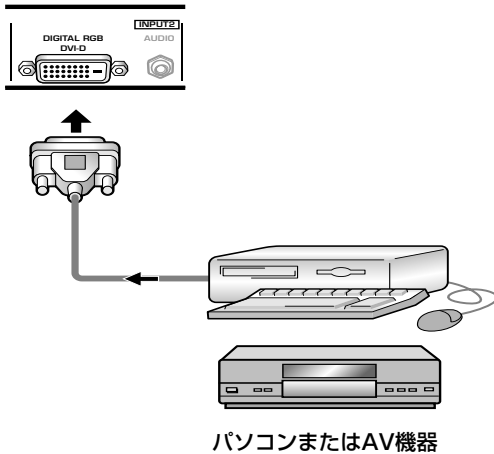
接続のあとは、画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

ご注意

- コンポジットSYNC接続を行った場合は、VD端子には何も接続しないでください。接続すると画面が正常に表示されなくなる場合があります。
- Apple Computer社の一部の機種では、G ON SYNCとコンポジットSYNCの両方の出力を持つものがあります。これらの機種については G ON SYNC接続(11ページ)を行ってください。

INPUT2への接続

DVI出力(デジタルRGB信号)を持つパソコンまたはDVI出力を持つAV機器(PDP-505CMXのみ対応)を、プラズマディスプレイのDVI端子に接続します。(HDCPIに対応)



接続のあとは画面上の設定が必要です。
18～21ページをご覧ください。

ご注意

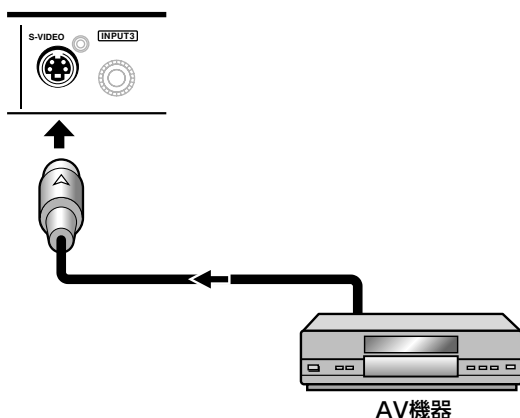
- 接続にはDVI-D24ピン(Digitalのみ)のケーブルを使用してください。
- PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMXはコピーガード信号が付加されている映像信号には対応しておりません。

お知らせ

- INPUT2はマイクロソフト社のPlug & Play (VESA DDC 2B)に対応しています。
- INPUT2で対応している信号および表示画面サイズについてはプラズマディスプレイの取扱説明書および本紙の付録1 (PDP-505CMXのみ)を参照してください。

INPUT3への接続

S映像出力を持つAV機器を、本機のS-VIDEO (INPUT3)端子に接続します。



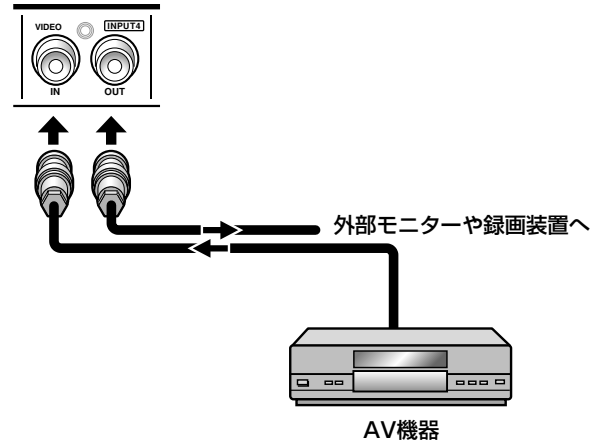
INPUT4への接続

映像出力を持つAV機器を、本機のINPUT4に接続します。VIDEO OUT (INPUT4) 端子は、モニターや録画装置など映像入力が可能な機器との接続に使います。

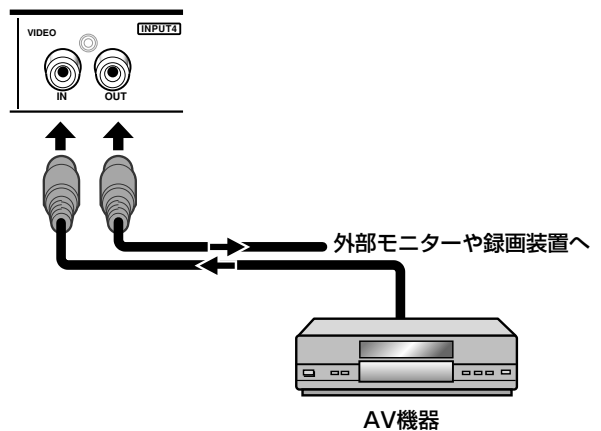
ご注意

主電源(MAIN POWER)「OFF」時またはスタンバイ時は、VIDEO OUT (INPUT4) 端子から映像信号は出力されません。

[PDA-5003の場合]



[PDA-5004の場合]



INPUT3、4ではNTSC、PAL、SECAM、4.43NTSC、PAL M、PAL Nのテレビ方式に対応しています。詳しくは40ページの「カラーシステムを設定する」を参照してください。

デジタル放送チューナーの接続について

正しく接続するために、地上デジタルチューナー、BS/CSデジタルチューナーに付属の取扱説明書を十分にお読みください。

プラズマディスプレイが対応している映像信号は下の表のとおりです。

映像信号の種類	映像信号フォーマット	映像信号方式	接続可能な端子					
			INPUT1	INPUT2*	INPUT3	INPUT4	INPUT5	
(アナログ) ハイビジョン	水平：33.75kHz 垂直：60Hz	コンポーネント	◎				◎	
		RGB	◎				◎	
デジタル放送	HDTV	1125i (1080i) 1125i (1035i) 750p (720p)	コンポーネント	◎				◎
		RGB	◎	◎			◎	
	SDTV	525i (480i) 625i (575i)	コンポジット				◎	
			S映像			◎		
			コンポーネント	◎				◎
			RGB	◎	◎			◎
	525p (480p) 625p (575p)	コンポーネント	◎				◎	
		RGB	◎	◎			◎	

* PDP-505CMXのみ

オーディオ機器との接続

接続する前に、電源が切れていることを確認してください。

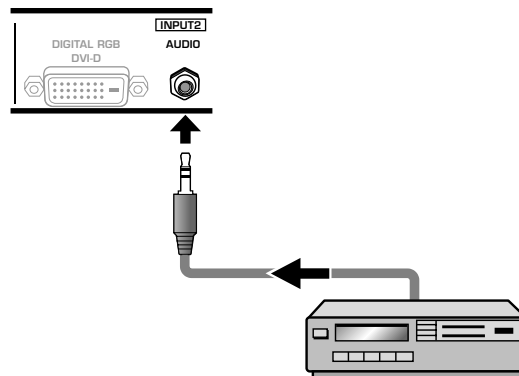
オーディオ機器をプラズマディスプレイと本機の音声入力端子に接続する

プラズマディスプレイと本機には4つまたは5つの音声入力端子と1つの音声出力端子があります。下の表は映像入力に対するそれぞれの音声入力接続を示しています。

映像入力	音声入力	音声出力
INPUT1	ステレオミニジャック(L/R)	選択した入力の音が ・スピーカー端子 L/R ・ステレオミニジャック(L/R) から得られます。
INPUT2	ステレオミニジャック(L/R)	
INPUT5	ピンジャック(L/R)	
INPUT3	ピンジャック(L/R)* ¹	
INPUT4	ピンジャック(L/R)* ¹	

*¹ PDA-5003をご使用の場合、INPUT3とINPUT4の音声入力端子は共用となります。

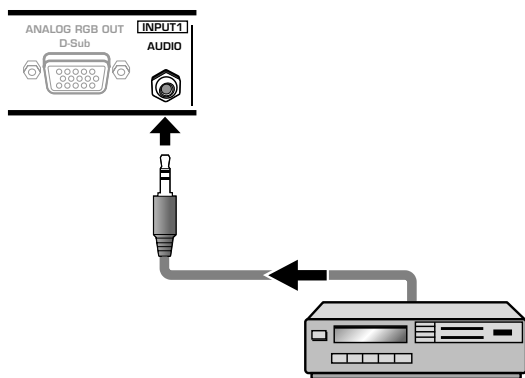
AV機器をINPUT2に接続した場合の音声接続



INPUT2につなぐ機器の音声は、AUDIO (INPUT2)端子のステレオミニジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

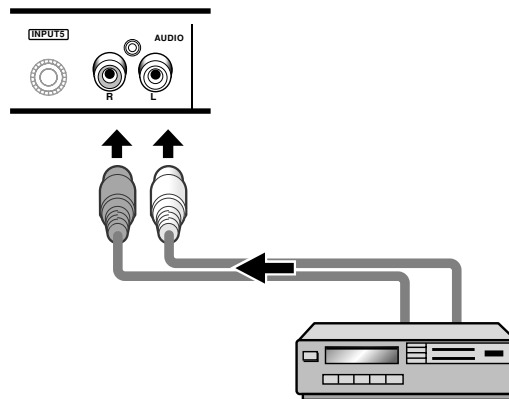
AV機器をINPUT1に接続した場合の音声接続



INPUT1につなぐ機器の音声は、AUDIO (INPUT1)端子のステレオミニジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

AV機器をINPUT5に接続した場合の音声接続

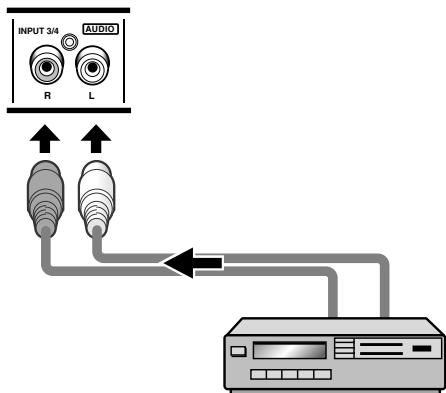


INPUT5につなぐ機器の音声は、AUDIO R/L (INPUT5)端子のピンジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

[PDA-5003の場合]

AV機器をINPUT3またはINPUT4に接続した場合の音声接続

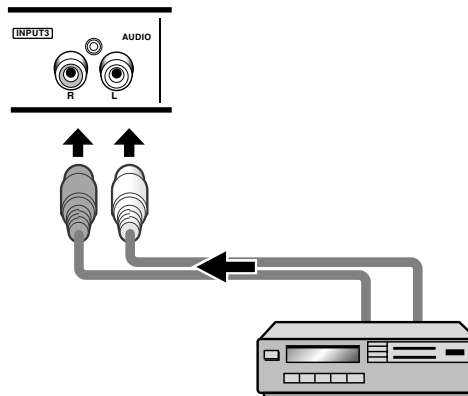


INPUT3とINPUT4につなぐ機器の音声は、どちらか1つをAUDIO R/L (INPUT3/4)端子のピンジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

[PDA-5004の場合]

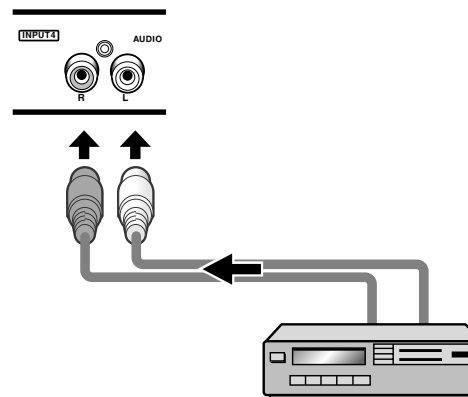
AV機器をINPUT3に接続した場合の音声接続



INPUT3につなぐ機器の音声は、AUDIO R/L (INPUT3)端子のピンジャック(L/R)につなぐことができます。

音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

AV機器をINPUT4に接続した場合の音声接続



INPUT4につなぐ機器の音声は、AUDIO R/L (INPUT4)端子のピンジャック(L/R)につなぐことができます。

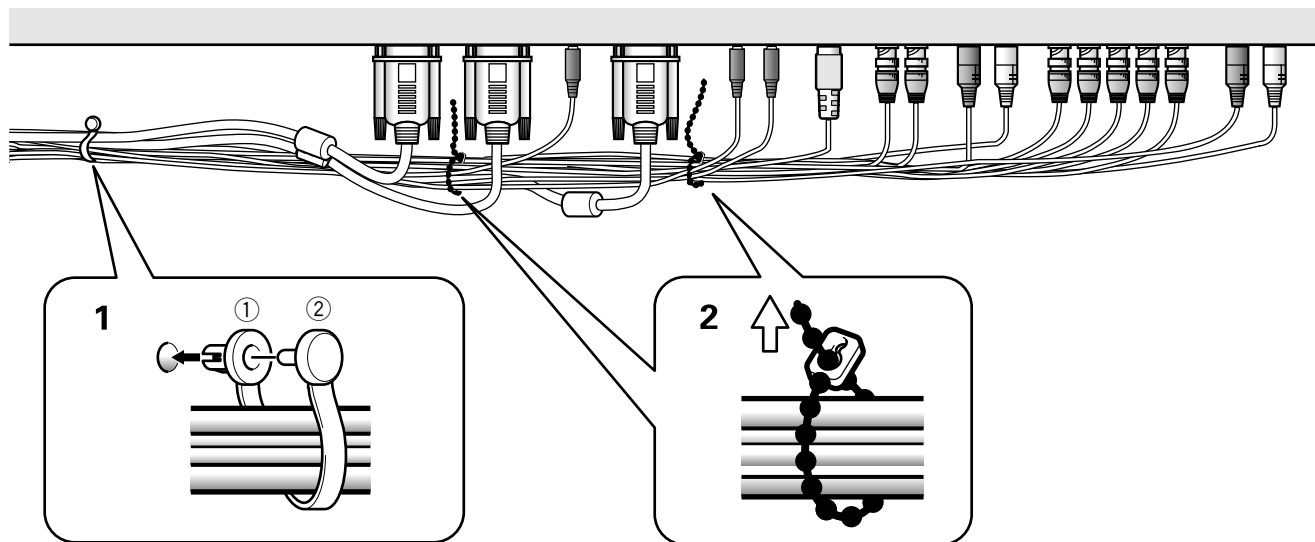
音声出力は選んだ入力に従って、AUDIO (OUTPUT)端子(ステレオミニジャック(L/R))と、スピーカー端子L/Rから得られます。

接続ケーブルの処理

プラズマディスプレイには、ケーブルをまとめるためのスピードクランプ、ビーズバンドが付属しています。
すべての接続が終わったら、以下の手順でケーブルをまとめます。

イラストはPDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-S、ビデオカード部はPDA-5003です。

* 本体を背面から見た図



1 スピードクランプを使ってケーブルを留める

① をリアケースの穴へ差し込んだあと、② を差し込みます。
スピードクランプは、一度留めると外しにくいいため注意して取り付けてください。

2 付属のビーズバンドでケーブルを束ねる

ケーブルの根元にストレスをかけすぎないようにご注意ください。

お知らせ

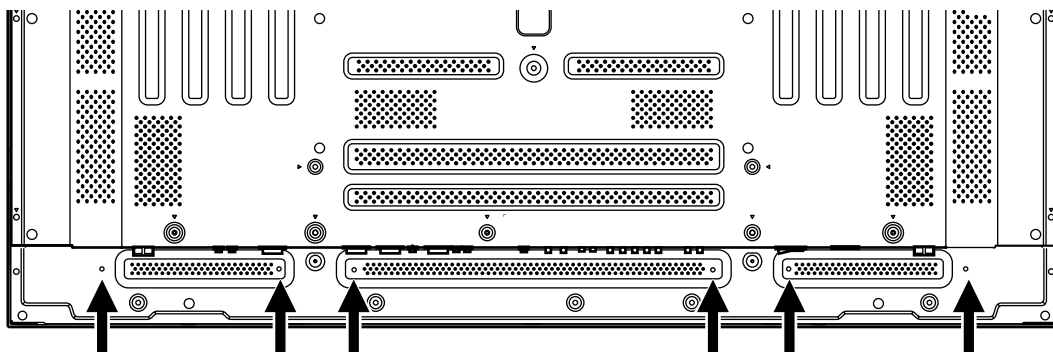
束ねたケーブルは左右どちらにもまとめられます。

スピードクランプをプラズマディスプレイに取り付けるには

○印の6つの穴を状況に応じて使ってください。

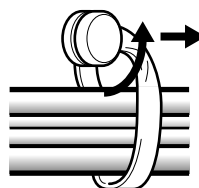
イラストはPDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-S、ビデオカード部はPDA-5003です。

* 本体を背面から見た図



スピードクランプを外すには

ペンチでクランプを90度ねじり、外側へ引きます。
くり返しによって傷んでくると外すときに破損することがあります。

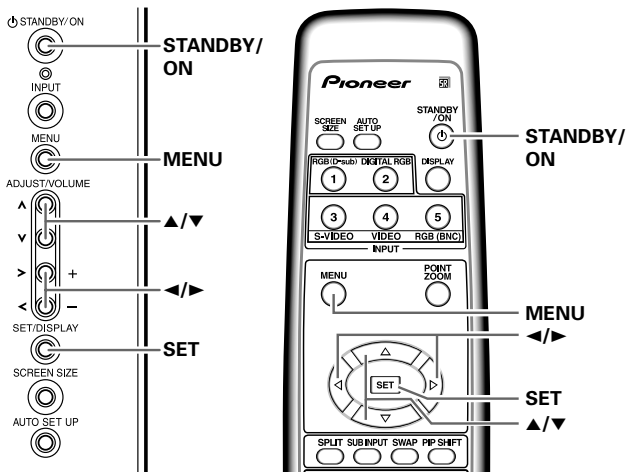


システムの設定

メニュー表示言語を設定する

メニュー表示言語の工場出荷時の設定は英語になっています。

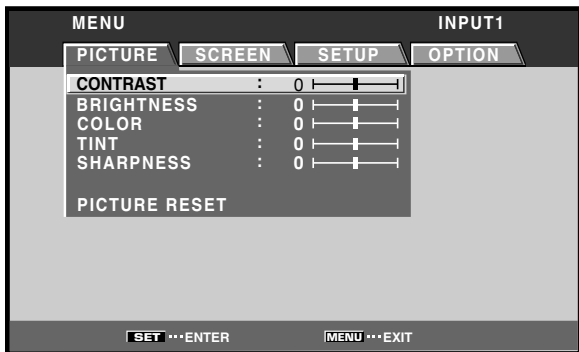
日本語に変えるためには、画面上での設定が必要です。以下の手順に従って、設定を行ってください。



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

- 1 プラズマディスプレイ背面の接続パネルの「MAIN POWER」スイッチを押して、電源を入れる
プラズマディスプレイ前面のSTANDBYインジケータが赤に点灯します。
- 2 「STANDBY/ON」ボタンを押して、プラズマディスプレイを動作状態にする
プラズマディスプレイ前面のONインジケータが緑に点灯します。
- 3 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



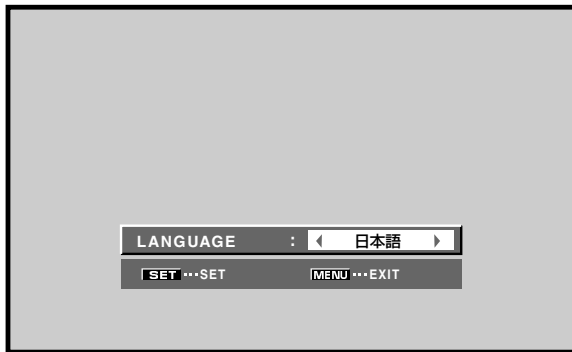
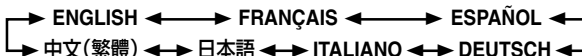
- 4 「◀/▶」ボタンを押して、「OPTION」を選ぶ



- 5 「▲/▼」ボタンを押して、「LANGUAGE」を選び、「SET」ボタンを押す



- 6 「◀/▶」ボタンを押して、「日本語」を選ぶ
「◀/▶」を押すたびに、次のように切り換わります。



- 7 「SET」ボタンを押す
言語が設定され、手順4の画面に戻ります。
- 8 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

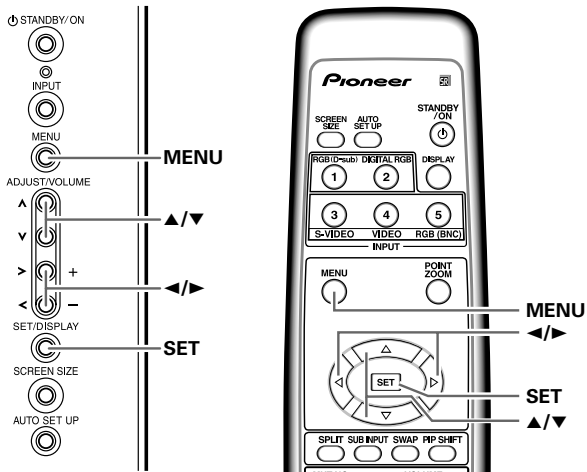
メニュー表示言語の設定はINPUT1～INPUT5のいずれかで設定すると、入力に関係なく同じ表示言語に設定されます。

接続後の設定

INPUT1、INPUT2またはINPUT5の接続を行ったあとは、画面上での設定が必要です。
以下の手順に従って、接続した機器に合わせて設定を行ってください。

DVI選択の設定 (PDP-505CMXのみ)

INPUT2に接続する機器の種別を「PC」または「ビデオ」から選択します。



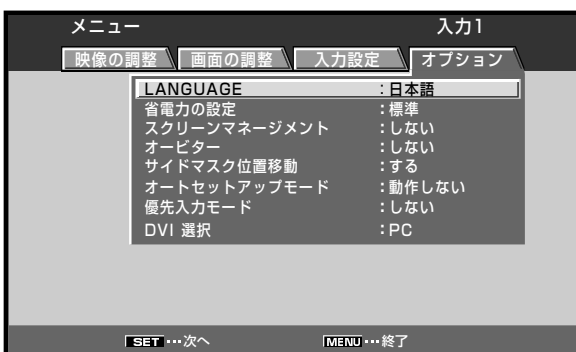
プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



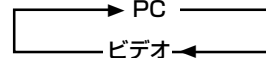
2 「◀/▶」ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「DVI 選択」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、接続する機器の種別を選ぶ 工場出荷時は、「PC」に設定されています。 「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



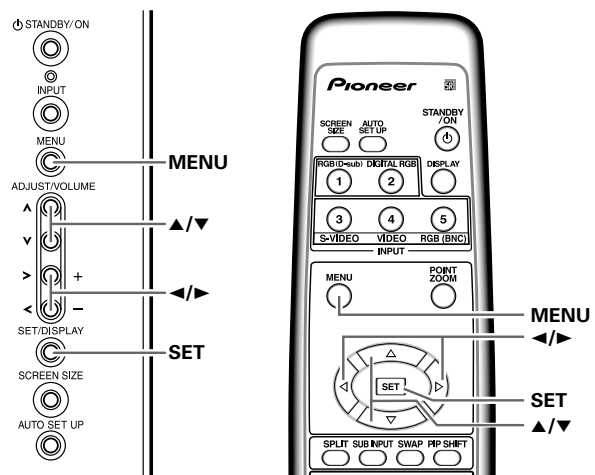
- 「PC」 …… パソコン接続時に設定します。
- 「ビデオ」 …… AV機器接続時に設定します。

5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

本設定完了後に、接続機器の電源をONにするか、または再起動(パソコンの場合)をしてください。接続機器の電源がONのまま本設定を変更しても、信号が出力されなかったり、本来の信号フォーマットで出力されない可能性があります。

信号フォーマット/色差選択の設定



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 INPUT1、INPUT2またはINPUT5を選ぶ

2 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



3 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ



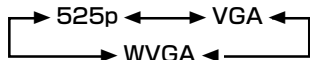
4 「▲/▼」ボタンを押して、「信号フォーマット設定」を選び、「SET」ボタンを押す



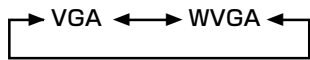
5 「◀/▶」ボタンを押して、表示モードを選ぶ



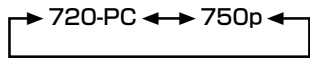
① 入力信号が水平31.5kHz/垂直60Hzのときは「◀/▶」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。INPUT1、INPUT5またはINPUT2(PDP-505CMXのみ)のとき



INPUT2のとき(PDP-504CMX/PDP-504CMX-SおよびPDP-434CMXのみ)

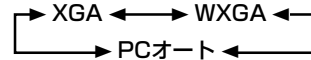


② 入力信号が水平45kHz/垂直60Hzのときは「◀/▶」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



● 720-PCは1280 x 720の解像度を指します。

③ 入力信号が水平48.4kHz/垂直60Hzまたは水平56.1kHz/垂直70Hzのときは「◀/▶」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



PC オートを選択すると、XGA/WXGA を自動的に切り換えます。

④ 入力信号が水平64kHz/垂直60Hz、水平80kHz/垂直75Hzまたは水平91.2kHz/垂直85Hzのときは「◀/▶」ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



ご注意

- ①水平31.5kHz/垂直60Hzの信号入力時、②水平45kHz/垂直60Hzの信号入力時、③水平48.4kHz/垂直60Hzまたは水平56.1kHz/垂直70Hzの信号入力時、④水平64kHz/垂直60Hz、水平80kHz/垂直75Hzまたは水平91.2kHz/垂直85Hzの信号入力時のみ設定が必要です。その他の周波数の信号入力時は自動設定のため、設定する必要がありません(「信号フォーマット設定」は表示されません)。
- PCオートによるパソコン信号の自動選択はRGBセパレートSYNC入力時のみ動作します。
- G ON SYNCおよびコンポジットSYNC入力時、PCオートを選択した場合はXGAが選択されます。
- G ON SYNCまたはコンポジットSYNCでWXGA入力時はマニュアルで信号フォーマットの設定をWXGAにしてください。

6 「SET」ボタンを押す

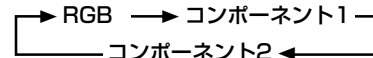
調整値がメモリーされ、手順4の画面に戻ります。

7 パソコン以外の機器を接続しているときは、「▲/▼」ボタンを押して「色差選択」を選ぶ(INPUT1、INPUT2またはINPUT5)



8 「SET」ボタンをくり返し押して、入力する信号方式を選ぶ

「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



以下の表で、接続に合った設定を確認してください。

「信号フォーマット設定」、「色差選択」の設定は以下のように行ってください。

誤った設定を行うと、プラズマディスプレイに悪影響を与える場合がありますので、ご注意ください。

入力設定の項目 接続した機器	信号フォーマット設定	色差選択
DVDプレーヤーなどのコンポーネント映像出力	525p	コンポーネント1
ハイビジョン機器などのコンポーネント映像出力		コンポーネント2
デジタルチューナーなどのコンポーネント映像出力	750p	コンポーネント2
RGB出力端子付きのビデオデッキなどのRGB映像出力	525p	RGB
DVI出力端子付きAV機器のDVI映像出力 (PDP-505CMXのみ)	525p、750p	RGB
パソコンのRGB映像出力	VGA、WVGA 720-PC XGA、WXGA SXGA、SXGA+	設定できません

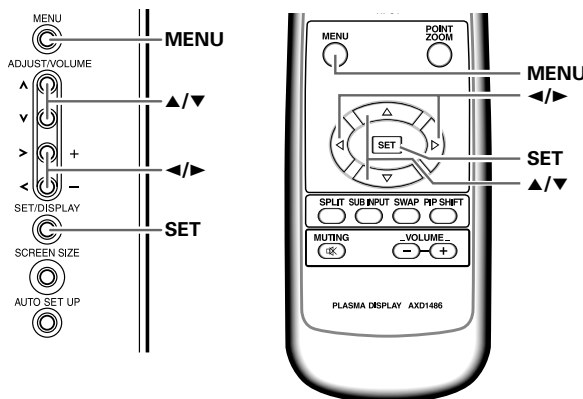
9 設定が終わったら、「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

- 信号フォーマットの設定および色差選択の設定は、各入力 (INPUT1、INPUT2またはINPUT5)ごとに行ってください。
- パソコン信号を入力しているとき、または「信号フォーマット設定」で「525p」または「750p」以外を選んだときは、「色差選択」の設定はできません。

クランプ位置の設定

アナログRGB信号を入力する場合、信号によっては画面が白っぽくなったり、緑がかかることがあります。このような場合は「クランプ位置の設定」を「固定」にしてください。通常は「自動」に設定しておきます。



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

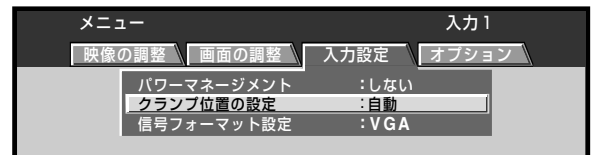
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



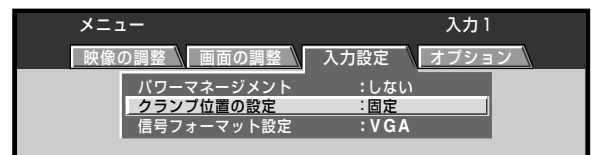
2 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ



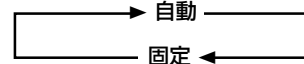
3 「▲/▼」ボタンを押して、「クランプ位置の設定」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して「固定」を選ぶ



工場出荷時は、「自動」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

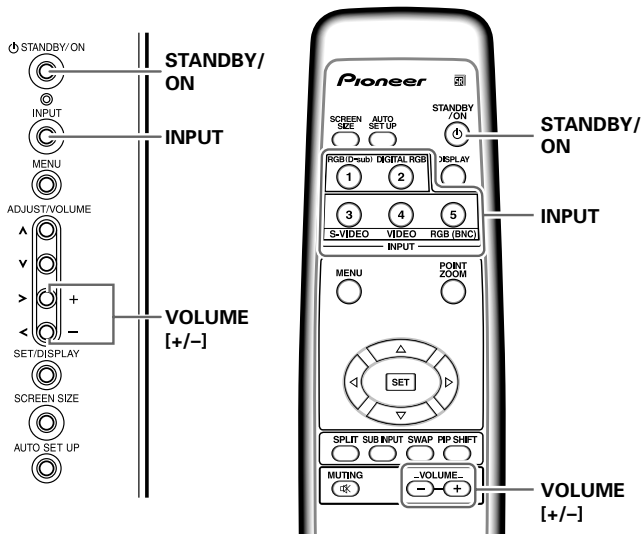
- 「クランプ位置の設定」は、各入力 (PDA-5003 : INPUT1 または INPUT5、PDA-5004 : INPUT1) ごとに行ってください。
- この設定をする場合、お使いの機器の信号出力を十分に確認してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をよくお読みください。

入力ソースを選ぶ

ここではプラズマディスプレイの基本的な操作方法を説明します。電源の入/切、動作状態とスタンバイ状態の切り換え、接続した機器の入力選択について記しています。

最初に確認してください

- 6ページからの「設置と接続」に従って、プラズマディスプレイとAV機器またはパソコンとが正しく接続されていること。
- 18ページからの「システムの設定」に従って、INPUT 1、INPUT 2 または INPUT 5 に接続した機器の入力信号に合わせて、画面上の設定が済ませてあること。これらの端子に何も接続していないときは画面上の設定は不要です。

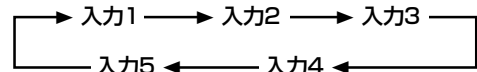


プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

- 1 プラズマディスプレイ背面の「MAIN POWER」スイッチを押して、主電源を入れる
プラズマディスプレイ前面のSTANDBYインジケータが赤に点灯します。
- 2 「STANDBY/ON」ボタンを押して、プラズマディスプレイを動作状態にする
プラズマディスプレイ前面のONインジケータが緑に点灯します。

- 3 リモコンの「INPUT」ボタン、またはプラズマディスプレイ本体の「INPUT」ボタンを押して、入力を選ぶ
プラズマディスプレイ本体側の操作の場合、「INPUT」ボタンを押すたびに、次のように入力が切り換わります。



- メニュー画面の表示中、入力の切り換え動作を行うとメニュー画面はオフされます。
- プラズマディスプレイの対応外のパソコン信号が入力されたときは以下の表示が画面に出ます。

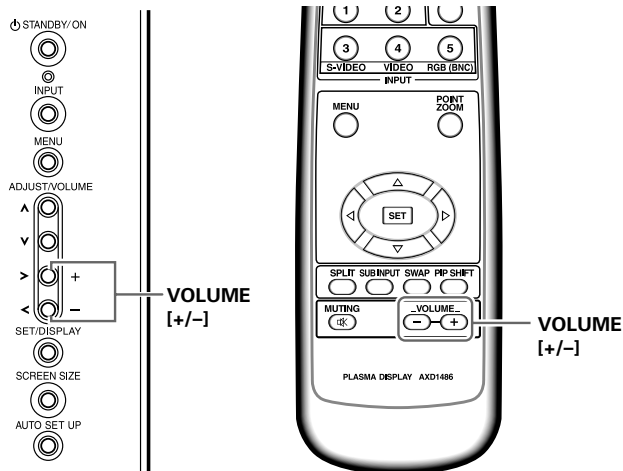


- 4 リモコンの「VOLUME(+/-)」ボタン、またはプラズマディスプレイ本体の「VOLUME」ボタンで音量を調節する
音声を入力していないときは、この手順は不要です。
- 5 終了時は「STANDBY/ON」ボタンを押して、スタンバイ状態にする
- 6 プラズマディスプレイの「MAIN POWER」スイッチを押して、主電源を切る
主電源を切ってもSTANDBYインジケータが点灯していることがありますが、これは回路に充電された電荷が若干残っているためで、しばらくすれば消えます。

ご注意

同じ映像を長い間表示しないでください。画面にゴーストや残像などが現れる「焼き付き」という現象の原因となります。

音量を調整する



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

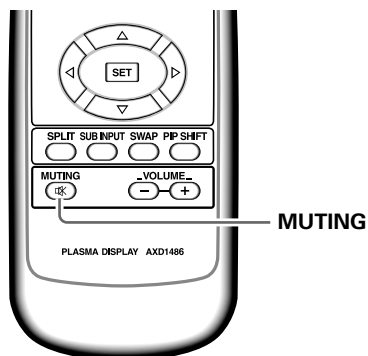
リモコン

「VOLUME」ボタンを押す

[-] (音量小) ボタンまたは [+] (音量大) ボタンを押して、スピーカーから出る音量を調整します。



一時的に音を消す



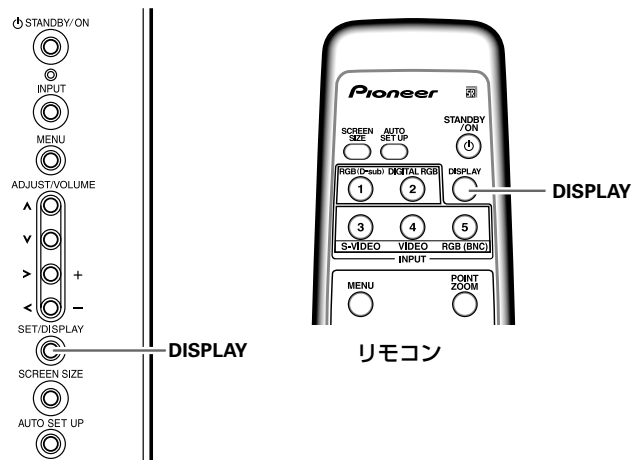
リモコンの「MUTING」ボタンを押す

もう一度「MUTING」ボタンを押すと音が出ます。

「MUTING」ボタンを押して約8分経つと、消音状態は自動的に解除されます。このとき、音量を最小の状態にして解除します。

「VOLUME (+)」ボタンまたは「VOLUME (-)」ボタンを押して、好みの音量にしてください。

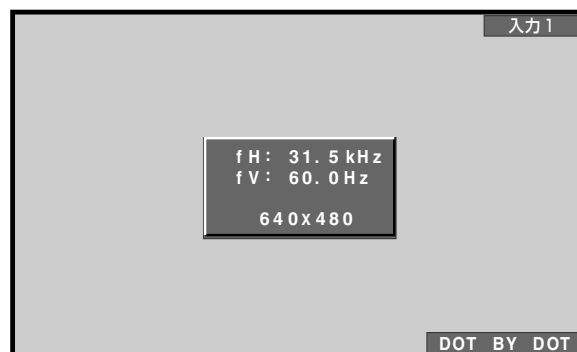
現在の状態を確認する



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

「DISPLAY」ボタンを押す

現在選択されている入力、画面サイズ、水平／垂直周波数が約3秒間表示されます。



ご注意

- 周波数表示は実際と異なることがあります。
- ポイントズーム機能 (25 ページ)、マルチ画面表示機能 (26 ページ) を使用しているときは、拡大表示されている位置や入力など、そのときの画面の状態を表示します。
- スクリーンマネージメント動作中は、左下に「スクリーンマネージメント」の表示が加わります。

画面サイズの切り換え

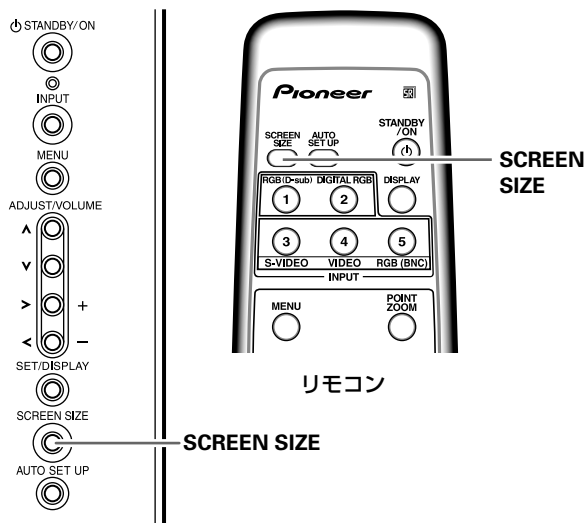
プラズマディスプレイは、さまざまな縦横比の画面モードに対応しています。見ている映像に合った正しい画面モードでご覧になることをお勧めします。これらの機能は、映像をワイドな画面いっぱいに映すものですが、ご使用にあたっては、制作者の意図を十分に尊重してお楽しみいただくことをお勧めいたします。

画面サイズを切り換える

ビデオ信号入力時

画面に映る映像の大きさや写し出す映像の範囲を、5種類の画面サイズに切り換えることができます。

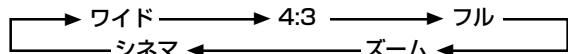
「SCREEN SIZE」ボタンを押して、画面サイズを選ぶ



プラズマディスプレイ本体の操作パネル

「SCREEN SIZE」ボタンを押すたびに、画面モードが次のように切り換わります。

- INPUT1、INPUT2(PDP-505CMXのみ)とINPUT5では入力信号により選択できる画面モードが異なります。詳しくは付録1のビデオ信号対応一覧表をご覧ください。(44ページ)



ご注意

- ワイド、ズームまたはフルの画面モードを使って、4:3映像を画面いっぱいに引き伸ばすと、映像の一部に欠けやゆがみが生じることがあります。
- プラズマディスプレイを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、ワイド、ズーム、シネマまたはフルの画面モードを利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法によって保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 4:3の画面モードのとき、プラズマディスプレイは画面の焼き付きを防ぐため、電源を入れるたびに画面枠の表示の位置を少しずつ変えています。

ビデオ信号入力時

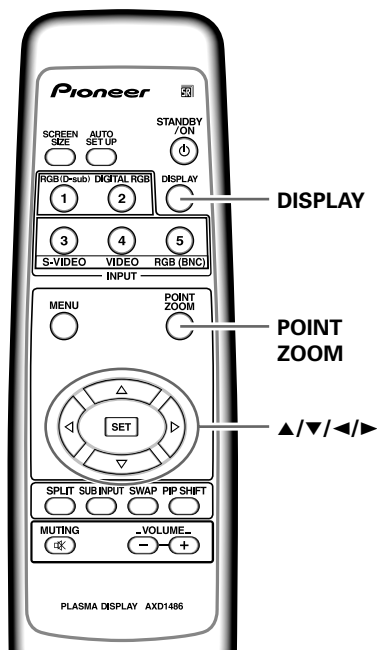
画像の見え方	
ワイド 	ニュースやスポーツ番組などを見るときに適しています。映画やスポーツ番組などでは、広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
4:3 	ニュースやドラマ番組などを見るときに適しています。映像ソフト本来の画面枠で見ることができます。
フル 	ワイド画面用の映像(スクイーズ)に適しています。
ズーム 	劇場サイズの映像のうち、主に「シネスコ(シネマスコープ)サイズ」の映像を見るときなどに適しています。より広がり感のある迫力の映像が楽しめます。
シネマ 	劇場サイズの映像のうち、主に「ビスタサイズ」の映像を見るときなどに適しています。

パソコン信号入力時の画面サイズについてはプラズマディスプレイ本体の取扱説明書をご覧ください。

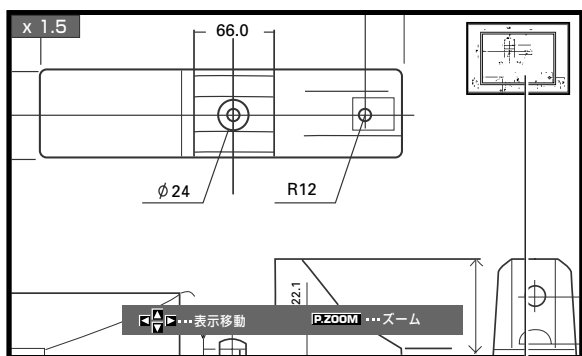
画面を部分的に拡大する (POINT ZOOM)

プラズマディスプレイは画面を1.5倍、2倍、3倍の拡大表示することができます。拡大表示時には「▲/▼/◀/▶」ボタンで表示場所を上下左右に移動できます。

- 拡大表示する範囲は、画面右上のズームナビ画面で確認できます。このズームナビ画面は、「POINT ZOOM」ボタン、「▲/▼/◀/▶」ボタンまたは「DISPLAY」ボタンが押されてから約3秒間表示されます。

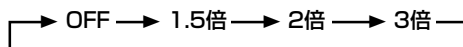


1 リモコンの「POINT ZOOM」ボタンを押す



ズームナビ画面

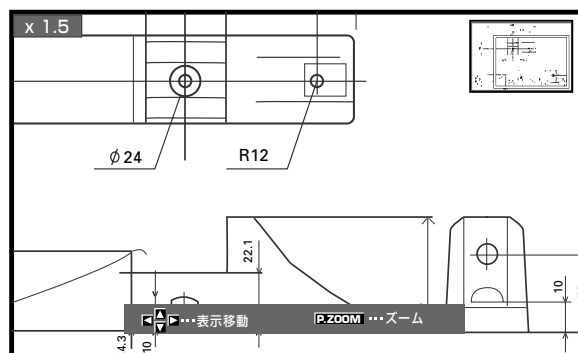
「POINT ZOOM」ボタンを押すたびに、次のように拡大率が切り換わります。



ご注意

部分拡大(POINT ZOOM)中の画面サイズの切り換えはできません。

2 「▲/▼/◀/▶」ボタンを押して、表示場所を移動する



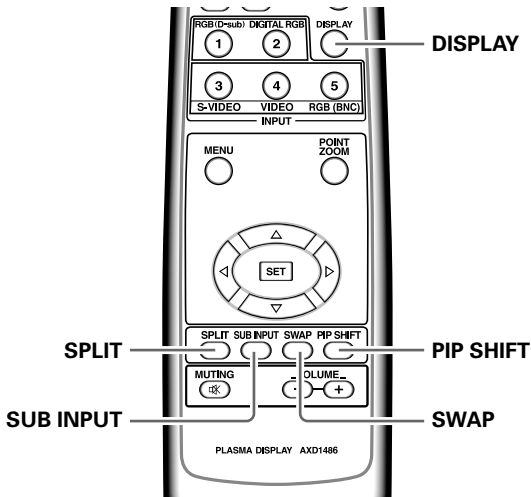
- 再度「POINT ZOOM」「▲/▼/◀/▶」ボタンを押すと拡大率の変更、表示位置の変更ができます。
- 信号が変わったとき、メニューを開いたとき、入力を切り換えたとき、またはマルチ画面にしたときには部分拡大(POINT ZOOM)は終了します。

ご注意

プラズマディスプレイを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、ワイド、ズーム、シネマまたはフルの画面モードを利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法によって保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

マルチ画面にする

プラズマディスプレイは2つの入力を同時に表示させることができます。マルチ画面モードは2-SCREEN、PinP、PoutPの3種類あります。



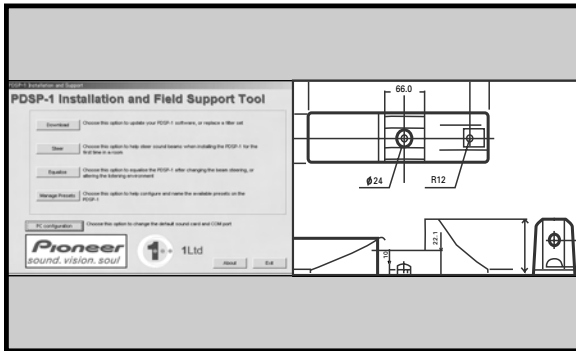
1 リモコンの「SPLIT」ボタンを押す

「SPLIT」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



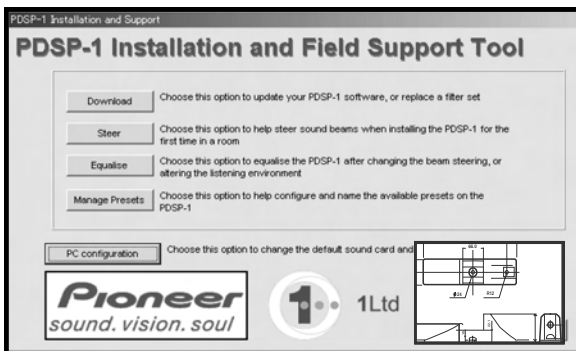
① 2-SCREEN

メイン画面を左側、サブ画面を右側に表示します。



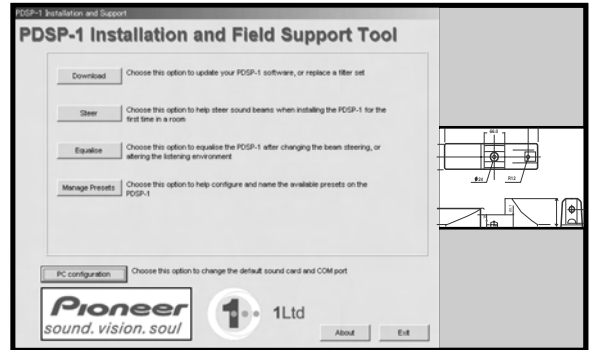
② PinP

サブ画面をメイン画面の4隅いずれかに表示します。



③ PoutP

サブ画面をメイン画面の右側外に表示します。



2 リモコンの「SUB INPUT」ボタンを押してサブ画面の入力を選ぶ

メイン画面とサブ画面を入れ換えるには

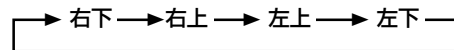
リモコンの「SWAP」ボタンを押す

- 2-SCREENを選択しているとき
左右の画面が入れ換わり、それまでのメイン画面がサブ画面に、サブ画面がメイン画面に移動します。
- PinPまたはPoutPを選択しているとき
それまでのメイン画面がサブ画面になるため小さくなり、サブ画面がメイン画面になるため大きくなります。

PinPのときにサブ画面表示位置を移動するには

リモコンの「PIP SHIFT」ボタンを押す

「PIP SHIFT」ボタンを押すたびに、サブ画面の表示位置が次のように切り換わります。



現在選択されている入力を表示するには

「DISPLAY」ボタンを押す

マルチ画面表示中に「DISPLAY」ボタンを押すと、メイン画面とサブ画面それぞれで現在選択されている入力が表示されます。

ご注意

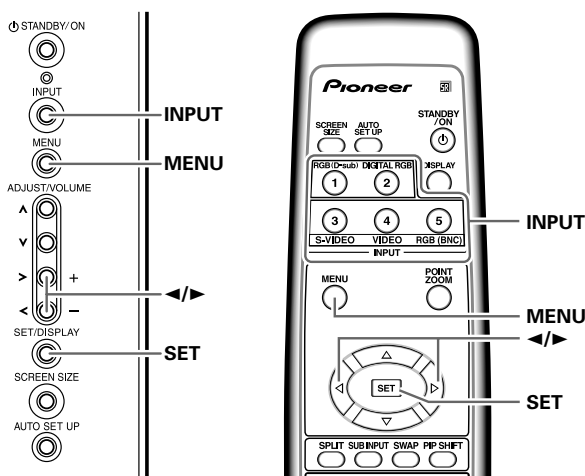
- プラズマディスプレイを営利目的または公衆に視聴させることを目的とし、画面のサイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行うと、著作権法によって保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 長時間マルチ画面表示したり、短時間でも毎日繰り返しマルチ画面表示させると焼き付きによる残像が現れることがあります。
- 2-SCREEN画面表示にしたとき、映像によっては画面が粗く見ることがあります。
- メニュー画面にしたとき、部分拡大(PPOINT ZOOM)を行ったときにはマルチ画面表示は終了します。
- マルチ画面表示中は画面サイズの切り換えはできません。
- マルチ画面表示中は、メイン画面で選択している入力の音声が出力されます。

電源を自動的に切る

プラズマディスプレイはパワーマネージメント機能と無信号電源オフ機能によって、同期信号を検知しない場合、自動的に待機状態または電源スタンバイにすることができます(これらの機能が働く前に、画面にお知らせの表示が出ます)。

ご注意

- パワーマネージメント機能の設定はINPUT1、INPUT2またはINPUT5(PDA-5003のみ)にパソコン信号が入力されているときのみ可能です。
- 無信号電源オフ機能の設定はそのほかの場合のみ可能です。
- 長時間使用しない場合は必ずプラズマディスプレイの主電源を切ってください。



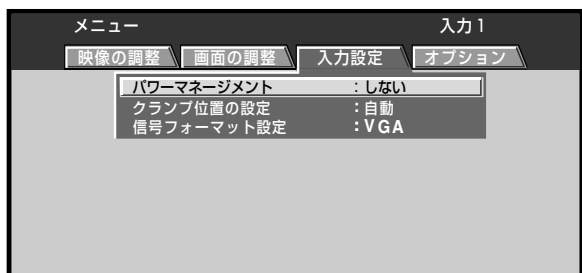
プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

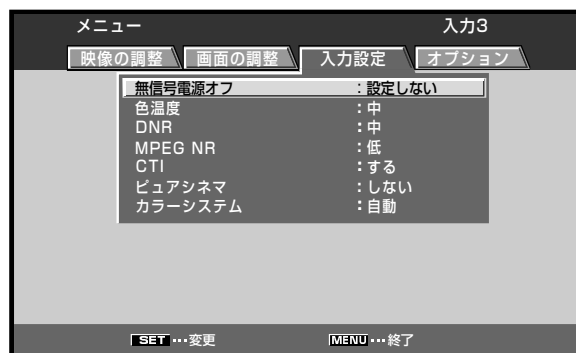
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ 「INPUT1、INPUT2またはINPUT5(PDA-5003のみ)にパソコン信号が入力されているとき」



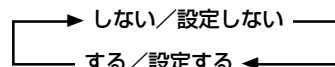
「左記以外のとき」



3 「SET」ボタンを押して、「パワーマネージメント」または「無信号電源オフ」の設定を選ぶ

工場出荷時は、「しない/設定しない」に設定されています。

「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「しない/設定しない」……
同期信号の有無にかかわらずプラズマディスプレイは動作状態が続きます。
- 「パワーマネージメント：する」……
同期信号を検知しないと、約8秒間画面にお知らせを表示したあと、プラズマディスプレイの電源が待機状態になり、ONインジケータが点滅(緑)します。そのあと同期信号の入力が再開されると、プラズマディスプレイは動作状態に戻ります。(*1)
*1 G ON SYNCまたはコンポジットSYNC入力時を除きます。
- 「無信号電源オフ：設定する」……
8分以上同期信号を検知しないと30秒間画面にお知らせの表示をしたあと、プラズマディスプレイの電源がスタンバイ状態になります。

4 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

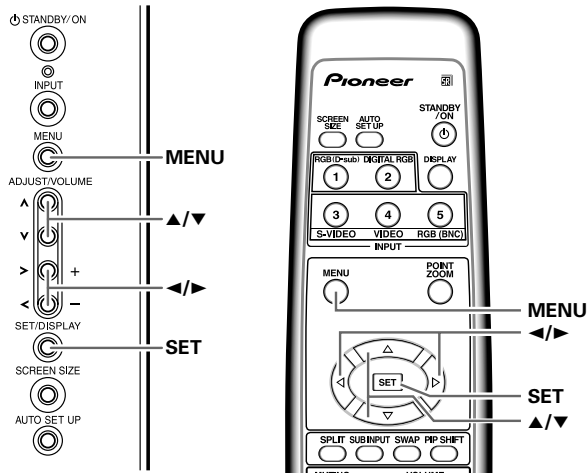
ご注意

「パワーマネージメント」「無信号電源オフ」の設定は、各入力(INPUT1～INPUT5)ごとに行ってください。

動作状態に戻すには

- 待機状態(パワーマネージメント)から動作状態に戻すには、パソコンを動作させるか、プラズマディスプレイ本体またはリモコンの「INPUT」ボタンを押します。
- 電源スタンバイ状態(無信号電源オフ)から動作状態に戻すには、プラズマディスプレイ本体またはリモコンの「STANDBY/ON」ボタンを押します。

映像を調整する



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選び、「SET」ボタンを押す



3 「◀/▶」ボタンを押して、好みの画質に調整する



4 「SET」ボタンを押す

調整値がメモリーされ、手順2の画面に戻ります。

5 調整が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

この調整は、各入力(INPUT1～INPUT5)、および各信号ごとに行ってください。

「映像の調整」の調整項目

「映像の調整」から以下の項目を選択し調整します。

- コントラスト …… 周囲の明るさに合わせて、見やすくなるようにする
- 明るさ …… 画面の暗い部分が見やすくなるようにする
- 色の濃さ …… 好みの濃さにする(やや濃いめに設定すると自然に見えます)
- 色あい …… 肌色がきれいに見えるようにする
- シャープネス …… 通常はセンターでご使用ください。柔らかい感じを出したいときはセンターより左側に、シャープな感じにしたいときは右側に設定してください。

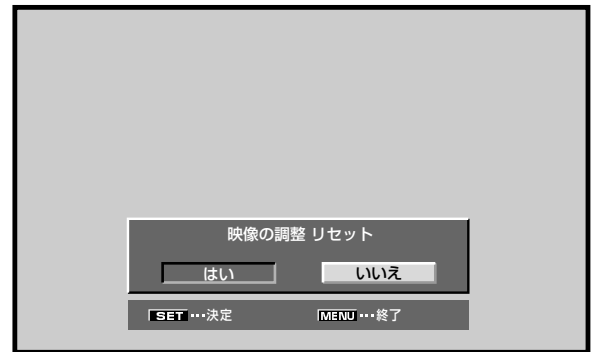
ご注意

パソコン信号入力時の映像の調整については、プラズマディスプレイの取扱説明書を参照してください。

「映像の調整」の調整内容を元の状態に戻すには

調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「映像の調整」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がかえってうまくいく場合があります。

1 左の手順2で「▲/▼」ボタンを押して、「映像の調整 リセット」を選び、「SET」ボタンを押す



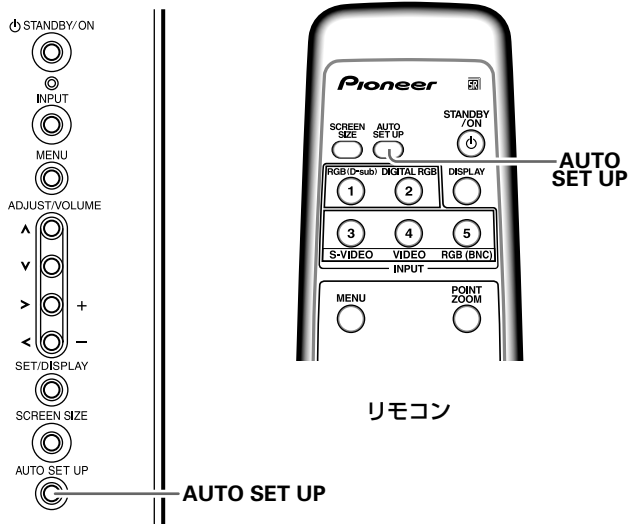
2 「◀/▶」ボタンを押して、「はい」を選び、「SET」ボタンを押す

「映像の調整」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<自動調整>

リモコンまたはプラズマディスプレイ本体の「AUTO SET UP」ボタンを押す、またはメニューの「オートセットアップモード」を設定することによって、自動的に映像に合った画面の位置やクロックに調整することができます。

ボタンを押したときに入力されている映像に合った調整を自動的に行う



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

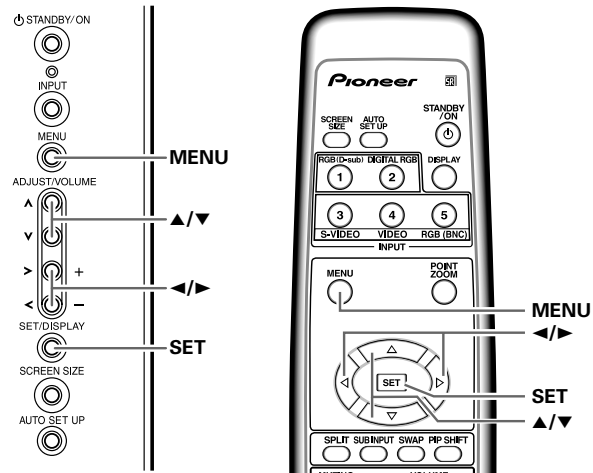
リモコンまたはプラズマディスプレイ本体の「AUTO SET UP」ボタンを押す



ご注意

- この設定はINPUT1またはINPUT5にパソコン信号入力時のみ有効です。
- この調整は、各入力(INPUT1またはINPUT5)および各信号ごとに行ってください。
- 輝度が低い信号など、入力されている信号によってはうまく調整できない場合があります。そのような場合は次項の「画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<手動調整>」で説明されている方法で調整してください。

電源を入れたとき、入力を切り換えたとき、入力している信号の種類が切り換わったときに自動的に映像に合った調整を行う



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

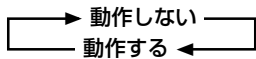


3 「▲/▼」ボタンを押して、「オートセットアップモード」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して設定を選ぶ

工場出荷時は、「動作しない」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



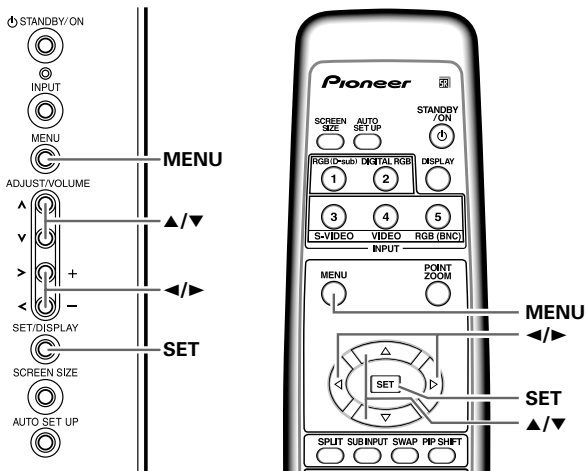
5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

- この設定はINPUT1またはINPUT5にパソコン信号入力時のみ有効です。
- 輝度が低い信号など、入力されている信号によってはうまく調整できない場合があります。そのような場合はオートセットアップモードを「動作しない」に設定し、次項の「画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<手動調整>」で説明されている方法で調整してください。

画面の位置やクロック周波数、クロック位相を調整する<手動調整>

INPUT1、INPUT2またはINPUT5にパソコン信号を入力しているときに調整します。



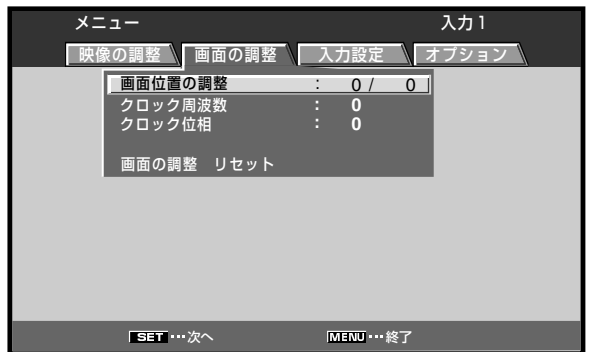
プラズマディスプレイ本体の操作パネル

リモコン

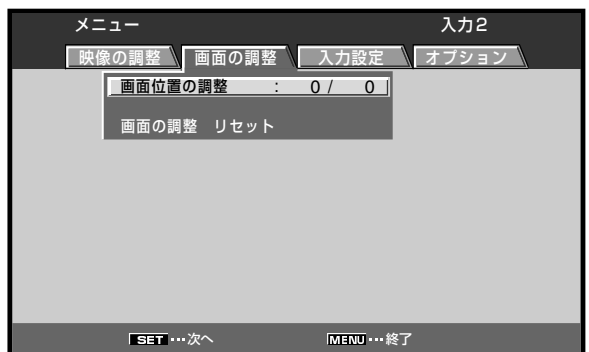
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



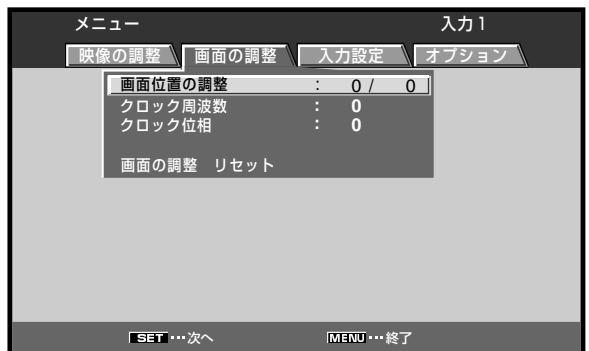
2 「◀/▶」ボタンを押して、「画面の調整」を選ぶ



INPUT2、3、4を選択しているときは次のような画面が表示され、「画面位置の調整」のみ可能です。



3 「▲/▼」ボタンを押して、調整する項目を選び、「SET」ボタンを押す



4 「◀/▶」ボタンおよび「▲/▼」ボタンを押して、好みの値に調整する

- 「画面位置の調整」のときは、「◀/▶」ボタンで「水平」を調整し、「▲/▼」ボタンで「垂直」を調整します。



- 「クロック周波数」「クロック位相」のときは、「◀/▶」ボタンを押して、好みの値に調整します。



5 「SET」ボタンを押す

調整値がメモリーされ、手順3の画面に戻ります。

6 調整が終わったら「MENU」ボタンを押して通常画面に戻す

ご注意

- この調整は、各入力(INPUT1またはINPUT5)および各信号ごとに行ってください。
- INPUT2を選んでいるときは「画面位置の調整」のみ調整できません。

「画面の調整」の調整項目

「画面の調整」から以下の項目を選択し調整します。

画面位置の調整

- 水平 …… 映像の位置を左右に移動します
- 垂直 …… 映像の位置を上下に移動します
- クロック周波数 …… 文字のつぶれやノイズがあるとき調整します。この調整を行うと、入力中の映像信号に対応するプラズマディスプレイ内のクロック周波数が調整されます。
- クロック位相 …… 文字のちらつきや色ずれがあるとき調整します。この調整を行うと、「クロック周波数」で調整したクロックの位相が調整されます。

ご注意

- 「クロック周波数」と「クロック位相」の設定は、INPUT1およびINPUT5のみ対応しています。
- 「クロック周波数」の調整を行うと、「画面位置の調整」の「水平」の再調整が必要になることがあります。
- 「画面の調整」の調整項目を過度に行うと、正常な画面にならなくなることがあります。
- 「オートセットアップモード」を「動作する」に設定していると「画面位置の調整」、「クロック周波数」のモードに入るときにメッセージが表示されますが調整は可能です。ただし、入力の切り換えなどを行うと調整値はオートセットアップモードによる自動調整の調整値をメモリーします。手動調整による調整値をメモリーするには調整前に「オートセットアップモード」を「動作しない」(29ページ)に設定しておいてください。

「画面の調整」の調整内容を元の状態に戻すには

調整をしすぎたり映像が不自然になってしまったときは、調整を続けるよりも「画面の調整」の調整内容をいったん元の状態に戻した方がかえってうまくいく場合があります。

1 手順3で、「▲ / ▼」ボタンを押して、「画面の調整リセット」を選び、「SET」ボタンを押す



2 「◀/▶」ボタンを押して、「はい」を選び、「SET」ボタンを押す

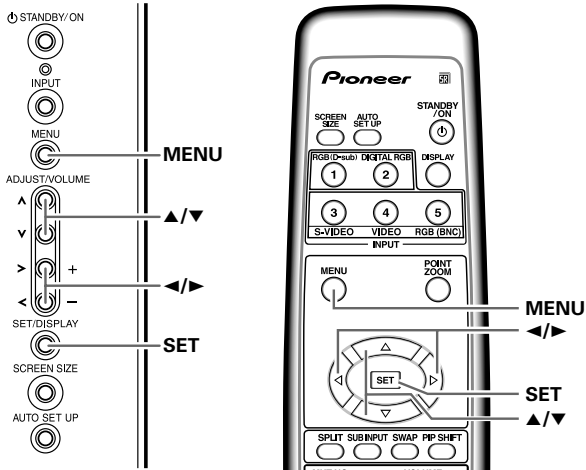
「画面の調整」の調整値はすべて工場出荷時の値に戻ります。

オービターを設定する

画面の表示位置を時間が経過するたびに少しずつ移動させる機能です（約8分ごとに、水平または垂直に1ドットずつ移動します）。

オービターを「する」に設定しておくと、静止画を表示させるときに、画面の焼き付きの発生を軽減する効果があります。

- この機能は部分拡大(PPOINT ZOOM)表示、マルチ画面表示、メニュー表示中は動作しません。



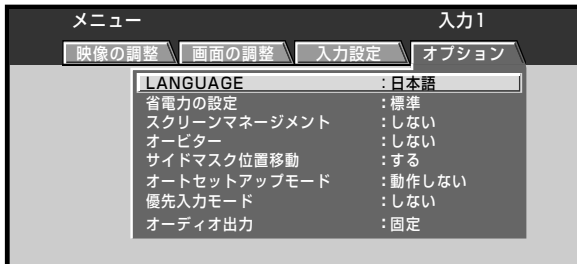
プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

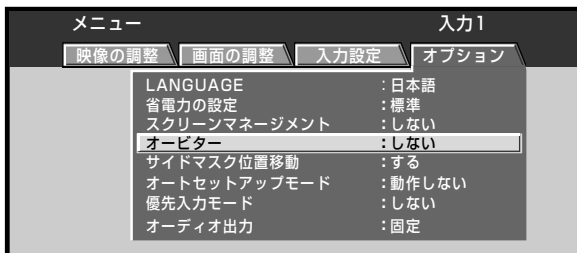
- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



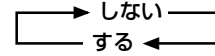
- 3 「▲/▼」ボタンを押して、「オービター」を選ぶ



- 4 「SET」ボタンを押して設定を選ぶ

工場出荷時は、「しない」に設定されています。

「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



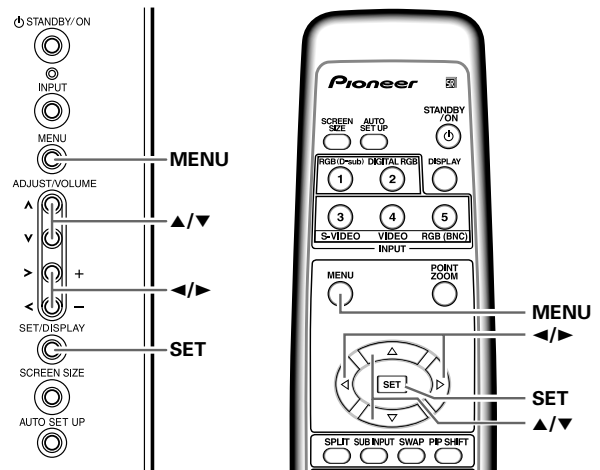
- 5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「オービター」の設定は、すべての入力に共通した設定項目です。

サイドマスク位置移動を設定する

画面サイズを「DOT BY DOT」や「4：3」にしているとき、またはマルチ画面表示にしているとき、画面の焼き付きを軽減するため電源を入れるたびに画面周辺の無画部の表示位置やサブ画面表示位置を少しずつ変化させる機能です。



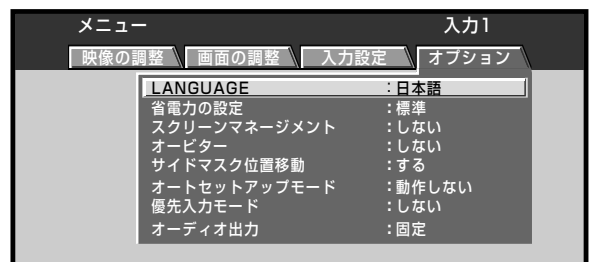
プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

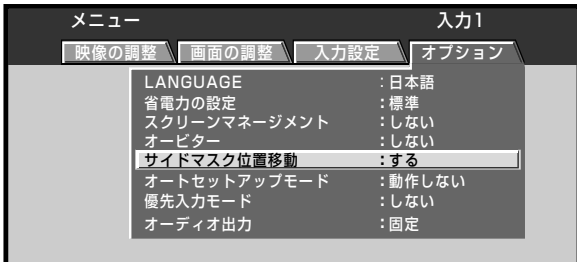
- 1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



- 2 「◀/▶」ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

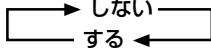


3 「▲/▼」ボタンを押して、「サイドマスク位置移動」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して設定を選ぶ

工場出荷時は、「する」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



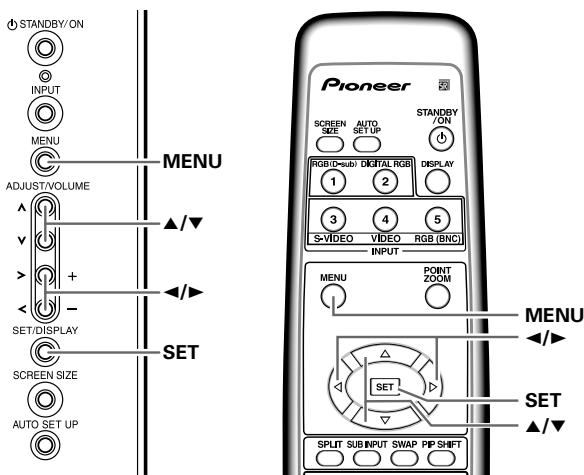
5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「サイドマスク位置移動」の設定は、すべての入力に共通した設定項目です。

スクリーンマネージメントを設定する

プラズマディスプレイでは画面の焼き付き症状を緩和するため、自動的に一定時間ごとに画面表示内容を切り換えることができます。スクリーンマネージメントの24時間サイクルをどのように繰り返すかを設定できます。スクリーンマネージメントの詳細設定については設置業者にお問い合わせください。



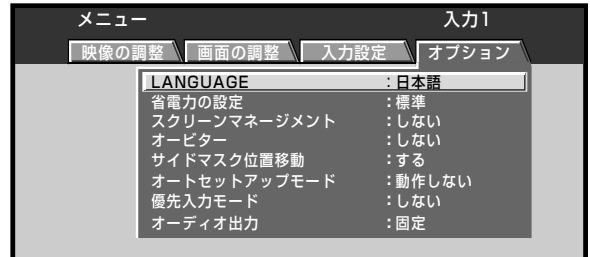
プラズマディスプレイ本体の操作パネル

リモコン

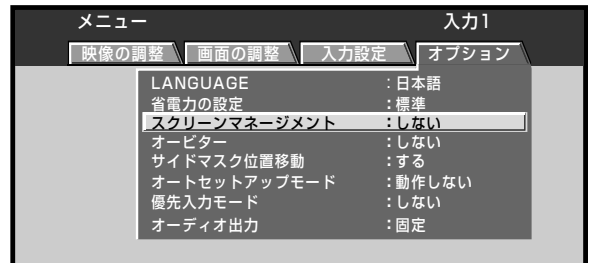
1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「スクリーンマネージメント」を選び、「SET」ボタンを押す



4 「▲/▼」ボタンを押して「設定状態」を選ぶ



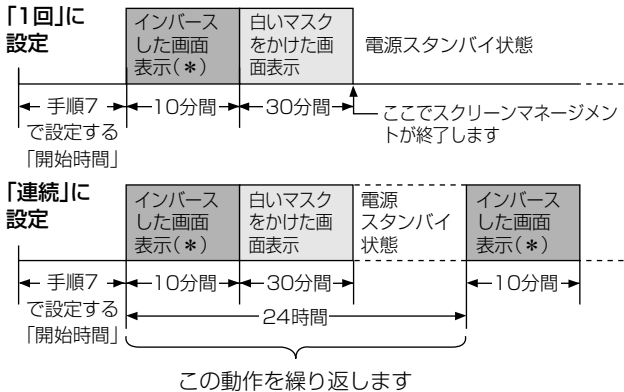
5 「◀/▶」ボタンを押して、「一回」または「連続」を選ぶ

工場出荷時は、「しない」に設定されています。「◀/▶」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「一回」 …… スクリーンマネージメントの動作を一度だけ行います。
- 「連続」 …… スクリーンマネージメントの動作を繰り返し行います(24時間サイクル)。
- 「しない」 …… スクリーンマネージメントを行わず、常に通常画面を表示します。

工場出荷時の設定では下図のように画面表示内容が切り換わります。

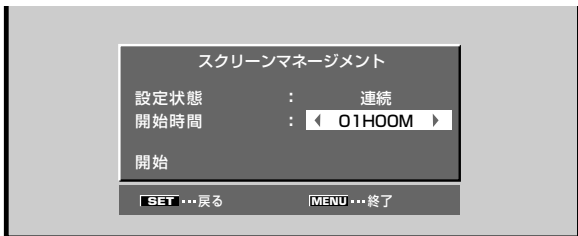


* 現在表示している画像の色と明るさを反転して表示します。
 RGB各色の出力レベル値が反転し、明るい部分は暗く、暗い部分は明るく表示されます。

ご注意

- 「1回」に設定して、スクリーンマネージメント動作が一度終了すると、この部分の表示は「しない」に変わります。さらに続けたい場合は、再度「◀/▶」ボタンを押して「1回」または「連続」を選んでください。
- 「1回」または「連続」に設定して、スクリーンマネージメント動作中に、プラズマディスプレイの「MAIN POWER」スイッチをオフすると動作は終了し、この部分の表示は「しない」に変わります。さらに続けたい場合は、再度「◀/▶」ボタンを押して「1回」または「連続」を選んでください。

6 「▲/▼」ボタンを押して、「開始時間」を選ぶ



7 「◀/▶」ボタンを押して、スクリーンマネージメント動作が開始される時間を設定する

「◀/▶」ボタンを押すと0~24時間後まで10分単位で設定できます。

8 「▲/▼」ボタンを押して、「開始」を選ぶ



9 「SET」ボタンを押す

設定値がメモリーされ、手順2の画面に戻ります。「SET」ボタンが押された時点から、手順7で設定した時間後にスクリーンマネージメントが動作します。

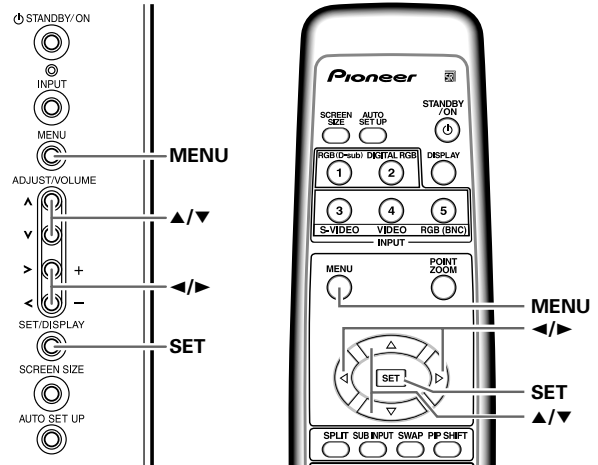
10 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「スクリーンマネージメント」の設定は、すべての入力に共通した設定項目です。

省電力の設定

プラズマディスプレイは画面の明るさを制御することによって、消費電力を低減させたり、パネルの劣化を軽減することができます。



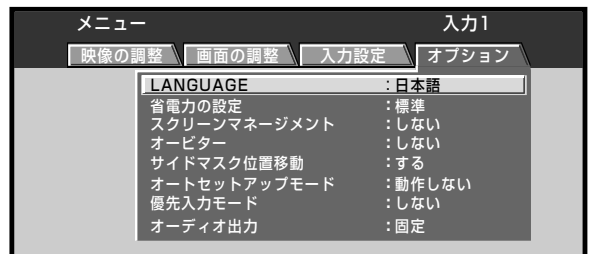
プラズマディスプレイ本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



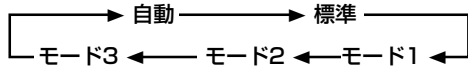
2 「◀/▶」ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「省電力の設定」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、省電力の設定を選ぶ
工場出荷時は「標準」に設定されています。
「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



- 「標準」 …… 入力信号に合わせて明るさを制御して、明るく見やすい画面にします。
- 「モード1」 …… 入力信号に合わせて明るさを制御しますが、「標準」に設定したときより少ない消費電力で動作します。
- 「モード2」 …… 入力信号に合わせて明るさを制御しますが、「モード1」に設定したときより少ない消費電力で動作します。
- 「モード3」 …… 入力信号によらず明るさを固定します。焼き付き等によるパネルの劣化を軽減する効果があります。
- 「自動」 …… 部屋の明るさによって制御することによって、設置環境に応じた最適な明るく見やすい画面にします。

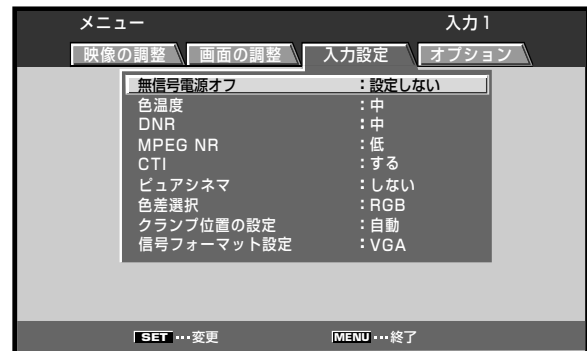
5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意
「省電力の設定」は、すべての入力に共通した設定項目です。

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ



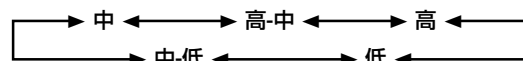
3 「▲/▼」ボタンを押して、「色温度」を選び、「SET」ボタンを押す



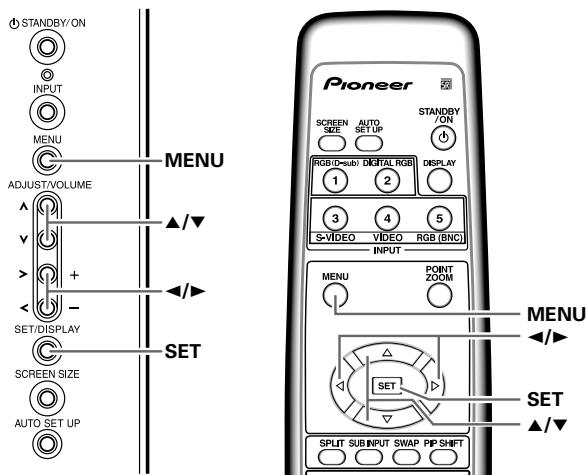
4 「◀/▶」ボタンを押して、好みの色温度を選ぶ



工場出荷時は、「中」に設定されています。
「◀/▶」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



色温度を変更する



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

5 「SET」ボタンを押す
色温度が設定され、手順4の画面に戻ります。

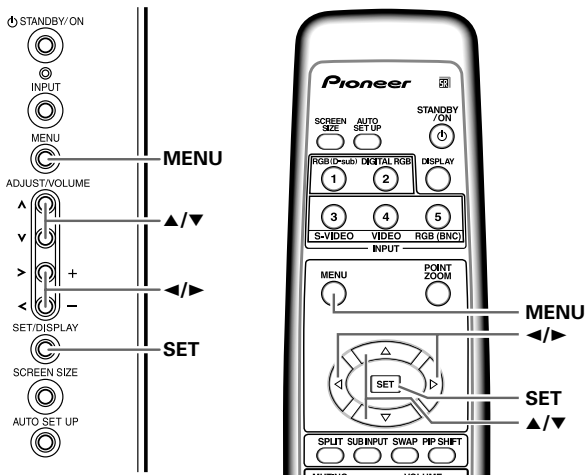
6 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

色温度の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力(INPUT1～INPUT5)および各信号ごとに行ってください。(INPUT2はPDP-505CMXのみ)

映像のノイズ感を軽減する(DNR)

映像のノイズ感が気になるときに設定します。



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ



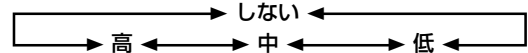
3 「▲/▼」ボタンを押して、「DNR」を選び、「SET」ボタンを押す



4 「◀/▶」ボタンを押して、「DNR」の設定を選ぶ



工場出荷時は、「中」に設定されています。「◀/▶」ボタンを押すたびに、次のように切り換わりません。



● 「低」→「中」→「高」の順に効果が大きくなります。

5 「SET」ボタンを押す

DNRが設定され、手順4の画面に戻ります。

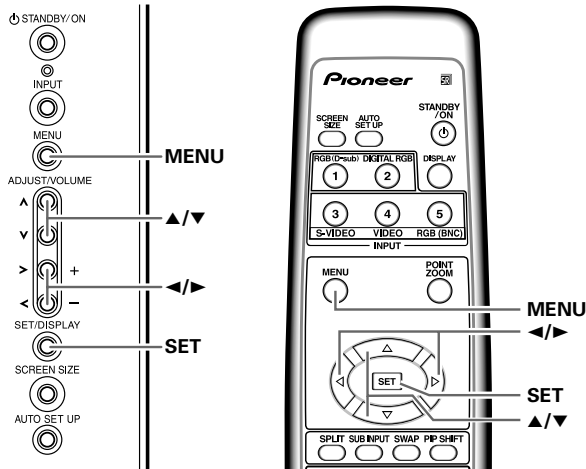
6 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「DNR」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力 (INPUT1～INPUT5) および各信号ごとに行ってください。(INPUT2はPDP-505CMXのみ)

MPEG映像をすっきりさせる (MPEG NR)

デジタル放送やDVDなどの映像のざわつき(モスキートノイズ)が気になるときに設定します。



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ



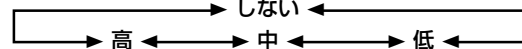
3 「▲/▼」ボタンを押して、「MPEG NR」を選び、「SET」ボタンを押す



4 「◀/▶」ボタンを押して、「MPEG NR」の設定を選ぶ



工場出荷時は、「低」に設定されています。「◀/▶」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



● 「低」→「中」→「高」の順に効果が大きくなります。

5 「SET」ボタンを押す

MPEG NRが設定され、手順4の画面に戻ります。

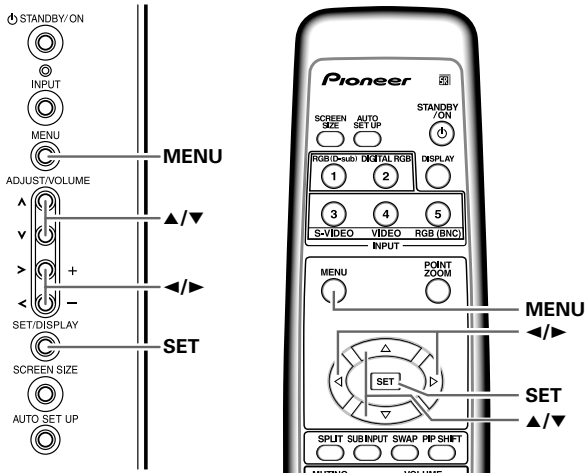
6 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

「MPEG NR」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力 (INPUT1～INPUT5) および各信号ごとに行ってください。(INPUT2はPDP-505CMXのみ)

色の境目を際立たせる(CTI)

お好みに応じて色の輪郭を鮮明にします。



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ



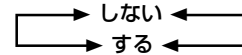
3 「▲/▼」ボタンを押して、「CTI」を選び、「SET」ボタンを押す



4 「◀/▶」ボタンを押して、「CTI」の設定を選ぶ



工場出荷時は、「する」に設定されています。「◀/▶」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



5 「SET」ボタンを押す

CTIが設定され、手順4の画面に戻ります。

6 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

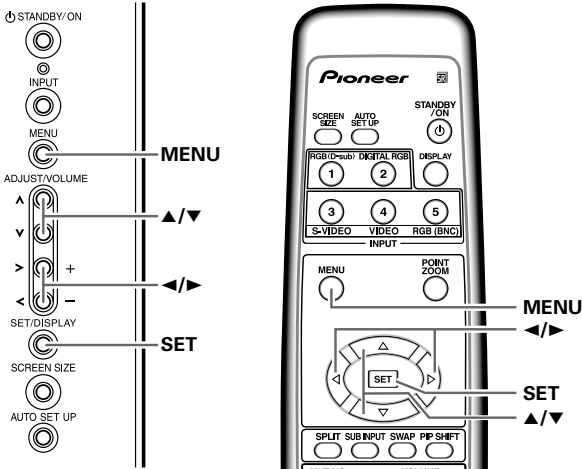
「CTI」の設定は、ビデオ機器の信号入力時のみ可能です。また設定は、各入力 (INPUT1 ~ INPUT5) および各信号ごとに行ってください。(INPUT2はPDP-505CMXのみ)

ピュアシネマを設定する

フィルム収録のDVD映像などを、さらに美しく再生することができます。

ご注意

設定は各入力(INPUT1~INPUT5)および各信号ごとに行ってください。(INPUT2はPDP-505CMXのみ)



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「ピュアシネマ」を選ぶ

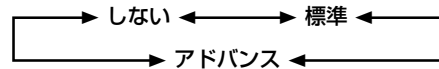


4 「◀/▶」ボタンを押して、ピュアシネマの設定を選ぶ



工場出荷時は、「しない」に設定されています。

「◀/▶」ボタンを押すたびに、画面モードが次のように切り換わります。



- 「しない」…… ピュアシネマを使用しません。
- 「標準」……… 映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出し、フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しむことができます。
- 「アドバンス」… 映画など毎秒24コマで収録されているDVDソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出し72Hzに変換して再生します。この変換によりスクリーンで見ると滑らかな動きとフィルム映写の質感も楽しむことができます。

ご注意

ビデオ信号入力時では、入力信号により選択できるモードが異なります。詳しくは付録3のピュアシネマ対応一覧表をご覧ください。(47ページ)

5 「SET」ボタンを押す

ピュアシネマが設定され、手順4の画面に戻ります。

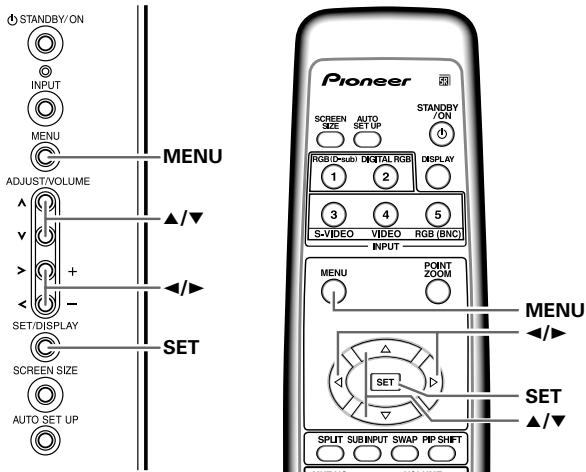
6 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

カラーシステムを設定する

INPUT3またはINPUT4は、世界各国のさまざまなテレビ方式に対応し、自動的に判別しています。通常は「カラーシステム：自動(自動判別)」に設定しますが、ダビングを繰り返したVTR信号などの場合、きちんと再生できない(色が付かないなど)ことがあります。このような場合は、入力する信号にあわせて設定を行います。

ご注意

設定は各入力(INPUT3、INPUT4)ごとに行ってください。また、あらかじめ入力する信号が判っている場合は、設定を固定しておくことでスムーズな信号処理が可能となり、入力切り換え時間の短縮や信号の誤判別を防ぐことができます。



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ

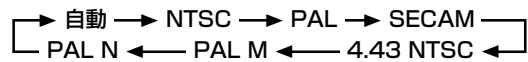


3 「▲/▼」ボタンを押して、「カラーシステム」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して適切なテレビ方式を選ぶ

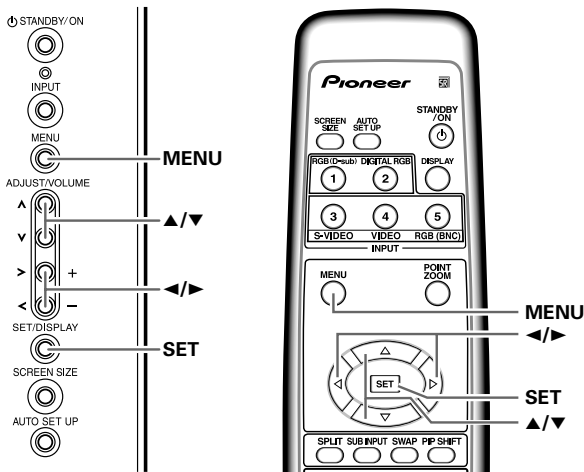
工場出荷時は、「自動」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

自動で入力を切り換える (優先入力モード)

プラズマディスプレイは優先入力モード機能によって、設定した入力で信号が検出されたとき、自動的にその入力に切り換えることができます。



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



2 「◀/▶」ボタンを押して、「オプション」を選ぶ

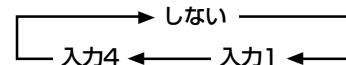


3 「▲/▼」ボタンを押して、「優先入力モード」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、入力を選ぶ

工場出荷時は「しない」に設定されています。「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



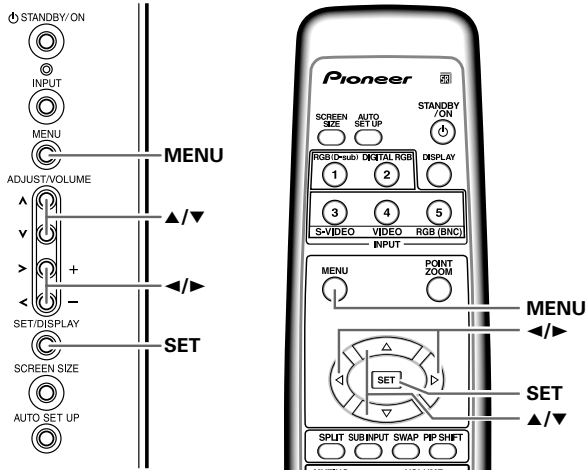
- 「しない」… 優先入力モード機能は動きません。
- 「入力1」または「入力4」…
 - 選んだ入力への信号を検出したとき、自動的にその入力に切り換えます。
 - 優先入力モードで入力が切り換わったあと、信号入力がなくなると、優先入力モード機能によって切り換わる前の入力へ戻ります。
 - 優先入力モードで入力が切り換わったあとに、「INPUT」ボタンを押し別の入力を選択すると一時的に優先入力モードは解除されますが、電源ON/OFFすると再度設定されます。

5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

- 「入力1」はセパレートSYNCまたはコンポジットSYNCアナログRGB信号が入力されたときのみ優先入力モード機能が働きます(G ON SYNCまたはコンポーネント映像信号入力時は動きません)。
- 「優先入力モード」の設定は、すべての入力に共通した設定項目です。

オーディオ出力について (PDP-504CMX/PDP-504CMX-S およびPDP-434CMXのみ)



プラズマディスプレイ
本体の操作パネル

リモコン

AUDIO (OUTPUT) 端子から得られる音声出力の音量を、
固定(固定)、ボリューム連動(連動)から選べます。

1 「MENU」ボタンを押して、メニュー画面にする



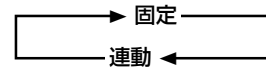
2 「◀/▶」ボタンを押して、「オプション」を選ぶ



3 「▲/▼」ボタンを押して、「オーディオ出力」を選ぶ



4 「SET」ボタンを押して、オーディオ出力の設定を選ぶ 工場出荷時は「固定」に設定されています。 「SET」ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。



- 「固定」 …… プラズマディスプレイの「音量」を調整してもオーディオ出力の音量は変化しません。
- 「連動」 …… 「音量」の調整値に合わせてオーディオ出力の音量が変化します。

5 設定が終わったら「MENU」ボタンを押して、通常画面に戻す

ご注意

- 「オーディオ出力」の設定は、すべての入力に共通した設定項目です。
- PDP-505CMXのAUDIO端子から得られる音声出力の音量は「連動」です。

仕様

本体

外形寸法

PDA-5003

..... 301.5(幅) × 27.6(高さ) × 148.9(奥行) mm

PDA-5004

..... 301.5(幅) × 27.6(高さ) × 148.3(奥行) mm

質量 0.4 kg

動作条件温度 0~40°C

■ PDA-5003

入出力端子

映像系

INPUT3

(入力)

S端子(ミニDIN4ピンコネクタ)

- Y/Cセパレート映像信号
Y... 1Vp-p/75Ω/同期負
C... 0.286Vp-p/75Ω (NTSC)
0.3Vp-p/75Ω (PAL)

INPUT4

(入力)

BNC端子

- コンポジット映像信号
1Vp-p/75Ω/同期負

(出力)

BNC端子

75Ω/バッファ内蔵

INPUT5

(入力)

BNC端子(X5)

- RGB信号(G ON SYNC対応)
RGB... 0.7Vp-p/75Ω/同期なし
HD/VS、VD...
TTLレベル/正負極性/75Ωまたは2.2kΩ
(インピーダンス切り換え付き)
G ON SYNC... 1Vp-p/75Ω/同期負
- コンポーネント映像信号
Y... 1Vp-p/75Ω/同期負
PB/CB、PR/CR...
0.7Vp-p(カラー100%)/75Ω

音声系

(入力)

AUDIO INPUT (INPUT3/4用)

ピンジャック(x 2)

L/R... 500mVrms/10kΩ以上

AUDIO INPUT (INPUT5用)

ピンジャック(x 2)

L/R... 500mVrms/10kΩ以上

■ PDA-5004

入出力端子

映像系

INPUT3

(入力)

S端子(ミニDIN4ピンコネクタ)

- Y/Cセパレート映像信号
Y... 1Vp-p/75Ω/同期負
C... 0.286Vp-p/75Ω (NTSC)
0.3Vp-p/75Ω (PAL)

INPUT4

(入力)

RCA端子

- コンポジット映像信号
1Vp-p/75Ω/同期負

(出力)

RCA端子

75Ω/バッファ内蔵

INPUT5

(入力)

RCA端子

- RGB信号(G ON SYNC対応)
RGB... 0.7Vp-p/75Ω/同期なし
G ON SYNC... 1Vp-p/75Ω/同期負
- コンポーネント映像信号
Y... 1Vp-p/75Ω/同期負
PB/CB、PR/CR...
0.7Vp-p(カラー100%)/75Ω

音声系

(入力)

AUDIO INPUT (INPUT3用)

ピンジャック(x 2)

L/R... 500mVrms/10kΩ以上

AUDIO INPUT (INPUT4用)

ピンジャック(x 2)

L/R... 500mVrms/10kΩ以上

AUDIO INPUT (INPUT5用)

ピンジャック(x 2)

L/R... 500mVrms/10kΩ以上

付属品

リモコンラベル	1
端子表示ラベル	1
ねじ	2
取扱説明書	1
保証書	1

- 上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

付録1

ビデオ信号対応一覧表(INPUT1、INPUT5)

で表示されている画面は選べません。

垂直周波数 fv (Hz)	水平周波数 fh (kHz)	信号方式	表示画面サイズ					備考
			4:3	フル	ズーム	シネマ	ワイド	
50	15.625	コンポーネント RGB	○	○	○	○	○	625i(576i)/SDTV
	28.13	コンポーネント RGB		○			○	1125i(1080i)/HDTV
	31.25	コンポーネント RGB	○	○	○	○	○	625p(576p)/SDTV
	37.50	コンポーネント RGB		○			○	750p(720p)/HDTV
	56.20	コンポーネント RGB		○*2				1125p(1080p)/HDTV
	62.50	コンポーネント RGB		○*2				1250p/HDTV
60	15.734	コンポーネント RGB	○	○	○	○	○	525i(480i)/SDTV
	31.5	コンポーネント RGB	○	○	○	○	○	525p(480p)/SDTV
	33.75	コンポーネント RGB		○*1			○	1125i(1080i)/HDTV 1125i(1035i)/HDTV
	45.0	コンポーネント RGB		○			○	750p(720p)/HDTV
	67.5	コンポーネント RGB		○*2				1125p(1080p)/HDTV

*1：フル1080iとフル1035iの2種類あり、どちらも選択可能です。

*2：接続されている機器との組み合わせによっては、画面に乱れなどが生じる場合があります。

ビデオ信号対応一覧表(INPUT2)(PDP-505CMXのみ)

で表示されている画面は選べません。

垂直周波数 fv (Hz)	水平周波数 fh (kHz)	信号方式	表示画面サイズ					備考
			4:3	フル	ズーム	シネマ	ワイド	
50	15.625	コンポーネント RGB	○	○	○	○	○	625i(576i)/SDTV
	28.13	コンポーネント RGB		○			○	1125i(1080i)/HDTV
	31.25	コンポーネント RGB	○	○	○	○	○	625p(576p)/SDTV
	37.50	コンポーネント RGB		○			○	750p(720p)/HDTV
60	15.734	コンポーネント RGB	○	○	○	○	○	525i(480i)/SDTV
	31.5	コンポーネント RGB	○	○	○	○	○	525p(480p)/SDTV
	33.75	コンポーネント RGB		○*1			○	1125i(1080i)/HDTV 1125i(1035i)/HDTV
	45.0	コンポーネント RGB		○			○	750p(720p)/HDTV

*1：フル1080iとフル1035iの2種類あり、どちらも選択可能です。

付録2

パソコン信号対応一覧表 (INPUT1、INPUT5)
 (PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-504CMX-Sと組み合わせた場合) で表示されている画面は選べません。

解像度 (ドットxライン)	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ(ドットxライン)				備考
			DOT BY DOT	4:3	フル	パーシャル	
640×400	56.4Hz	24.8kHz			○ 1280x768		NEC PC-9800
720×400	70.1Hz	31.5kHz			○ 1280x768		NEC PC-9800
	85.1Hz	37.9kHz			↑		
640×480	60Hz	31.5kHz	◎ 640x480	○ 1024x768	○ 1280x768		
	66.7Hz	35.0kHz	↑	↑	↑		Apple Macintosh 13"
	72.8Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	37.5kHz	↑	↑	↑		
848×480	85Hz	43.3kHz	↑	↑	↑		
	60Hz	31.0kHz	◎ 848x480		○ 1280x768		
800×600	56Hz	35.2kHz	◎ 800x600	○ 1024x768	○ 1280x768		
	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		(1072x600)
	72Hz	48.1kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	46.9kHz	↑	↑	↑		
832×624	85Hz	53.7kHz	↑	↑	↑		
	74.6Hz	49.7kHz	◎ 832x624	○ 1024x768	○ 1280x768		Apple Macintosh 16"
1024×768	60Hz	48.4kHz	◎ 1024x768		○ 1280x768		(1376 x 768)
	70Hz	56.5kHz	↑		↑		
	75Hz (74.9Hz)	60.0kHz (60.2kHz)	↑		↑		()内はApple Macintosh 19"
	85Hz	68.7kHz	↑		↑		
1280×720	60Hz	44.7kHz	◎ 1280x720		○ 1280x768		
1280×768	56Hz	45.1kHz	◎ 1280x768				
	60Hz	47.8kHz	↑				
	70Hz	56.1kHz	↑				
1152×864	60Hz	53.7kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	72Hz	64.9kHz		↑	↑		
	75Hz	67.5kHz		↑	↑		
1152×870	75.1Hz	68.7kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		Apple Macintosh 21"
1152×900	66Hz	61.8kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		Sun Microsystems LO
	76Hz	71.7kHz		↑	↑		Sun Microsystems HI
1280×960	60Hz	60.0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280×1024	60Hz	64.0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768	◎ 1280x768	
	75Hz	80.0kHz		↑	↑	↑	(1600x1024)
	85Hz	91.2kHz		↑	↑	↑	
1400×1050	60Hz	65.3kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	75Hz	82.3kHz		↑	↑		
	85Hz	93.9kHz		↑	↑		
1600×1200	60Hz	75.0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	65Hz	81.3kHz		↑	↑		
	70Hz	87.5kHz		↑	↑		
	75Hz	93.8kHz		↑	↑		
	85Hz	106.3kHz		↑	↑		

記号説明 ◎：最適な映像が得られます。「画面の調整」(位置、周波数、位相)が必要になる場合があります。

○：拡大映像のため、細かい情報が見にくくなります。

△：簡易表示です。細かい情報は再生されません。

パソコン信号対応一覧表 (INPUT1、INPUT5)
 (PDP-434CMXと組み合わせた場合)

■で表示されている画面は選べません。

解像度 (ドットxライン)	垂直周波数	水平周波数	表示画面サイズ(ドットxライン)				備考
			DOT BY DOT	4:3	フル	ズーム	
640×400	56.4Hz	24.8kHz			○ 1024x768		NEC PC-9800
720×400	70.1Hz	31.5kHz			○ 1024x768		NEC PC-9800
	85.1Hz	37.9kHz			↑		
640×480	60Hz	31.5kHz	◎ 640x480	○ 768x768	○ 1024x768		
	66.7Hz	35.0kHz	↑	↑	↑		Apple Macintosh 13"
	72.8Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	37.5kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	43.3kHz	↑	↑	↑		
848×480	60Hz	31.0kHz	◎ 848x480		○ 1024x768		
800×600	56Hz	35.2kHz	◎ 800x600	△ 768x768	○ 1024x768		
	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		(1072x600)
	72Hz	48.1kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	46.9kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	53.7kHz	↑	↑	↑		
832×624	74.6Hz	49.7kHz	◎ 832x624	△ 768x768	○ 1024x768		Apple Macintosh 16"
1024×768	60Hz	48.4kHz	◎ 1024x768	△ 768x768			(1376 x 768)
	70Hz	56.5kHz	↑	↑			
	75Hz (74.9Hz)	60.0kHz (60.2kHz)	↑	↑			()内はApple Macintosh 19"
	85Hz	68.7kHz	↑	↑			
1280×720	60Hz	44.7kHz			△ 1024x768		
1280×768	56Hz	45.1kHz			△ 1024x768		
	60Hz	47.8kHz			↑		
	70Hz	56.1kHz			↑		
1152×864	60Hz	53.7kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	72Hz	64.9kHz		↑	↑		
	75Hz	67.5kHz		↑	↑		
1152×870	75.1Hz	68.7kHz		△ 768x768	△ 1024x768		Apple Macintosh 21"
1152×900	66Hz	61.8kHz		△ 768x768	△ 1024x768		Sun Microsystems LO
	76Hz	71.7kHz		↑	↑		Sun Microsystems HI
1280×960	60Hz	60.0kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
1280×1024	60Hz	64.0kHz		△ 768x768	△ 1024x768	△ 1024x768	
	75Hz	80.0kHz		↑	↑	↑	(1600x1024)
	85Hz	91.2kHz		↑	↑	↑	
1400×1050	60Hz	65.3kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	75Hz	82.3kHz		↑	↑		
	85Hz	93.9kHz		↑	↑		
1600×1200	60Hz	75.0kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	65Hz	81.3kHz		↑	↑		
	70Hz	87.5kHz		↑	↑		
	75Hz	93.8kHz		↑	↑		
	85Hz	106.3kHz		↑	↑		

記号説明 ◎：最適な映像が得られます。「画面の調整」(位置、周波数、位相)が必要になる場合があります。
 ○：拡大映像のため、細かい情報が見にくくなります。
 △：簡易表示です。細かい情報は再生されません。

付録3

ピュアシネマ対応一覧表(INPUT1、INPUT5)

で表示されている画面は選べません。

垂直周波数 fv(Hz)	水平周波数 fh(kHz)	信号方式	ピュアシネマ			備考
			しない	標準	アドバンス	
50	15.625	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○		625i(575i)/SDTV
	28.13	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○		1125i(1080i)/HDTV
	31.25	コンポーネント RGB				625p(575p)/SDTV
	37.50	コンポーネント RGB				750p(720p)/HDTV
	56.25	コンポーネント RGB				1125p(1080p)/HDTV
	62.50	コンポーネント RGB				1250p/HDTV
60	15.734	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○	○ ○	525i(480i)/SDTV
	31.5	コンポーネント RGB	○ ○		○ ○	525p(480p)/SDTV
	33.75	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○	○ ○	1125i(1080i)/HDTV 1125i(1035i)/HDTV
	45.0	コンポーネント RGB	○ ○		○ ○	750p(720p)/HDTV
	67.5	コンポーネント RGB	○ ○		○ ○	1125p(1080p)/HDTV

ピュアシネマ対応一覧表(INPUT2)(PDP-505CMXのみ)

で表示されている画面は選べません。

垂直周波数 fv(Hz)	水平周波数 fh(kHz)	信号方式	ピュアシネマ			備考
			しない	標準	アドバンス	
50	15.625	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○		625i(575i)/SDTV
	28.13	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○		1125i(1080i)/HDTV
	31.25	コンポーネント RGB				625p(575p)/SDTV
	37.50	コンポーネント RGB				750p(720p)/HDTV
60	15.734	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○	○ ○	525i(480i)/SDTV
	31.5	コンポーネント RGB	○ ○		○ ○	525p(480p)/SDTV
	33.75	コンポーネント RGB	○ ○	○ ○	○ ○	1125i(1080i)/HDTV 1125i(1035i)/HDTV
	45.0	コンポーネント RGB	○ ○		○ ○	750p(720p)/HDTV

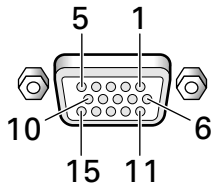
ピュアシネマ対応一覧表(INPUT3、INPUT4)

で表示されている画面は選ばません。

垂直周波数 fv(Hz)	水平周波数 fh(kHz)	信号方式	ピュアシネマ			備 考
			しない	標準	アドバンス	
50	15.625	コンポジット Sビデオ	○	○		625i(575i)/SDTV
60	15.734	コンポジット Sビデオ	○	○	○	525i(480i)/SDTV

付録4

INPUT 1 (ミニD-sub 15ピンコネクタ:メス)ピン配列



ピンNo.	入力側	出力側
1	R	←
2	G	←
3	B	←
4	NC(未接続)	←
5	GND	←
6	GND	←
7	GND	←
8	GND	←
9	DDC +5V	NC(未接続)
10	GND	←
11	NC(未接続)	←
12	DDC SDA	NC(未接続)
13	HDまたは H/V SYNC	←
14	VD	←
15	DDC SCL	NC(未接続)

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の幅と高さをアスペクト比と呼びます。通常のテレビでは4:3、ワイドテレビやハイビジョンテレビでは16:9です。

S端子(S VIDEO端子)

映像信号を輝度信号と色信号に分け、別々に伝送する端子のことです。コンポジット信号での入出力よりも再現性が優れています。

S映像信号

映像信号は、色を制御する色信号と明暗を制御する輝度信号の2種類で構成されています。これらの信号は、通常のビデオ機器では1つに組み合わせて「コンポジット信号」として扱われますが、S映像信号ではそれぞれが分離しており、混成による信号の品質の低下がありません。

コンポーネント映像信号

Y.CbCr、Y.PbPr、Y.B-Y.R-Yなど、輝度信号と色差信号をそれぞれ単独の組み合わせで扱う映像信号の総称です。単に「色差信号」と呼ぶこともあります。

G ON SYNC

RGB信号のうち緑(G)信号に同期信号が組み合わさった形の映像信号です。

VGA

「Video Graphics Array」の略称です。通常は640×480の解像度を指します。

WVGA

「Wide Video Graphics Array」の略称です。通常は848×480の解像度を指します。

XGA

「eXtended Graphics Array」の略称です。通常は1024×768の解像度を指します。

WXGA

「Wide eXtend Graphics Array」の略称です。通常は1280×768の解像度を指します。

SXGA

「Super eXtend Graphics Array」の略称です。通常は1280×1024の解像度を指します。

SXGA+

「Super eXtend Graphics Array Plus」の略称です。通常は1400×1050の解像度を指します。

DVI

「Digital Visual Interface」の略称です。DDWG (Digital Display Working Group)が提唱したデジタルディスプレイ用のインターフェイス規格です。

HDCP

「High-bandwidth Digital Content Protection」の略称です。HDCPは、Intel社によってコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化方式です。市販のAV機器(DVDプレーヤーなど)に搭載されたHDCP対応のDVI出力端子からの出力信号は、コンテンツ保護のためHDCP方式で暗号化されています。

本機では、画面表示にNECのフォント「Font Avenue」を使用しています。

Font AvenueはNECの登録商標です。

Power ManagementはSun Microsystems Inc.の商標です。

TMD5はSilicon Image Inc.の商標です。

AppleおよびMacintoshは、Apple Computer Inc.の商標です。

Microsoftは、Microsoft Corporationの商標です。

VGAおよびXGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

VESAおよびDDCはVideo Electronics Standards Associationの商標です。

保証とアフターサービスについて

保証書(別に添付してあります)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」などの記入を確かめ取扱店から受け取っていただき、内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

- **保証期間について**
保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。詳細は保証書をご覧ください。
- **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせ使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼される時

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

お願い

故障内容によっては、製品全体を取り外すことが必要になります。その場合には、設置業者に依頼しなければサービスを行えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

● 保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご相談ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・製品型番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

● 保証期間が過ぎているときは

アフターサービス連絡先または本機の取扱店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービス連絡先

TEL _____

FAX _____

管理会社名 _____

担当者名 _____

所在地 _____

休日/夜間 PM _____ ~ AM _____

TEL _____

Safety Precautions

IMPORTANT



The lightning flash with arrowhead symbol, within an equilateral triangle, is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.

CAUTION

**RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN**

CAUTION:
TO PREVENT THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

D3-4-2-1-1_En-A

To ensure proper heat radiation, distance the unit slightly from other equipment, walls, etc. (normally more than 10 cm). Avoid the following installations which will block vents and cause heat to build up inside, resulting in fire hazards.

- Do not attempt to fit the unit inside narrow spaces where ventilation is poor
- If planning special installation such as fitting close to the wall, placing it horizontally, etc., be sure to consult your Pioneer dealer first.

WARNING: The apparatus is not waterproofs, to prevent fire or shocks hazard, do not expose this apparatus to rain or moisture and do not put any water source near this apparatus, such as vase, flower pot, cosmetics container and medicine bottle etc.

D3-4-2-1-3_En

This product complies with the EMC Directives (89/336/EEC, amended by 92/31/EEC and 93/68/EEC).

D3-4-2-1-9b_En

[For U.S. model]

IMPORTANT NOTICE – THE SERIAL NUMBER FOR THIS EQUIPMENT IS LOCATED IN THE BACK. PLEASE WRITE THIS SERIAL NUMBER ON YOUR ENCLOSED WARRANTY CARD AND KEEP IN A SECURE AREA. THIS IS FOR YOUR SECURITY.

D1-4-2-6-1_En

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

D8-10-1-2_En

FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION DECLARATION OF CONFORMITY

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Product Name: Plasma Display with Video Card

Model Number: PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-434CMX (Plasma Display)
PDA-5003/PDA-5004 (Video Card)

Product Category: Class B Personal Computers & Peripherals

Responsible Party Name: PIONEER ELECTRONICS (USA) INC. Customer Support Division

Address: P.O. BOX 1760, LONG BEACH, CA., 90801-1760 U.S.A.

Phone: (800)421-1625

URL <http://Pioneerelectronics.com>

Safety Precautions

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Information to User

Alteration or modifications carried out without appropriate authorization may invalidate the user's right to operate the equipment.

D8-10-2_En

CAUTION: This product satisfies FCC regulations when shielded cables and connectors are used to connect the unit to other equipment. To prevent electromagnetic interference with electric appliances such as radios and televisions, use shielded cables and connectors for connections.

D8-10-3a_En

The following symbols are found on labels attached to the product. They alert the operators and service personnel of this equipment to any potentially dangerous conditions.

WARNING

This symbol refers to a hazard or unsafe practice which can result in personal injury or property damage.

CAUTION

This symbol refers to a hazard or unsafe practice which can result in severe personal injury or death.

정격 라벨은 제품의 밑면에 있습니다.

	사용자 안내문
B 급기기	이 기기는 비업무용으로 전자파 장애 검정을 받은 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다. H036 Ko

Notes on Installation Work:

This product is marketed assuming that it is installed by qualified personnel with enough skill and competence. Always have an installation specialist or your dealer install and set up the product. PIONEER cannot assume liabilities for damage caused by mistake in installation or mounting, misuse, modification or a natural disaster.

Note for Dealers:

After installation, be sure to deliver this manual to the customer and explain to the customer how to handle the product.

Features

Thank you very much for purchasing this PIONEER product. Before using this unit, please carefully read the "Safety Precautions" and these "Operating Instructions" so you will know how to operate the Plasma Display properly. Keep this manual in a safe place. You will find it useful in the future.

The PDA-5003/PDA-5004 is a video card designed for exclusive use with the Pioneer Plasma Display PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (or PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S). The PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (or PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S) plasma display has been originally designed as a computer monitor, but by installing the optional PDA-5003/PDA-5004 video card, the following supplementary features are produced:

1. Allows use of additional input jacks (INPUT 3, 4, 5) supporting S-Video, composite video, component video and analog RGB singals.
2. Allows connection to a wide variety of optional video equipment.

Contents

Safety Precautions	i
Before Proceeding	2
Checking supplied accessories	2
How to use this manual	2
Part Names and Functions	4
Connection panel	4
Installation and Connections	6
Installing the video card	6
Input connectors on the plasma display with video card	7
Connection to INPUT1 and INPUT5	7
Connection to INPUT1 or INPUT5	8
Connection to INPUT2	13
Connection to INPUT3	13
Connection to INPUT4	13
About DTV set top box connection	14
Audio connections	15
How to route cables	17
System Settings	18
Setting the onscreen display language	18
Settings after connections	19
Operation	22
Selecting input source	22
Adjusting sound volume	23
Muting the sound	23
Confirming current status	23
Changing screen size	24
Enlarging one part of the screen (POINT ZOOM)	25
Multiscreen display	26
Automatic power-off (POWER MANAGEMENT)	27
PICTURE/SCREEN Adjustment	28
PICTURE adjustment	28
Adjusting screen POSITION, CLOCK, and PHASE <automatic adjust>	29
Adjusting screen POSITION, CLOCK, and PHASE <manual adjust>	30
Other Operations	32
Setting the orbiter (ORBITER)	32
Side mask position (MASK CONTROL)	32
Screen management settings (SCREEN MGT.)	33
Energy saving settings (ENERGY SAVE)	34
Changing the color temperature (COLOR TEMP.)	35
Reducing video noise (DNR)	36
Reducing noise in MPEG images (MPEG NR)	37
Increasing color border contrast (CTI)	38
Setting the PURECINEMA mode	39
Setting the COLOR SYSTEM	40
Automatic input switching (AUTO FUNCTION)	41
About audio output (AUDIO OUT) (PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S and PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S only)	42
Additional Information	43
Specifications	43
Appendix 1	44
Appendix 2	45
Appendix 3	47
Appendix 4	48
Explanation of Terms	49

Checking supplied accessories

Check that the following accessories were supplied.

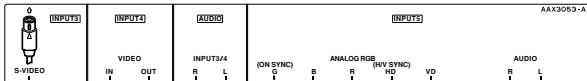
① **Label for remote control unit**
PDA-5003

S-VIDEO VIDEO RGB (BNC)

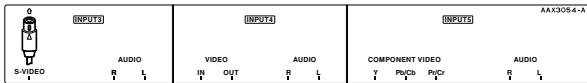
PDA-5004

S-VIDEO VIDEO COMPONENT

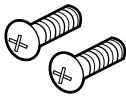
② **Connector indicator label**
PDA-5003



PDA-5004



③ **Screws (x2)**
(Accessory screws for installing video card)



- **These Operating Instructions**
- **Warranty**

How to use this manual

This manual has been written to allow easy understanding of setup and operating procedures when the video card PDA-5003/PDA-5004 is installed in the plasma display.

Remove the video card from its packaging and confirm that all accessory parts are present. While installing and setting up the video card, consult the section "Part Names and Functions" starting on page 4 of this manual and in the plasma display's Operating Instructions to familiarize yourself with the parts of the respective devices. Since this manual makes frequent reference to the names of operating buttons on the plasma display, use the display's Operating Instructions to familiarize yourself with the controls on the display and the remote control unit.

The section "Installation and Connections" starting on page 6 includes information necessary for installing the video card on the plasma display, together with instructions regarding connections to various other components.

The section "System Settings" starting on page 18 covers the on-screen settings necessary for correct operation of the plasma display with its connected components. Depending on the connections made, this section may or not be necessary.

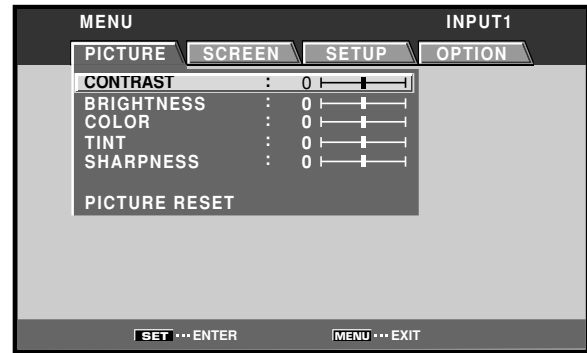
The remainder of the sections in this manual is dedicated to the basic operations associated with selecting a source component up to the more complex operations associated with adjusting the plasma display picture to match the requirements of specific components and personal preferences.

Regarding menu displays

The example menu displays provided in this manual are those for the PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S model. The PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S display differs as shown:

Please note that the actual contents displayed are the same for both the PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S and PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S. Certain menu layouts differ between PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 and PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S.

Example of PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S Menu Display:



Example of PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S Menu Display:



About operations in this manual

Each operation is described in its proper operating order. These Operating Instructions will refer to the operating controls found on the remote control unit, with the exception of those buttons found only on the main plasma display itself. When the plasma display controls include equivalent buttons to those found on the remote control unit, the commands can be performed on the main unit as well.

The following illustrations are an example of the actual operations used for the section "PICTURE adjustment". The examples are provided to allow you to confirm whether the operation is performed correctly or not.

Note

The screen images depicted in these Operating Instructions should be considered typical images; some difference will be seen in practice, depending on the screen item displayed and its contents, the input source and various other control settings.

PICTURE/SCREEN Adjustment

PICTURE adjustment

Display operating panel **Remote control unit**

- Press the MENU button to display the menu screen.**

- Use the ▲/▼ buttons to select the adjustment item, then press the SET button.**

- Use the ◀/▶ buttons to adjust the picture quality as desired.**

- Press the SET button.**
Pressing the **SET** button writes the value into the memory and returns the display to the step 2 screen.
- When the setup is finished, press the MENU button to exit the menu screen.**

Note
Make these adjustments for each input (INPUT1 to INPUT5) and signals.

[PICTURE] mode adjustment items
Below are brief descriptions of the options that can be set in the [PICTURE] mode.

CONTRAST Adjust according to the surrounding brightness so that the picture can be seen clearly.

BRIGHTNESS Adjust so that the dark parts of the picture can be seen clearly.

COLOR Adjust to the desired depth (Setting to a slightly deep color will create a natural looking picture).

TINT Adjust so that flesh tones look normal.

SHARPNESS Normally set to the center position. To create a softer picture, set to the left of center. To create a sharper picture, set to the right of center.

Note
Consult the Operating Instructions for your Plasma Display regarding PICTURE adjustment when inputting computer signals.

To reset [PICTURE] mode settings to the default
If settings have been adjusted excessively or the picture on the screen no longer appears natural, it may prove more beneficial to reset the [PICTURE] mode to default settings instead of trying to make adjustments under already adjusted conditions.

- In step 2 in the previous procedure, use the ▲/▼ buttons to select [PICTURE RESET], then press the SET button.**

- Use the ◀/▶ buttons to select [YES], and press the SET button.**
All [PICTURE] mode settings are returned to the factory set default.

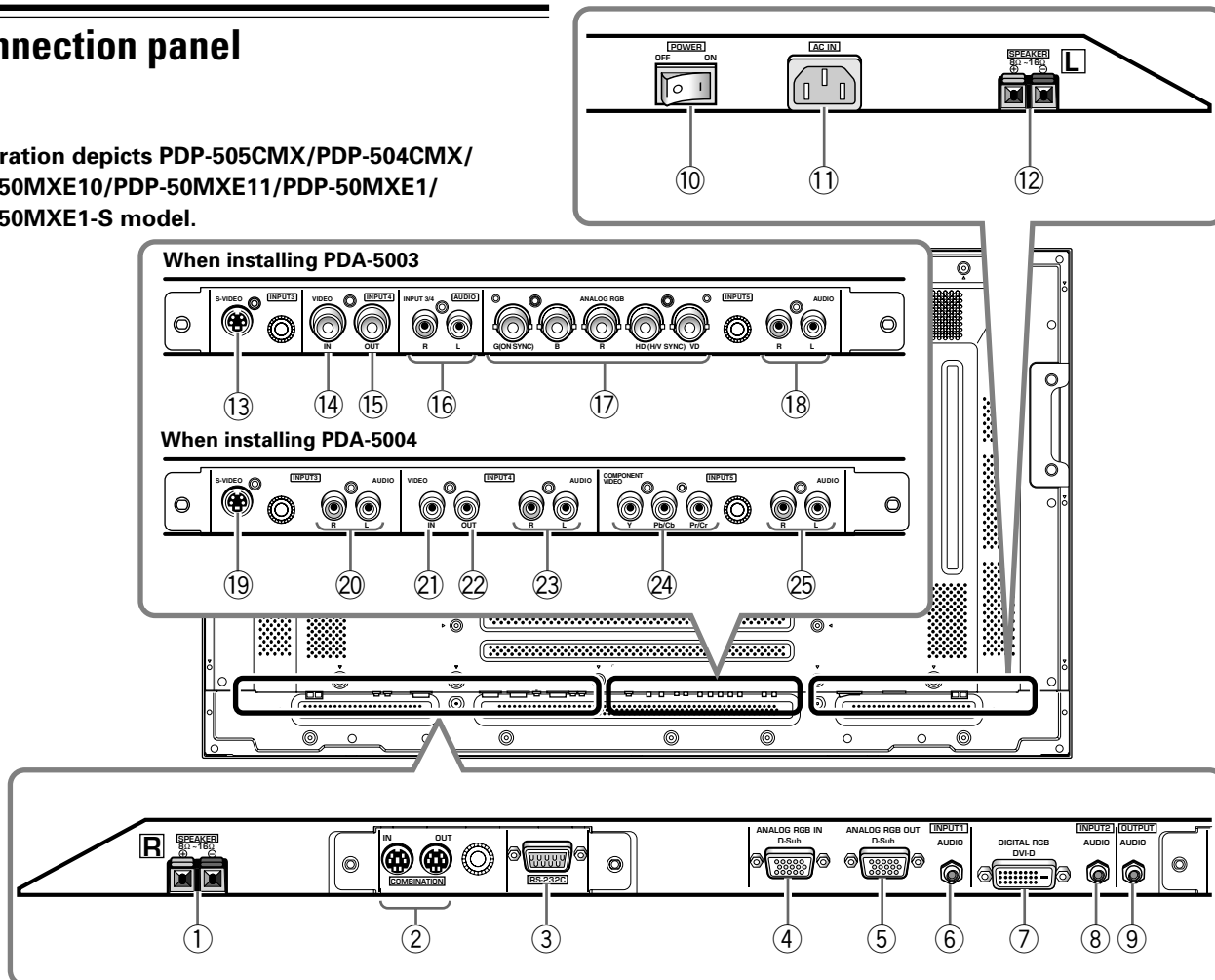
28
En

3
En

Part Names and Functions

Connection panel

Illustration depicts PDP-505CMX/PDP-504CMX/
PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/
PDP-50MXE1-S model.



Plasma Display Section

The plasma display is provided with 2 video input connectors, 1 video output connector, audio input/output jacks and speaker terminals.

When this video card is installed on a plasma display, an additional three sets of video input connectors are provided (total five), together with one additional video output connector (total two). See the pages noted in parentheses () or the plasma display's Operating Instructions for details regarding connections to the various jacks and connectors.

① SPEAKER (R) terminal

For connection of an external right speaker.
Connect a speaker whose impedance is 8 -16 Ω.

② COMBINATION IN/OUT

Never connect any component to these connectors without first consulting your Pioneer installation technician.

These connectors are used for plasma display setup adjustments.

③ RS-232C

Never connect any component to this connector without first consulting your Pioneer installation technician.

This connector is used for plasma display setup adjustments.

④ ANALOG RGB IN (INPUT1) (mini D-sub 15 pin)

For connecting components equipped with RGB outputs jacks, such as a personal computer or external RGB decoder; or components equipped with component output jacks, such as a DVD recorder. Make sure that the connection made corresponds to the format of the signal output from the connected component (pages 7 to 10).

⑤ ANALOG RGB OUT (INPUT1) (mini D-sub 15 pin)

Use the ANALOG RGB OUT (INPUT1) connector to output the video signal to an external monitor or other component.

Note: The video signal will not be output from the ANALOG RGB OUT (INPUT1) connector when the main power of this display is off or in standby mode (page 10).

⑥ AUDIO (INPUT1) (Stereo mini jack)

Use to obtain sound when INPUT1 is selected. Connect this jack to the audio output connector of the device connected to the plasma display's INPUT1 (page 15).

⑦ DIGITAL RGB (INPUT2) (DVI-D jack)

Use to connect to a computer. With the PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11, it can also be used to connect to an AV component (HDCP-compliant) equipped with DVI output.

Note: PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S and PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S do not support the display of HDCP or other copyguard-protected video signals (page 13).

- ⑧ **AUDIO (INPUT2) (Stereo mini jack)**
Use to obtain sound when INPUT2 is selected. Connect this jack to the audio output connector of the device connected to the plasma display's INPUT2 (page 15).
- ⑨ **AUDIO (OUTPUT) (Stereo mini jack)**
Use to output the audio of the selected source component connected to the plasma display to an AV amplifier or similar component.
Note: No sound is produced from the AUDIO (OUTPUT) jack when the MAIN POWER switch is set to OFF or ON (standby) (page 15).
- ⑩ **MAIN POWER switch**
Use to switch the main power of the plasma display on and off.
- ⑪ **AC IN**
A power cable is furnished with the plasma display; connect one end of the power cable to this connector, and the other end to a standard AC power source.
- ⑫ **SPEAKER (L) terminal**
For connection of an external left speaker. Connect a speaker that has an impedance of 8 -16 Ω .

Video Card <PDA-5003> Section

The video card is provided with 3 video input connectors, 1 video output connector, and 2 audio input connectors. Consult the pages noted in parentheses () for details regarding connections to the various jacks and connectors.

- ⑬ **S-VIDEO (INPUT3) (S-video jack)**
For connection of components that have an S-video output jack such as a video deck, video camera, laser disc player, or DVD recorder (page 13).
- ⑭ **VIDEO IN (INPUT4) (BNC jack)**
For connection of components that have a composite video output jack such as a video deck, video camera, laser disc player, or DVD recorder (page 13).
- ⑮ **VIDEO OUT (INPUT4) (BNC jack)**
Use the VIDEO OUT (INPUT4) jack to output the video signal to an external monitor or other component.
Note: The video signal will not be output from the VIDEO OUT (INPUT4) jack when the main power of this display is off or in standby mode (page 13).
- ⑯ **AUDIO R/L (INPUT3/4) (RCA Pin jacks)**
Use to obtain sound when INPUT3 or INPUT4 is selected. Connect these jacks to the audio output connectors of components connected to the video card's INPUT3 or INPUT4 (page 16).

- ⑰ **ANALOG RGB (INPUT5) (BNC jacks)**
For connecting components equipped with RGB outputs jacks, such as a personal computer or external RGB decoder; or components equipped with component output jacks, such as a DVD recorder. Make sure that the connection made corresponds to the format of the signal output from the connected component (pages 7 to 10).
- ⑱ **AUDIO R/L (INPUT5) (RCA Pin jacks)**
Use to obtain sound when INPUT5 is selected. Connect these jacks to the audio output connectors of components connected to the video card's INPUT5 (page 15).

Video Card <PDA-5004> Section

The video card is provided with 3 video input connectors, 1 video output connector, and 3 audio input connectors. Consult the pages noted in parentheses () for details regarding connections to the various jacks and connectors.

- ⑲ **S-VIDEO (INPUT3) (S-video jack)**
For connection of components that have an S-video output jack such as a video deck, video camera, laser disc player, or DVD recorder (page 11).
- ⑳ **AUDIO R/L (INPUT3) (RCA Pin jacks)**
Use to obtain sound when INPUT3 is selected. Connect these jacks to the audio output connectors of components connected to the video card's INPUT3 (page 16).
- ㉑ **VIDEO IN (INPUT4) (RCA Pin jack)**
For connection of components that have a composite video output jack such as a video deck, video camera, laser disc player, or DVD recorder (page 13).
- ㉒ **VIDEO OUT (INPUT4) (RCA Pin jack)**
Use the VIDEO OUT (INPUT4) jack to output the video signal to an external monitor or other component.
Note: The video signal will not be output from the VIDEO OUT (INPUT4) jack when the main power of this display is off or in standby mode (page 13).
- ㉓ **AUDIO R/L (INPUT4) (RCA Pin jacks)**
Use to obtain sound when INPUT4 is selected. Connect these jacks to the audio output connectors of components connected to the video card's INPUT4 (page 16).
- ㉔ **COMPONENT VIDEO (INPUT5) (RCA Pin jacks)**
For connection of components that have component video output jacks such as a DVD recorder (pages 7 and 8).
- ㉕ **AUDIO R/L (INPUT5) (RCA Pin jacks)**
Use to obtain sound when INPUT5 is selected. Connect these jacks to the audio output connectors of components connected to the video card's INPUT5 (page 15).

Installation and Connections

Installing the video card

TO USERS:

This component is sold with the understanding that it will be installed by a specialist possessing appropriate technical knowledge and ability.

TO SALES AGENTS:

Installation instructions are noted below. When installing the unit, if a screw or other object should drop inside the plasma display, immediately consult your nearest Pioneer Service Center.

Continuing operation may result in malfunction.

This device has been designed for installation on the Pioneer Plasma Display PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S or PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S. Installation procedures are as follows:

Confirm the following before installing this video card:

- Disconnect the plasma display from computer or other components.
- Disconnect the plasma display's power cord from its outlet.

Installation Notes:

- When opening the protective cover, take care not to drop screws or other objects in the opening. Objects dropped inside the display may cause damage or malfunction.
- When installing the video card, if the plasma display is laid with its screen side facing down, the work surface should be flat and level, and either the packing material, a blanket, or other soft material should be spread on the work surface first to protect the screen. Take care to prevent scratches or other damage to the unit from tools or other objects. Never rest the display on a surface in such a way that weight or pressure is placed only on the screen surface.
- This video card has been designed for exclusive use with the Pioneer Plasma Display PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S or PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S. Do not attempt unauthorized modifications or alterations since malfunction or damage may result.
- Take care not to modify or damage the card's internal devices in any way.
- Before installation, take precautions to eliminate static electricity on your body. Do not touch the card's circuitry or devices.
- This device has not been designed to allow reinstallation or removal; after the card has once been installed on the plasma display, do not attempt to remove it since damage may result.
- When installing the PDA-5003, it may be necessary to adjust the setting of the impedance selector switch. Confirm this item before installing (pages 10, 12).
- Do not install the PDA-5002 on the PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S or PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S display units.

Installation

Illustration depicts PDA-5003 model.

- 1 Remove the protective cover over the video card slot on the plasma display's terminal panel.



Protective cover

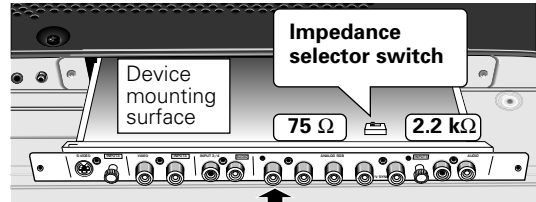
6

En

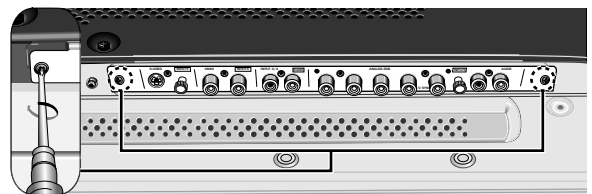
- 2 Insert the video card gently and evenly in alignment with the two rails visible inside the installation port.

Notes

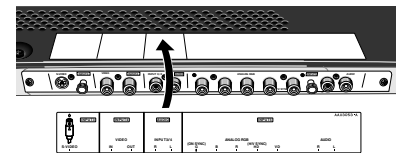
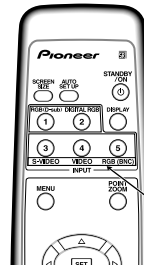
- Be very careful when inserting the card. Install the card's device mounting surface oriented toward the rear side of the plasma display. Insert straight! The card or display may be damaged if the card is inserted crooked or with excessive force.
- Impedance selector switch is found on PDA-5003 only.



- 3 After inserting the video card all the way into the slot, confirm that it is seated securely, then use the screws removed in step 1 to secure the card in place.



- 4 Affix the accessory connector indicator label to the plasma display, and affix the remote control unit label to the remote control unit furnished with the plasma display.



PDA-5003

S-VIDEO VIDEO RGB (BNC)

PDA-5004

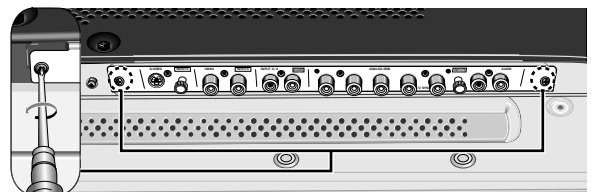
S-VIDEO VIDEO COMPONENT

Note

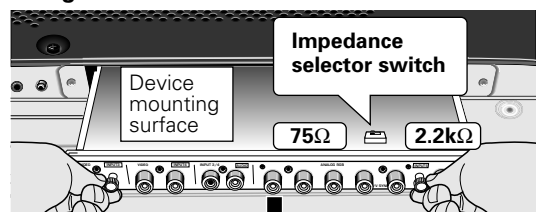
Use a soft cloth to gently wipe away any dust or soiling from the surface before affixing the label.

Video Card Removal (In principle, removal of the video card should not be attempted).

- 1 Remove the two screws holding the video card.



- 2 Holding the inside tabs, pull the video card out straight.



■ When using PDA-5003

Input connectors on the plasma display with video card

Consult the following chart when making connections to a plasma display equipped with this video card (pages 7 to 16).

Input Connector \ Connected component and signals	INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
AV component					
Analog RGB	○				○
Component video	○				○
S video			○		
Composite video				○	
Digital RGB		○*5			
Personal computer (PC)					
Analog RGB	○*2				○
S video			○*3		
Composite video				○*3	
Digital RGB		○*4			

- *1 Although INPUT1 and INPUT5 are compatible with various kinds of signals, setup using the on-screen menu is necessary after connections are made in order match the characteristics of the source component (pages 18 to 21).
- *2 INPUT1 is compatible with Microsoft's Plug & Play (VESA DDC 1/2B).
- *3 Depending on the video output board of the computer, this type of connection may not be possible.
- *4 INPUT2 is compatible with Microsoft's Plug & Play (VESA DDC 2B).
- *5 Supports only PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.

■ When using PDA-5004

Input connectors on the plasma display with video card

Consult the following chart when making connections to a plasma display equipped with this video card (pages 7 to 16).

Input Connector \ Connected component and signals	INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
AV component					
Analog RGB	○				○
Component video	○				○
S video			○		
Composite video				○	
Digital RGB		○*5			
Personal computer (PC)					
Analog RGB	○*2				○
S video			○*3		
Composite video				○*3	
Digital RGB		○*4			

Connection to INPUT1 and INPUT5

Various components can be connected to the INPUT1 and INPUT5 jacks. After connections are made, on-screen setup is necessary to match the characteristics of the connected component. Please see pages 18 to 21 for on-screen setup after connection.

Output source \ INPUT5 jack	[ON SYNC] G	B	R	[H/V SYNC] HD	VD
Video component/personal computer (PC) with RGB output	○ G ON SYNC	○ B	○ R	×	×
	○ G	○ B	○ R	○ H/V SYNC	×
	○ G	○ B	○ R	○ HD	○ VD
Video component with component video output	○ Y	○ Pb/Cb	○ Pr/Cr	×	×

× : Do not connect anything. ○ : Connect to this jack.

Note

Components compatible with INPUT1 are also compatible with INPUT5. When making connections to INPUT1, please refer to the plasma display's Operating Instructions.

See Appendixes 1 and 2 (pages 44 to 46) for information regarding signals and display formats supported by INPUT1 and INPUT5.

- *1 Although INPUT1 and INPUT5 are compatible with various kinds of signals, setup using the on-screen menu is necessary after connections are made in order match the characteristics of the source component (pages 18 to 21).
- *2 INPUT1 is compatible with Microsoft's Plug & Play (VESA DDC 1/2B).
- *3 Depending on the video output board of the computer, this type of connection may not be possible.
- *4 INPUT2 is compatible with Microsoft's Plug & Play (VESA DDC 2B).
- *5 Supports only PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.

■ When using PDA-5004

Connection to INPUT1 and INPUT5

Various components can be connected to the INPUT1 and INPUT5 jack. After connections are made, on-screen setup is necessary to match the characteristics of the connected component. Please see pages 18 to 21 for on-screen setup after connection.

INPUT5 jack	Y	PB/CB	PR/CR
Output source			
Video component/personal computer (PC) with RGB output	G ON SYNC	B	R
Video component with component video output	Y	PB/CB	PR/CR

○ : Connect to this jack.

Note

When making connections to INPUT1, please refer to the plasma display's Operating Instructions.

See Appendixes 1 and 2 (pages 44 to 46) for information regarding signals and display formats supported by INPUT1.

Connection to INPUT1 or INPUT5

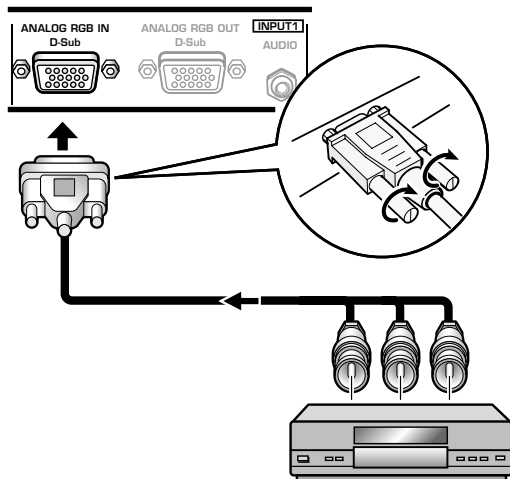
■ When using PDA-5003

Connection to AV components

Connection to AV component equipped with component video jacks

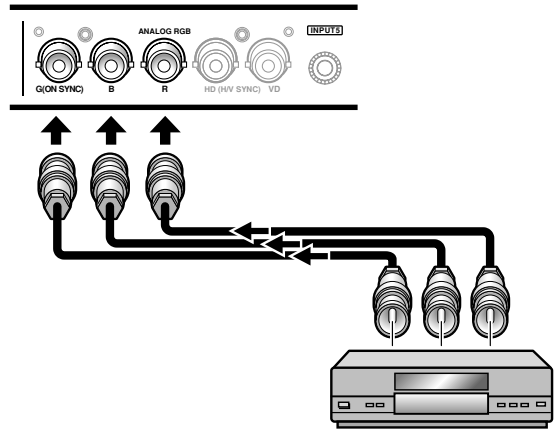
Make component video connections for AV components equipped with component video jacks.

When connecting to ANALOG RGB IN (INPUT1)



On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 18 to 21.

When connecting to ANALOG RGB (INPUT5)



Connect the Y signal to the G jack, the PB/CB signal to the B jack, and the PR/CR signal to the R jack. On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 18 to 21.

INPUT5 jacks are all BNC jacks.

If necessary, use commercially available BNC/pin-plug conversion adapters to make connections.

Note

The plasma display and this Video Card are designed to support component video signals with standard, stable signal levels and sync signals. As a result, some image disruption may be generated during use of various special trick play functions on video components.

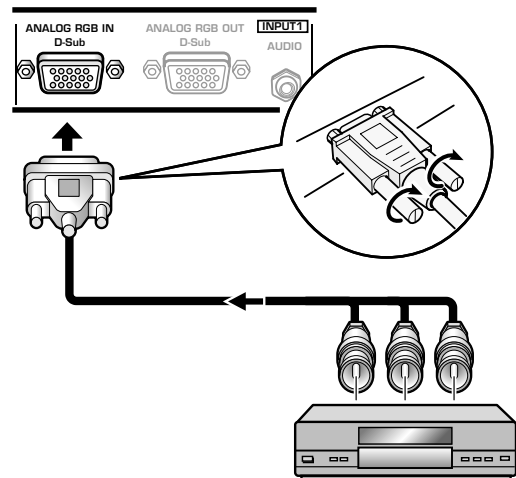
■ When using PDA-5004

Connection to AV components

Connection to AV component equipped with component video jacks

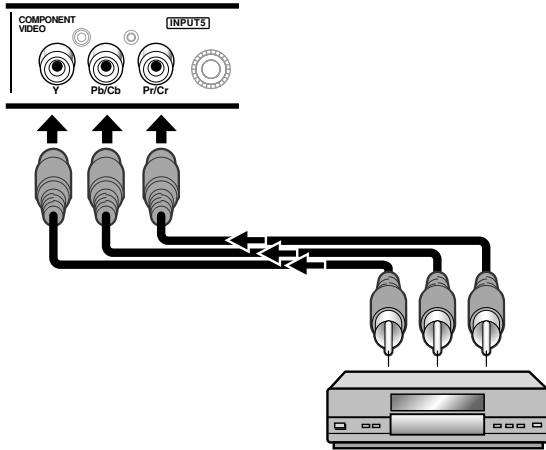
Make component video connections for AV components equipped with component video jacks.

When connecting to ANALOG RGB IN (INPUT1)



On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 18 to 21.

When connecting to COMPONENT VIDEO (INPUT5) —



Connect the Y signal to the Y jack, the Pb/Cb signal to the Pb/Cb jack, and the Pr/Cr signal to the Pr/Cr jack.

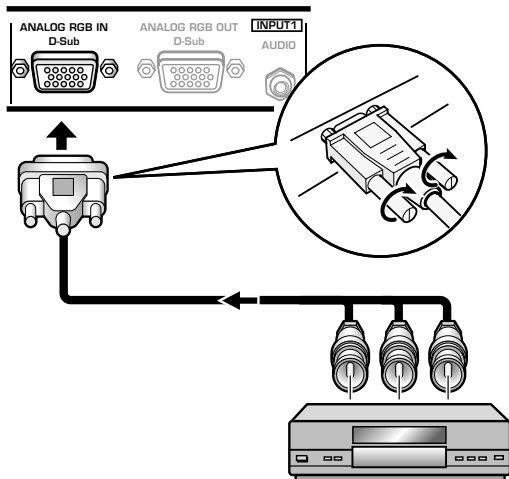
Note

The plasma display and this Video Card are designed to support component video signals with standard, stable signal levels and sync signals. As a result, some image disruption may be generated during use of various special trick play functions on video components.

Connection of G ON SYNC analog RGB source

Make G ON SYNC connections for a component with output that has the synchronization signal layered on top of the green signal.

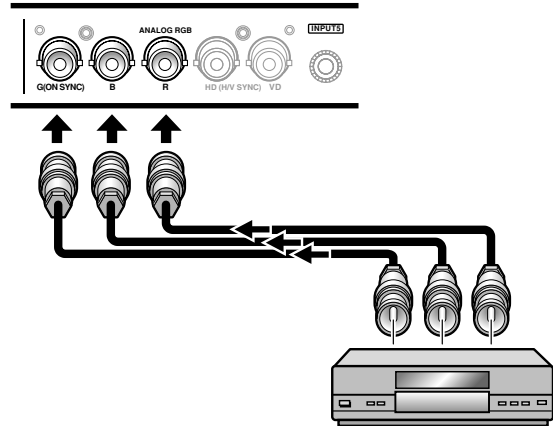
When connecting to ANALOG RGB IN (INPUT1) —



On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 18 to 21.

When connecting to ANALOG RGB (INPUT5) —

[Connections for PDA-5003]



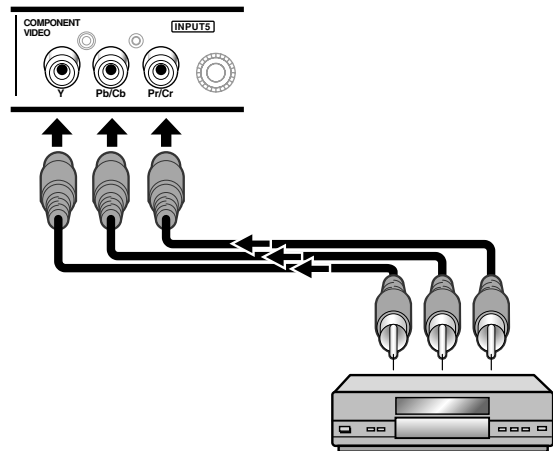
On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 18 to 21.

Note

When making G ON SYNC connections, do not make any connections to the VD or HD jacks. If connections are made, the picture may be not displayed normally.

When connecting to COMPONENT VIDEO (INPUT5) —

[Connections for PDA-5004]

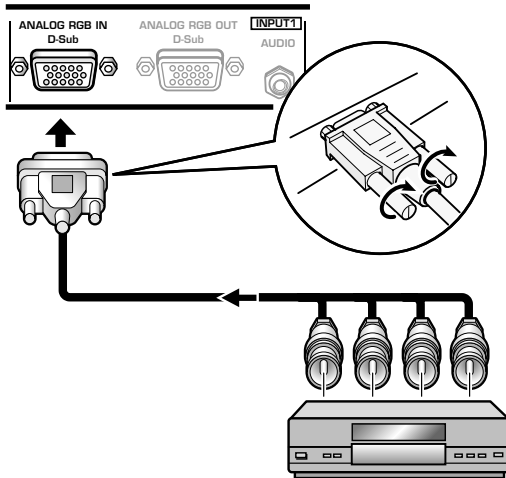


Connect the G ON SYNC signal to the Y jack, the B signal to the Pb/Cb jack, and the R signal to the Pr/Cr jack. On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 18 to 21.

Connection of composite SYNC analog RGB source

Make composite SYNC connections for a component with output that has the vertical synchronization signal layered on top of the horizontal synchronization signal.

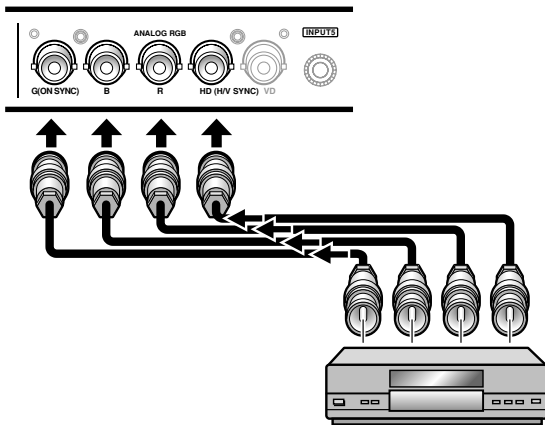
When connecting to ANALOG RGB IN (INPUT1)



On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 18 to 21.

When connecting to ANALOG RGB (INPUT5)

[Connections for PDA-5003]



When using INPUT5, set the impedance selector switch to match the output impedance of the connected component's synchronization signal.

When the output impedance of the sync signal is below 75 Ω remove the video card and set the impedance selector switch to 75 Ω (page 6).

On-screen setup is necessary after connection.

Please see pages 18 to 21.

Note

When making composite SYNC connections, do not connect anything to the VD jack. If connected to, the picture may not be displayed properly.

Connection to a personal computer

Connection method differs depending on the computer type. When connecting, please thoroughly read the computer's operating instructions.

Before making connections, be sure to make sure that the personal computer's power and display's main power is off.

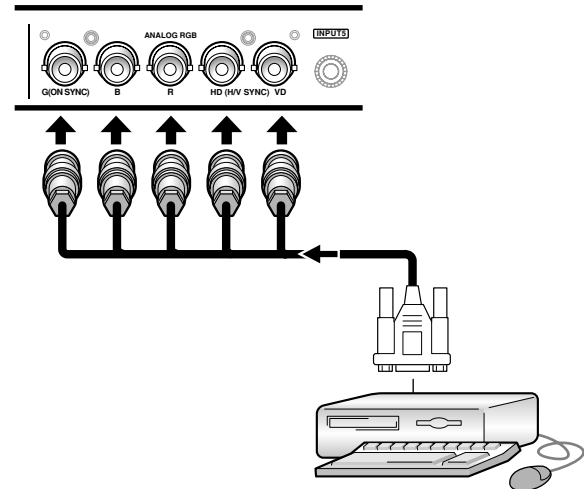
For the PC input signals and screen sizes that the display is compatible with, please refer to the plasma display's Operating Instructions.

Connection of separate SYNC analog RGB source

Make separate SYNC connections for a personal computer that has RGB output separated into 5 output signals: green, blue, red, horizontal synchronization signal, and vertical synchronization signal.

When connecting to ANALOG RGB (INPUT5)

[Connections for PDA-5003]



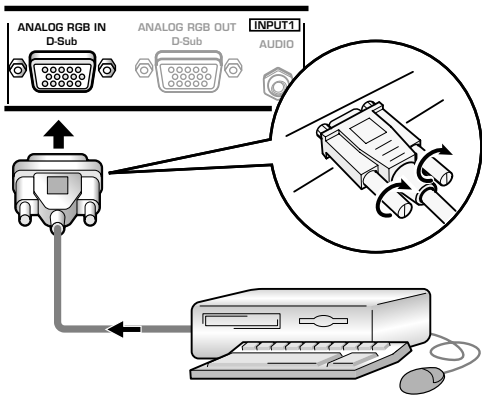
When using INPUT5, set the impedance selector switch to match the output impedance of the connected computer's synchronization signal.

When the output impedance of the sync signal is below 75 Ω remove the video card and set the impedance selector switch to 75 Ω (page 6).

On-screen setup is necessary after connection.

Please see pages 18 to 21.

When connecting to ANALOG RGB IN (INPUT1)



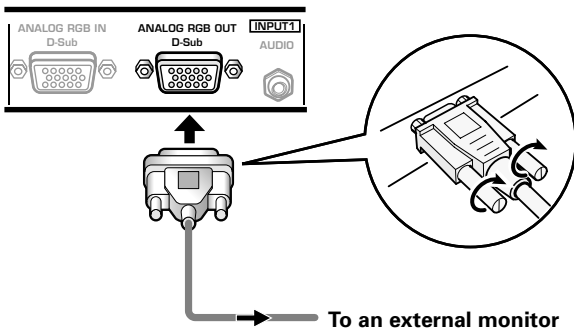
Connect the cable corresponding to the shape of the input terminal on the display and the personal computer's output terminal.
Secure by tightening the terminal screws on both units.

On-screen setup is necessary after connection.
Please see pages 18 to 21.

Note

Depending on the type of computer model being connected, a conversion connector or adapter etc. provided with the computer or sold separately may be necessary.
For details, please read your PC's instruction manual or consult the maker or nearest dealer of your computer.

When connecting to ANALOG RGB OUT (INPUT1)



With the plasma display, it is possible to output the video signal to an external monitor or other component from the ANALOG RGB OUT (INPUT1) terminal.

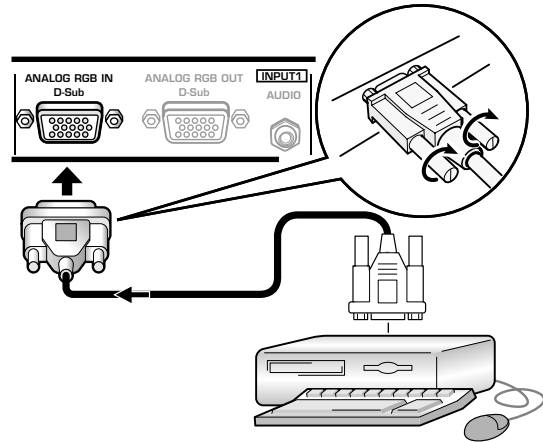
Note

A video signal will not be output from the ANALOG RGB OUT (INPUT1) terminal when the main power of this unit is off or in standby.

Connection of G ON SYNC analog RGB source

Make G ON SYNC connections for a personal computer with output that has the synchronization signal layered on top of the green signal.

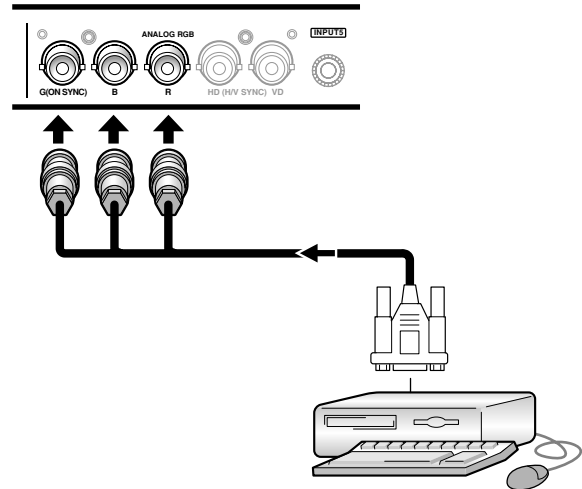
When connecting to ANALOG RGB IN (INPUT1)



On-screen setup is necessary after connection.
Please see pages 18 to 21.

When connecting to ANALOG RGB (INPUT5)

[Connections for PDA-5003]

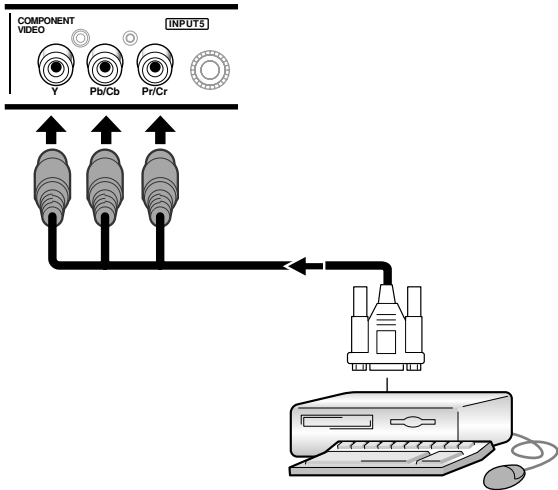


On-screen setup is necessary after connection.
Please see pages 18 to 21.

Note

When making G ON SYNC connections, do not make any connections to the VD or HD jacks. If connections are made, the picture may be not displayed normally.

When connecting to COMPONENT VIDEO (INPUT5) —
[Connections for PDA-5004]

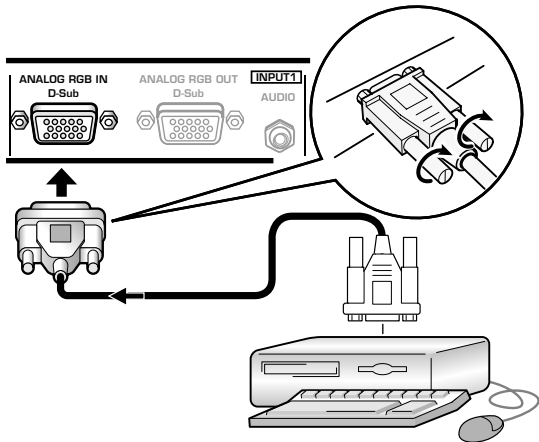


On-screen setup is necessary after connection.
 Please see pages 18 to 21.

Connection of composite SYNC analog RGB source

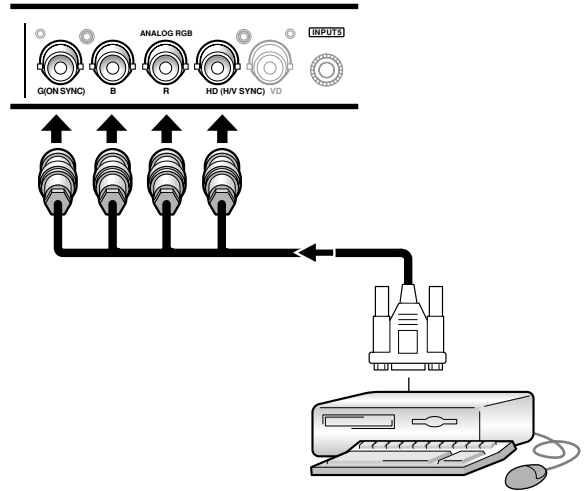
Make composite SYNC connections for a personal computer with output that has the vertical synchronization signal layered on top of the horizontal synchronization signal.

When connecting to ANALOG RGB IN (INPUT1) —



On-screen setup is necessary after connection.
 Please see pages 18 to 21.

When connecting to ANALOG RGB (INPUT5) —
[Connections for PDA-5003]



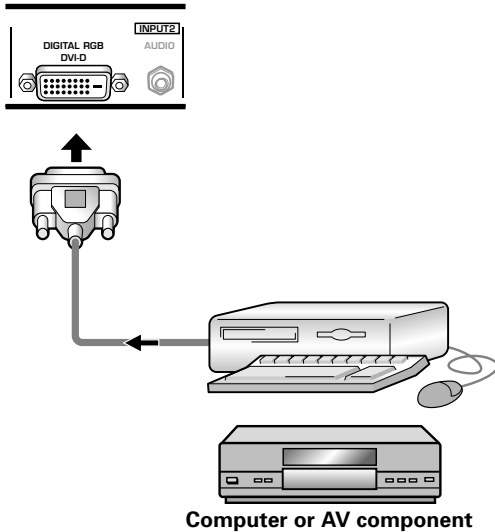
When using INPUT5, set the impedance selector switch to match the output impedance of the connected computer's synchronization signal.
 When the output impedance of the sync signal is below 75 Ω remove the video card and set the impedance selector switch to 75 Ω (page 6).
 On-screen setup is necessary after connection.
 Please see pages 18 to 21.

Notes

- When making composite SYNC connections, do not connect anything to the VD jack. If connected to, the picture may not be displayed properly.
- Some types of computer devices manufactured by Apple Computer, Inc. are equipped with both G ON SYNC and composite SYNC outputs. This type of component should be connected using the G ON SYNC connection (page 11).

Connection to INPUT2

A computer equipped with DVI output (digital RGB signal) or an AV component equipped with DVI output (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only are supported), can be connected to the plasma display's DVI connector (HDCP-compliant).



On-screen setup is necessary after connection. Please see pages 18 to 21.

Notes

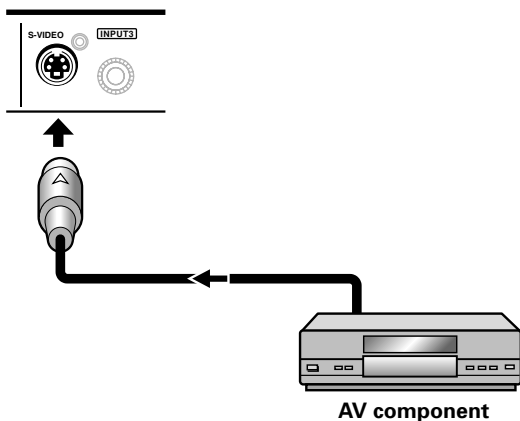
- Use a DVI-D 24-pin (digital only) cable for the connection.
- **PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S and PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S do not support the display of copyguard-protected video signals.**

NOTICE

- INPUT2 is compatible with Microsoft's Plug & Play (VESA DDC 2B).
- For screen sizes and input signals compatible with INPUT2, please refer to the plasma display's Operation Instructions or Appendix 1 of this Operating Instructions (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only).

Connection to INPUT3

Connect an AV component that has S-video output jack to the video card's S-VIDEO (INPUT3) jack.



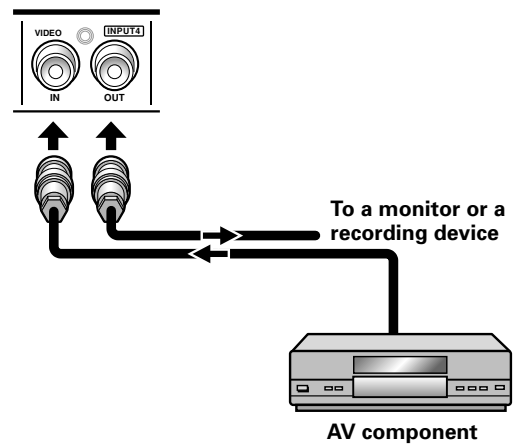
Connection to INPUT4

Connect an AV component that has a video output jack to the video card's INPUT4 jack. The VIDEO OUT (INPUT4) jack can be used to output the video signal to a separate monitor, recording device or other component with video input capability.

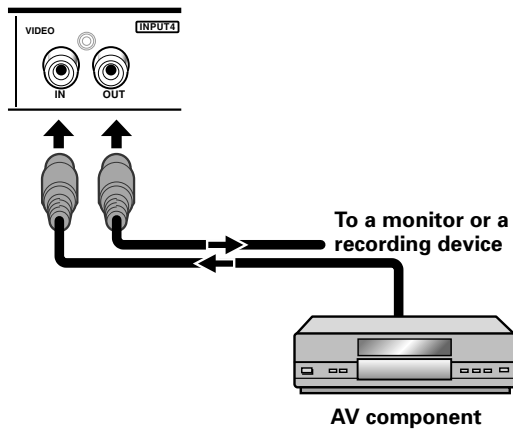
Note

A video signal will not be output from the VIDEO OUT (INPUT4) jack when the main power of this display is off or in standby mode.

[When using PDA-5003]



[When using PDA-5004]



Signals to the INPUT3 and INPUT4 jacks are all compatible with the following TV systems: NTSC, PAL, SECAM, 4.43NTSC, PAL M and PAL N. For details, please refer to "Setting the COLOR SYSTEM" on page 40.

About DTV set top box connection

To ensure proper connection, please carefully read the instruction manual supplied with the DTV set top box.

The set top box output signals that this display is compatible with are as follows.

Video signal type	Video signal	Video signal format	Jacks where connection is possible				
			INPUT1	INPUT2*	INPUT3	INPUT4	INPUT5
HDTV	1125i (1080i) 750p (720p)	Component	⊙				⊙
		RGB	⊙	⊙			⊙
SDTV	525i (480i) 625i (575i)	Composite				⊙	
		S Video			⊙		
		Component	⊙				⊙
		RGB	⊙	⊙			⊙
	525p (480p) 625p (575p)	Component	⊙				⊙
		RGB	⊙	⊙			⊙

*PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only

Audio connections

Before making connections, be sure to check that the audio component's power and the display's main power is off.

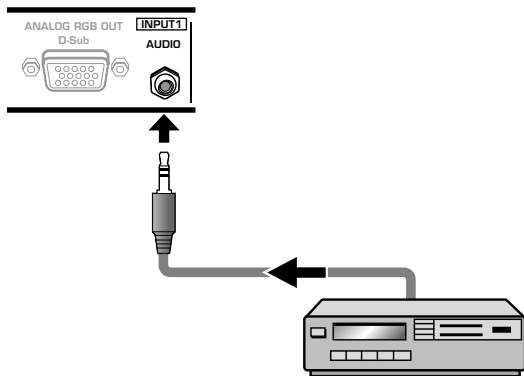
Connect an audio component to the audio input jack of the plasma display with installed video card.

When the video card is installed, the plasma display provides four or five audio input jacks and one audio output jack. Consult the following chart to choose the proper audio input for each video input.

Video input	Audio input	Sound output
INPUT1	Stereo mini jack (L/R)	Sound of the selected video input is output from the • SPEAKER (L/R) terminals • Stereo mini jack (L/R).
INPUT2	Stereo mini jack (L/R)	
INPUT5	Pin jacks (L/R)	
INPUT3	Pin jacks (L/R) *1	
INPUT4	Pin jacks (L/R) *1	

*1 When using the PDA-5003, the INPUT3 and INPUT4 audio input connectors are shared.

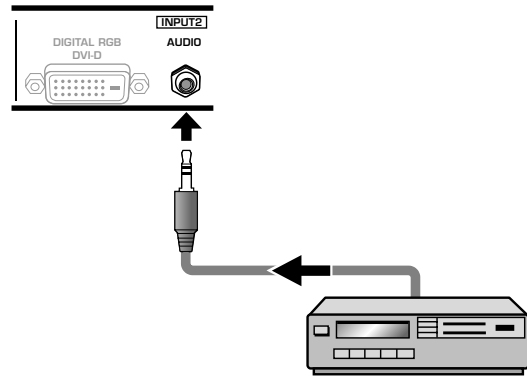
Audio connection for component connected to INPUT1



A stereo miniplug cable can be used to connect the audio output from the component connected to INPUT1, to the plasma display's AUDIO (INPUT1) jack (L/R).

Sound is output from both the AUDIO (OUTPUT) stereo mini jack (L/R) and the SPEAKER (L/R) terminals according to the video input selection.

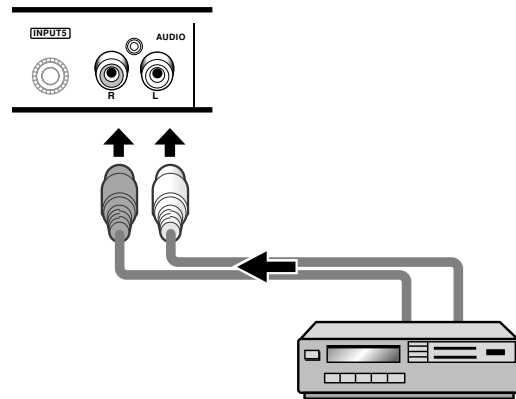
Audio connections for component connected to INPUT2



A stereo miniplug cable can be used to connect the audio output from the component connected to INPUT2, to the plasma display's AUDIO (INPUT2) jack (L/R).

Sound is output from both the AUDIO (OUTPUT) stereo mini jack (L/R) and the SPEAKER (L/R) terminals according to the video input selection.

Audio connection for component connected to INPUT5

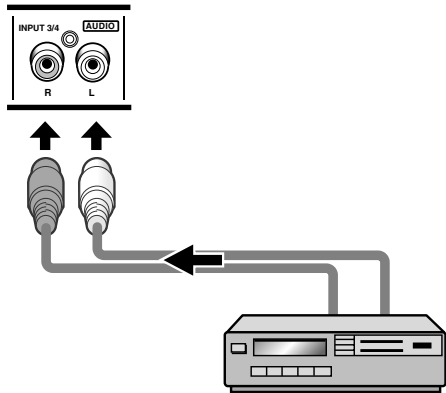


The audio line for the component connected to INPUT5 can be connected to the AUDIO R/L (INPUT5) pin jacks.

Sound is output from both the AUDIO (OUTPUT) stereo mini jack (L/R) and the SPEAKER (L/R) terminals according to the video input selection.

[When using PDA-5003]

Audio connection for component connected to INPUT3 or INPUT4

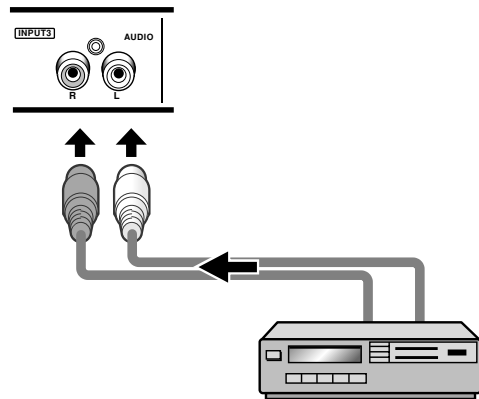


Audio input to the AUDIO R/L (INPUT3/4) pin jacks is possible for a component connected to either INPUT3 or INPUT4.

Sound is output from both the AUDIO (OUTPUT) stereo mini jack (L/R) and the SPEAKER (L/R) terminals according to the video input selection.

[When using PDA-5004]

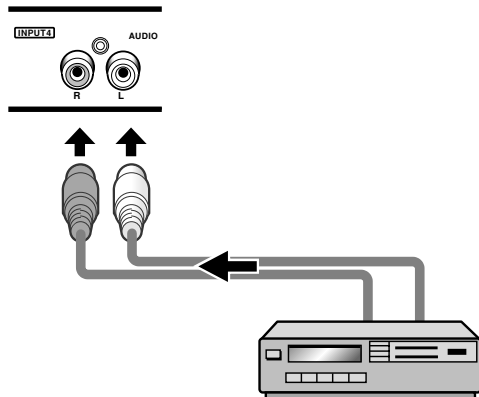
Audio connection for component connected to INPUT3



The audio line for the component connected to INPUT3 can be connected to the AUDIO R/L (INPUT3) pin jacks.

Sound is output from both the AUDIO (OUTPUT) stereo mini jack (L/R) and the SPEAKER (L/R) terminals according to the video input selection.

Audio connection for component connected to INPUT4



The audio line for the component connected to INPUT4 can be connected to the AUDIO R/L (INPUT4) pin jacks.

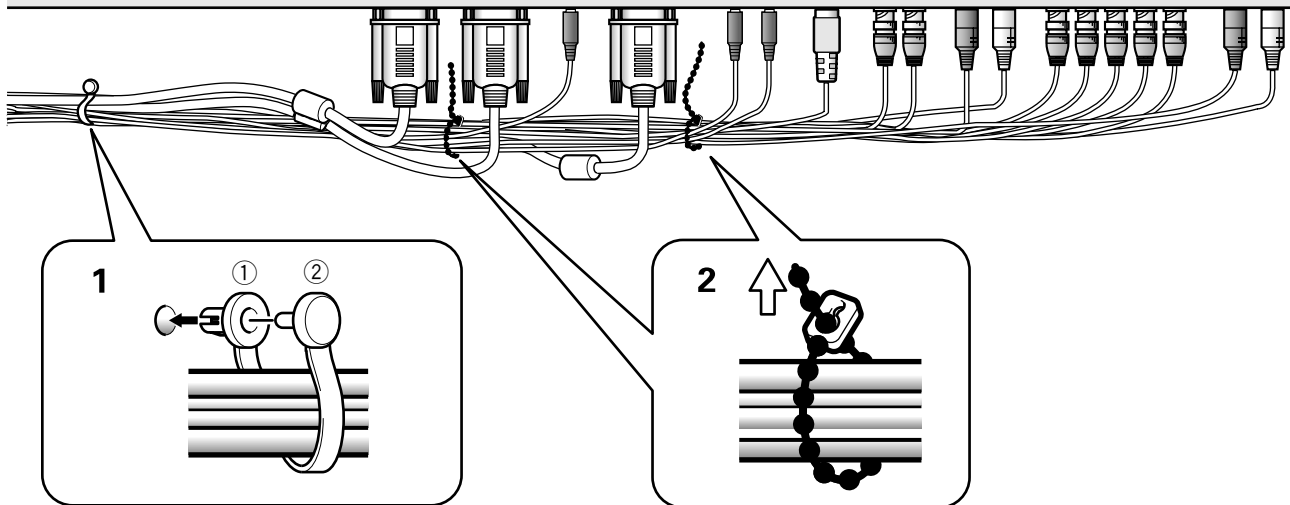
Sound is output from both the AUDIO (OUTPUT) stereo mini jack (L/R) and the SPEAKER (L/R) terminals according to the video input selection.

How to route cables

Speed clamps and bead bands are included with the plasma display for bunching cables together. Once components are connected, follow the following steps to route cables.

The illustration depicts the PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S with video card PDA-5003.

* As viewed from the rear of the display.



1 Organize cables together using the provided speed clamps.

Insert ① into an appropriate hole on the rear of the unit, then snap ② into the back of ① to fix the clamp.

Speed clamps are designed to be difficult to undo once in place. Please attach carefully.

2 Bunch separated cables together and secure them with the provided bead bands.

Do not allow excessive stress to be placed on the ends of cables.

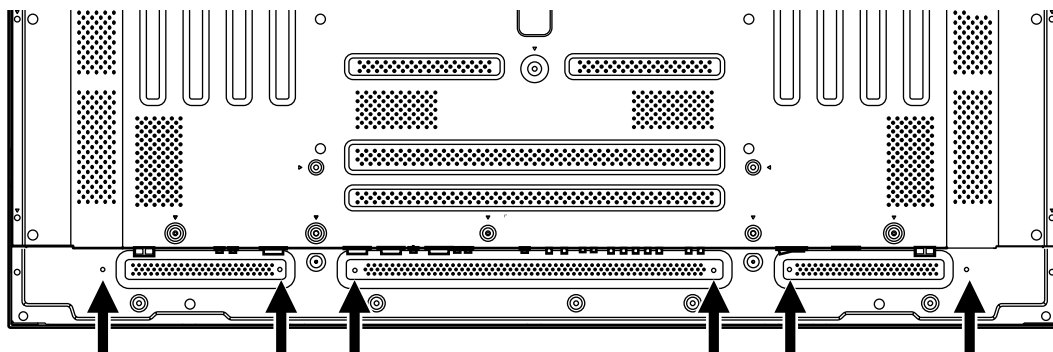
Note

Cables can be routed to the right or left.

To attach the speed clamps to the display

Connect the speed clamps using the 6 holes marked with "O" below, depending on the situation.

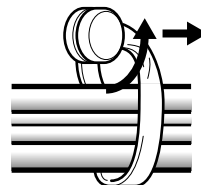
The illustration depicts the PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S with video card PDA-5003.



* As viewed from the rear of the display.

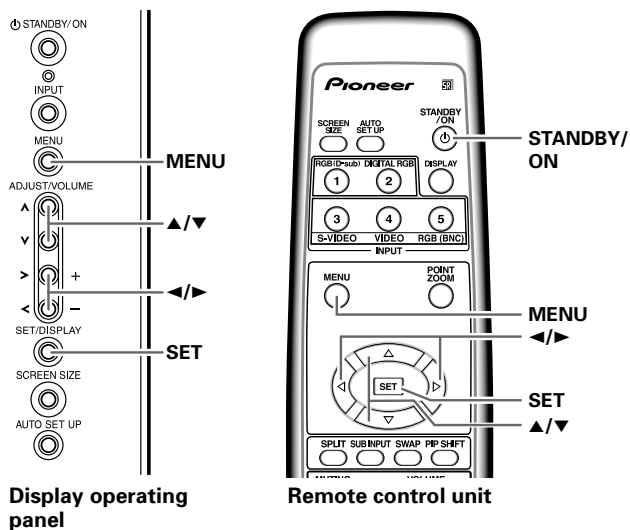
To remove speed clamps

Using pliers, twist the clamp 90° and pull it outward. In some cases the clamp may have deteriorated over time and may be damaged when removed.

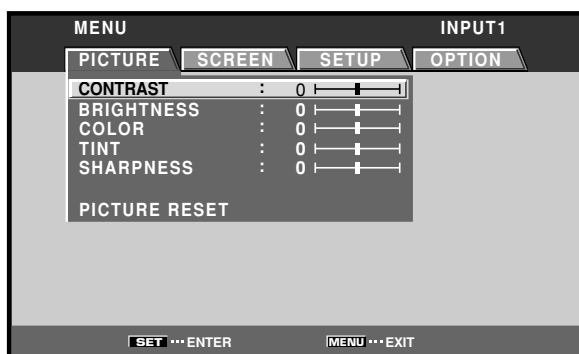


Setting the onscreen display language

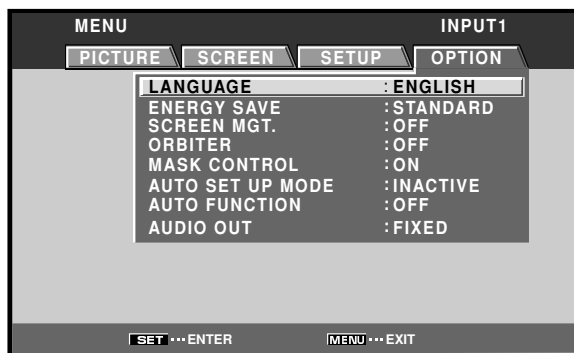
The onscreen display language has been set to English as the factory default. To change to another language, the screen setting must be changed. Follow the procedures below to change the setting.



- 1 Set the rear panel MAIN POWER switch to ON. The STANDBY indicator on the front panel will light red.
- 2 Press the STANDBY/ON button to turn the power ON. The ON indicator on the front panel will light green.
- 3 Press the MENU button to display the menu screen.



- 4 Use the ◀/▶ buttons to select [OPTION].



- 5 Use the ▲/▼ buttons to select [LANGUAGE], then press the SET button.



- 6 Use the ◀/▶ buttons to select the desired language.

Each time the ◀/▶ buttons are pressed, the language alternates between those available, in the following order:



- 7 With the desired language displayed, press the SET button. The selected language will be set in memory, and the screen will return to that shown in step 4.
- 8 When settings are completed, press the MENU button to return to the normal screen image.

Note

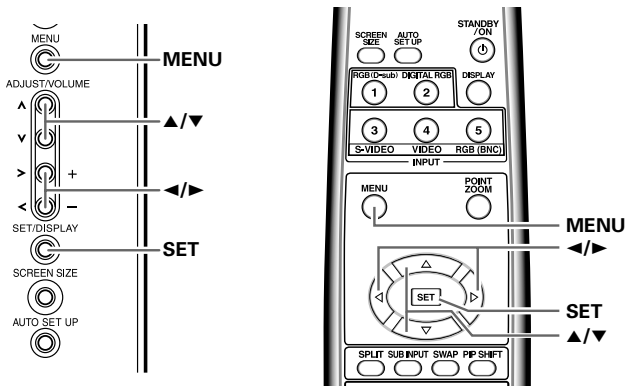
When the onscreen display language is set to any of INPUT 1 to INPUT 5, the same display language will be set, regardless of the type of input.

Settings after connections

After components have been connected to INPUT1, INPUT2 or INPUT5, on-screen setup is necessary. Follow the procedure described below and make settings as they apply to the type of components connected.

[DVI SELECT] setup (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)

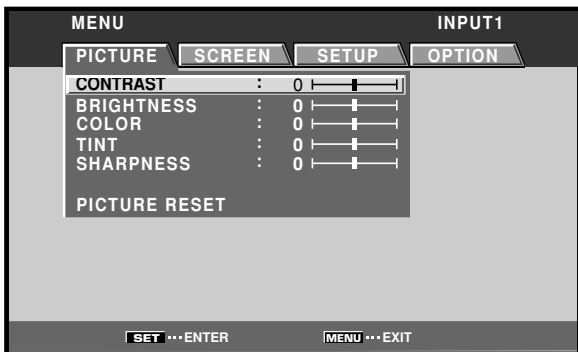
Choose the component type (either [PC] or [VIDEO]) that is to be connected to INPUT2.



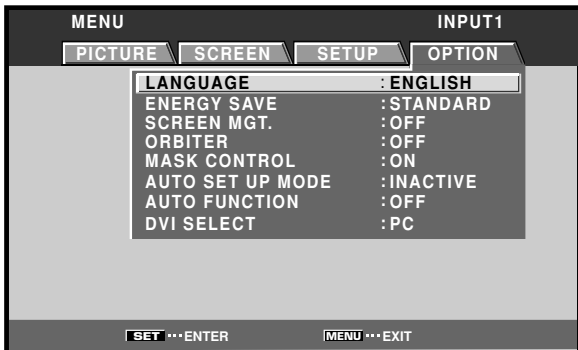
Display operating panel

Remote control unit

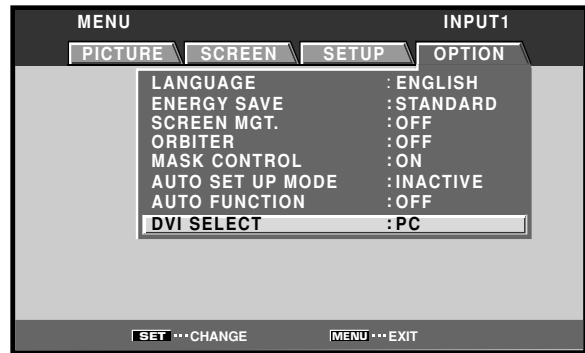
1 Press the MENU button to display the menu screen.



2 Use the </> buttons to select [OPTION].



3 Use the ▲/▼ buttons to select [DVI SELECT].



4 Press the SET button and choose the component to be connected.

The factory default setting is [PC].

Each time the SET button is pressed, the function alternates as shown:



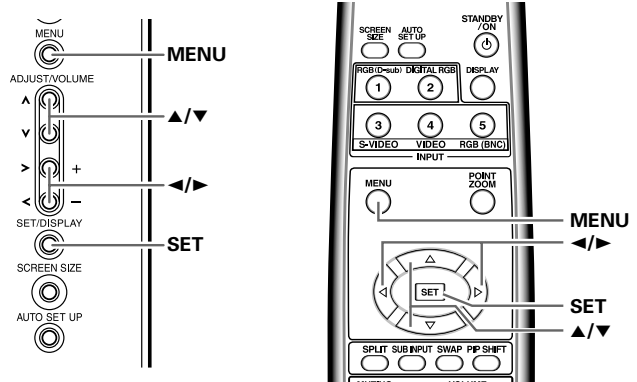
- PC Select when connecting to computer.
- VIDEO Select when connecting to AV component.

5 When the setup is completed, press the MENU button to exit the menu screen.

Note

Once settings are complete, turn on or reboot (in the cases of computer) your connected component. If settings have been changed while the connected component is turned on, signals may not be output, or signals may not be output in the correct format.

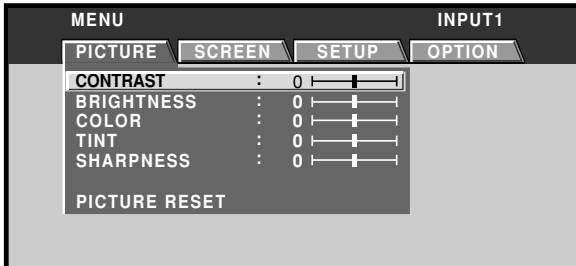
[SIGNAL FORMAT] / [COLOR DECODING] setup



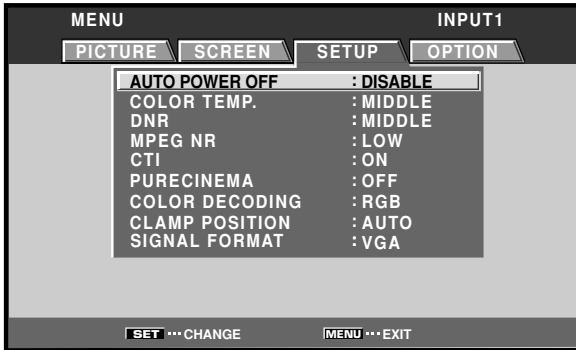
Display operating panel

Remote control unit

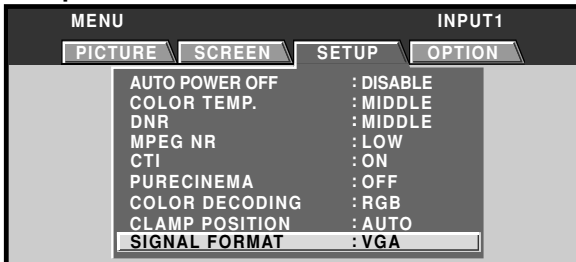
- 1 Select **INPUT1**, **INPUT2** or **INPUT5**.
- 2 Press the **MENU** button to display the menu screen.



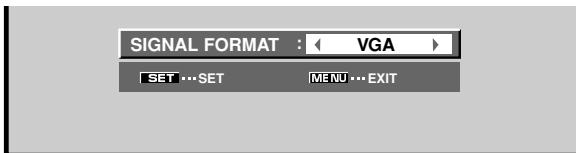
- 3 Use the **◀/▶** buttons to select **[SETUP]**.



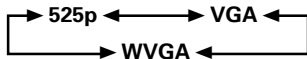
- 4 Use the **▲/▼** buttons to select **[SIGNAL FORMAT]**, then press the **SET** button.



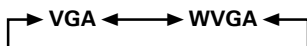
- 5 Use the **◀/▶** buttons to select the display mode.



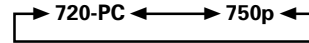
- ① When the input signal has a refresh rate of 31.5 kHz horizontal / 60 Hz vertical, pressing **◀/▶** will cause the display mode to change alternately as follows:
When using **INPUT1**, **INPUT5** or **INPUT2** (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only):



When using **INPUT2** (PDP-504CMX/PDP-50MXE1/ PDP-50MXE1-S and PDP-434MCX/PDP-43MXE1/ PDP-43MXE1-S only):

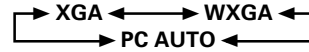


- ② When providing input signals with refresh rates of 45 kHz horizontal / 60 Hz Vertical, pressing the **◀/▶** buttons causes the display mode to alternate as follows:



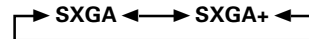
- [720-PC] indicates resolution of 1280 x 720.

- ③ When the input signal has a refresh rate of 48.4 kHz horizontal / 60 Hz vertical, or 56.1 kHz horizontal / 70 Hz vertical, pressing **◀/▶** will cause the display mode to change alternately as follows:



If the **[PC AUTO]** setting is selected, screen resolution will automatically switch between **[XGA]** and **[WXGA]** as required.

- ④ When the input signal has a refresh rate of 64 kHz horizontal / 60 Hz vertical, 80 kHz horizontal / 75 Hz vertical, or 91.2 kHz horizontal / 85 Hz vertical, pressing **◀/▶** will cause the display mode to change alternately as follows:



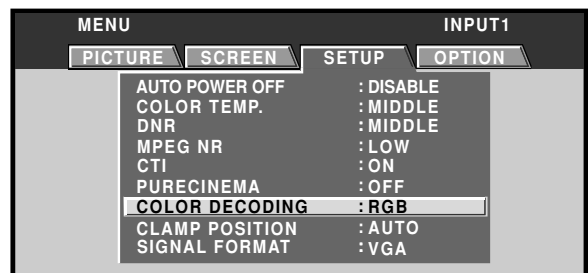
Notes

- These settings are required only when providing input signals with the following refresh rates: ① 31.5 kHz horizontal / 60 Hz; ② 45 kHz horizontal / 60 Hz vertical; ③ 48.4 kHz horizontal / 60 Hz vertical or 56.1 kHz horizontal / 70 Hz vertical; ④ 64 kHz horizontal / 60 Hz vertical; 80 kHz horizontal / 75 Hz vertical or 91.2 kHz horizontal / 85 Hz vertical. Adjustment for other signal frequency formats is performed automatically, so no manual setting is required (the **[SIGNAL FORMAT]** message does not appear).
- The **[PC AUTO]** setting supports automatic signal selection only when using RGB separate SYNC inputs.
- When **G ON SYNC** or Composite SYNC signals are input, selecting **[PC AUTO]** will cause the screen resolution to be set to **[XGA]** only.
- When using **G ON SYNC** or Composite SYNC with **WXGA** inputs, set **[SIGNAL FORMAT]** manually to **[WXGA]**.

- 6 Press the **SET** button.

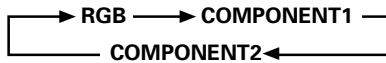
The setting is stored in memory and the screen returns to that shown in step 4.

- 7 When a component other than a computer is connected, use the **▲/▼** buttons to select **[COLOR DECODING]** (**INPUT1**, **INPUT2** or **INPUT5**).



- 8 Press the **SET** button repeatedly to select the input signal format.

Selection will change as follows each time the **SET** button is pressed:



The table below shows what settings are appropriate and available for the type of connections made.

Set [SIGNAL FORMAT] and [COLOR DECODING] as follows. Please take care when making settings. Incorrect settings can adversely affect the plasma display.

Connected component	SIGNAL FORMAT	COLOR DECODING
Component video output of a DVD player, etc.	525p	COMPONENT1
Component video output from digital tuner, etc.	750p	COMPONENT2
RGB video output of a video deck etc., with RGB output	525p	RGB
DVI video output of an AV component with DVI output port (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)	525p, 750p	RGB
RGB video output of a PC	VGA, WVGA, 720-PC, XGA, WXGA, SXGA, SXGA+	Not supported

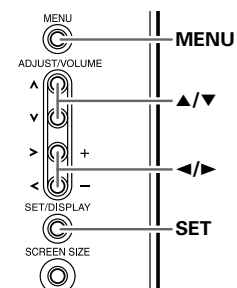
9 When the setup is completed, press MENU to exit the menu screen.

Notes

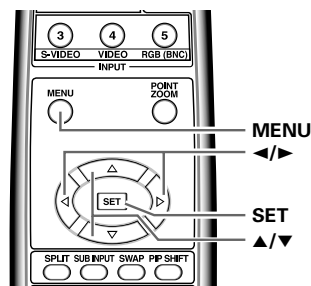
- Set [SIGNAL FORMAT] and [COLOR DECODING] for each applicable input (INPUT1, INPUT2 or INPUT5).
- The [COLOR DECODING] setting is not supported when inputting a computer signal, or when the [SIGNAL FORMAT] function has been used to select a signal other than [525p] or [750p].

[CLAMP POSITION] setup

Depending on the signal, analog RGB signals may result in the screen image appearing with a whitish or greenish cast. In such cases, set [CLAMP POSITION] to [LOCKED]. Normally, leave this setting at [AUTO].

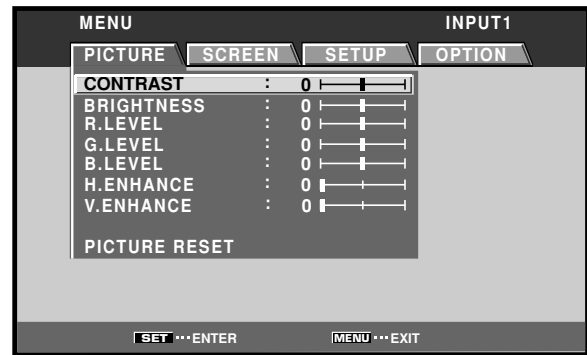


Display operating panel

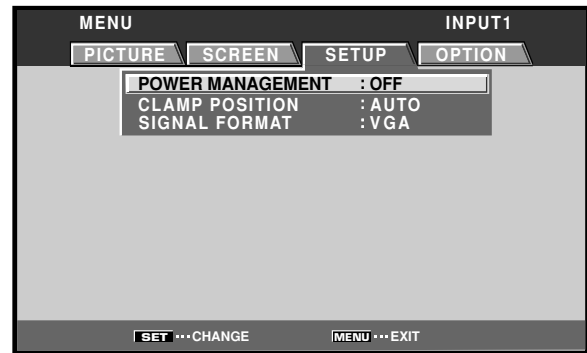


Remote control unit

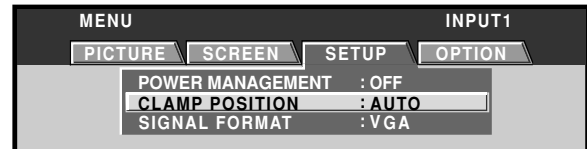
1 Press the MENU button to display the menu screen.



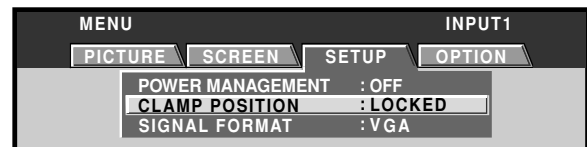
2 Use the </> buttons to select [SETUP].



3 Use the ▲/▼ buttons to select [CLAMP POSITION].



4 Press the SET button to select [LOCKED].



The factory default setting is [AUTO].

Mode selection will change as follows each time the **SET** button is pressed:



5 When the setup is completed, press the MENU button to exit the menu screen.

Notes

- Make this [CLAMP POSITION] setting for each applicable input (PDA-5003: INPUT1 or INPUT5, PDA-5004: INPUT1).
- When using this setup, be sure to carefully check the signal output of the component that you are using. For details, please refer to the instruction manual supplied with the component you are connecting.

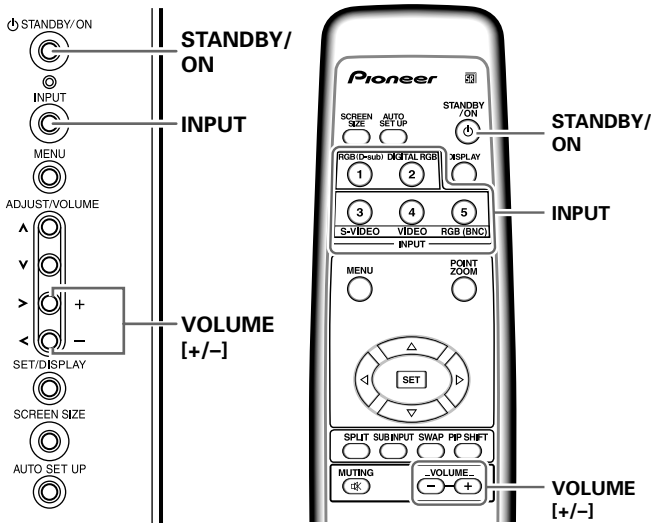
Selecting input source

This section explains the basic operation of the plasma display. Outlined on the following pages is how to turn the main power on and off, put this display in the operation or standby mode and how to select connected components.

Before you begin, make sure you have:

- Made connections between the plasma display and AV components or personal computer as described in the section "Installation and Connections" starting on page 6.
- Set up the on-screen menu to input signals from components connected to INPUT1, INPUT2 and INPUT5 as described in the section "System Settings" starting on page 18.

If no connections are made to these terminals, on-screen setup is not necessary.



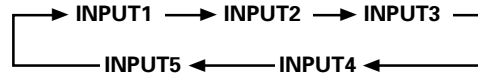
Display operating panel

Remote control unit

- 1 Set the rear panel MAIN POWER switch to ON.**
The STANDBY indicator on the front panel will light red.
- 2 Press the STANDBY/ON button to turn the power ON.**
The ON indicator on the front panel will light green.

- 3 Press the INPUT button on the remote control unit or the display to select the input.**

Input changes each time the display's INPUT button is pressed as follows:



- When the menu screen is displayed, changing the signal input will cause the menu screen to turn off.
- If the input computer signal is not supported by the display, the following message will be displayed:

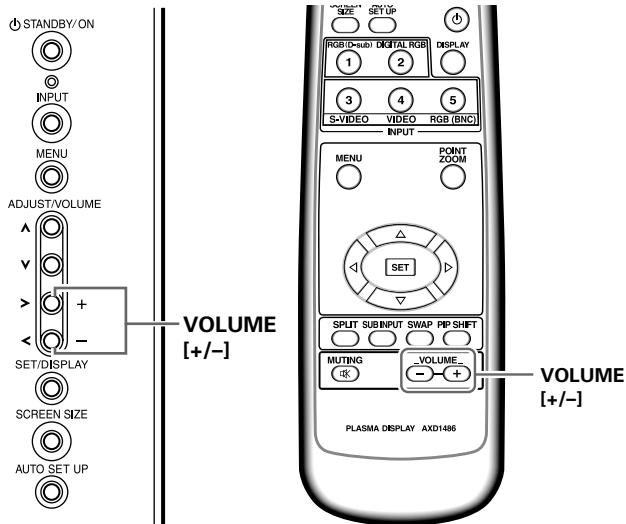


- 4 Use VOLUME (+/-) buttons on the remote control unit or the display to adjust the sound volume.**
If no audio connections are made to the plasma display, this step is not necessary.
- 5 When viewing is finished, press the STANDBY/ON button to put the display in standby mode.**
- 6 Set the rear panel MAIN POWER switch to OFF.**
The STANDBY indicator may continue to light for a short while even after the main power is turned off. This is a result of residual electric load impressed on the circuitry, and the light will turn off presently.

Note

Please do not leave the same picture displayed on the screen for a long time. Doing so may cause a phenomenon known as "screen burn" which leaves a ghost, or residual, image of the picture on the screen.

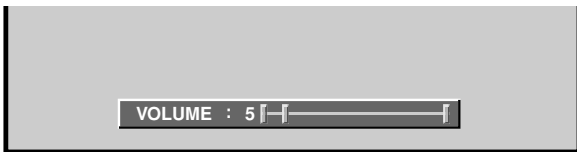
Adjusting sound volume



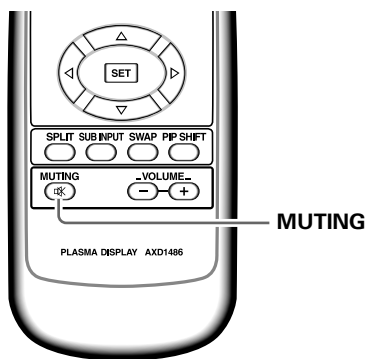
Display operating panel Remote control unit

Press the VOLUME buttons.

Press the [-] or [+] button to respectively decrease and increase the volume of sound from the speakers.



Muting the sound

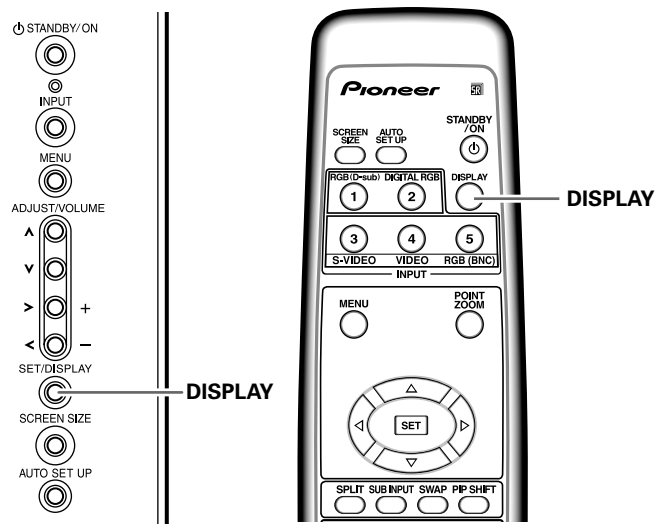


Press the MUTING button on the remote control unit.

Press the **MUTING** button again to restore the sound. Muting is automatically canceled about 8 minutes after the button is pressed, and the volume level is adjusted to the minimum level.

Press **VOLUME +** or **VOLUME -** to adjust the volume at a desired level.

Confirming current status



Display operating panel Remote control unit

Press the DISPLAY button.

The currently selected input, screen size and refresh rates will be displayed for about 3 seconds.



Notes

- The displayed refresh rates may be slightly different from actual values.
- When using the Point zoom function (page 25) or Multiscreen function (page 26), the position and input information for the enlarged screen area will be displayed.
- When the screen management function is active, the [SCREEN MGT.] message will also be displayed at the lower left corner of the screen.

Changing screen size

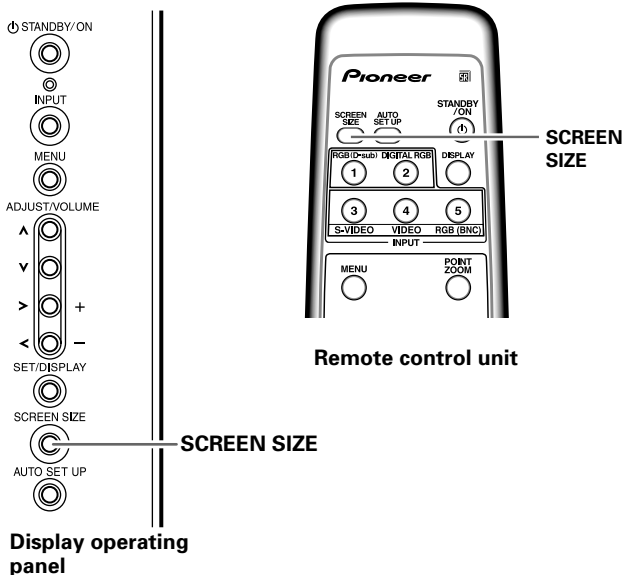
The plasma display incorporates screen modes of various height and width ratios. For optimal viewing, we recommend that you select the screen mode that best matches the video source that you are viewing. Although these modes are designed for full display of a picture on a wide screen, it is our hope that you make use of them with a full understanding of the manufacturer's intentions.

Screen size selection

For video signals

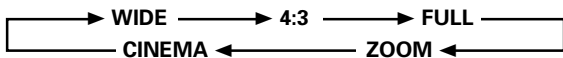
The size of the picture or the picture's range projected on the screen can be changed between 5 screen sizes described in the table on this page.

Press the **SCREEN SIZE** button to select the size.



The screen size changes each time the **SCREEN SIZE** button is pressed as follows:

- The screen modes selectable may differ on INPUT1, INPUT2 (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only) and INPUT5, depending on the type of signal input. For details, consult the "Appendix 1: Video signal compatibility table" (page 44).



Notes

- When the [WIDE], [ZOOM], or [FULL] setting is used to display a non-wide screen 4:3 picture fully on a wide screen, a portion of the picture may be cut off or appear deformed.
- Be aware that when the display is used for commercial or public viewing purposes, selecting the [WIDE], [ZOOM], [CINEMA] or [FULL] mode settings may violate the rights of authors protected under copyright law.
- When [4:3] screen size is selected, the display position is moved slightly each time the power is turned on, in order to prevent image burning.

During video signal input

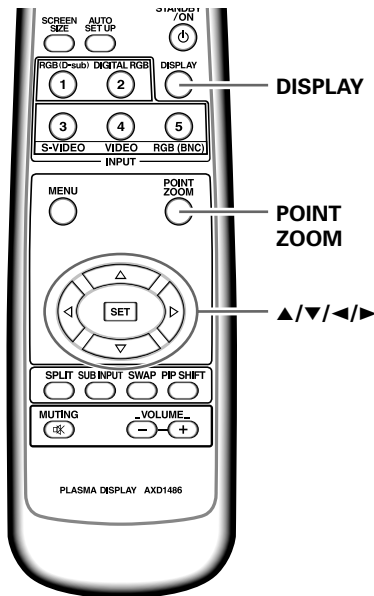
How the picture looks	
<p>WIDE</p>	Suitable for when viewing news or sports programs. Movies or sports programs can be viewed with an expansive powerful image.
<p>4:3</p>	Suitable for when viewing news or sit coms. The video software can be viewed in its original screen frame size.
<p>FULL</p>	Suitable for wide screen images (squeeze).
<p>ZOOM</p>	Mainly suitable for viewing Cinemascope size and other such movie images. Provides a more expansive, powerful image.
<p>CINEMA</p>	Primarily suitable for viewing "Vista vision" cinema sizes.

Consult the plasma display's Operating Instructions regarding the screen size during computer signal input.

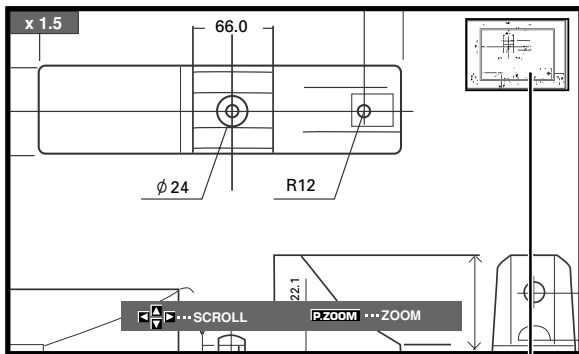
Enlarging one part of the screen (POINT ZOOM)

This plasma display allows enlarging of the screen image by ratios of [x 1.5], [x 2], and [x 3]. When enlarging the screen, the **▲/▼/◀/▶** buttons can be used to move the enlarged viewing area around the screen.

- The range of zoom possible can be confirmed by viewing the Zoom-Navi subscreen at the upper right of the main screen. The Zoom-Navi subscreen is displayed for about three seconds whenever the **POINT ZOOM** button, one of the **▲/▼/◀/▶** buttons, or **DISPLAY** button is pressed.

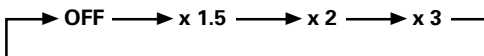


1 Press the remote control unit's POINT ZOOM button.



Zoom-Navi subscreen

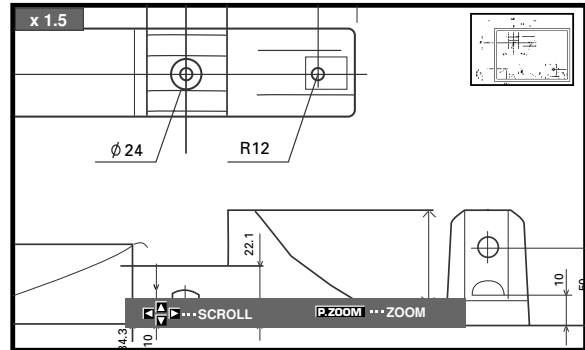
Each time the **POINT ZOOM** button is pressed, the zoom ratio alternates in the following order:



Note

During use of the **POINT ZOOM** function, the screen size cannot be changed.

2 Using the **▲/▼/◀/▶** buttons, move the screen to the desired part of the image.



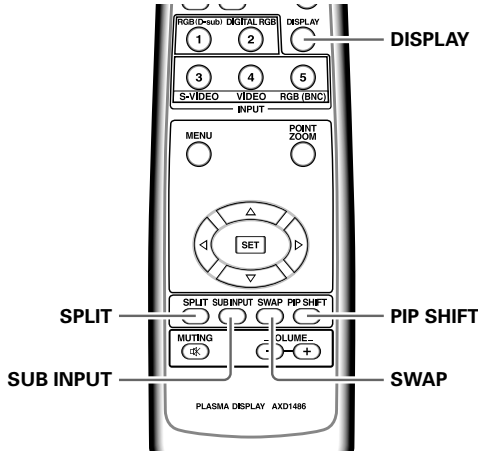
- Pressing the **POINT ZOOM** and **▲/▼/◀/▶** buttons again will change the zoom ratio and the position of screen enlarged.
- If the input signal changes, or if the menu screen is displayed and the input is changed, or if the multiscreen mode is selected, the **POINT ZOOM** function will be canceled.

Note

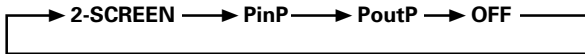
Be aware that when the display is used for commercial or public viewing purposes, selecting the [WIDE], [ZOOM], [CINEMA] or [FULL] mode settings may violate the rights of authors protected under copyright law.

Multiscreen display

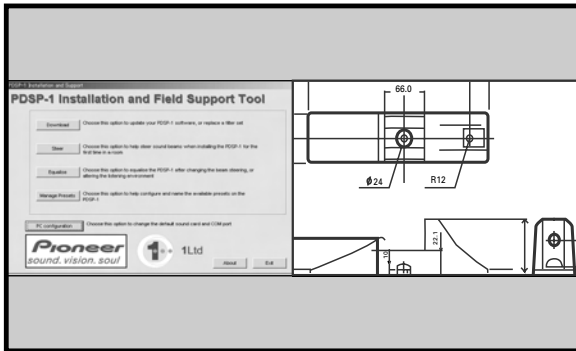
The plasma display's multiscreen function allows the simultaneous display of two inputs. The multiscreen display include three modes, 2-SCREEN, PinP, and PoutP.



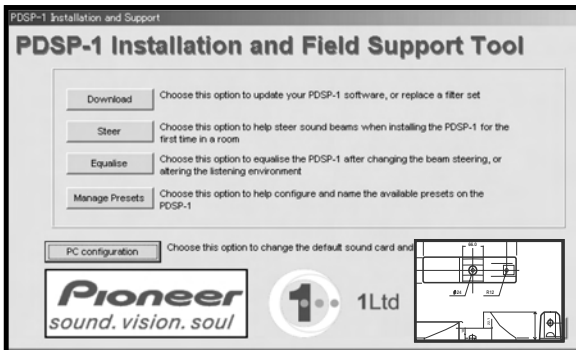
1 Press the remote control unit's SPLIT button.
Each time the button is pressed the multiscreen display changes in the following order:



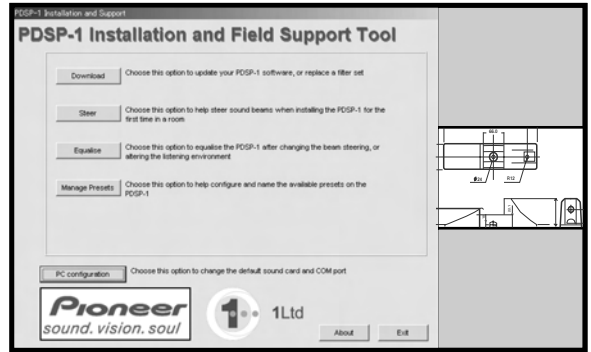
① 2-SCREEN
The main screen is displayed on the left and the subscreen on the right.



② PinP
The subscreen is displayed in one of the four corners of the main screen.



③ PoutP
The subscreen is displayed outside the right side of the main screen.



2 Press the remote control unit's SUB INPUT button to select the subscreen input source.

To exchange the main screen and subscreen inputs

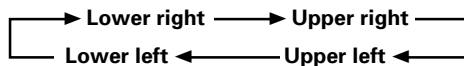
Press the remote control unit's SWAP button.

- When 2-SCREEN mode has been selected:
The right and left sides of the display will switch; what was previously the main screen will now show the subscreen, and vice versa.
- When PinP or PoutP has been selected:
What was previously the main screen image will now appear in reduced size as the subscreen image, and vice versa.

To change the position of the subscreen in PinP mode:

Press the remote control unit's PIP SHIFT button.

Each time the button is pressed, the position of the subscreen moves in the following order:



To display the currently selected input

Press the DISPLAY button.

If the DISPLAY button is pressed while in multiscreen mode, the main screen and sub-screen will each be displayed with its currently selected input.

Notes

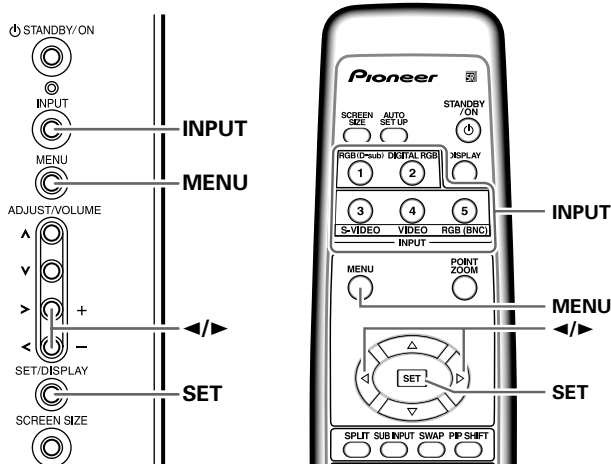
- When using the plasma display in a profit-making activity, or when exhibiting images publicly, using the screen size function to compress or stretch the image may result in infringement of the copyrights of the image owners.
- If the multiscreen display is left on for an extended period of time, or if the same multiscreen display is repeatedly shown for short periods on an everyday basis, a residual image pattern may be burned onto the screen.
- When selecting the 2-SCREEN mode, the screen image may appear somewhat rougher, depending on the source used.
- The multiscreen mode will be canceled if a menu is opened, or if POINT ZOOM is performed.
- The screen size cannot be changed during multiscreen display.
- The sound of the input selected in the main screen is outputted when using the multiscreen function.

Automatic power-off (POWER MANAGEMENT)

The plasma display is equipped with [POWER MANAGEMENT] and [AUTO POWER OFF] functions; when set, the function automatically switches the unit to either standby mode or power off mode whenever a sync signal is not detected (a warning message is displayed on the screen before the functions operate).

Notes

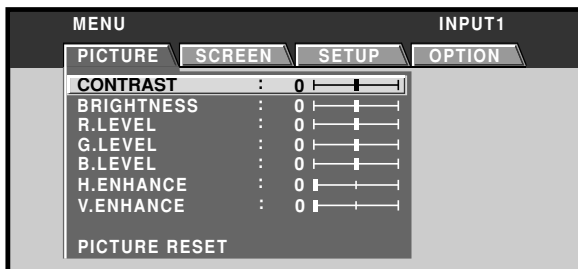
- [POWER MANAGEMENT] settings are supported only when a computer signal is input to INPUT1, INPUT2 or INPUT5 (PDA-5003 only).
- The auto-power-off function can be used only in those cases other than the inputs used in the preceding item.
- Always turn off the plasma display's main power switch when not using the display for extended periods of time.



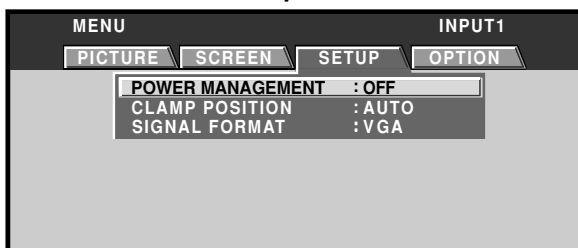
Display operating panel

Remote control unit

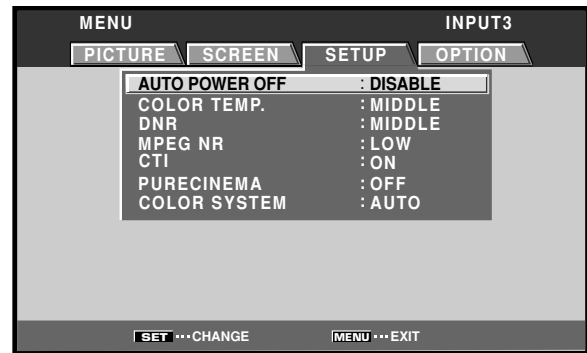
1 Press the MENU button to display the menu screen.



2 Use the </> buttons to select [SETUP]. [When computer signal is input to INPUT1, INPUT2 or INPUT5 (PDA-5003 only)]



[In all other cases]



3 Press the SET button to confirm selection of the [POWER MANAGEMENT] or [AUTO POWER OFF].

The factory default setting is [OFF/DISABLE]. Each time the button is pressed, the setting alternates as follows:



- OFF/DISABLE.....
The display will continue in operating mode, regardless of the presence/absence of an input sync signal.
- POWER MANAGEMENT: ON.....
If a sync signal is not detected, a warning message is first displayed for 8 seconds, after which the display automatically enters the standby mode, and the ON indicator flashes green. If a sync signal (*1) is input again later, the plasma display automatically returns to normal operating mode.
*1 Except when input signal is G ON SYNC or composite SYNC.
- AUTO POWER OFF: ENABLE.....
If no sync signal is detected for 8 minutes or more, a warning message will be displayed for 30 seconds, after which the display's power will switch to power off mode.

4 When the setup is finished, press the MENU button to exit the menu screen.

Note

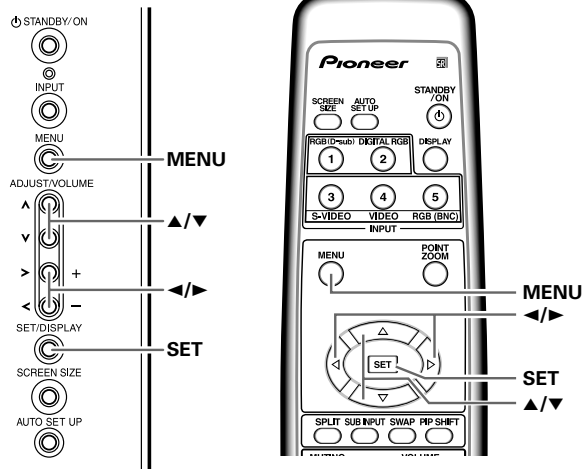
The [POWER MANAGEMENT] and [AUTO POWER OFF] functions must be set individually for each input (INPUT1 to INPUT5).

To return to operating mode:

- To return to normal operation from the [POWER MANAGEMENT] function's standby mode, either operate your computer, or press the **INPUT** button on the plasma display or remote control unit.
- To return to normal operation from the [AUTO POWER OFF] function's power off condition, press the **STANDBY/ON** button on the plasma display or on the remote control unit.

PICTURE/SCREEN Adjustment

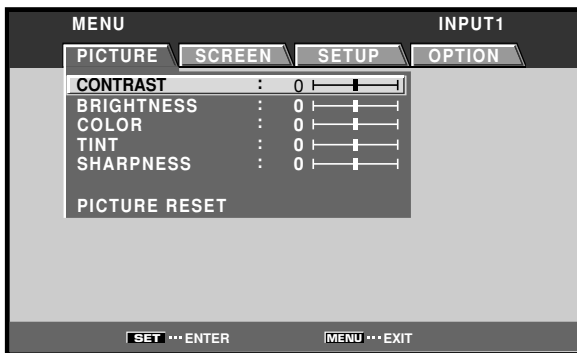
PICTURE adjustment



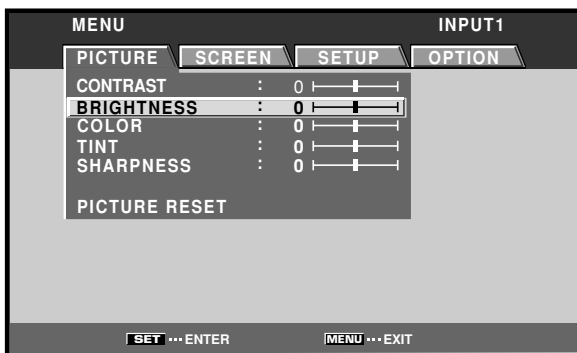
Display operating panel

Remote control unit

- 1 Press the **MENU** button to display the menu screen.



- 2 Use the **▲/▼** buttons to select the adjustment item, then press the **SET** button.



- 3 Use the **◀/▶** buttons to adjust the picture quality as desired.



- 4 Press the **SET** button.

Pressing the **SET** button writes the value into the memory and returns the display to the step 2 screen.

- 5 When the setup is finished, press the **MENU** button to exit the menu screen.

Note

Make these adjustments for each input (INPUT1 to INPUT5) and signals.

[PICTURE] mode adjustment items

Below are brief descriptions of the options that can be set in the [PICTURE] mode.

CONTRAST Adjust according to the surrounding brightness so that the picture can be seen clearly.

BRIGHTNESS Adjust so that the dark parts of the picture can be seen clearly.

COLOR Adjust to the desired depth (Setting to a slightly deep color will create a natural looking picture).

TINT Adjust so that flesh tones look normal.

SHARPNESS Normally set to the center position. To create a softer picture, set to the left of center. To create a sharper picture, set to the right of center.

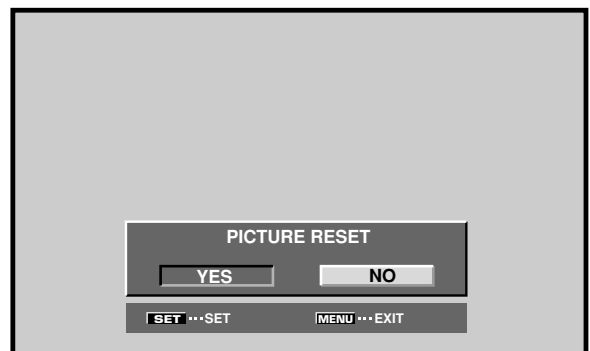
Note

Consult the Operating Instructions for your Plasma Display regarding PICTURE adjustment when inputting computer signals.

To reset [PICTURE] mode settings to the default

If settings have been adjusted excessively or the picture on the screen no longer appears natural, it may prove more beneficial to reset the [PICTURE] mode to default settings instead of trying to make adjustments under already adjusted conditions.

- 1 In step 2 in the previous procedure, use the **▲/▼** buttons to select **[PICTURE RESET]**, then press the **SET** button.



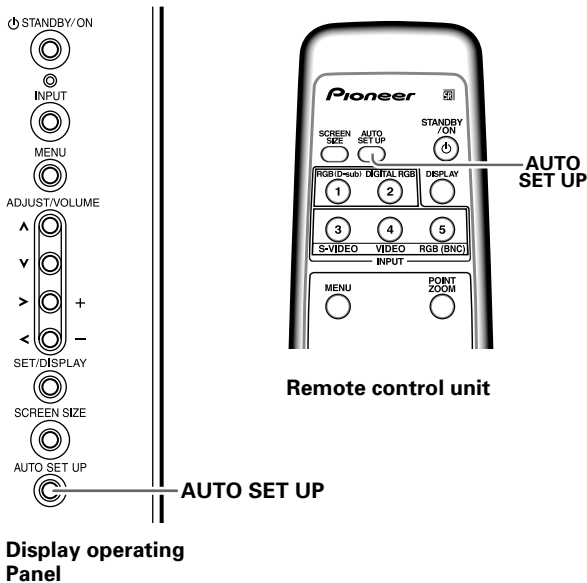
- 2 Use the **◀/▶** buttons to select **[YES]**, and press the **SET** button.

All [PICTURE] mode settings are returned to the factory set default.

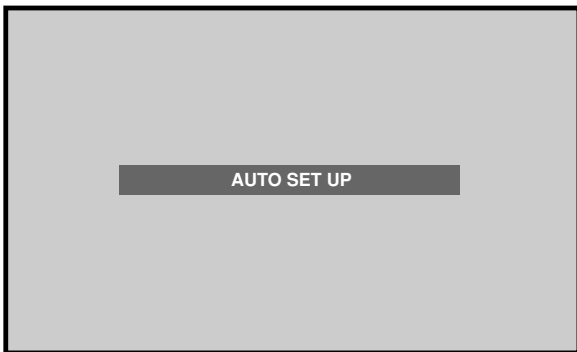
Adjusting screen POSITION, CLOCK, and PHASE <automatic adjust>

By pressing the **AUTO SET UP** button on either remote control unit or the plasma display's operating panel (or by selecting [AUTO SET UP MODE] from the menu), the unit will automatically set the screen position and clock to best match the current image input.

When the button is pressed, the optimum settings are automatically selected for the current input source.



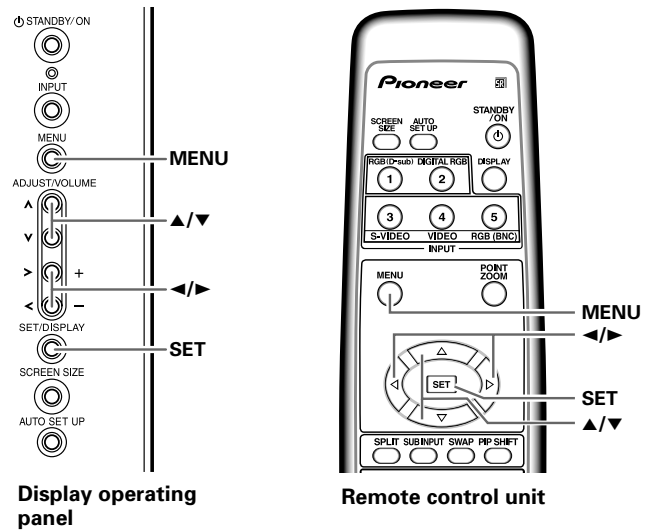
Press the **AUTO SET UP** button on either the display or remote control unit.



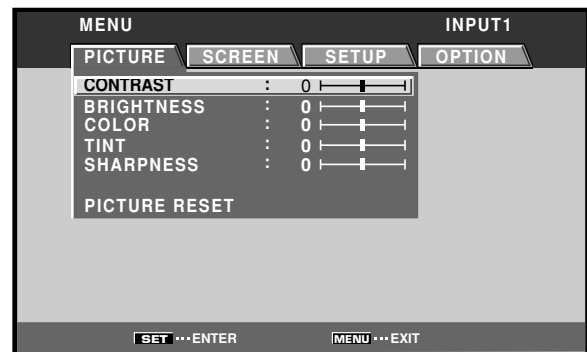
Notes

- This setting is supported only when a computer signal is connected to INPUT1 or INPUT5.
- Perform this adjustment individually for each input function (INPUT1 or INPUT5), and each signal type.
- Optimum settings may not be possible for low-luminance and certain other signals. In such cases, use the adjustment methods explained on the next page, "Adjusting screen POSITION, CLOCK, and PHASE <manual adjust>".

When the automatic setup mode is selected, the unit will automatically be adjusted to the optimum image settings whenever the power is turned on, the input source is changed, or the type of input signal is changed.



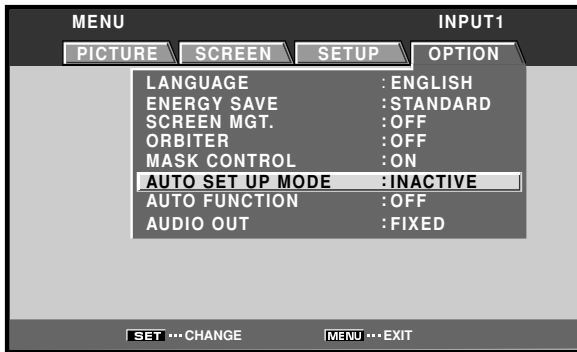
- 1 Press the **MENU** button to display the menu screen.



- 2 Use the **◀/▶** buttons to select [OPTION].



3 Use the ▲/▼ buttons to select [AUTO SET UP MODE].



4 Press the SET button to activate the setting. The factory default setting is [INACTIVE]. Each time the button is pressed, the setting alternates as follows:



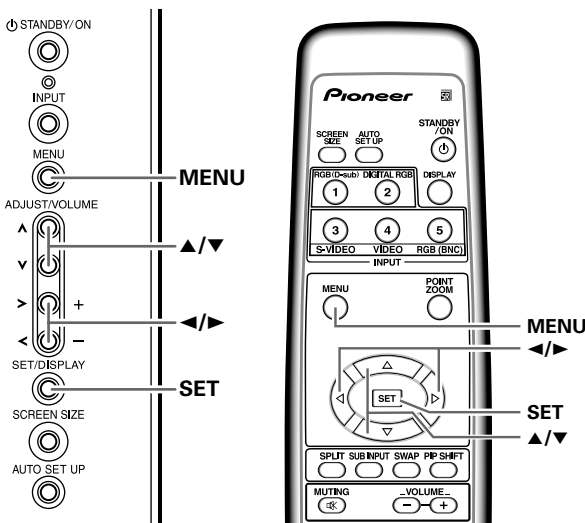
5 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

Notes

- This setting is supported only when a computer signal is connected to INPUT1 or INPUT5.
- Optimum settings may not be possible for low-luminance and certain other signals. In such cases, set the [AUTO SETUP MODE] to [INACTIVE], and use the manual adjustment methods explained in the following section, "Adjusting screen POSITION, CLOCK, and PHASE <manual adjust>".

Adjusting screen POSITION, CLOCK, and PHASE <manual adjust>

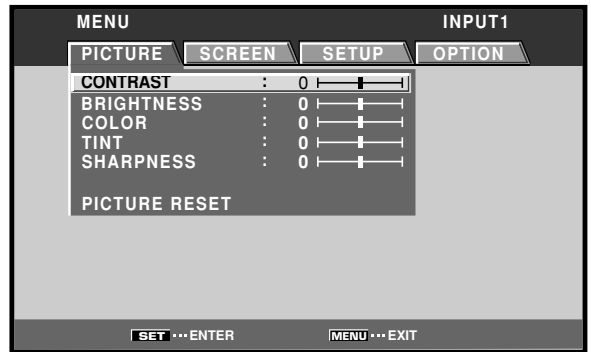
This setting can be adjusted when a computer signal is connected to INPUT1, INPUT2, or INPUT5.



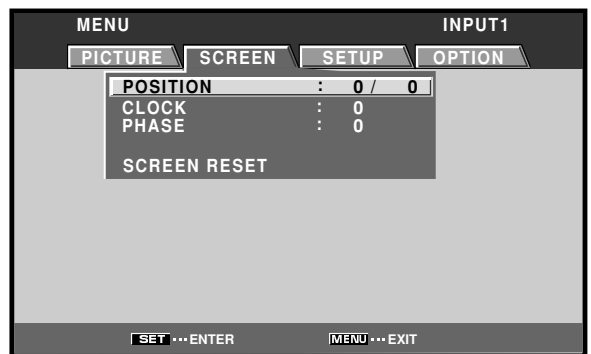
Display operating panel

Remote control unit

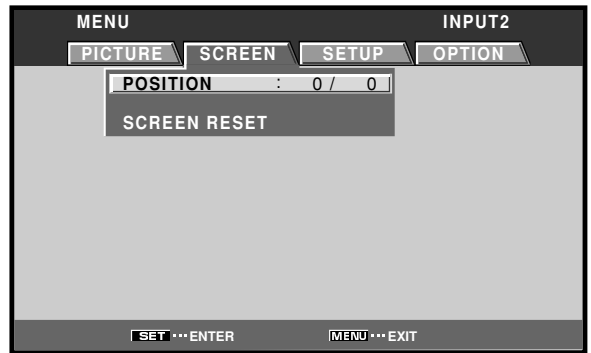
1 Press the MENU button to display the menu screen.



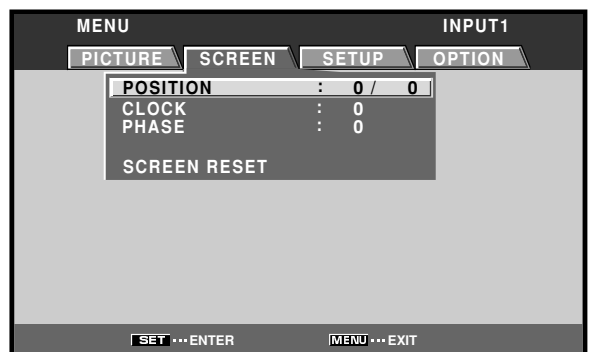
2 Use the </> buttons to select [SCREEN].



INPUT2, 3 or 4 is selected, the following screen will appear and the [POSITION] adjustment only can be selected.

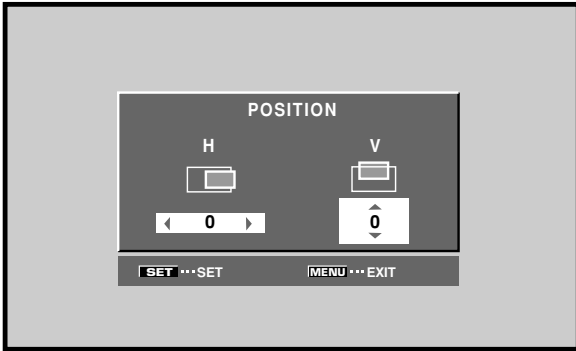


3 Use the ▲/▼ buttons to select the adjustment item, then press the SET button.

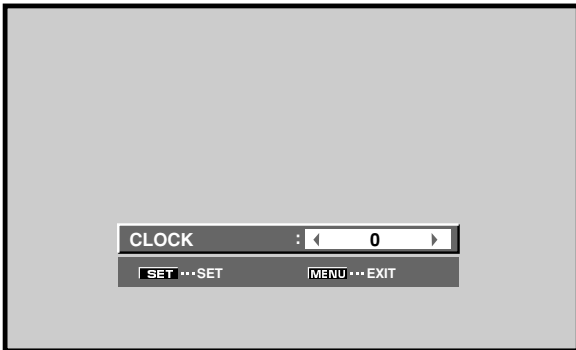


4 Use the ◀/▶ and ▲/▼ buttons to select the desired value.

- When the [POSITION] item is selected, the ◀/▶ buttons control movement in the Horizontal direction (H), and the ▲/▼ buttons control movement in the Vertical direction (V).



- Use the ◀/▶ buttons for the adjustments of [CLOCK] and [PHASE].



5 Press the SET button.

Pressing the **SET** button writes the value into the memory and returns the display to the step 3 screen.

6 When adjustment is finished, press the MENU button to exit the menu screen.

Notes

- Make these adjustments for each input (INPUT1 or INPUT5) and signals.
- If INPUT2 is selected, only the [POSITION] can be adjusted.

[SCREEN] mode adjustment items

Below are brief descriptions of the options that can be set in the [SCREEN] mode.

POSITION

- H Adjust the picture's position to the left or right.
- V Adjust the picture's position upward or downward.

CLOCK Adjust letter breakup or noise on the screen. This setting adjusts the display's internal clock signal frequency that corresponds to the input video signal.

PHASE Adjust so that there is minimum flicker of screen letters or color misalignment. This setting adjusts the phase of the internal clock signal adjusted by the [CLOCK] setting.

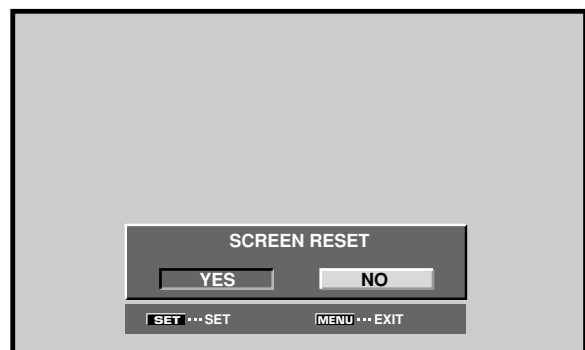
Notes

- The [CLOCK] and [PHASE] adjustment items are supported only for INPUT1 and INPUT5.
- When the [CLOCK] frequency is changed, the [POSITION] command's horizontal [H] option may require readjustment.
- If the adjustment items in the [SCREEN] mode are adjusted excessively, the picture may not be displayed properly.
- When the [AUTO SET UP MODE] set to [ACTIVE], selecting the [POSITION] and [CLOCK] adjust modes will cause a message to be displayed on the screen, but adjustment is possible. However, if the input source is changed, the adjustment value stored in memory will be the one automatically set with the auto setup mode. If you wish to record a manually set adjustment value, set the [AUTO SET UP MODE] to [INACTIVE] (page 29) before beginning your adjustments.

To reset [SCREEN] mode settings to the default

If settings have been adjusted excessively or the picture on the screen no longer appears natural, it may prove more beneficial to reset the [SCREEN] mode to default settings instead of trying to make adjustments under already adjusted conditions.

1 In step 3 in the previous procedure, use the ▲/▼ buttons to select [SCREEN RESET], then press the SET button.



2 Use the ◀/▶ buttons to select [YES], and press the SET button.

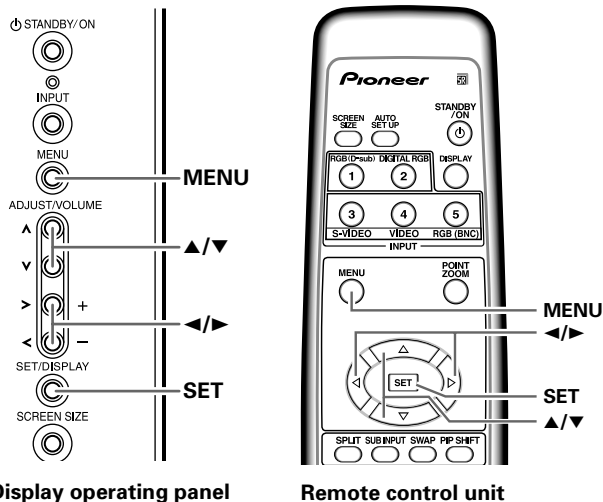
All [SCREEN] mode settings are returned to the factory set default.

Setting the orbiter (ORBITER)

At set time intervals (about once every 8 minutes), this function automatically changes the screen display position by incremental amounts. The amount of screen movement is 1 pixel horizontally or vertically.

When displaying a still image, setting [ORBITER] to [ON] helps prevent the screen from being burnt with a lag image.

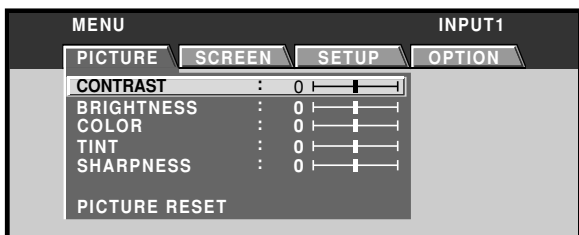
- This function is not supported when using the POINT ZOOM function, multiscreen function, or menu display.



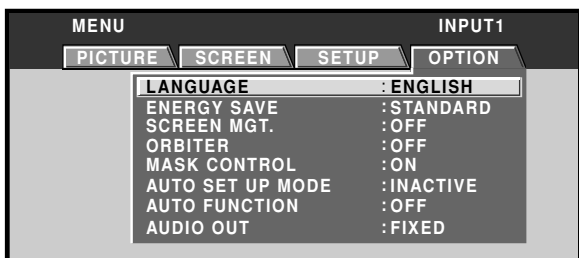
Display operating panel

Remote control unit

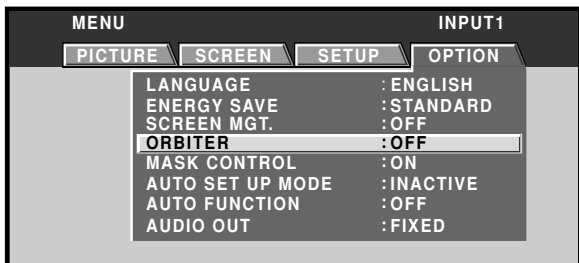
- 1 Press the MENU button to display the menu screen.



- 2 Use the ◀/▶ buttons to select [OPTION].



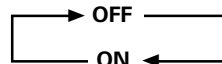
- 3 Use the ▲/▼ buttons to select [ORBITER].



- 4 Press the SET button to activate the setting.

The factory default setting is [OFF].

Each time the button is pressed, the setting alternates as follows:



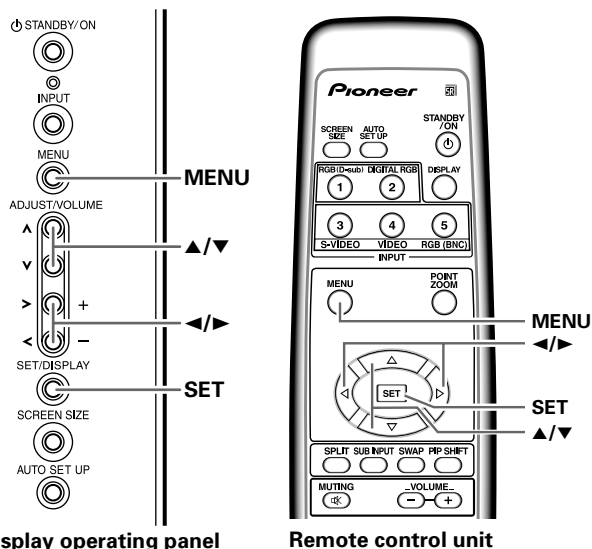
- 5 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

Note

The [ORBITER] setting affects all input sources.

Side mask position (MASK CONTROL)

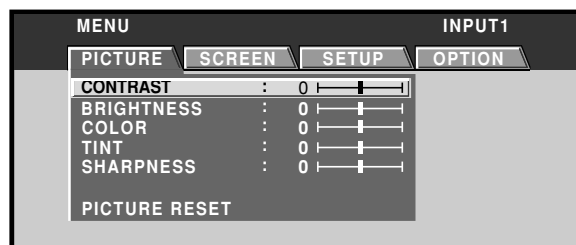
When screen size is set to [DOT BY DOT] or [4:3], or when using multiscreen display, the position of the black stripes on the side of the screen and the position of the subscreen are changed slightly each time the power is turned on, in order to alleviate burning of lag images on the screen.



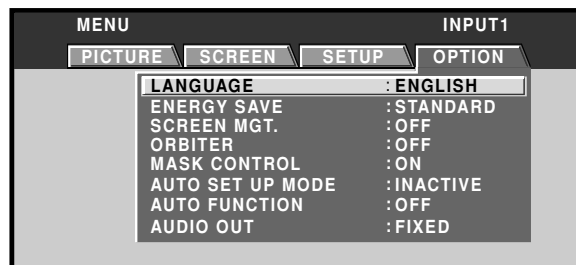
Display operating panel

Remote control unit

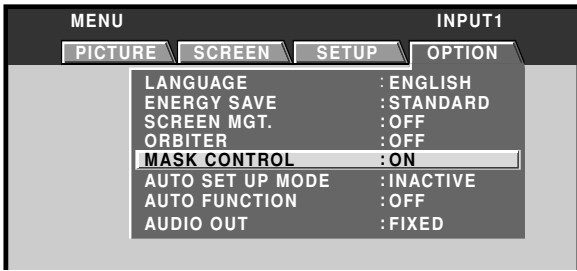
- 1 Press the MENU button to display the menu screen.



- 2 Use the ◀/▶ buttons to select [OPTION].



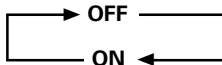
3 Use the ▲/▼ buttons to select [MASK CONTROL].



4 Press the SET button to activate the setting.

The factory default setting is [ON].

Each time the button is pressed, the setting alternates as follows:

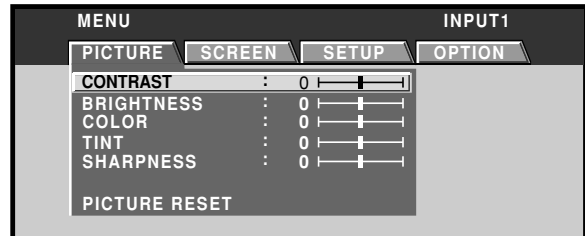


5 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

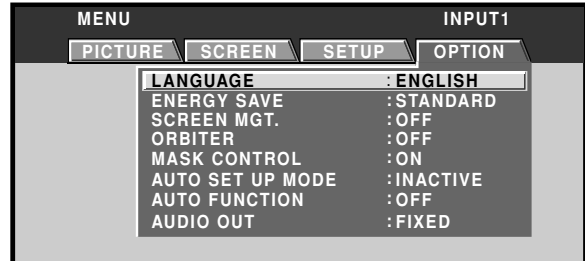
Note

The [MASK CONTROL] setting affects all input sources.

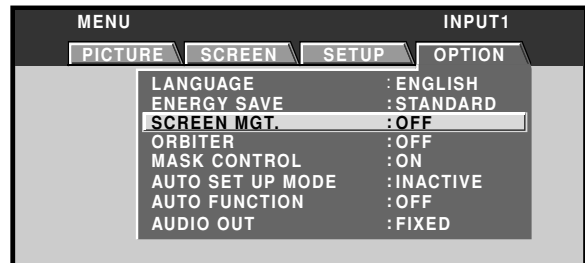
1 Press the MENU button to display the menu screen.



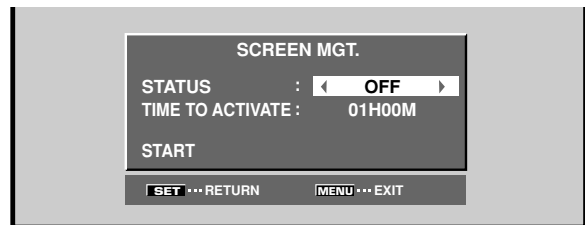
2 Use the ◀/▶ buttons to select [OPTION].



3 Use the ▲/▼ buttons to select [SCREEN MGT.], then press the SET button.



4 Use the ▲/▼ buttons to select [STATUS].



5 Use the ◀/▶ buttons to select [ONCE] or [REPEAT].

The factory default setting is [OFF].

Each time the button is pressed, the setting alternates as follows:

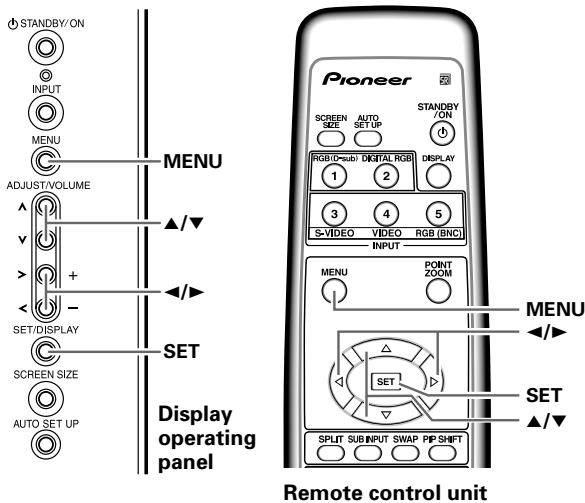


- ONCE The screen management program is performed once only.
- REPEAT The screen management program is performed repeatedly (24-hour cycle).
- OFF Screen management program is disabled, and normal screen image is displayed continuously.

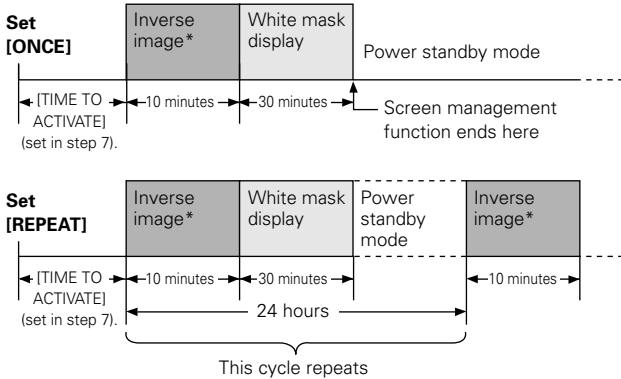
Screen management settings (SCREEN MGT.)

In order to alleviate burning of lag images in the screen, this plasma display is equipped with a screen management program that allows automatic switching of the display image at regular intervals. The program can be set to determine how the 24-hour screen management cycle is repeated.

For information about detailed screen management settings, consult your professional installation technician.



Under factory default settings, the screen display contents will change as follows:

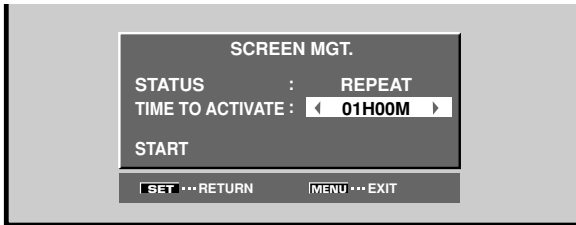


* The color and brightness of the current image are displayed in inverse values. The respective RGB color output levels are inverted, with light areas appearing dark, and dark areas appearing light.

Notes

- When set to [ONCE], after the screen management program ends, this part of the display will change to the [OFF] message. If you wish to continue the screen management program, use the ◀/▶ buttons to select [ONCE] again, or change to [REPEAT].
- During screen management operation when set to [ONCE] or [REPEAT], if the display's MAIN POWER switch is turned OFF, the screen management program will end, and this part of the display will change to display the message [OFF]. If you wish to continue the screen management program, use the ◀/▶ buttons to select [ONCE] or [REPEAT] again.

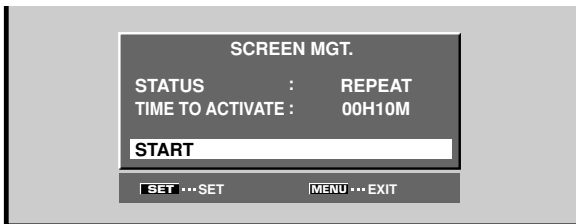
6 Use the ▲/▼ buttons to select [TIME TO ACTIVATE].



7 Use the ◀/▶ buttons to set the time you wish the screen management program to begin.

When the ◀/▶ buttons are pressed, the screen management operation can be set from 0 to 24 hours, in 10-minute units.

8 Use the ▲/▼ buttons to select [START].



9 Press the SET button.

The set value will be stored in memory, and the screen will return to that shown in step 2.

The timer begins when the SET button is pressed, and after passage of the time set in step 7, the screen management program will begin operating.

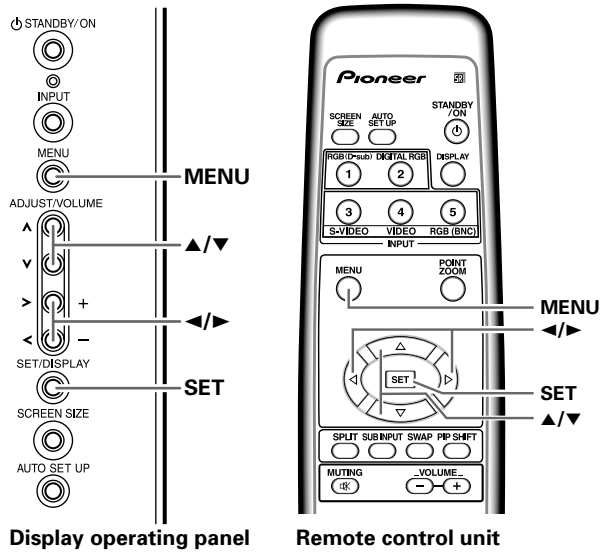
10 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

Note

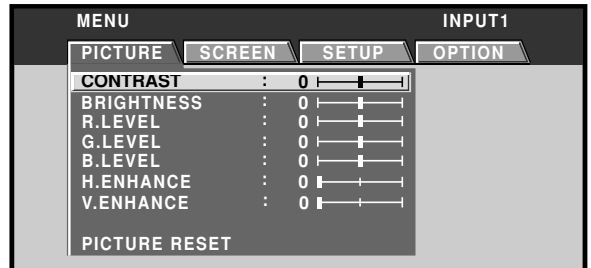
The [SCREEN MGT.] setting affects all input sources.

Energy saving settings (ENERGY SAVE)

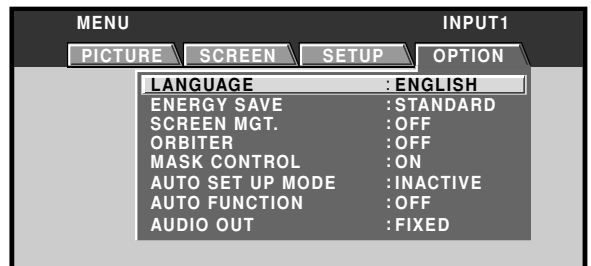
The power control function allows screen brightness to be suppressed as a means of lowering power consumption and reducing display deterioration.



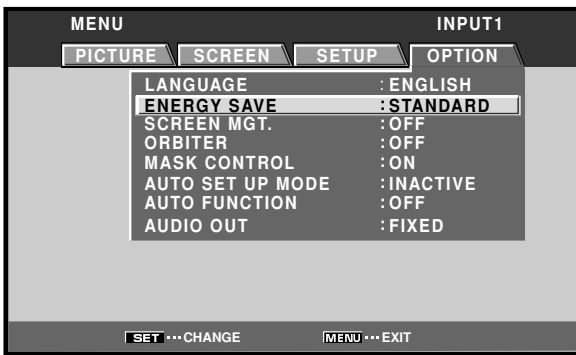
1 Press the MENU button to display the menu screen.



2 Use the ◀/▶ buttons to select [OPTION].

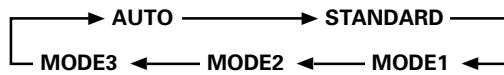


3 Press the ▲/▼ buttons to select [ENERGY SAVE].



4 Press the SET button to select [ENERGY SAVE] setting.

The factory default setting is [STANDARD]. Each time the **SET** button is pressed, the setting changes as follows:



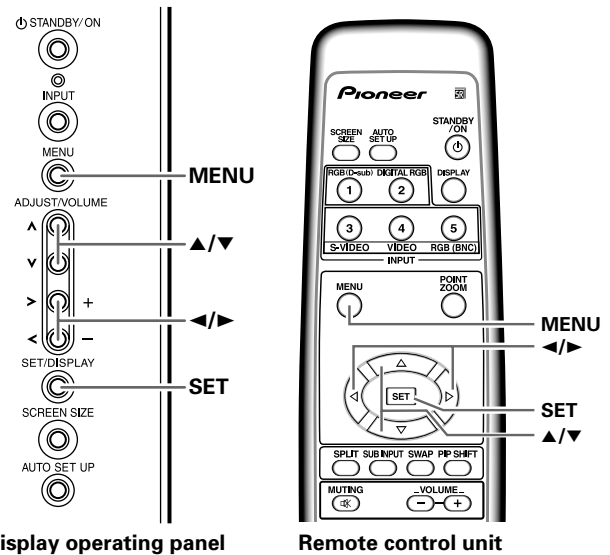
- **STANDARD** ... Brightness is controlled in accordance with input signal to produce bright, easily viewed image.
- **MODE1** Brightness is controlled in accordance with input signal, but power consumption is less than that used in [STANDARD] mode.
- **MODE2** Brightness is controlled in accordance with input signal, but power consumption is less than that used in [MODE1].
- **MODE3** Brightness is set at fixed level, regardless of input signal level. Effective at reducing screen aging due to burned lag images, etc.
- **AUTO** Brightness is set automatically in response to ambient lighting conditions so as to produce optimum image appearance.

5 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

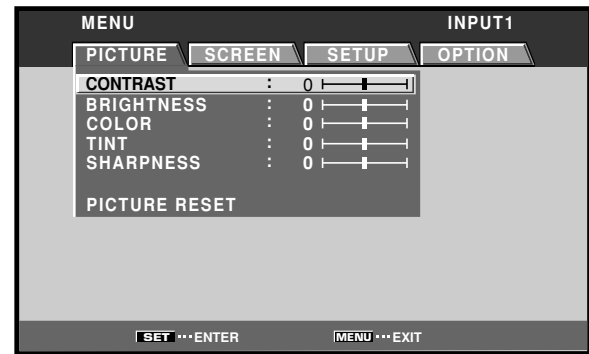
Note

The [ENERGY SAVE] setting affects all input sources.

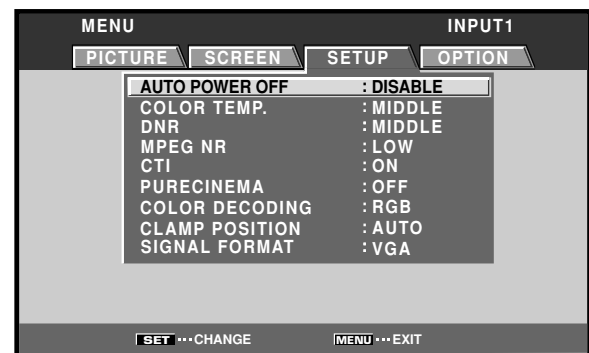
Changing the color temperature (COLOR TEMP.)



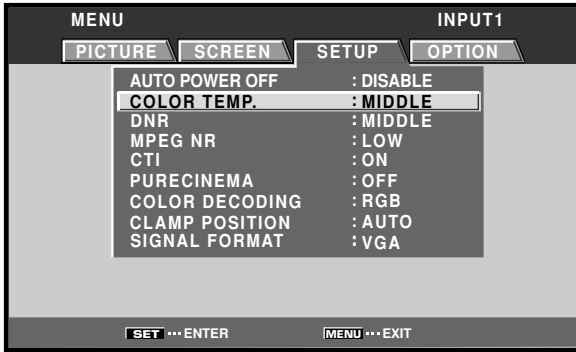
1 Press the MENU button to display the menu screen.



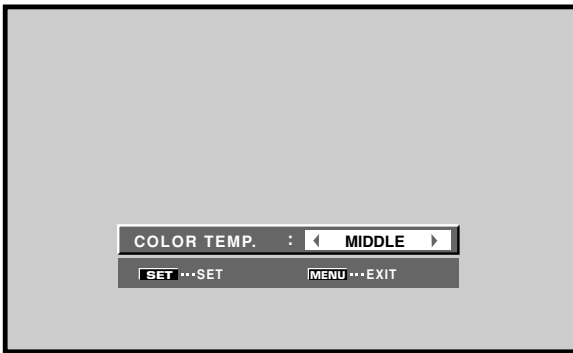
2 Use the </> buttons to select [SETUP].



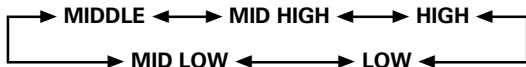
- 3 Use the ▲/▼ buttons to select [COLOR TEMP.], then press the SET button.



- 4 Use the ◀/▶ buttons to select the desired color temperature setting.



The factory default setting is [MIDDLE]. Each time the button is pressed, the color temperature setting changes as shown:



- 5 Press the SET button.

The [COLOR TEMP.] function is set and the screen returns to that shown in step 4.

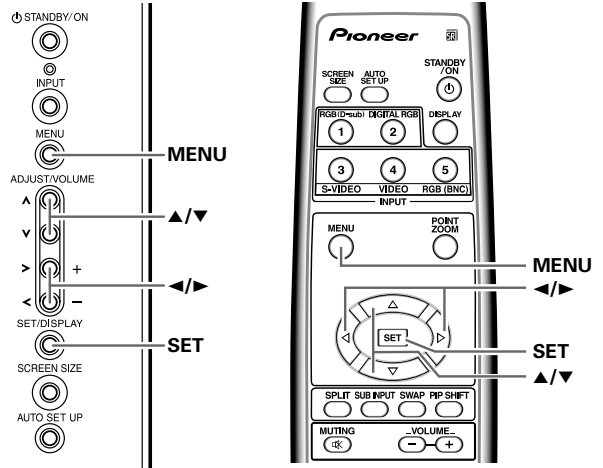
- 6 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

Note

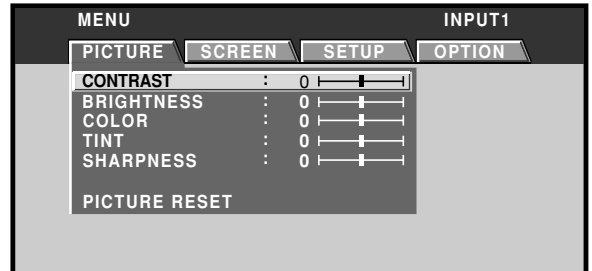
[COLOR TEMP.] settings are supported only for input signal from a video component. Make settings individually for each input (INPUT1 to INPUT5), and for each signal type. (For INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)

Reducing video noise (DNR)

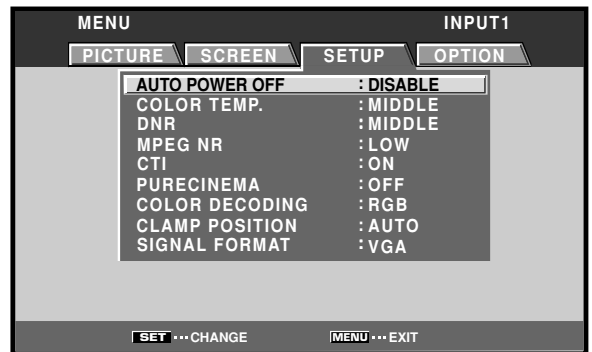
Make this setting if video noise is objectionable.



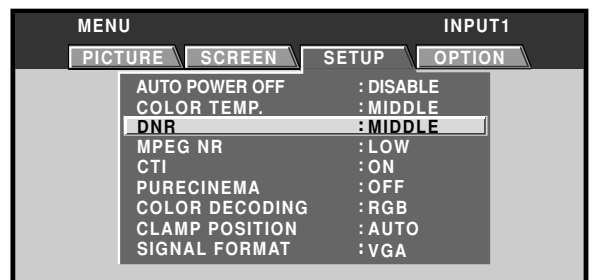
- 1 Press the MENU button to display the menu screen.



- 2 Use the ◀/▶ buttons to select [SETUP].



- 3 Use the ▲/▼ buttons to select [DNR], then press the SET button.



- 4 Use the ◀/▶ buttons to select the desired [DNR] setting.**



The factory default setting is [MIDDLE]. Each time the button is pressed, the digital noise reduction setting changes as shown:



- The noise reduction effect increases in order LOW → MIDDLE → HIGH

- 5 Press the SET button.**

The [DNR] function is set and the screen returns to that shown in step 4.

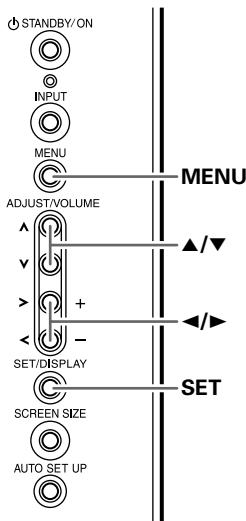
- 6 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.**

Note

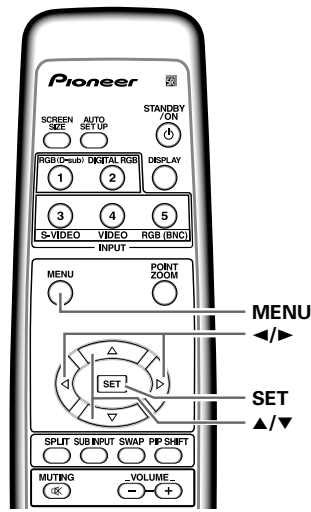
[DNR] settings are supported only for input signal from a video component. Make settings individually for each input (INPUT1 to INPUT5), and for each signal type. (For INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)

Reducing noise in MPEG images (MPEG NR)

Set this function if digital broadcasts, DVD and other MPEG images are distorted with so-called "mosquito noise".

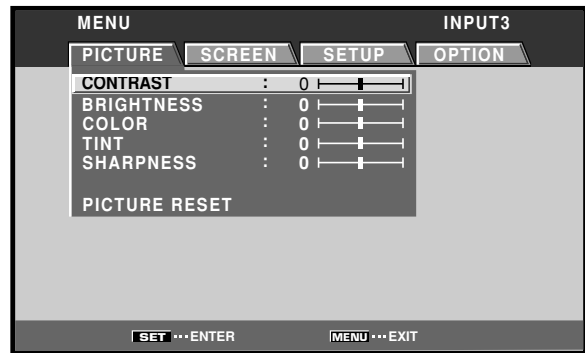


Display operating panel

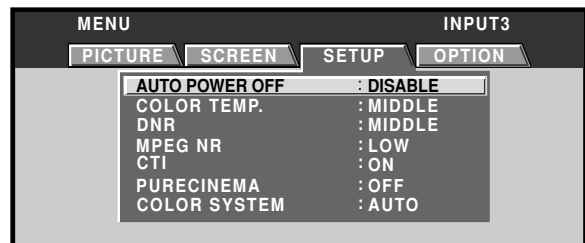


Remote control unit

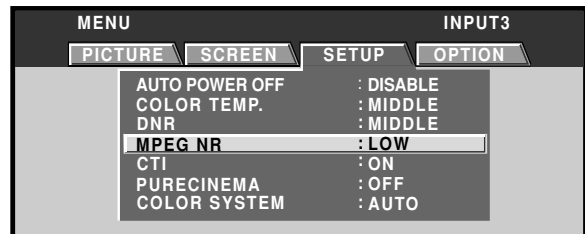
- 1 Press the MENU button to display the menu screen.**



- 2 Use the ◀/▶ buttons to select [SETUP].**



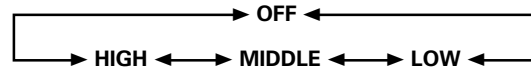
- 3 Use the ▲/▼ buttons to select [MPEG NR], then press the SET button.**



- 4 Use the ◀/▶ buttons to select the desired [MPEG NR] setting.**



The factory default setting is [LOW]. Each time the button is pressed, the noise reduction setting changes as shown:



- The noise reduction effect increases in order LOW → MIDDLE → HIGH

- 5 Press the SET button.**

The [MPEG NR] function is set and the screen returns to that shown in step 4.

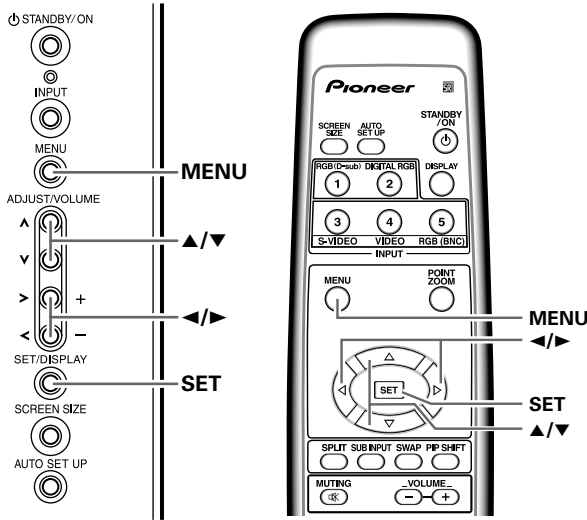
- 6 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.**

Note

[MPEG NR] settings are supported only for input signal from a video component. Make settings individually for each input (INPUT1 to INPUT5), and for each signal type. (For INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)

Increasing color border contrast (CTI)

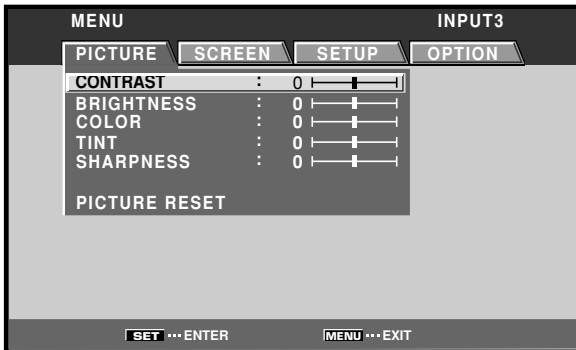
Enhance color contour contrast as desired.



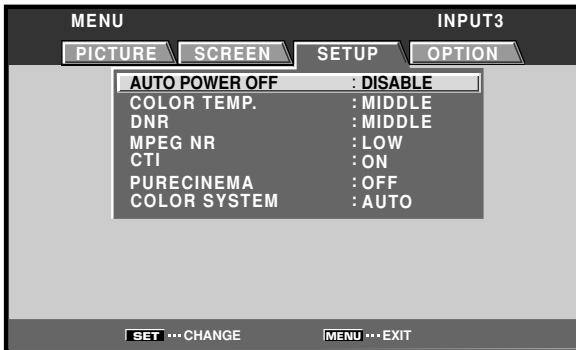
Display operating panel

Remote control unit

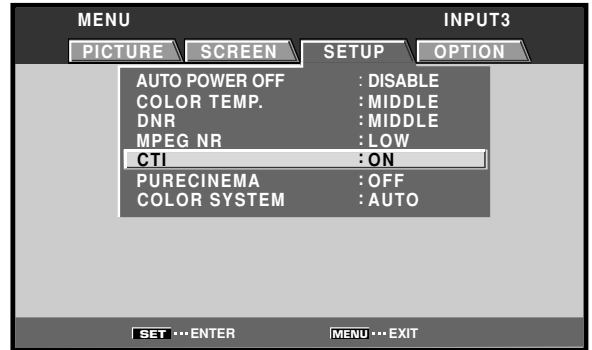
- 1 Press the MENU button to display the menu screen.



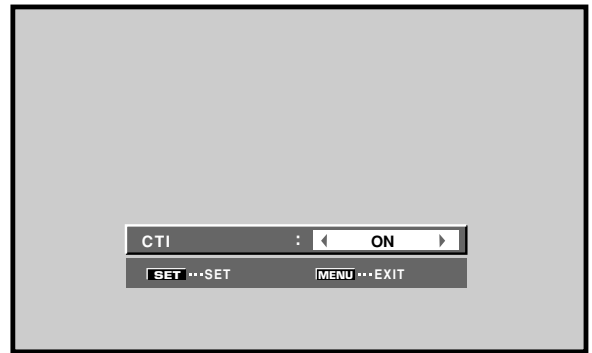
- 2 Use the </> buttons to select [SETUP].



- 3 Use the ▲/▼ buttons to select [CTI], then press the SET button.



- 4 Use the </> buttons to select the desired [CTI] setting.



The factory default setting is [ON]. Each time the button is pressed, the setting changes as shown:



- 5 Press the SET button.

The [CTI] function is set and the screen returns to that shown in step 4.

- 6 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

Note

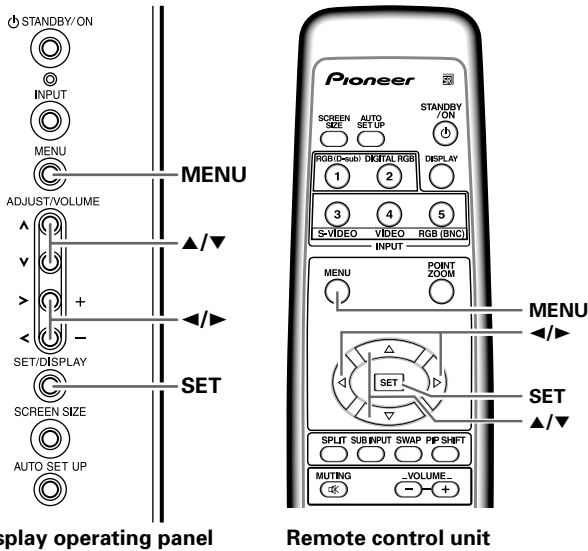
[CTI] settings are supported only for input signal from a video component. Make settings individually for each input (INPUT1 to INPUT5), and for each signal type. (For INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)

Setting the PURECINEMA mode

Allows even higher fidelity DVD playback of film recordings and other images.

Note

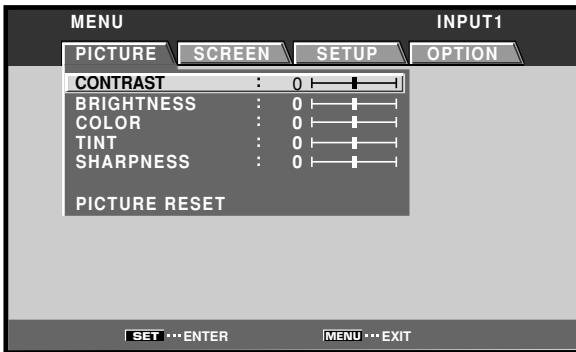
Make settings individually for each input (INPUT1 to INPUT5), and for each signal type. (For INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)



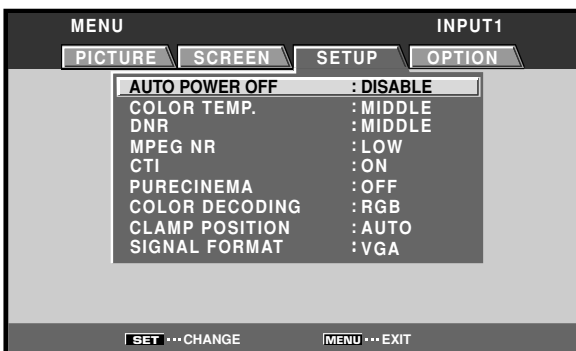
Display operating panel

Remote control unit

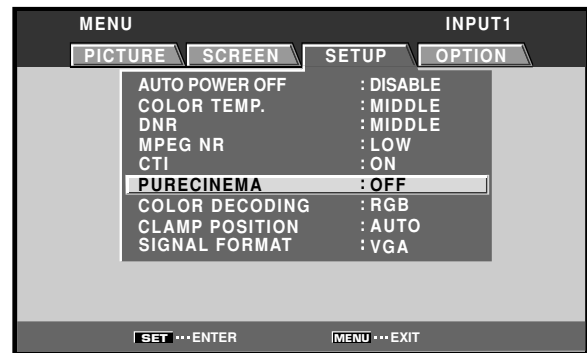
1 Press the MENU button to display the menu screen.



2 Use the left/right arrow buttons to select [SETUP].



3 Use the up/down arrow buttons to select [PURECINEMA].

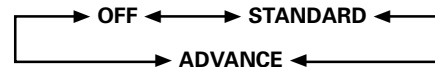


4 Use the left/right arrow buttons to select the desired [PURECINEMA] mode.



The factory default setting is [OFF].

Each time the button is pressed, the screen mode setting changes as shown:



- OFF [PURECINEMA] function is disabled.
- STANDARD When playing DVDs and Hi-Vision film images recorded at 24 frames/sec, the recorded data is automatically detected and adjustments made to allow optimum experience of the original beauty of the film image.
- ADVANCE When playing DVDs of film images recorded at 24 frames/sec, the recorded video information is automatically detected and signals are converted to 72 Hz for playback, thus recreating the fluid movement of a movie theater screen, and the sense of film's true visual quality.

Note

During the input of video signals, the modes selectable may differ depending on the type of signal input. For details, consult "Appendix 3: PURECINEMA signal compatibility table" (page 47).

5 Press the SET button.

The [PURECINEMA] function is set and the screen returns to that shown in step 4.

6 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

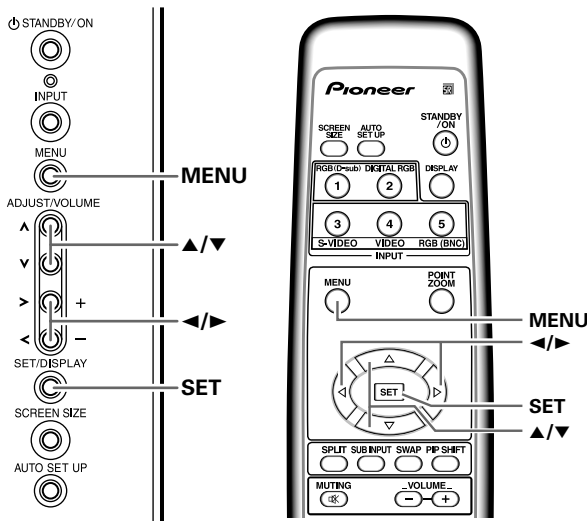
Setting the COLOR SYSTEM

INPUT3 and INPUT4 are compatible with a number of TV system formats used around the world, which are automatically detected by this unit.

Normally [COLOR SYSTEM: AUTO] should be selected for automatic detection. However, some video signals are dubbed over or in certain conditions may not be displayed properly (loss of color, etc.) by this setting. In this case, change the setting according to the input signal.

Note

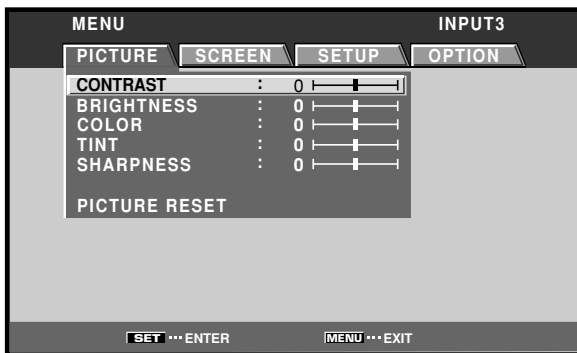
Setting the TV system format is required for each input (INPUT3 and INPUT4). Setting assignment and exclusive use according to the TV system format of your input signal will enable prompt processing of signals and reduction of time for input selection and possible errors in detecting signals.



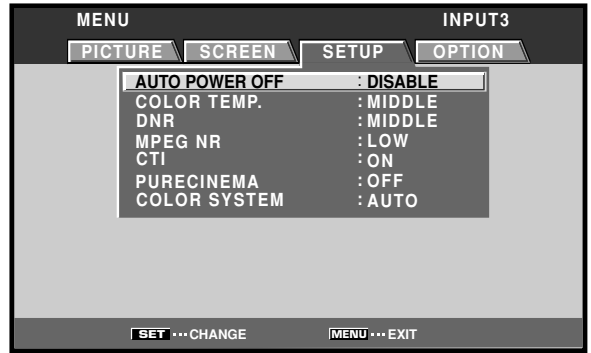
Display operating panel

Remote control unit

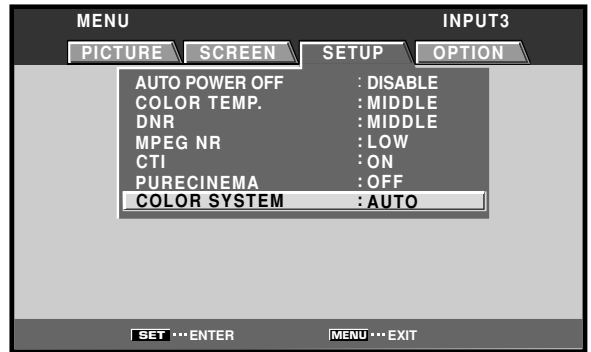
- 1 Press the MENU button to display the menu screen.



- 2 Use the </> buttons to select [SETUP].

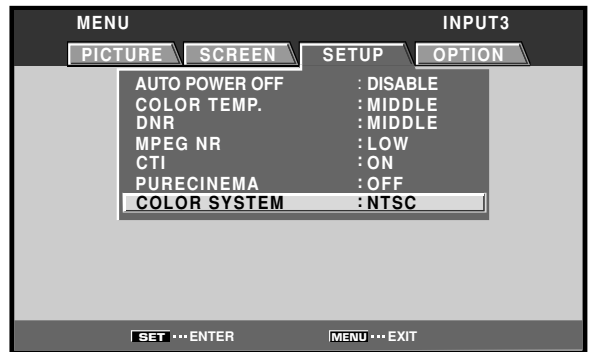
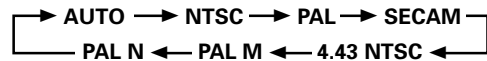


- 3 Use the ▲/▼ buttons to select [COLOR SYSTEM].



- 4 Press the SET button repeatedly until the appropriate setting appears.

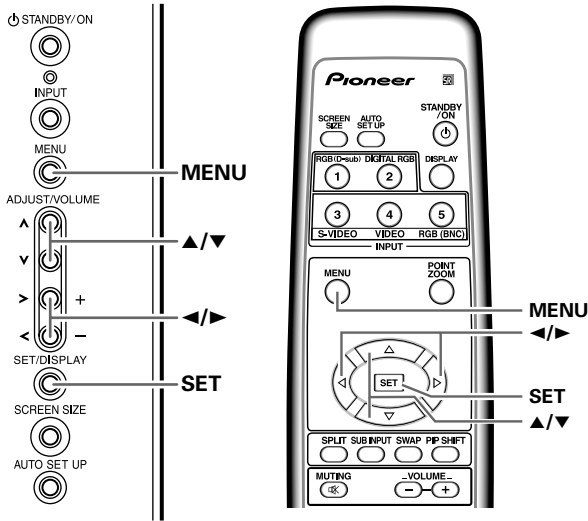
The factory default setting is [AUTO]. Each time SET button is pressed, the settings change in the following order:



- 5 When the setup is finished, press the MENU button to exit the menu screen.

Automatic input switching (AUTO FUNCTION)

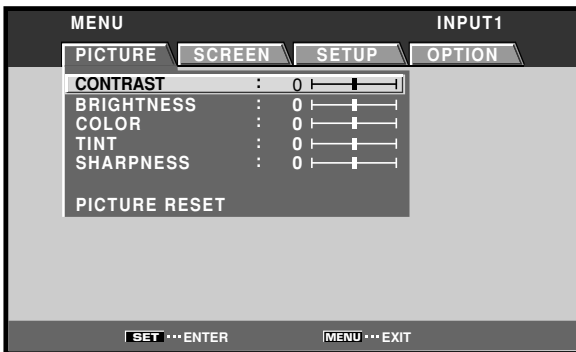
The plasma display is equipped with an [AUTO FUNCTION] detection function; when a signal is detected at the selected input, the function selector automatically switches to that input.



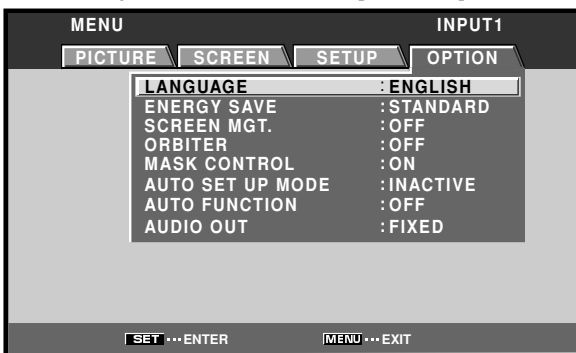
Display operating panel

Remote control unit

1 Press the MENU button to display the menu screen.



2 Use the </> buttons to select [OPTION].



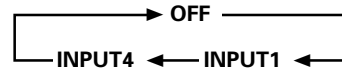
3 Use the ▲/▼ buttons to select [AUTO FUNCTION].



4 Press the SET button to select the desired [AUTO FUNCTION] setting.

The factory default setting is [OFF].

Each time the **SET** button is pressed the selector function switches alternately as shown:



- OFF [AUTO FUNCTION] is disabled.
- INPUT1 or INPUT4...
 - If a signal is detected to the selected input jack, the input function will automatically switch to the selected input.
 - Once the function has switched to the selected input by operation of the [AUTO FUNCTION] facility, if the input signal is no longer detected at the selected input jack, the function will automatically switch back to the original input source used before the [AUTO FUNCTION] facility was enabled.
 - If the input changes when the unit is in [AUTO FUNCTION] mode, pressing the INPUT button to select a different input will cause the [AUTO FUNCTION] mode to be temporarily disabled, but it can be enabled again by turning the power OFF/ ON.

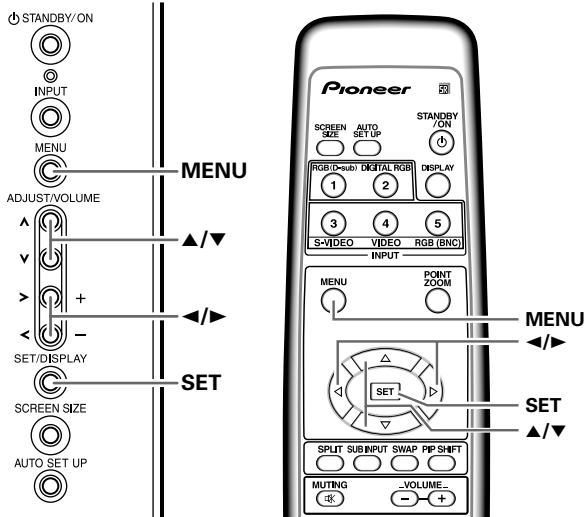
5 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

Notes

- The [AUTO FUNCTION] for [INPUT1] is supported only when a separate SYNC or Composite SYNC analog RGB signal is input ([AUTO FUNCTION] is disabled when a G ON SYNC or component video signal is input).
- The [AUTO FUNCTION] setting affects all input sources.

About audio output (AUDIO OUT) (PDP-504CMX/PDP-50MXE1/ PDP-50MXE1-S and PDP-434CMX/ PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S only)

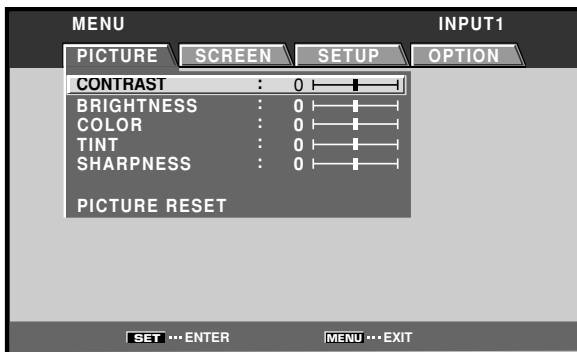
The signal level produced at the AUDIO (OUTPUT) jack can be set to [FIXED] or [VARIABLE] (linked to the VOLUME) as desired.



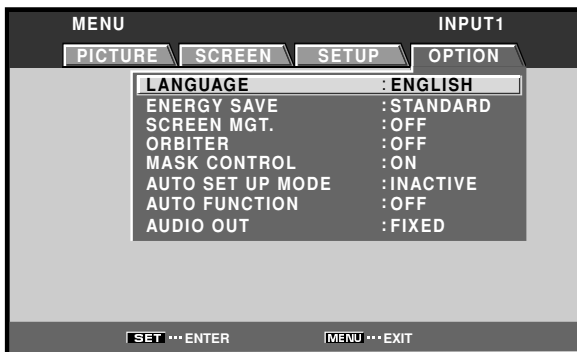
Display operating panel

Remote control unit

1 Press the MENU button to display the menu screen.



2 Use the ◀/▶ buttons to select [OPTION].



3 Use the ▲/▼ buttons to select [AUDIO OUT].



4 Press the SET button to select the desired audio level setting.

The factory default setting is [FIXED].

Each time the **SET** button is pressed, the function alternates as shown:



- **FIXED** Audio output volume remains fixed, even if the VOLUME controls are operated.
- **VARIABLE** Audio output volume changes in response to operation of VOLUME controls.

5 When finished with the setting, press the MENU button to return to the normal screen image.

Notes

- The [AUDIO OUT] setting affects all input sources.
- The volume of the sound output obtained from the AUDIO terminal of PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 is [VARIABLE].

Specifications

General

External dimensions

PDA-5003 301.5 (W) x 27.6 (H) x 148.9 (D) mm
 11-7/8 (W) x 1-1/8 (H) x 5-7/8 (D) in.

PDA-5004 301.5 (W) x 27.6 (H) x 148.3 (D) mm
 11-7/8 (W) x 1-1/8 (H) x 5-27/32 (D) in.

Weight 0.4 kg (14 oz)

Operating temperature range 0 to 40 °C (32 to 104 °F)

■ PDA-5003

Input/output

Video

INPUT3

(Input)

- S jack (Mini DIN 4 pin)
 - Y/C separate video signal
 - Y ... 1 Vp-p/75 Ω/negative sync.
 - C ... 0.286 Vp-p/75 Ω (NTSC)
 - 0.3 Vp-p/75 Ω (PAL)

INPUT4

(Input)

- BNC jack
 - Composite video signal
 - 1 Vp-p/75 Ω/negative sync.

(Output)

- BNC jack
- 75 Ω /with buffer

INPUT5

(Input)

- BNC jack (x5)
 - RGB signal (G ON SYNC compatible)
 - RGB ... 0.7 Vp-p/75 Ω/no sync.
 - HD/VS, VD ... TTL level
 - /positive and negative polarity/
 - 75 Ω or 2.2 kΩ
 - (impedance switch)
 - G ON SYNC ...
 - 1 Vp-p/75 Ω/negative sync.
 - Component video signal
 - Y... 1 Vp-p / 75 Ω negative sync.
 - P_B/C_B, P_R/C_R...
 - 0.7 Vp-p (color 100%) / 75 Ω

Audio

(Input)

- AUDIO INPUT (for INPUT3/4)
- Pin jack (x2)
- L/R ... 500mVrms/more than 10 kΩ

AUDIO INPUT (for INPUT5)

- Pin jack (x2)
- L/R ... 500mVrms/more than 10 kΩ

■ PDA-5004

Input/output

Video

INPUT3

(Input)

- S jack (Mini DIN 4 pin)
 - Y/C separate video signal
 - Y ... 1 Vp-p/75 Ω/negative sync.
 - C ... 0.286 Vp-p/75 Ω (NTSC)
 - 0.3 Vp-p/75 Ω (PAL)

INPUT4

(Input)

- RCA jack
 - Composite video signal
 - 1 Vp-p/75 Ω/negative sync.

(Output)

- RCA jack
- 75 Ω /with buffer

INPUT5

(Input)

- RCA jack
 - RGB signal (G ON SYNC compatible)
 - RGB ... 0.7 Vp-p/75 Ω/no sync.
 - G ON SYNC ...
 - 1 Vp-p/75 Ω/negative sync.
 - Component video signal
 - Y... 1 Vp-p / 75 Ω negative sync.
 - P_B/C_B, P_R/C_R...
 - 0.7 Vp-p (color 100%) / 75 Ω

Audio

(Input)

- AUDIO INPUT (for INPUT3)
- Pin jack (x2)
- L/R ... 500mVrms/more than 10 kΩ
- AUDIO INPUT (for INPUT4)
- Pin jack (x2)
- L/R ... 500mVrms/more than 10 kΩ
- AUDIO INPUT (for INPUT5)
- Pin jack (x2)
- L/R ... 500mVrms/more than 10 kΩ

Accessories

Label for remote control unit.....	1
Connector indicator label.....	1
Screws	2
Operating Instructions.....	1
Warranty.....	1

- Due to improvements, specifications and design are subject to change without notice.

Appendix 1

Video signal compatibility table (INPUT1, INPUT5)

☐ : Not available.

Refresh rate		Signal format	Screen size					Remarks
Vertical fv (Hz)	Horizontal fh (kHz)		4:3	FULL	ZOOM	CINEMA	WIDE	
50	15.625	Component	○	○	○	○	○	625i (576i)/SDTV
		RGB	○	○	○	○	○	
	28.13	Component	☐	○	☐	☐	○	1125i (1080i)/HDTV
		RGB	☐	○	☐	☐	○	
	31.25	Component	○	○	○	○	○	625p (576p)/SDTV
		RGB	○	○	○	○	○	
	37.50	Component	☐	○	☐	☐	○	750p (720p)/HDTV
		RGB	☐	○	☐	☐	○	
	56.20	Component	☐	○*2	☐	☐	☐	1125p (1080p)/HDTV
		RGB	☐	○*2	☐	☐	☐	
	62.50	Component	☐	○*2	☐	☐	☐	1250p/HDTV
		RGB	☐	○*2	☐	☐	☐	
60	15.734	Component	○	○	○	○	○	525i (480i)/SDTV
		RGB	○	○	○	○	○	
	31.5	Component	○	○	○	○	○	525p (480p)/SDTV
		RGB	○	○	○	○	○	
	33.75	Component	☐	○*1	☐	☐	○	1125i (1080i)/HDTV
		RGB	☐	○*1	☐	☐	○	
	45.0	Component	☐	○	☐	☐	○	750p (720p)/HDTV
		RGB	☐	○	☐	☐	○	
	67.5	Component	☐	○*2	☐	☐	☐	1125p (1080p)/HDTV
		RGB	☐	○*2	☐	☐	☐	

*1: Can be selected from either [FULL1080i] or [FULL1035i].

*2: Some visual distortion may occur depending on the combination of connected components.

Video signal compatibility table (INPUT2)
(PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)

☐ : Not available.

Refresh rate		Signal format	Screen size					Remarks	
Vertical fv (Hz)	Horizontal fh (kHz)		4:3	FULL	ZOOM	CINEMA	WIDE		
50	15.625	Component	○	○	○	○	○	625i (576i)/SDTV	
		RGB	○	○	○	○	○		
	28.13	Component	☐	○	☐	☐	○	1125i (1080i)/HDTV	
		RGB	☐	○	☐	☐	○		
	31.25	Component	○	○	○	○	○	625p (576p)/SDTV	
		RGB	○	○	○	○	○		
	37.50	Component	☐	○	☐	☐	○	750p (720p)/HDTV	
		RGB	☐	○	☐	☐	○		
	60	15.734	Component	○	○	○	○	○	525i (480i)/SDTV
			RGB	○	○	○	○	○	
		31.5	Component	○	○	○	○	○	525p (480p)/SDTV
			RGB	○	○	○	○	○	
33.75		Component	☐	○*1	☐	☐	○	1125i (1080i)/HDTV	
		RGB	☐	○*1	☐	☐	○		
45.0		Component	☐	○	☐	☐	○	750p (720p)/HDTV	
		RGB	☐	○	☐	☐	○		

*1: Can be selected from either [FULL1080i] or [FULL1035i].

Appendix 2

Computer signal compatibility table (when connected to PDP-505CMX/PDP-504CMX/
PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S) (INPUT1 and INPUT5)

◻ : Not available.

Resolution (Dot x Line)	Refresh rate		Screen size (Dot x line)				Remarks
	Vertical	Horizontal	DOT BY DOT	4:3	FULL	PARTIAL	
640x400	56.4Hz	24.8kHz			○ 1280x768		NEC PC-9800
720x400	70.1Hz	31.5kHz			○ 1280x768		NEC PC-9800
	85.1Hz	37.9kHz			↑		
640x480	60Hz	31.5kHz	◎ 640x480	○ 1024x768	○ 1280x768		
	66.7Hz	35.0kHz	↑	↑	↑		Apple Macintosh 13"
	72.8Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	37.5kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	43.3kHz	↑	↑	↑		
848x480	60Hz	31.0kHz	◎ 848x480		○ 1280x768		
800x600	56Hz	35.2kHz	◎ 800x600	○ 1024x768	○ 1280x768		
	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		(1072x600)
	72Hz	48.1kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	46.9kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	53.7kHz	↑	↑	↑		
832x624	74.6Hz	49.7kHz	◎ 832x624	○ 1024x768	○ 1280x768		Apple Macintosh 16"
1024x768	60Hz	48.4kHz	◎ 1024x768		○ 1280x768		(1376 x 768)
	70Hz	56.5kHz	↑		↑		
	75Hz (74.9Hz)	60.0kHz (60.2kHz)	↑		↑		() indicates Apple Macintosh 19"
	85Hz	68.7kHz	↑		↑		
1280x720	60Hz	44.7kHz	◎ 1280x720		○ 1280x768		
1280x768	56Hz	45.1kHz	◎ 1280x768				
	60Hz	47.8kHz	↑				
	70Hz	56.1kHz	↑				
1152x864	60Hz	53.7kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	72Hz	64.9kHz		↑	↑		
	75Hz	67.5kHz		↑	↑		
1152x870	75.1Hz	68.5kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		Apple Macintosh 21"
1152x900	66Hz	61.8kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		Sun Microsystems LO
	76Hz	71.7kHz		↑	↑		Sun Microsystems HI
1280x960	60Hz	60.0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x1024	60Hz	64.0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768	◎ 1280x768	
	75Hz	80.0kHz		↑	↑	↑	(1600x1024)
	85Hz	91.2kHz		↑	↑	↑	
1400x1050	60Hz	65.3kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	75Hz	82.3kHz		↑	↑		
	85Hz	93.9kHz		↑	↑		
1600x1200	60Hz	75.0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	65Hz	81.3kHz		↑	↑		
	70Hz	87.5kHz		↑	↑		
	75Hz	93.8kHz		↑	↑		
	85Hz	106.3kHz		↑	↑		

[Meaning of symbols] ◎ : Optimal picture. Adjustment of picture position, refresh rate, phase etc., may be necessary.

○ : Picture will be enlarged but some fine detail will be hard to see.

△ : Simple reproduction. Fine detail will not be reproduced.

Additional Information

Computer signal compatibility table (when connected to PDP-43CMX/
PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S) (INPUT1 and INPUT5)

□ : Not available.

Resolution (Dot x Line)	Refresh rate		Screen size (Dot x line)				Remarks
	Vertical	Horizontal	DOT BY DOT	4:3	FULL	ZOOM	
640x400	56.4Hz	24.8kHz			○ 1024x768		NEC PC-9800
720x400	70.1Hz	31.5kHz			○ 1024x768		NEC PC-9800
	85.1Hz	37.9kHz			↑		
640x480	60Hz	31.5kHz	◎ 640x480	○ 768x768	○ 1024x768		
	66.7Hz	35.0kHz	↑	↑	↑		Apple Macintosh 13"
	72.8Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	37.5kHz	↑	↑	↑		
848x480	60Hz	31.0kHz	◎ 848x480		○ 1024x768		
800x600	56Hz	35.2kHz	◎ 800x600	△ 768x768	○ 1024x768		
	60Hz	37.9kHz	↑	↑	↑		(1072x600)
	72Hz	48.1kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	46.9kHz	↑	↑	↑		
832x624	74.6Hz	49.7kHz	◎ 832x624	△ 768x768	○ 1024x768		Apple Macintosh 16"
1024x768	60Hz	48.4kHz	◎ 1024x768	△ 768x768			(1376 x 768)
	70Hz	56.5kHz	↑	↑			
	75Hz (74.9Hz)	60.0kHz (60.2kHz)	↑	↑			() indicates Apple Macintosh 19"
	85Hz	68.7kHz	↑	↑			
1280x720	60Hz	44.7kHz			△ 1024x768		
1280x768	56Hz	45.1kHz			△ 1024x768		
	60Hz	47.8kHz			↑		
	70Hz	56.1kHz			↑		
1152x864	60Hz	53.7kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	72Hz	64.9kHz		↑	↑		
	75Hz	67.5kHz		↑	↑		
1152x870	75.1Hz	68.7kHz		△ 768x768	△ 1024x768		Apple Macintosh 21"
1152x900	66Hz	61.8kHz		△ 768x768	△ 1024x768		Sun Microsystems LO
	76Hz	71.7kHz		↑	↑		Sun Microsystems HI
1280x960	60Hz	60.0kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
1280x1024	60Hz	64.0kHz		△ 768x768	△ 1024x768	△ 1024x768	
	75Hz	80.0kHz		↑	↑	↑	(1600x1024)
	85Hz	91.2kHz		↑	↑	↑	
1400x1050	60Hz	65.3kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	75Hz	82.3kHz		↑	↑		
	85Hz	93.9kHz		↑	↑		
1600x1200	60Hz	75.0kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	65Hz	81.3kHz		↑	↑		
	70Hz	87.5kHz		↑	↑		
	75Hz	93.8kHz		↑	↑		
	85Hz	106.3kHz		↑	↑		

[Meaning of symbols] ◎ : Optimal picture. Adjustment of picture position, refresh rate, phase etc., may be necessary.


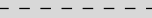

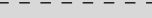



























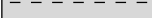
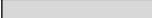

○ : Picture will be enlarged but some fine detail will be hard to see.

△ : Simple reproduction. Fine detail will not be reproduced.

Appendix 3




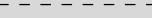





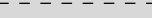






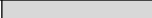
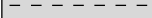
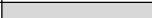
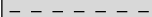
PURECINEMA signal compatibility table (INPUT1, INPUT5)

 : Not available.

Refresh rate		Signal format	PURECINEMA			Remarks
Vertical fv (Hz)	Horizontal fh (kHz)		OFF	STANDARD	ADVANCE	
50	15.625	Component	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		625i (575i)/SDTV
		RGB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	28.13	Component	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		1125i (1080i)/HDTV
		RGB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	31.25	Component				625p (575p)/SDTV
		RGB				
37.50	Component				750p (720p)/HDTV	
	RGB					
56.25	Component				1125p (1080p)/HDTV	
	RGB					
62.50	Component				1250p/HDTV	
	RGB					
60	15.734	Component	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
		RGB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	31.5	Component	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	525p (480p)/SDTV
		RGB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	33.75	Component	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV 1125i (1035i)/HDTV
RGB		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
45.0	Component	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV	
	RGB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
67.5	Component	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	1125p (1080p)/HDTV	
	RGB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		


PURECINEMA signal compatibility table (INPUT2)
(PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 only)

 : Not available.

Refresh rate		Signal format	PURECINEMA			Remarks
Vertical fv (Hz)	Horizontal fh (kHz)		OFF	STANDARD	ADVANCE	
50	15.625	Component	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		625i (575i)/SDTV
		RGB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	28.13	Component	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		1125i (1080i)/HDTV
		RGB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
31.25	Component				625p (575p)/SDTV	
	RGB					
37.50	Component				750p (720p)/HDTV	
	RGB					
60	15.734	Component	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
		RGB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	31.5	Component	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	525p (480p)/SDTV
		RGB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
33.75	Component	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV 1125i (1035i)/HDTV	
	RGB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
45.0	Component	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV	
	RGB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		

Additional Information

PURECINEMA signal compatibility table (INPUT3, INPUT4)

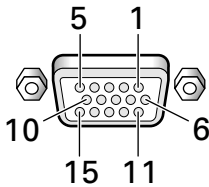
 : Not available.

Refresh rate		Signal format	PURECINEMA			Remarks
Vertical fv (Hz)	Horizontal fh (kHz)		OFF	STANDARD	ADVANCE	
50	15.625	Composite	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	625i (575i)/SDTV
		S Video	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
60	15.734	Composite	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
		S Video	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

English

Appendix 4

INPUT1 (Mini D-sub 15 pin female connector) pin allocation.



Pin No.	Input	Output
1	R	←
2	G	←
3	B	←
4	NC (No connection)	←
5	GND	←
6	GND	←
7	GND	←
8	GND	←
9	DDC + 5V	NC (No connection)
10	GND	←
11	NC (No connection)	←
12	DDC SDA	NC (No connection)
13	HD or H/V SYNC	←
14	VD	←
15	DDC SCL	NC (No connection)

Additional Information

Explanation of Terms

Aspect ratio

The TV screen's width to height ratio is referred to as its aspect ratio. The aspect ratio on standard TVs is 4:3 and on wide TVs or High Definition TVs it is 16:9.

S jack (S VIDEO jack)

This jack separates and transmits the video signal as two signals; the luminance (Y) signal and the color(C) signal. Because of this, picture reproduction is superior to that obtained at the composite input/output jacks.

S-video signal

The video signal is composed of two signals; the chroma signal (color signal) which reproduces color and the luminance signal which reproduces light and darkness. With standard video components, these two signals are combined into one and are handled as a video signal referred to as the "composite signal". The S-video signal, however, is a signal that handles these two signals separately. Because they are not combined as in the composite video signal, the high quality of both signals can be retained.

Component video signal

General term for video signal format composed of the Y.CbCr, Y.PbPr and Y.B-Y.R-Y luminance signal + color signal.

The component video signal is sometimes simply called the "color difference signal".

G ON SYNC

This indicates a video signal in the form of a synchronization signal added to the G (GREEN) signal of the R.G.B signal.

VGA

General term for "Video Graphics Array".

Generally this indicates a 640 dot x 480 line resolution.

WVGA

General term for "Wide Video Graphics Array".

Generally this indicates a 848 dot x 480 line resolution.

XGA

General term for "eXtended Graphics Array".

Generally this indicates a 1024 dot x 768 line resolution.

WXGA

General term for "Wide eXtended Graphics Array".

Generally this indicates a 1280 dot x 768 line resolution.

SXGA

General term for "Super eXtended Graphics Array".

Generally this indicates a 1280 dot x 1024 line resolution.

SXGA+

General term for "Super eXtended Graphics Array plus".

Generally this indicates a 1400 dot x 1050 line resolution.

DVI

General term for "Digital Visual Interface". An interface standard proposed by the Digital Display Working Group (DDWG) for digital displays.

HDCP

General term for "High-bandwidth Digital Content Protection". HDCP is an encryption scheme for digital video signals created by Intel in order to protect contents. Signals output by HDCP-compliant DVI output connectors installed on consumer AV components (DVD players, etc.) are encrypted using HDCP in order to protect copyrighted contents.

This component uses NEC's Font Avenue as its screen display font.

Font Avenue is a registered trademark of NEC.

Power Management is a registered trademark of Sun Microsystems Inc.

TMDS is a registered trademark of Silicon Image Inc.

Apple and Macintosh are registered trademarks of Apple Computer, Inc.

Microsoft is a registered trademark of Microsoft Corporation.

VGA and XGA are registered trademarks of International Business Machines Co., Inc.

VESA and DDC are registered trademarks of Video Electronics Standards Association.

Précautions de sécurité

IMPORTANT



Ce symbole de l'éclair, placé dans un triangle équilatéral, a pour but d'attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence, à l'intérieur du coffret de l'appareil, de "tensions dangereuses" non isolées d'une grandeur suffisante pour représenter un risque d'électrocution pour les êtres humains.

ATTENTION

**DANGER D'ÉLECTROCUTION
NE PAS OUVRIR**

ATTENTION:
POUR ÉVITER TOUT RISQUE D'ÉLECTROCUTION, NE PAS ENLEVER LE COUVERCLE (NI LE PANNEAU ARRIÈRE). AUCUNE PIÈCE RÉPARABLE PAR L'UTILISATEUR NE SE TROUVE À L'INTÉRIEUR. CONFIER TOUT ENTRETIEN À UN PERSONNEL QUALIFIÉ UNIQUEMENT.



Ce point d'exclamation, placé dans un triangle équilatéral, a pour but d'attirer l'attention de l'utilisateur sur la présence, dans les documents qui accompagnent l'appareil, d'explications importantes du point de vue de l'exploitation ou de l'entretien.

D3-4-2-1-1_Fr

Nous vous remercions vivement d'avoir fait l'acquisition de ce produit PIONEER.

Avant d'utiliser cet appareil veuillez lire attentivement les "Précautions de sécurité" ainsi que le présent "Mode d'emploi" de manière à utiliser l'écran à plasma correctement.

Conservez ce manuel dans un endroit sûr. Il vous sera sûrement utile dans le mois ou les années qui suivent.

ATTENTION: Cet appareil n'est pas imperméable, afin de prévenir tout risque de choc électrique ou de début d'incendie, ne pas exposer cet appareil à l'humidité ou à la pluie et ne placer auprès de lui aucune source d'eau, tels que vases, pots de fleur, cosmétiques, flacons de médicaments, etc. D3-4-2-1-3_Fr

Ce produit est conforme aux directives relatives à la compatibilité électromagnétique (89/336/CEE, amendements 92/31/CEE et 93/68/CEE). D3-4-2-1-9b_Fr

Pour garantir un rayonnement thermique adéquat, placer l'unité à une certaine distance des autres équipements, murs, etc. (normalement à une distance supérieure à 10 cm). Éviter les modes d'installation décrits ciaprès qui entraînent l'obstruction des orifices et provoquent une accumulation de chaleur interne, d'où un risque d'incendie.

- Ne pas essayer de placer l'unité dans des espaces réduits et mal ventilés
- Si une installation spéciale est envisagée, comme un montage à proximité immédiate du mur, un placement horizontal, consulter d'abord le revendeur Pioneer de votre région.

Remarques sur l'installation:

Ce produit est vendu en assumant qu'il sera installé par un personnel suffisamment expérimenté et qualifié. Faites toujours réaliser le montage et l'installation par un spécialiste ou par votre revendeur.

PIONEER ne peut être tenu responsable pour tout dommage causé par une erreur d'installation ou de montage, une mauvaise utilisation ou un désastre naturel.

Remarque pour le revendeur:

Après l'installation, assurez-vous de remettre ce mode d'emploi à l'utilisateur et de lui expliquer comment utiliser ce produit.

Les symboles qui suivent se trouvent sur les étiquettes apposées sur le produit. Ils alertent les utilisateurs de ce matériel ainsi que le personnel du service après-vente sur toutes les situations qui présentent un danger potentiel.

DANGER

Ce symbole concerne un risque ou une pratique dangereuse qui peut entraîner des blessures graves ou la mort.

ATTENTION

Ce symbole concerne un risque ou une pratique dangereuse qui peut entraîner des blessures ou des dégâts matériels.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La PDA-5003/PDA-5004 est une carte vidéo, destinée à une utilisation exclusive avec l'écran à plasma Pioneer PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (ou PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S). Cet écran à plasma est conçu essentiellement comme moniteur d'ordinateur, mais par installation de la carte vidéo PDA-5003/PDA-5004, les fonctions supplémentaires ci-dessous sont disponibles:

1. Utilisation possible de prises d'entrée additionnelles (INPUT3, 4, 5), prenant en compte les signaux S-Vidéo, vidéo composite, vidéo à composant et RVB analogiques.
2. Raccordement possible à un large éventail d'équipements vidéo en option.

Précautions de sécurité	i
Avant de commencer	2
Vérification des accessoires fournis	2
Comment utiliser ce mode d'emploi	2
Les différents organes et leurs rôles	4
Panneau de raccordement	4
Installation et raccordements	6
Installation de la carte vidéo	6
Prises d'entrée sur l'écran à plasma avec carte vidéo	7
Raccordements de INPUT1 et INPUT5	7
Raccordements de INPUT1 ou INPUT5	8
Raccordement de INPUT2	13
Raccordement de INPUT3	13
Raccordement de INPUT4	13
Raccordement au boîtier DTV	14
Raccordements audio	15
Comment faire cheminer les câbles	17
Paramétrages du système	18
Réglage de la langue d'affichage sur écran	18
Paramétrages après raccordement	19
Fonctionnement	22
Choix de la source d'entrée	22
Réglage du volume sonore	23
Coupure des sons	23
Vérification de l'état actuel	23
Changement de la taille de l'écran	24
Agrandissement partiel de l'image (POINT ZOOM)	25
Affichage multi-écran	26
Mise hors tension automatique (GESTION D'ALIM.)	27
Réglages de l'IMAGE et de l'ÉCRAN ...	28
Réglage de l'IMAGE	28
Réglage de la POSITION de l'écran, de l'HORLOGE et de la PHASE <Réglage automatique>	29
Réglage de la POSITION de l'écran, de l'HORLOGE et de la PHASE <Réglage manuel>	30
Autres démarches	32
Réglage de l'orbiteur (ORBITER)	32
Position de masque latéral (CONTRÔLE MASQUE)	32
Réglages de gestion d'écran (GESTION ÉCRAN)	33
Réglages d'économie d'énergie (ÉCONOM. D'ÉNERGIE)	34
Changement de la température de couleur (TEMP. COULEUR)	35
Réduction du bruit vidéo (DNR)	36
Réduction du bruit sur les images MPEG (MPEG NR)	37
Augmentation du contraste du bord de couleur (CTI)	38
Réglage du mode PURECINEMA	39
Réglage du système couleur (SYSTÈME COULEUR)	40
Commutation d'entrée automatique (MODE AUTO)	41
A propos de la sortie audio (SORTIE AUDIO) (PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S et le PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S seulement)	42
Informations complémentaires	43
Caractéristiques techniques	43
Supplément 1	44
Supplément 2	45
Supplément 3	47
Supplément 4	48
Glossaire	49

Vérification des accessoires fournis

Assurez-vous que les accessoires suivants font partie de la fourniture.

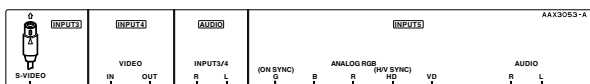
① **Étiquette pour télécommande PDA-5003**

S-VIDEO VIDEO RGB (BNC)

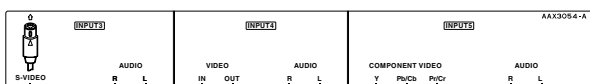
PDA-5004

S-VIDEO VIDEO COMPONENT

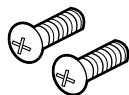
② **Étiquette d'identification de connecteur PDA-5003**



PDA-5004



③ **Vis (x 2)**
(Vis accessoires pour l'installation de la carte vidéo)



● **Le présent mode d'emploi**

Comment utiliser ce mode d'emploi

Ce mode d'emploi a été rédigé de manière à faciliter les démarches de la mise en œuvre et de l'exploitation lorsque la carte vidéo PDA-5003/PDA-5004 est installée dans l'écran à plasma.

Retirez la carte vidéo de son emballage et assurez-vous que tous les accessoires sont présents. Pour l'installation et la mise en œuvre de la carte vidéo, consultez la section "Les différents organes et leurs rôles" à la page 4 de ce manuel et du mode d'emploi de l'écran à plasma, de manière à vous familiariser avec les organes et les dispositifs respectifs.

Comme cette brochure fait souvent référence aux boutons de l'écran à plasma, utilisez aussi le mode d'emploi de ce dernier pour vous habituer aux commandes de l'écran à plasma proprement dit et de sa télécommande.

La section "Installation et raccordements" qui débute à la page 6 regroupe toutes les informations nécessaires pour l'installation de la carte vidéo sur l'écran à plasma, ainsi que les instructions relatives aux raccordements à divers autres composants.

La section "Paramètres du système" qui débute à la page 18 traite des réglages sur écran, nécessaires pour que l'écran à plasma fonctionne correctement avec les autres composants raccordés. En fonction des raccordements réalisés, il peut être utile de lire cette section.

Les autres sections de ce mode d'emploi abordent des opérations de base telle le choix d'une source et des opérations plus détaillées telles que l'affichage d'image correspondant aux appareils utilisés et aux goûts personnels.

À propos des affichages de menu

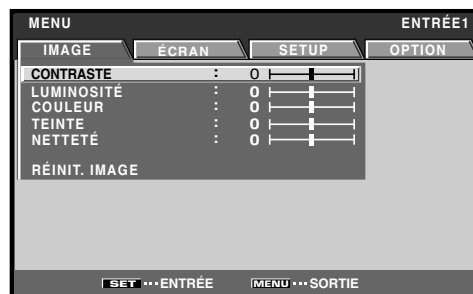
Les affichages de menu, présentés à titre d'exemples dans ce manuel, concernent le modèle PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP50MXE1-S. L'affichage du PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S diffère comme suit : Notez que le contenu affiché réel est le même pour le PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S et le PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S.

Certains affichages de menu sont différents entre le PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 et le PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S.

Exemple d'affichage de menu du PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S :



Exemple d'affichage de menu du PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S :



Description des modes opératoires

Chaque opération est décrite en suivant son ordre particulier. Les instructions de fonctionnement font référence aux commandes, présentes sur la télécommande, à l'exception des touches qui ne se trouvent que sur l'écran à plasma proprement dit. Lorsque des commandes équivalentes se trouvent à la fois sur l'écran à plasma et sur la télécommande, celles de l'appareil principal peuvent être utilisées également.

Les illustrations suivantes sont un exemple des démarches réelles utilisées pour la section "Réglage de l'IMAGE". Les exemples sont fournis pour vous permettre de vérifier si les démarches se déroulent correctement ou non.

Remarque

Les images d'écran illustrées dans ce manuel ne sont présentées qu'à titre d'exemple. En pratique, certaines différences apparaîtront en fonction de la rubrique affichée et de son contenu, selon la source d'entrée et d'autres paramétrages particuliers.

Réglages de l'IMAGE et de l'ÉCRAN

Réglage de l'IMAGE

Panneau de commande de l'écran à plasma **Télécommande**

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.

2 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir le paramètre à régler puis appuyez sur la touche SET.

3 Réglez la qualité de l'image à l'aide des touches ◀/▶.

4 Appuyez sur la touche SET.
En appuyant sur la touche SET, vous mettez en mémoire la valeur choisie et retournez à la page de l'opération 2.

5 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Remarque
Effectuez ces réglages pour chaque entrée (INPUT1 à INPUT5) et chaque signal.

Paramètres qui peuvent être réglés [IMAGE]
Voici de brèves explications sur les paramètres qui peuvent être réglés grâce à l'option [IMAGE].

CONTRASTE Réglez le contraste en fonction de l'éclairage ambiant de manière que l'image soit bien visible.

LUMINOSITÉ Réglez la luminosité de manière que les parties sombres de l'image soient bien visibles.

COULEUR Réglez les couleurs pour obtenir une certaine profondeur. (Une certaine profondeur procure une sensation de naturel.)

TEINTE Réglez la teinte pour que les couleurs de la peau paraissent naturelles.

NETTETÉ En principe, choisissez la valeur centrale. Pour obtenir une image douce, choisissez une valeur à gauche; pour obtenir une image nette, choisissez une valeur à droite.

Remarque
Consultez le Mode d'emploi de votre écran à plasma à propos du réglage de l'option [IMAGE] lors de l'entrée de signaux d'ordinateur.

Pour rétablir les valeurs par défaut des paramètres de l'option [IMAGE]
Si les réglages effectués ne vous conviennent pas, il peut être souhaitable de rétablir les valeurs par défaut des différents paramètres de l'option [IMAGE] plutôt que de continuer à modifier les réglages.

1 Au cours de l'opération 2 ci-dessus, utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option [REINIT. IMAGE] puis appuyez sur la touche SET.

2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir la valeur [OUI] puis appuyez sur la touche SET.
Les valeurs par défaut des paramètres de l'option [IMAGE] sont rétablies.

Français

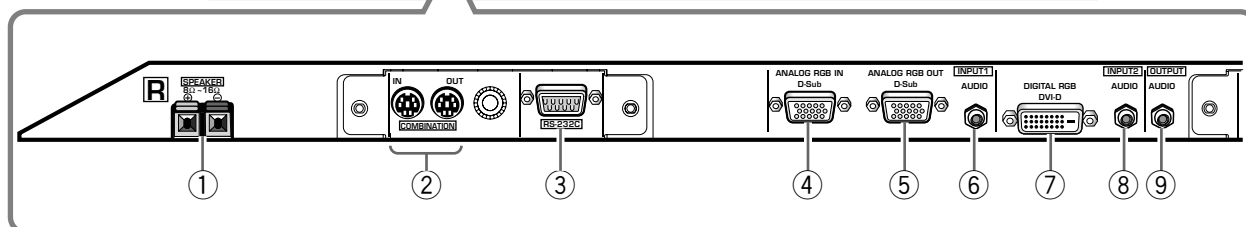
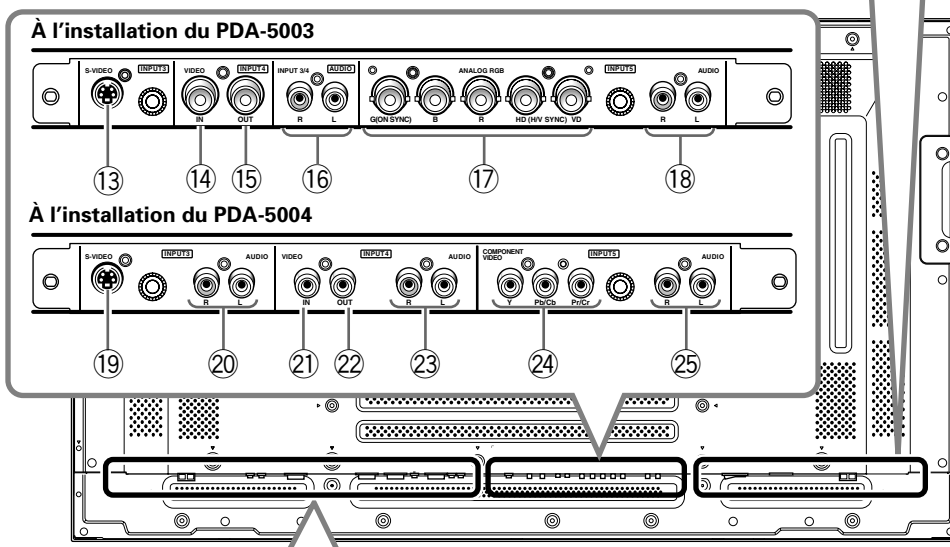
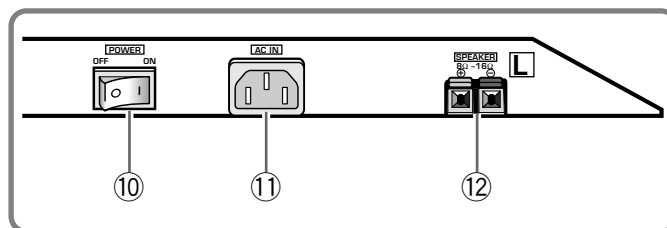
Réglages de l'IMAGE et de l'ÉCRAN

Avant de commencer

Les différents organes et leurs rôles

Panneau de raccordement

Cette illustration présente le modèle PDP-505CMX/
PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-
50MXE1/PDP-50MXE1-S.



Section Écran à plasma

L'écran à plasma est pourvu de deux connecteurs d'entrée vidéo, d'un connecteur de sortie vidéo, de jacks d'entrée/sortie audio et de bornes de haut-parleurs. Lorsque cette carte vidéo est installée dans l'écran à plasma, vous disposez de trois jeux de prises d'entrée vidéo supplémentaires (soit 5 en tout) et d'une prise de sortie vidéo supplémentaire (soit 2 en tout). Consultez les pages indiquées entre parenthèses ou le Mode d'emploi de l'écran à plasma pour de plus amples détails sur le branchement des diverses prises et connecteurs.

- ① **Borne SPEAKER (R)**
Pour le raccordement à l'enceinte droite. Cette enceinte doit présenter une impédance comprise entre 8 et 16 Ohms.
- ② **COMBINATION IN/OUT**
Ne branchez jamais un composant sur ces prises sans consulter au préalable le technicien d'installation Pioneer.
Ces prises sont utilisées pour les réglages de configuration de l'écran à plasma.
- ③ **RS-232C**
Ne branchez jamais un composant sur cette prise sans consulter au préalable le technicien d'installation Pioneer.
Cette prise est utilisée pour les réglages de configuration de l'écran à plasma.

- ④ **ANALOG RGB IN (INPUT1) (mini-prise D-sub à 15 broches)**
Pour le branchement d'appareils, munis de prises de sortie RVB, tels qu'un ordinateur personnel ou un décodeur RVB externe, ou pour le branchement d'équipements, munis de prises de sortie à composant, tels qu'un enregistreur DVD. Choisissez la prise en fonction de la nature du signal fourni par l'appareil connecté (pages 7 à 10).
- ⑤ **ANALOG RGB OUT (INPUT1) (mini-prise D-sub à 15 broches)**
Utilisez la prise ANALOG RGB OUT (INPUT1) pour appliquer le signal vidéo sur un moniteur extérieur ou un autre appareil.
Remarque: Le signal vidéo n'est pas présent sur la prise ANALOG RGB OUT (INPUT1) lorsque l'écran à plasma est hors tension ou en veille (page 10).
- ⑥ **AUDIO (INPUT1) (Mini-prise stéréo)**
Utilisez cette prise pour obtenir des sons, lorsque INPUT1 est sélectionné. Raccordez cette prise au connecteur de sortie audio du dispositif, raccordé sur INPUT1 de l'écran à plasma (page 15).
- ⑦ **DIGITAL RGB (INPUT2) (prise DVI-D)**
Utilisez pour le branchement d'un ordinateur. Avec le PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11, la borne peut aussi être utilisée pour raccorder un composant audiovisuel (conforme à HDCP), doté d'une sortie DVI.

Remarque : Le PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S et le PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S ne prennent pas en compte l'affichage d'un composant HDCP ou d'autres signaux vidéo protégés contre la copie (page 13).

⑧ AUDIO (INPUT2) (Mini-prise stéréo)

Utilisez cette prise pour obtenir des sons, lorsque INPUT2 est sélectionné.

Raccordez cette prise au connecteur de sortie audio du dispositif, raccordé sur INPUT2 de l'écran à plasma (page 15).

⑨ AUDIO (OUTPUT) (Mini-prise stéréo)

Utilisez cette sortie pour appliquer à un amplificateur audiovisuel ou un appareil similaire, les sons provenant de l'appareil source qui est relié à cet écran à plasma.

Remarque : Aucun son n'est produit au niveau de la prise AUDIO (OUTPUT) lorsque l'interrupteur MAIN POWER est réglé sur OFF (hors tension) ou ON (veille) (page 15).

⑩ Interrupteur MAIN POWER

Utilisez cet interrupteur pour mettre l'écran à plasma sous tension ou hors tension.

⑪ AC IN

Un cordon d'alimentation est fourni avec l'écran à plasma. Branchez une de ses extrémités sur ce connecteur (AC IN) et l'autre extrémité sur une prise secteur ordinaire.

⑫ Borne SPEAKER (L)

Pour le raccordement à l'enceinte gauche. Cette enceinte doit présenter une impédance comprise entre 8 et 16 Ohms.

Section Carte vidéo <PDA-5003>

La carte vidéo est pourvue de 3 connecteurs d'entrée vidéo, d'un connecteur de sortie vidéo et de 2 connecteurs d'entrée audio. Reportez-vous aux pages indiquées entre parenthèses où vous trouverez des détails sur les raccordements des divers connecteurs et prises.

⑬ S-VIDEO (INPUT3) (prise S-vidéo)

Pour le branchement de composants, munis d'une prise de sortie S-vidéo, telle qu'une platine vidéo, une caméra vidéo, un lecteur de disque laser ou un enregistreur DVD (page 13).

⑭ VIDEO IN (INPUT4) (prise BNC)

Pour le branchement de composants, munis d'une prise de sortie vidéo composite, telle qu'une platine vidéo, une caméra vidéo, un lecteur de disque laser ou un enregistreur DVD (page 13).

⑮ VIDEO OUT (INPUT4) (prise BNC)

Utilisez la prise VIDEO OUT (INPUT4) pour fournir le signal vidéo à un moniteur externe ou un autre composant.

Remarque: Le signal vidéo ne sera pas disponible au niveau de la prise VIDEO OUT (INPUT4) si l'alimentation de cet écran est coupée ou en mode de veille (page 13).

⑯ AUDIO R/L (INPUT3/4) (prises à broches RCA)

Utilisez pour obtenir les sons quand INPUT3 ou INPUT4 est sélectionné.
Raccordez ces prises aux connecteurs de sortie audio des composants raccordés à INPUT3 ou INPUT4 de la carte vidéo (page 16).

⑰ ANALOG RGB (INPUT5) (prises BNC)

Pour le branchement d'appareils, munis de prises de sortie RVB, tels qu'un ordinateur personnel ou un décodeur RVB externe, ou pour le branchement d'équipements, munis de prises de sortie à composant, tels qu'un enregistreur DVD. Choisissez la prise en fonction de la nature du signal fourni par l'appareil connecté (pages 7 à 10).

⑱ AUDIO R/L (INPUT5) (prises à broches RCA)

Utilisez pour obtenir les sons quand INPUT5 est sélectionné.

Raccordez ces prises aux connecteurs de sortie audio des composants raccordés à INPUT5 de la carte vidéo (page 15).

Section Carte vidéo <PDA-5004>

La carte vidéo est pourvue de 3 connecteurs d'entrée vidéo, d'un connecteur de sortie vidéo et de 3 connecteurs d'entrée audio. Reportez-vous aux pages indiquées entre parenthèses où vous trouverez des détails sur les raccordements des divers connecteurs et prises.

⑲ S-VIDEO (INPUT3) (prise S-vidéo)

Pour le branchement de composants, munis d'une prise de sortie S-vidéo, telle qu'une platine vidéo, une caméra vidéo, un lecteur de disque laser ou un enregistreur DVD (page 11).

⑳ AUDIO R/L (INPUT3) (prises à broches RCA)

Utilisez pour obtenir les sons quand INPUT3 est sélectionné.

Raccordez ces prises aux connecteurs de sortie audio des composants raccordés à INPUT3 de la carte vidéo (page 16).

㉑ VIDEO IN (INPUT4) (prise à broches RCA)

Pour le branchement de composants, munis d'une prise de sortie vidéo composite, telle qu'une platine vidéo, une caméra vidéo, un lecteur de disque laser ou un enregistreur DVD (page 13).

㉒ VIDEO OUT (INPUT4) (prise à broches RCA)

Utilisez la prise VIDEO OUT (INPUT4) pour fournir le signal vidéo à un moniteur externe ou un autre composant.

Remarque: Le signal vidéo ne sera pas disponible au niveau de la prise VIDEO OUT (INPUT4) si l'alimentation de cet écran est coupée ou en mode de veille (page 13).

㉓ AUDIO R/L (INPUT4) (prises à broches RCA)

Utilisez pour obtenir les sons quand INPUT4 est sélectionné.

Raccordez ces prises aux connecteurs de sortie audio des composants raccordés à INPUT4 de la carte vidéo (page 16).

㉔ COMPONENT VIDEO (INPUT5) (prises à broches RCA)

Pour le branchement de composants, munis de prises de sortie vidéo à composant, tels qu'un enregistreur DVD (pages 7 et 8).

㉕ AUDIO R/L (INPUT5) (prises à broches RCA)

Utilisez pour obtenir les sons quand INPUT5 est sélectionné.

Raccordez ces prises aux connecteurs de sortie audio des composants raccordés à INPUT5 de la carte vidéo (page 15).

Installation de la carte vidéo

À L'INTENTION DES UTILISATEURS:

Ce composant est vendu avec l'assentiment qu'il sera installé par un spécialiste, disposant des connaissances et des compétences techniques adéquates.

À L'INTENTION DES VENDEURS:

Les instructions d'installation sont décrites ci-après. Si une vis ou un autre objet devait tomber à l'intérieur de l'écran à plasma au cours de l'installation, consultez immédiatement le Centre de service Pioneer le plus proche. Un dysfonctionnement risque de se produire si vous continuez l'installation.

Ce dispositif est conçu pour être installé sur l'Écran à plasma Pioneer PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (ou PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S).

Les démarches d'installation sont les suivantes:

Vérifiez les points suivants avant d'installer la carte vidéo.

- Débranchez l'écran à plasma au niveau de l'ordinateur et des autres composants.
- Débranchez le cordon d'alimentation de l'écran à plasma au niveau de sa prise secteur.

Remarques d'installation:

- Lors de l'ouverture du cache protecteur, prenez soin de ne pas y laisser tomber de vis ou d'autres objets. Tout objet tombé à l'intérieur peut être à l'origine de dégâts ou d'un dysfonctionnement.
- Si l'écran à plasma doit être couché avec sa face avant vers le bas pour l'installation de la carte vidéo, la surface de travail doit être plate. Étalez au préalable le matériau d'emballage, une couverture ou un matériau souple sur la surface de travail pour la protection de l'écran. Évitez toute égratignure et autres dégâts, causés par des outils ou d'autres objets. Ne posez jamais l'écran d'une manière telle qu'une pression soit imprimée uniquement à sa surface.
- Cette carte vidéo est conçue en vue d'une utilisation exclusive sur l'écran à plasma Pioneer PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (ou PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S). N'essayez aucune modification ou altération non autorisée car ceci pourrait provoquer une défaillance ou des dégâts.
- Prenez soin de ne pas modifier ou endommager les dispositifs internes de la carte.
- Avant l'installation de la carte, neutralisez l'électricité statique de votre organisme. Ne touchez pas les circuits et dispositifs internes de la carte.
- Cette carte n'est pas conçue en vue d'installations et de retraits répétés. Une fois que la carte a été installée sur l'écran à plasma, n'essayez pas de la retirer car elle en serait endommagée.
- Lors de l'installation du PDA-5003, il se peut qu'il soit nécessaire d'ajuster le réglage du sélecteur d'impédance. Confirmez ce point avant l'installation (pages 10, 12).
- N'installez pas le PDA-5002 sur les écrans d'affichage PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S ou PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S.

Installation

L'installation présente le modèle PDA-5003.

- 1 Déposez le cache protecteur, prévu sur la fente de carte vidéo sur le panneau des bornes de l'écran à plasma.**



Cache protecteur

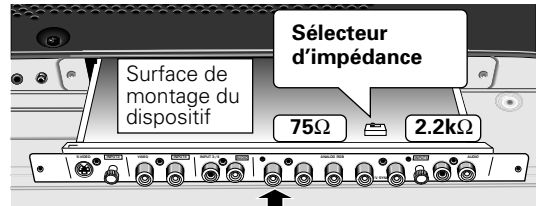
6

Fr

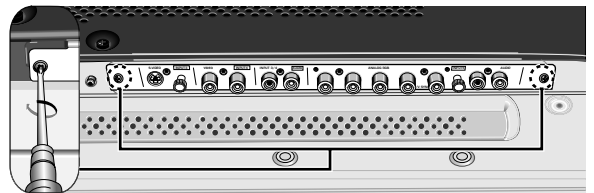
- 2 Insérez la carte vidéo délicatement en l'alignant de façon égale sur les deux rails visibles à l'intérieur du port d'installation.**

Remarques

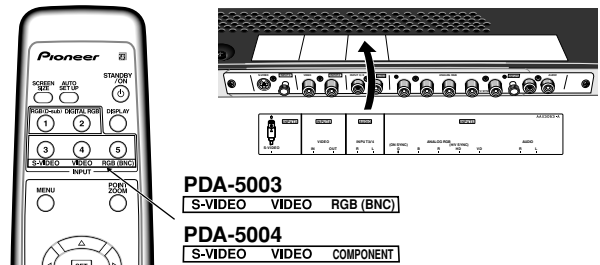
- Procédez avec grand soin lors de l'insertion de la carte. Installez la surface de montage du dispositif de la carte en l'orientant vers l'arrière de l'écran à plasma. Insérez en ligne droite ! La carte et/ou l'écran risque d'être endommagé si la carte est insérée de travers ou en forçant sa mise en place.
- Le sélecteur d'impédance se trouve sur le PDA-5003 seulement.



- 3 Après avoir inséré la carte vidéo à fond dans la fente, assurez-vous qu'elle est bien installée, puis immobilisez-la à l'aide des vis, déposées à l'étape 1.**



- 4 Collez l'étiquette identificatrice du connecteur accessoire sur l'écran à plasma et collez l'étiquette de télécommande sur la télécommande, fournie avec l'écran à plasma.**

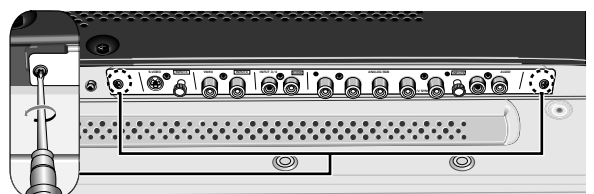


Remarque

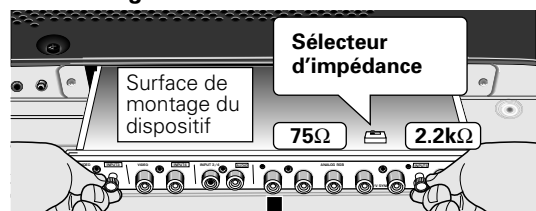
Servez-vous d'un linge doux pour enlever délicatement la poussière ou les souillures sur la surface avant de coller l'étiquette.

Retrait de la carte vidéo (En principe, n'essayez pas de retirer la carte vidéo).

- 1 Déposez les deux vis, retenant la carte vidéo.**



- 2 En tenant les taquets internes, retirez la carte vidéo en ligne droite.**



■ À l'emploi du PDA-5003

Prises d'entrée sur l'écran à plasma avec carte vidéo

Consultez le tableau suivant lorsque vous effectuez les raccords sur un écran à plasma, équipé de cette prise vidéo (pages 7 à 16).

Prise d'entrée Appareils reliés et signaux	INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
Composant audiovisuel					
RVB analogique	○				○
Vidéo à composant	○				○
S-vidéo			○		
Vidéo composite				○	
RVB numérique		○*5			
Ordinateur personnel (PC)					
RVB analogique	○*2				○
S-vidéo			○*3		
Vidéo composite				○*3	
RVB numérique		○*4			

- *1 Bien que INPUT1 et INPUT5 soient prévues pour accepter différents signaux, un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire pour adapter l'écran à plasma aux caractéristiques de la source (pages 18 à 21).
- *2 INPUT1 est compatible Microsoft Plug & Play (VESA DDC 1/2B).
- *3 Selon la carte de sortie vidéo de l'ordinateur, ce type de raccords peut être impossible.
- *4 INPUT2 est compatible Microsoft Plug & Play (VESA DDC 2B).
- *5 Prend en compte uniquement le PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.

■ À l'emploi du PDA-5004

Prises d'entrée sur l'écran à plasma avec carte vidéo

Consultez le tableau suivant lorsque vous effectuez les raccords sur un écran à plasma, équipé de cette prise vidéo (pages 7 à 16).

Prise d'entrée Appareils reliés et signaux	INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
Composant audiovisuel					
RVB analogique	○				○
Vidéo à composant	○				○
S-vidéo			○		
Vidéo composite				○	
RVB numérique		○*5			
Ordinateur personnel (PC)					
RVB analogique	○*2				○
S-vidéo			○*3		
Vidéo composite				○*3	
RVB numérique		○*4			

Raccords de INPUT1 et INPUT5

Divers appareils peuvent être reliés aux prises INPUT1 et INPUT5. Cela fait, un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire pour adapter l'appareil aux caractéristiques de la source. Pour cette opération, veuillez vous reporter aux pages 18 à 21.

Prise INPUT5 Source extérieure	[ON SYNC] G	B	R	[H/V SYNC] HD	VD
Appareil vidéo, ordinateur personnel (PC) avec sortie RVB	○ G ON SYNC	○ B	○ R	✗	✗
	○ G	○ B	○ R	○ H/V SYNC	✗
	○ G	○ B	○ R	○ HD	○ VD
Appareil vidéo avec sortie vidéo à composant	○ Y	○ Pb/Cb	○ Pr/Cr	✗	✗

✗ : Ne reliez rien sur cette prise. ○ : Reliez cette prise.

Remarque

Les appareils compatibles avec INPUT1 sont également compatibles avec INPUT5. Pour le raccords à INPUT1, veuillez vous reporter au Mode d'emploi de l'écran à plasma.

Consultez les Suppléments 1 et 2 (pages 44 à 46) pour des informations sur les signaux et les formats d'affichage prise en compte par INPUT1 et INPUT5.

- *1 Bien que INPUT1 et INPUT5 soient prévues pour accepter différents signaux, un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire pour adapter l'écran à plasma aux caractéristiques de la source (pages 18 à 21).
- *2 INPUT1 est compatible Microsoft Plug & Play (VESA DDC 1/2B).
- *3 Selon la carte de sortie vidéo de l'ordinateur, ce type de raccords peut être impossible.
- *4 INPUT2 est compatible Microsoft Plug & Play (VESA DDC 2B).
- *5 Prend en compte uniquement le PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.

■ À l'emploi du PDA-5004

Raccordements de INPUT1 et INPUT5

Divers appareils peuvent être reliés aux prises INPUT1 et INPUT5. Cela fait, un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire pour adapter l'appareil aux caractéristiques de la source. Pour cette opération, veuillez vous reporter aux pages 18 à 21.

Prise INPUT5	Y	Pb/Cb	Pr/Cr
Source extérieure			
Appareil vidéo, ordinateur personnel (PC) avec sortie RVB	G ON SYNC	B	R
Appareil vidéo avec sortie vidéo à composant	Y	Pb/Cb	Pr/Cr

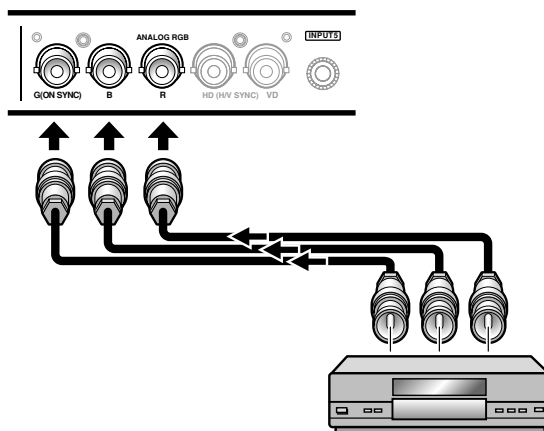
○ : Reliez cette prise.

Remarque

Pour le raccordement à INPUT1, veuillez vous reporter au Mode d'emploi de l'écran à plasma.

Consultez les Suppléments 1 et 2 (pages 44 à 46) pour des informations sur les signaux et les formats d'affichage prise en compte par INPUT1.

Pour le raccordement à ANALOG RGB (INPUT5)



Raccordez le signal Y à la prise G, le signal Pb/Cb à la prise B et le signal Pr/Cr à la prise R.

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Les prises INPUT5 sont du type BNC.

Au besoin, utilisez un adaptateur de conversion de fiche BNC/broche, disponible dans le commerce, pour effectuer les raccordements.

Remarque

L'écran à plasma et cette Carte vidéo sont conçue pour prendre en compte les signaux vidéo à composantes ayant des niveaux de signal standards et stables, ainsi que les signaux de synchronisation. Par conséquent, une certaine distorsion des images peut se produire à l'emploi de diverses fonctions de lecture spéciale, affectant les composants du signal vidéo.

Raccordements de INPUT1 ou INPUT5

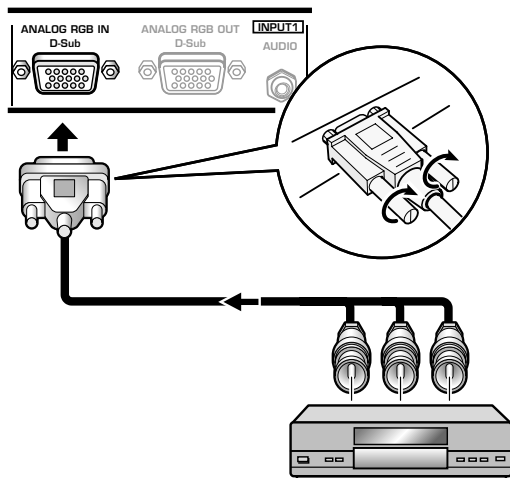
■ À l'emploi du PDA-5003

Raccordement d'un appareil vidéo

Raccordement d'un appareil vidéo pourvu de prises pour composantes vidéo

Effectuez les raccordements vidéo à composant pour les équipements audiovisuels, pourvus de prises vidéo à composant.

Pour le raccordement à ANALOG RGB IN (INPUT1)



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

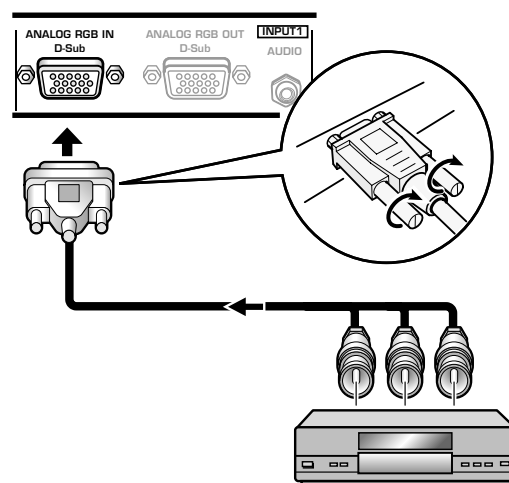
■ À l'emploi du PDA-5004

Raccordement d'un appareil vidéo

Raccordement d'un appareil vidéo pourvu de prises pour composantes vidéo

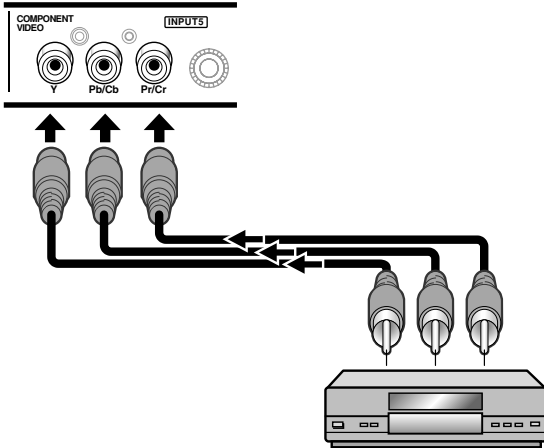
Effectuez les raccordements vidéo à composant pour les équipements audiovisuels, pourvus de prises vidéo à composant.

Pour le raccordement à ANALOG RGB IN (INPUT1)



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Pour le raccordement à COMPONENT VIDEO (INPUT5)



Raccordez le signal Y à la prise Y, le signal Pb/Cb à la prise Pb/Cb et le signal Pr/Cr à la prise Pr/Cr.

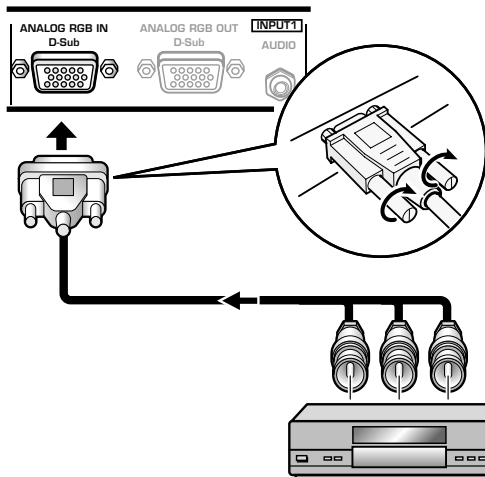
Remarque

L'écran à plasma et cette Carte vidéo sont conçue pour prendre en compte les signaux vidéo à composants ayant des niveaux de signal standards et stables, ainsi que les signaux de synchronisation. Par conséquent, une certaine distorsion des images peut se produire à l'emploi de diverses fonctions de lecture spéciale, affectant les composants du signal vidéo.

Raccordement d'une source analogique RVB fournissant le signal de synchronisation sur le vert (G ON SYNC)

Raccordement d'une source analogique RVB fournissant le signal de synchronisation sur le vert (G ON SYNC).

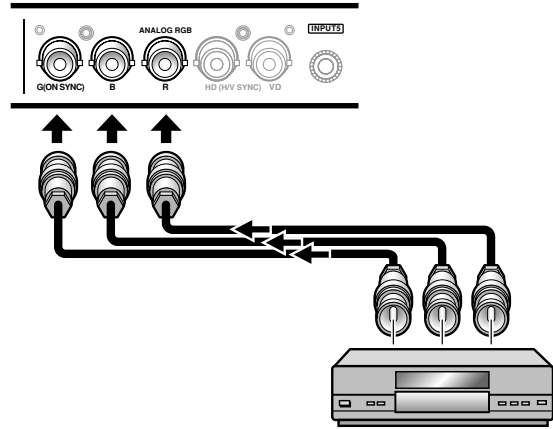
Pour le raccordement à ANALOG RGB IN (INPUT1)



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Pour le raccordement à ANALOG RGB (INPUT5)

[Raccordements pour le PDA-5003]



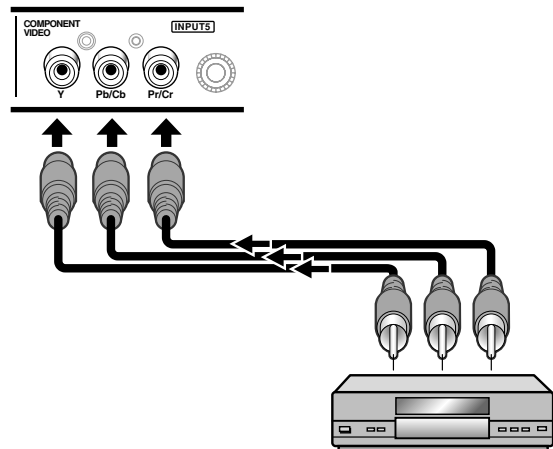
Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Remarque

Si vous utilisez G ON SYNC, ne branchez rien sur les prises VD ou HD. Dans le cas contraire, l'image peut être déformée.

Pour le raccordement à COMPONENT VIDEO (INPUT5)

[Raccordements pour le PDA-5004]



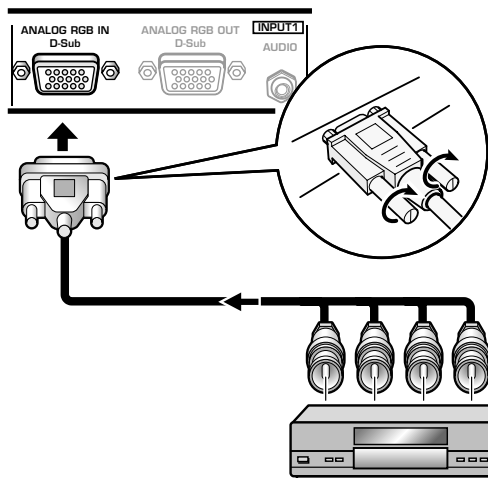
Raccordez le signal G ON SYNC à la prise Y, le signal B à la prise Pb/Cb et le signal R à la prise Pr/Cr.

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Raccordement d'une source analogique RVB fournissant des signaux composites de synchronisation

Utilisez cette solution si l'appareil fournit un signal de synchronisation verticale placé au-dessus du signal de synchronisation horizontale.

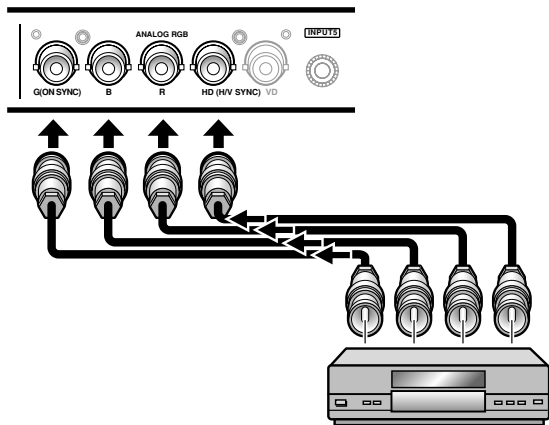
Pour le raccordement à ANALOG RGB IN (INPUT1)



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Pour le raccordement à ANALOG RGB (INPUT5)

[Raccordements pour le PDA-5003]



Si vous utilisez la prise INPUT5, placez le sélecteur d'impédance de manière à adapter l'appareil à l'impédance de sortie du signal de synchronisation.

Si l'impédance de sortie du signal de synchronisation est inférieur à 75 Ohms, retirez la carte vidéo et réglez le sélecteur d'impédance sur 75 Ohms (page 6).

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Remarque

Si vous utilisez le signal de synchronisation composite, ne branchez rien sur la prise VD. Dans le cas contraire, l'image peut être déformée.

Raccordement à un ordinateur personnel

La méthode de raccordement dépend du type de l'ordinateur. Avant d'effectuer les raccordements, veuillez lire attentivement le mode d'emploi de l'ordinateur.

Avant tout raccordement veuillez à ce que l'écran à plasma et l'ordinateur soient tous deux hors tension.

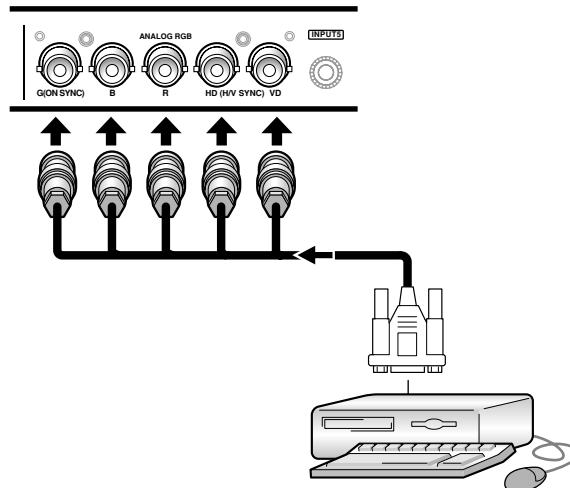
Pour les signaux d'entrée PC et les formats d'image avec lesquels cet appareil est compatible, veuillez vous reporter au Mode d'emploi de l'écran à plasma.

Raccordement d'une source analogique RVB avec signaux de synchronisation séparés

Utilisez cette possibilité si la source RVB peut fournir 5 signaux séparés: vert, bleu, rouge, synchronisation horizontale et synchronisation verticale.

Pour le raccordement à ANALOG RGB (INPUT5)

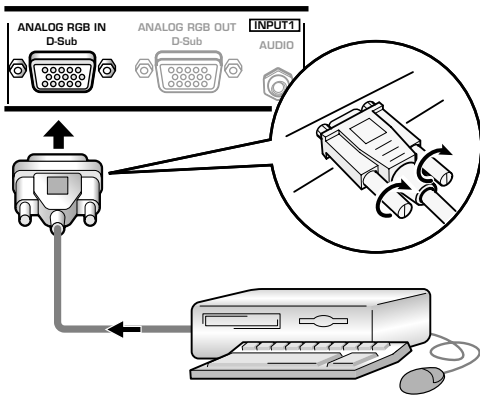
[Raccordements pour le PDA-5003]



Si vous utilisez la prise INPUT5, placez le sélecteur d'impédance de manière à adapter l'appareil à l'impédance de sortie du signal de synchronisation. Si l'impédance de sortie du signal de synchronisation est inférieur à 75 Ohms, retirez la carte vidéo et réglez le sélecteur d'impédance sur 75 Ohms (page 6).

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Pour le raccordement à ANALOG RGB IN (INPUT1) —



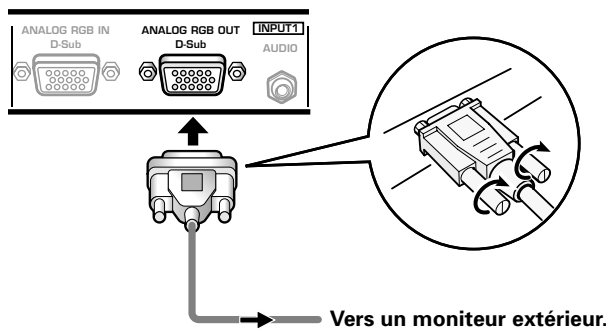
Branchez le câble entre la prise d'entrée de l'écran à plasma et la prise de sortie de l'ordinateur personnel. Serrez soigneusement les vis des connecteurs à chaque extrémité du câble.

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Remarque

Selon le type de l'ordinateur, un adaptateur (fourni avec l'ordinateur ou vendu séparément) peut être nécessaire pour effectuer le raccordement ci-dessus. Veuillez consulter le mode d'emploi de l'ordinateur ou le revendeur.

Pour le raccordement à ANALOG RGB OUT (INPUT1) —



Cet écran à plasma est prévu pour que le signal vidéo puisse être appliqué à un moniteur ou un autre appareil à partir de la prise ANALOG RGB OUT (INPUT1).

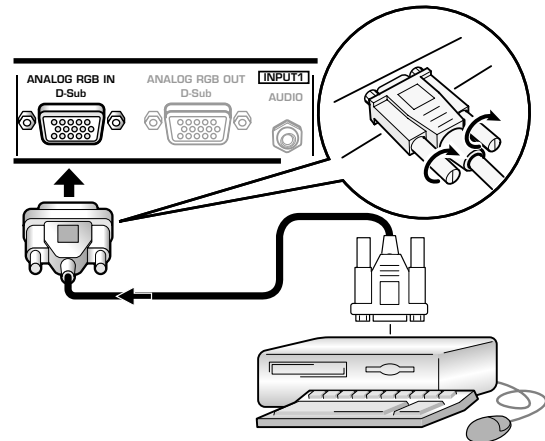
Remarque

Le signal vidéo n'est pas présent sur la prise ANALOG RGB OUT (INPUT1) lorsque l'écran à plasma est hors tension ou en veille.

Raccordement d'une source analogique RVB fournissant le signal de synchronisation sur le vert (G ON SYNC)

Effectuez les raccordements G ON SYNC pour un ordinateur personnel ayant une sortie dont le signal de synchronisation est placé au-dessus du signal vert.

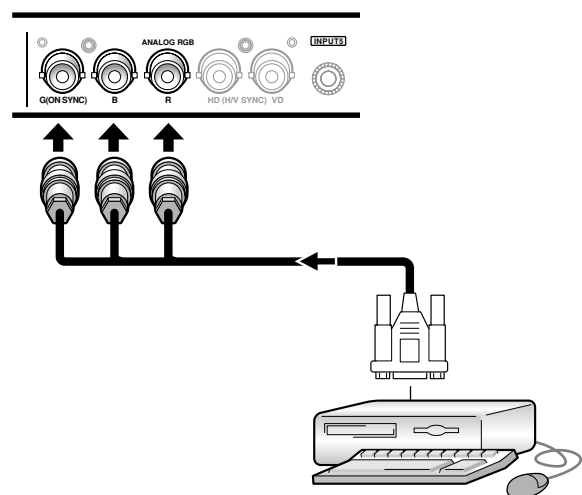
Pour le raccordement à ANALOG RGB IN (INPUT1) —



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Pour le raccordement à ANALOG RGB (INPUT5) —

[Raccordements pour le PDA-5003]

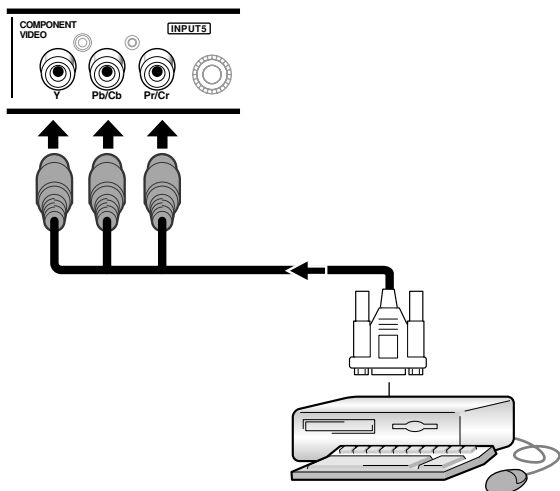


Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Remarque

Si vous utilisez G ON SYNC, ne branchez rien sur les prises VD ou HD. Dans le cas contraire, l'image peut être déformée.

Pour le raccordement à COMPONENT VIDEO (INPUT5) — [Raccordements pour le PDA-5004]

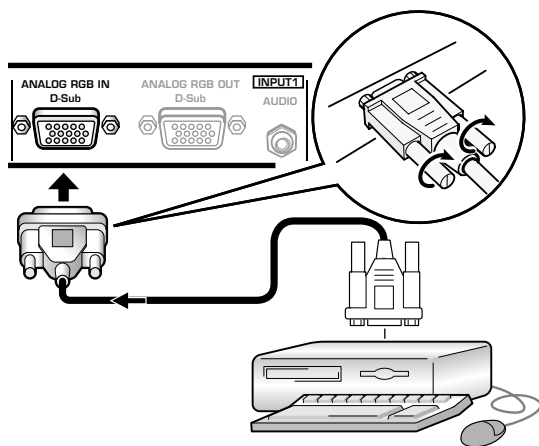


Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Raccordement d'une source analogique RVB fournissant des signaux composites de synchronisation

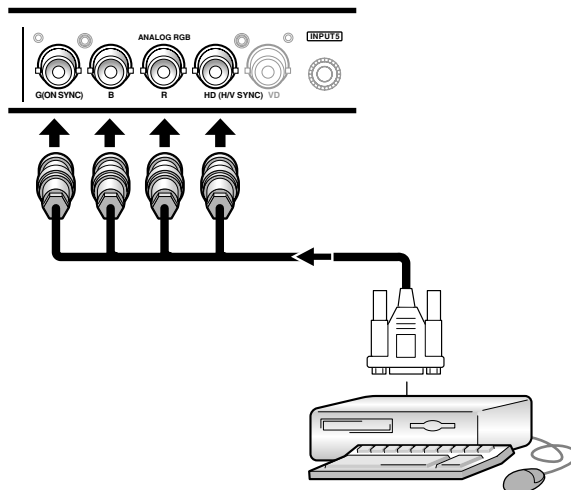
Effectuez les raccordements SYNC composite pour un ordinateur personnel ayant une sortie dont le signal de synchronisation verticale est placé au-dessus du signal de synchronisation horizontale.

Pour le raccordement à ANALOG RGB IN (INPUT1) —



Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Pour le raccordement à ANALOG RGB (INPUT5) — [Raccordements pour le PDA-5003]



Si vous utilisez la prise INPUT5, réglez le sélecteur d'impédance de manière à correspondre à l'impédance de sortie du signal de synchronisation de l'ordinateur raccordé. Si l'impédance de sortie du signal de synchronisation est inférieur à 75 Ohms, retirez la carte vidéo et régler le sélecteur d'impédance sur 75 Ohms (page 6).

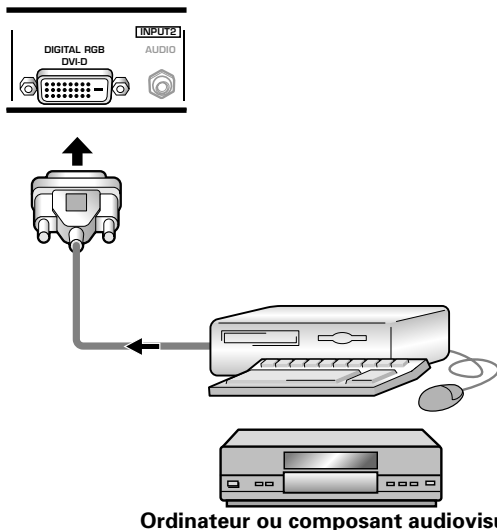
Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Remarques

- Si vous utilisez le signal de synchronisation composite, ne branchez rien sur la prise VD. Dans le cas contraire, l'image peut être déformée.
- Certains types d'ordinateurs fabriqués par Apple Computer Inc. sont munis de sortie G ON SYNC et SYNC composite. Ce type de composant doit être raccordé en utilisant la connexion G ON SYNC (page 11).

Raccordement de INPUT2

Un ordinateur, muni d'une sortie DVI (signal RVB numérique) ou un composant audiovisuel à sortie DVI (le PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 est pris en compte) peut être raccordé au connecteur DVI de l'écran à plasma (conforme à HDCP).



Ordinateur ou composant audiovisuel

Un réglage général à l'aide des menus affichés sur l'écran est nécessaire après raccordement. Reportez-vous aux pages 18 à 21.

Remarques

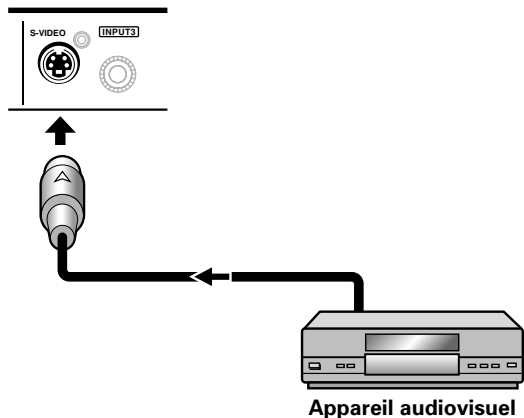
- Utilisez un câble DVI-D à 24 broches (numérique seulement) pour le raccordement.
- Le PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S et le PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S ne prennent pas en compte l'affichage des signaux vidéo protégés contre la copie.

NOTICE

- INPUT2 est compatible avec les composants "Plug & Play" (VESA DDC 2B) de Microsoft.
- Pour les formats d'écran et les signaux d'entrée avec lesquels INPUT2 est compatible, reportez-vous au Mode d'emploi de l'écran à plasma ou au Supplément 1 du Mode d'emploi (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 uniquement).

Raccordement de INPUT3

Sur la prise S-VIDEO (INPUT3) de la carte vidéo, raccordez un composant audiovisuel, muni d'une prise de sortie S-vidéo.



Appareil audiovisuel

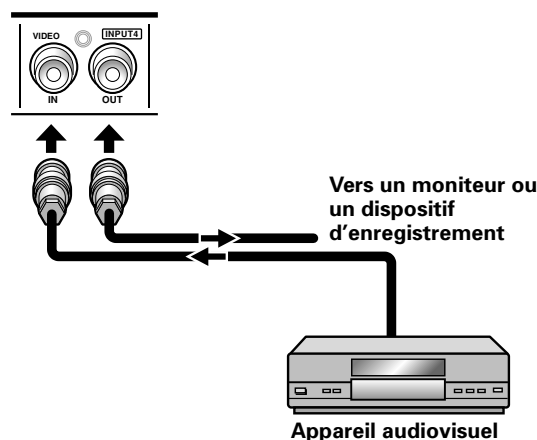
Raccordement de INPUT4

Sur la prise INPUT4 de la carte vidéo, raccordez un composant audiovisuel, muni d'une prise de sortie audio. La prise VIDEO OUT (INPUT4) peut servir pour fournir le signal vidéo à un moniteur séparé, un appareil d'enregistrement ou un autre composant, autorisant l'entrée vidéo.

Remarque

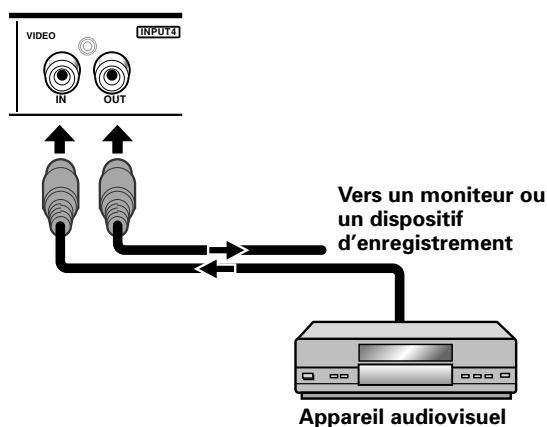
Le signal vidéo n'est pas présent sur la prise VIDEO OUT (INPUT4) lorsque l'écran à plasma est hors tension ou en veille.

[À l'emploi du PDA-5003]



Appareil audiovisuel

[À l'emploi du PDA-5004]



Appareil audiovisuel

Les signaux aux prises INPUT3 et INPUT4 sont tous compatibles avec les standards de télévision suivants : NTSC, PAL, SECAM, 4.43NTSC, PAL M et PAL N. Pour plus de détails, reportez-vous à "Réglage du système couleur (SYSTÈME COULEUR)" à la page 40.

Raccordement au boîtier DTV

Pour effectuer les raccordements convenables, lisez attentivement le mode d'emploi fourni avec le boîtier DTV.

Les signaux de sortie du boîtier avec lesquels cet écran à plasma est compatible, sont donnés dans le tableau ci-dessous.

Type de signal vidéo	Signal vidéo	Format du signal vidéo	Prises qui peuvent être utilisées				
			INPUT1	INPUT2*	INPUT3	INPUT4	INPUT5
HDTV	1125i (1080 i) 750p (720p)	Composantes	⊙				⊙
		RVB	⊙	⊙			⊙
SDTV	525i (480i) 625i (575i)	Composite				⊙	
		S-vidéo			⊙		
		Composantes	⊙				⊙
		RVB	⊙	⊙			⊙
	525p (480p) 625p (575p)	Composantes	⊙				⊙
		RVB	⊙	⊙			⊙

*PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement

Raccordements audio

Avant tout raccordement veillez à ce que les appareils soient tous deux hors tension.

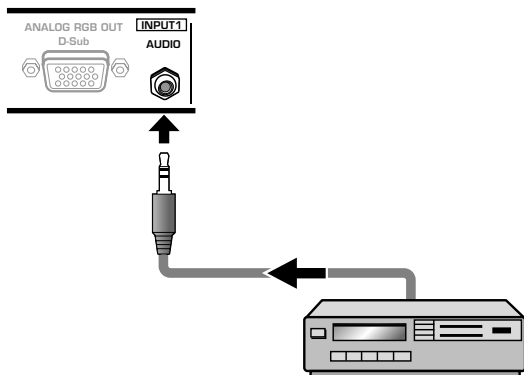
Raccordez un composant audio sur la prise d'entrée audio de l'écran à plasma où une carte vidéo est installée.

Lorsqu'une carte vidéo est installée, l'écran à plasma dispose de quatre ou cinq prises d'entrée audio et d'une prise de sortie audio. Consultez le tableau suivant pour choisir l'entrée audio appropriée à chaque entrée vidéo.

Entrée vidéo	Entrée audio	Sortie son
INPUT1	Prise stéréo (G/D) miniformat	Les sons provenant de l'entrée vidéo choisie sont présents sur <ul style="list-style-type: none"> • Les bornes SPEAKER (L/R) • La prise stéréo (G/D) miniformat.
INPUT2	Prise stéréo (G/D) miniformat	
INPUT5	Cinch (G/D)	
INPUT3	Cinch (G/D) *1	
INPUT4	Cinch (G/D) *1	

*1 A l'emploi du PDA-5003, les connecteurs d'entrée audio INPUT3 et INPUT4 sont partagés.

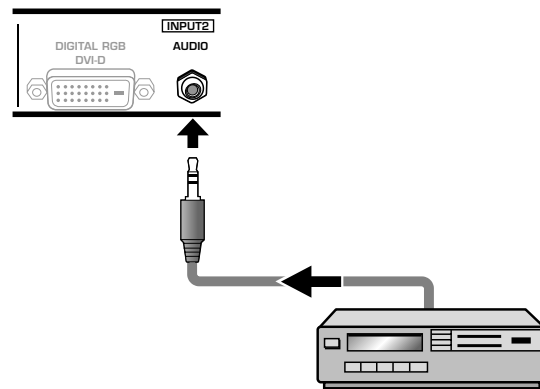
Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT1



Un câble stéréo à minifiche peut servir pour raccorder la sortie audio du composant, raccordé sur INPUT1, à la prise d'entrée stéréo (G/D) miniformat AUDIO (INPUT1) de l'écran à plasma.

Le son est fourni au niveau de la prise stéréo (G/D) miniformat AUDIO (OUTPUT) et des bornes SPEAKER (L/R) selon la sélection de l'entrée vidéo.

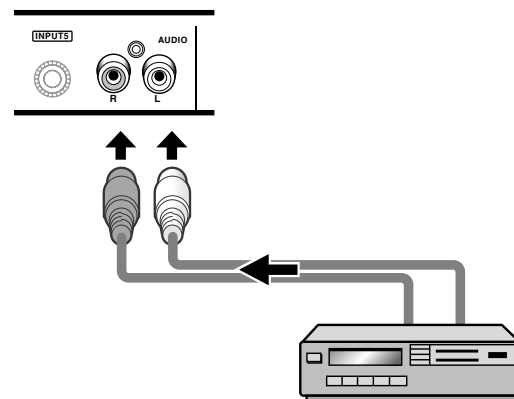
Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT2



Un câble stéréo à minifiche peut servir pour raccorder la sortie audio du composant, raccordé sur INPUT2, à la prise d'entrée stéréo (G/D) miniformat AUDIO (INPUT2) de l'écran à plasma.

Le son est fourni au niveau de la prise stéréo (G/D) miniformat AUDIO (OUTPUT) et des bornes SPEAKER (L/R) selon la sélection de l'entrée vidéo.

Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT5

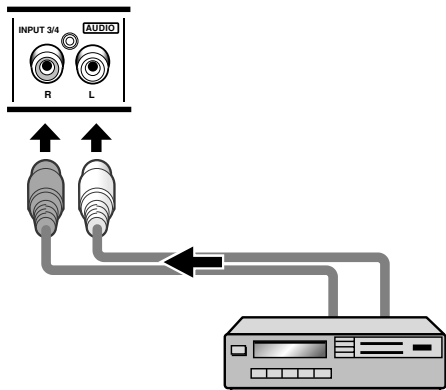


La ligne audio pour le composant raccordé sur INPUT5 peut être raccordée aux prises à broches AUDIO R/L (INPUT5).

Le son est fourni au niveau de la prise stéréo (G/D) miniformat AUDIO (OUTPUT) et des bornes SPEAKER (L/R) selon la sélection de l'entrée vidéo.

[À l'emploi du PDA-5003]

Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT3 ou INPUT4

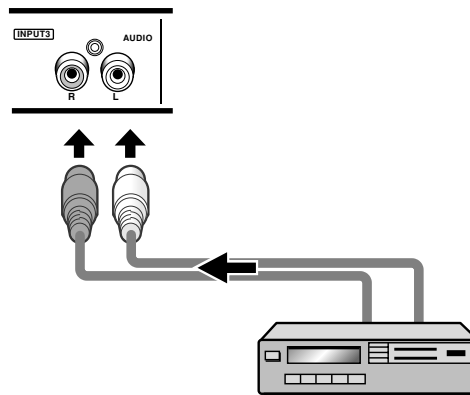


L'entrée audio aux prises à broches AUDIO R/L (INPUT3/4) est possible pour un composant raccordé sur INPUT3 ou INPUT4.

Le son est fourni au niveau de la prise stéréo (G/D) miniformat AUDIO (OUTPUT) et des bornes SPEAKER (L/R) selon la sélection de l'entrée vidéo.

[À l'emploi du PDA-5004]

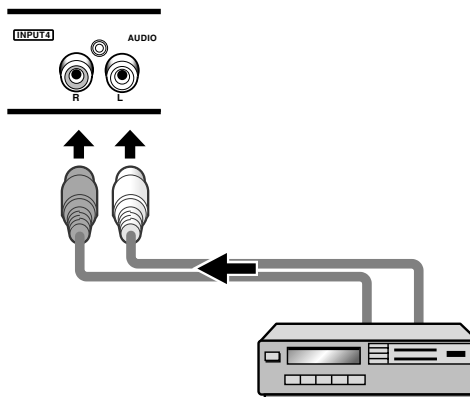
Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT3



La ligne audio pour le composant raccordé sur INPUT3 peut être raccordée aux prises à broches AUDIO R/L (INPUT3).

Le son est fourni au niveau de la prise stéréo (G/D) miniformat AUDIO (OUTPUT) et des bornes SPEAKER (L/R) selon la sélection de l'entrée vidéo.

Raccordement audio pour l'appareil relié à INPUT4



La ligne audio pour le composant raccordé sur INPUT4 peut être raccordée aux prises à broches AUDIO R/L (INPUT4).

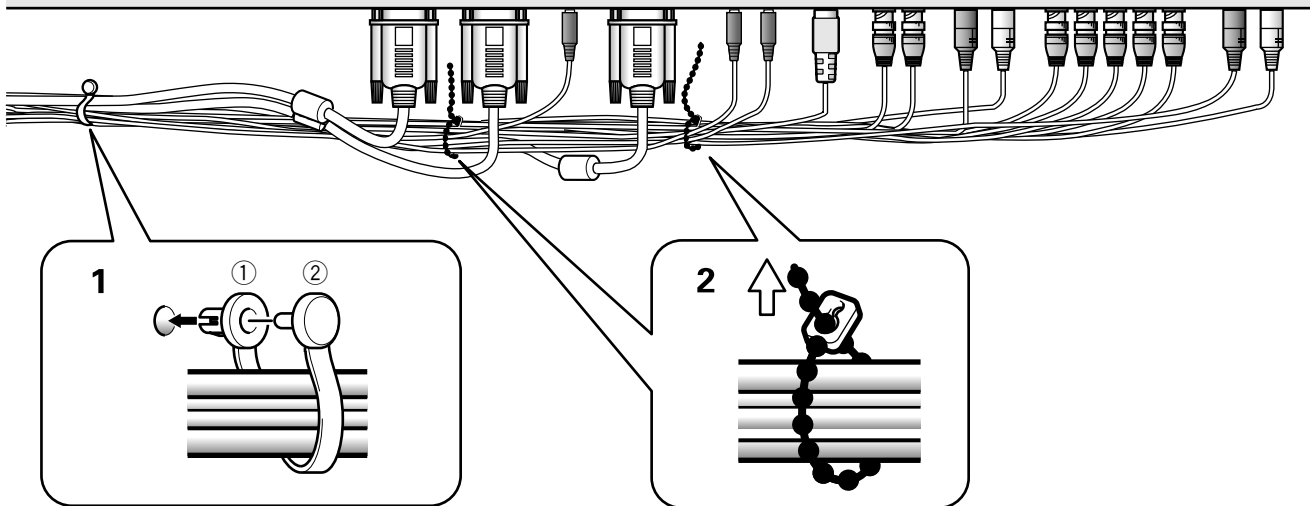
Le son est fourni au niveau de la prise stéréo (G/D) miniformat AUDIO (OUTPUT) et des bornes SPEAKER (L/R) selon la sélection de l'entrée vidéo.

Comment faire cheminer les câbles

Des colliers rapides et des serre-câble sont fournis pour lier les câbles en tre eux. Après raccordements des appareils, procédez aux opérations qui suivent.

L'illustration présente le PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S avec la carte vidéo PDA-5003.

* Vue de l'arrière de l'écran.



1 Groupez les câbles en utilisant les colliers rapides fournis.

Introduisez la partie ① dans un des perçages à l'arrière de l'écran à pas ma puis insérez ② à l'arrière de ① pour assurer la fixation.

Les colliers rapides sont conçus pour que l'ouverture soit difficile. Fermez-les soigneusement.

2 Liez les câbles et assurez leur maintien au moyen des serre-câble fournis.

Veillez à ce que les bouts des câbles ne subissent pas une tension excessive.

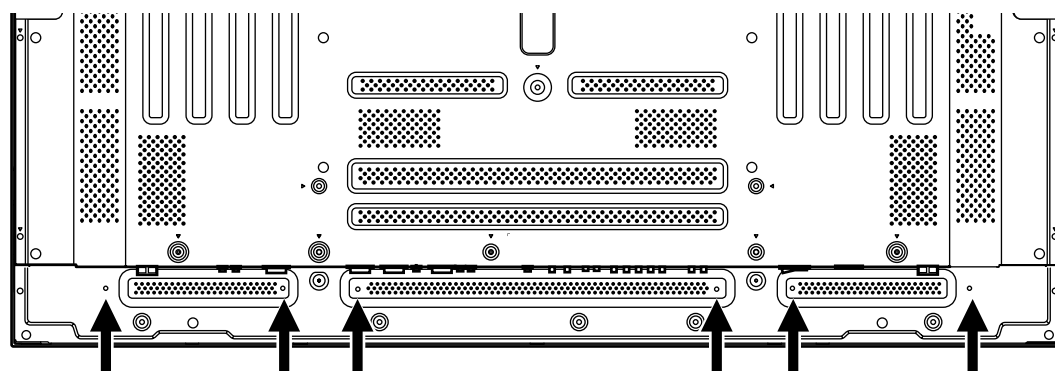
Remarque

Les câbles peuvent cheminer d'un côté ou de l'autre.

Fixation des colliers rapides à l'écran à plasma

Engagez les colliers rapides dans les trous 6 repérés par "O" sur l'illustration ci-dessous.

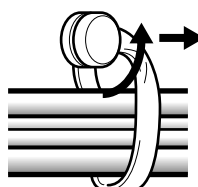
L'illustration présente le PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S avec la carte vidéo PDA-5003.



* Vue de l'arrière de l'écran.

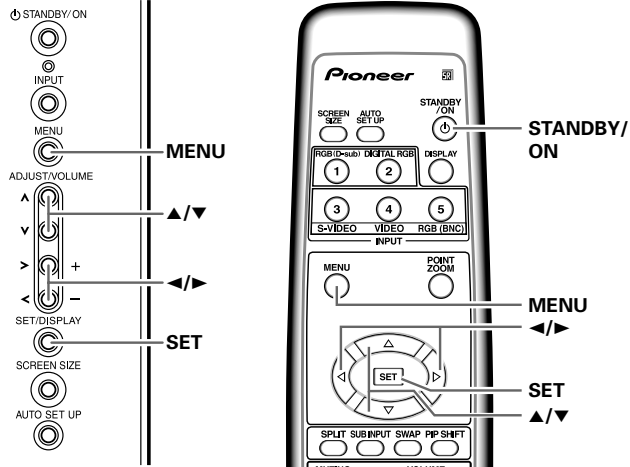
Pour retirer les colliers rapides

A l'aide d'une pince, tordez le collier de 90° puis tirez-le vers vous. Avec le temps, le collier peut se détériorer et il peut être nécessaire de la remplacer après que vous l'avez retiré.



Réglage de la langue d'affichage sur écran

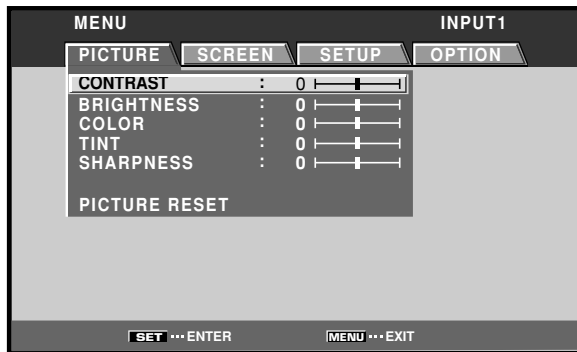
L'anglais a été défini par défaut comme langue des affichages sur écran. Pour passer à une autre langue, le réglage doit être modifié. Procédez comme suit pour effectuer ce changement.



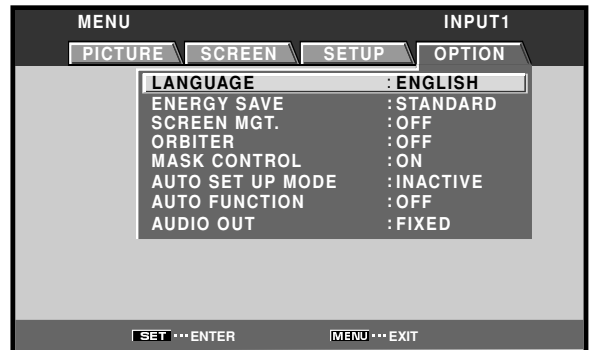
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

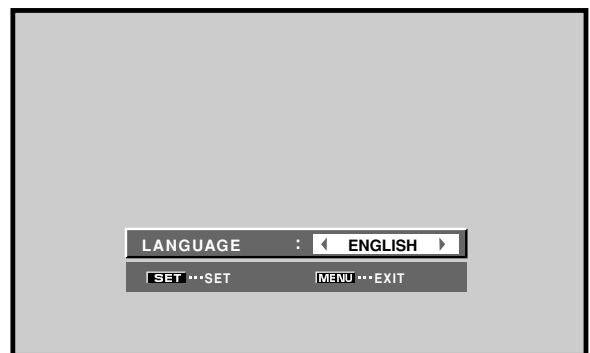
- 1 Réglez l'interrupteur MAIN POWER du panneau arrière sur ON (marche).
Le témoin STANDBY du panneau avant s'allume en rouge.
- 2 Appuyez sur la touche STANDBY/ON pour mettre l'écran sous tension.
Le témoin ON du panneau avant s'allume en vert.
- 3 Appuyez sur la touche MENU pour obtenir la page de menu.



- 4 Utilisez les touches ◀/▶ pour sélectionner [OPTION].



- 5 Utilisez les touches ▲/▼ pour sélectionner [LANGUAGE], puis appuyez sur la touche SET.



- 6 Utilisez les touches ◀/▶ pour sélectionner la langue souhaitée.

A chaque pression sur les touches ◀/▶, les langues disponibles changent dans l'ordre suivant :



- 7 Lorsque la langue souhaitée est affichée, appuyez sur la touche SET.
La langue sélectionnée sera mémorisée et l'écran repassera à celui de l'étape 4.
- 8 Lorsque les réglages sont terminés, appuyez sur la touche MENU pour revenir à la page d'écran normale.

Remarque

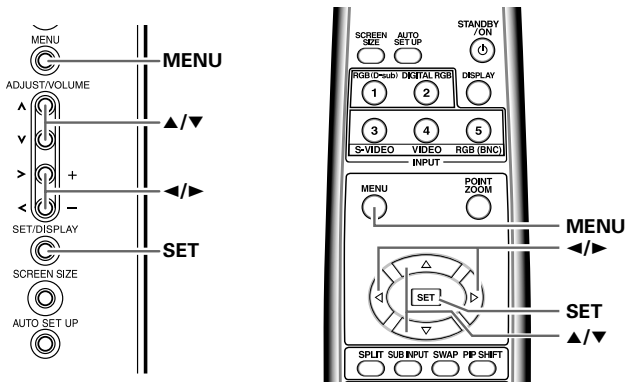
Lorsque la langue d'affichage sur écran a été réglée à une des entrées de INPUT 1 à INPUT 5, la même langue d'affichage sera définie, quel que soit le type d'entrée utilisé.

Paramétrages après raccordement

Après le raccordement des appareils aux prises INPUT1, INPUT2 ou INPUT5, des réglages à l'aide des menus affichés sur l'écran sont nécessaires. Procédez aux opérations décrites ci-dessous et effectuez les réglages en fonction des appareils connectés.

Mise en œuvre pour [SELECTION DVI] (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)

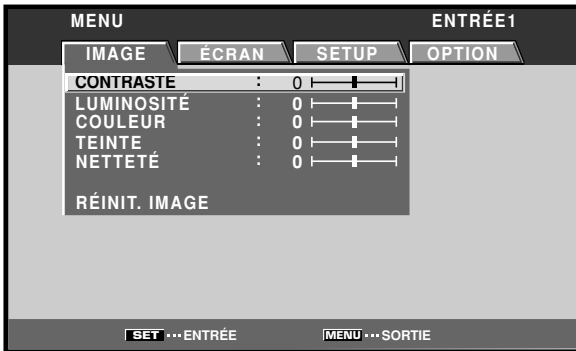
Choisissez le type de composant (soit [PC] ou [VIDEO]) qui doit être raccordé sur INPUT2.



Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir [OPTION].



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [SELECTION DVI].



4 Appuyez sur la touche SET et choisissez le composant à raccorder.

Le réglage par défaut effectué en usine est [PC]. chaque pression sur la touche SET, la fonction alterne comme suit :



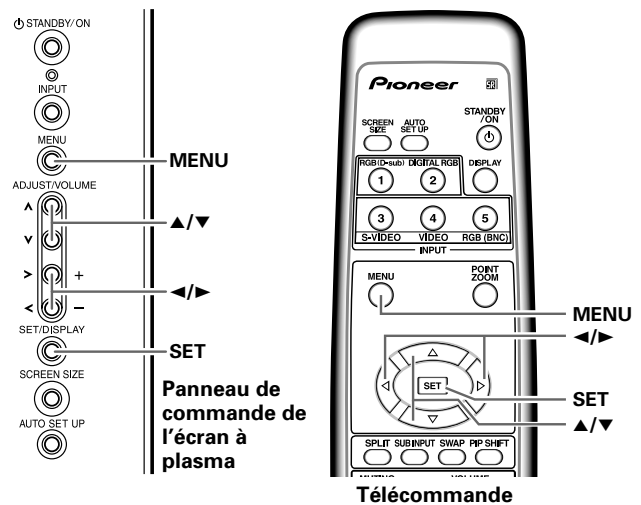
- PC Choisir pour raccorder un ordinateur.
- VIDEO Choisir pour raccorder un composant audiovisuel.

5 Lorsque ce réglage est terminé, appuyez sur la touche MENU pour quitter la page de menu.

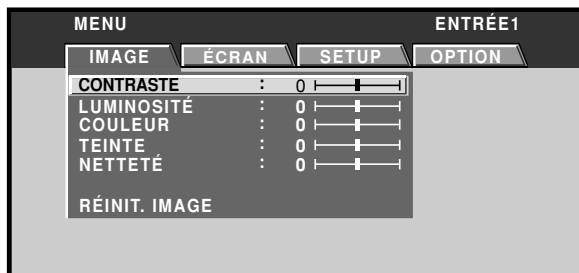
Remarque

Une fois que les réglages sont terminés, mettez sous tension le composant raccordé ou réinitialisez-le (s'il s'agit d'un ordinateur). Si les réglages ont été changés pendant que le composant est sous tension, il se peut que les signaux ne soient pas fournis ou qu'ils ne le soient pas selon le format correct.

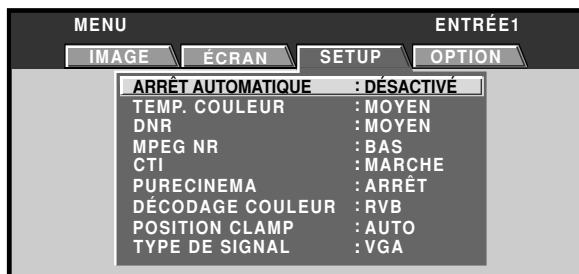
Mise en œuvre pour [TYPE DE SIGNAL]/[DÉCODAGE COULEUR]



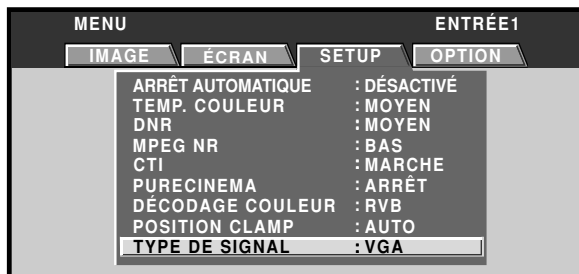
- 1 Choisissez INPUT1, INPUT2 ou INPUT5.
- 2 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



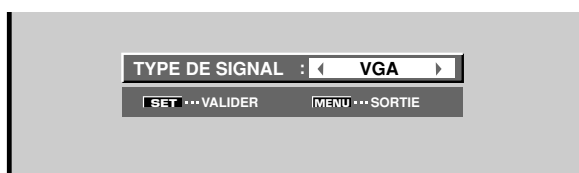
- 3 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir l'option [SETUP].



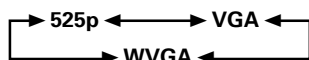
- 4 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option [TYPE DE SIGNAL] puis appuyez sur la touche SET.



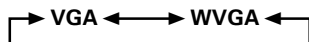
- 5 Utilisez les touches ◀/▶ pour sélectionner le mode d'affichage.



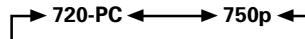
- ① Si le signal d'entrée a une fréquence de rafraîchissement de 31,5 kHz horizontal/60 Hz vertical, une pression sur ◀/▶ modifie alternativement comme suit le mode d'affichage: A l'emploi de la prise INPUT1, INPUT5 ou INPUT2 (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 uniquement) :



A l'emploi de la prise INPUT2 (PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S et le PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S uniquement)

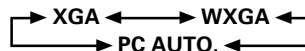


- ② Lors de la fourniture de signaux d'entrée ayant un taux de rafraîchissement de 45 kHz horizontal / 60 Hz vertical, une pression sur ◀/▶ modifie alternativement le mode d'affichage comme suit :



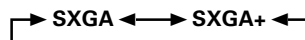
- [720-PC] indique une résolution de 1280 x 720.

- ③ Si le signal d'entrée a une fréquence de rafraîchissement de 48,4 kHz horizontal/60 Hz vertical ou de 56,1 kHz horizontal/70 Hz vertical, une pression sur ◀/▶ modifie alternativement comme suit le mode d'affichage:



Si le réglage [PC AUTO.] est sélectionné lorsque vous utilisez les signaux d'entrée PC ci-dessus, la résolution d'écran changera automatiquement entre [XGA] et [WXGA].

- ④ Si le signal d'entrée a une fréquence de rafraîchissement de 64 kHz horizontal/60 Hz vertical, 80 kHz horizontal/75 Hz vertical, ou de 91,2 kHz horizontal/85 Hz vertical, une pression sur ◀/▶ modifie alternativement comme suit le mode d'affichage:



Remarques

- Ces réglages sont requis seulement lors de la fourniture de signaux d'entrée ayant les taux de rafraîchissement suivants : ① 31,5 kHz horizontal / 60 Hz vertical; ② 45 kHz horizontal / 60 Hz vertical; ③ 48,4 kHz horizontal / 60 Hz vertical ou 56,1 kHz horizontal / 70 Hz vertical; ④ 64 kHz horizontal / 60 Hz vertical; 80 kHz horizontal / 75 Hz vertical ou 91,2 kHz horizontal / 85 Hz vertical. Le réglage pour les autres formats de fréquence de signal s'accomplit automatiquement et aucun réglage manuel n'est donc nécessaire (le message [TYPE DE SIGNAL] n'apparaît pas).
- Le réglage [PC AUTO.] supporte la sélection de signal automatique uniquement à l'emploi des entrées SYNC séparées RVB.
- Lorsque des signaux G ON SYNC ou SYNC Composite sont fournis, la sélection du réglage [PC AUTO.] fera que la résolution d'écran sera réglée uniquement sur [XGA].
- Lorsque vous utilisez les entrées G ON SYNC ou SYNC composites avec les entrées WXGA, réglez manuellement [TYPE DE SIGNAL] sur [WXGA].

- 6 Appuyez sur la touche SET.

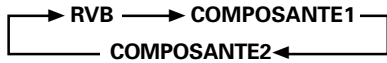
Le réglage est mémorisé et l'écran repasse à celui illustré à l'étape 4.

- 7 Lorsqu'un appareil autre qu'un ordinateur est raccordé, appuyez sur les touches ▲/▼ pour sélectionner [DÉCODAGE COULEUR] (INPUT1 ou INPUT5).



8 Appuyez sur la touche SET autant de fois qu'il est nécessaire pour choisir le format du signal d'entrée.

Chaque pression sur la touche **SET**, modifie comme suit l'indication affichée :



Le tableau ci-dessous donne les réglages disponibles et convenables en fonction des raccordements effectués.

Choisissez pour [TYPE DE SIGNAL] et [DÉCODAGE COULEUR] les valeurs du tableau ci-dessous. Agissez avec soin lors de ces réglages, car des valeurs incorrectes pourraient avoir un effet négatif sur l'écran à plasma.

Appareil relié	TYPE DE SIGNAL	DÉCODAGE COULEUR
Sortie des composantes vidéo d'un lecteur de DVD, etc.	525p	COMPOSANTE1
Sortie des composantes vidéo d'un tuner numérique, etc.	750p	COMPOSANTE2
Sortie vidéo RVB d'un magnétoscope, etc. muni d'une sortie RVB	525p	RVB
Sortie vidéo DVI d'un composant audiovisuel à port de sortie DVI (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)	525p, 750p	RVB
Sortie vidéo RVB d'un PC	VGA, WVGA, 720-PC, XGA, WXGA, SXGA, SXGA+	Non supporté

9 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

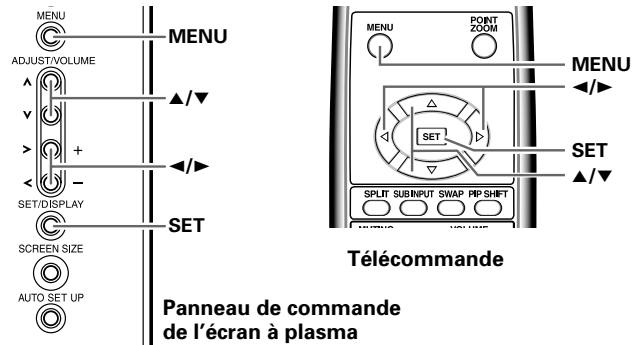
Remarques

- Effectuez la mise en oeuvre [TYPE DE SIGNAL] et [DÉCODAGE COULEUR] pour chaque entrée applicable (INPUT1, INPUT2 ou INPUT5).
- Le réglage [DÉCODAGE COULEUR] n'est pas supporté si vous avez choisi un signal d'ordinateur, ou si la fonction [TYPE DE SIGNAL] a été utilisée pour sélectionner un signal, autre que [525p] ou [750p].

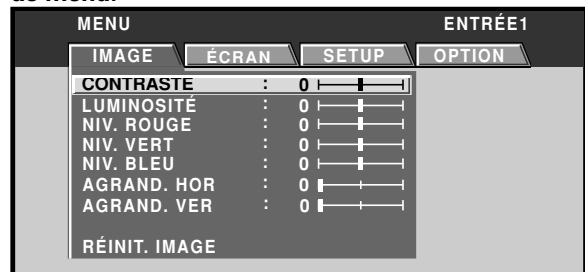
Mise en oeuvre pour [POSITION CLAMP]

Selon leur nature, il peut arriver que des signaux RVB analogiques fournissent sur l'écran une image à tons blanchâtres ou verdâtres. Dans ce cas, réglez [POSITION CLAMP] sur [VERROUILLÉ].

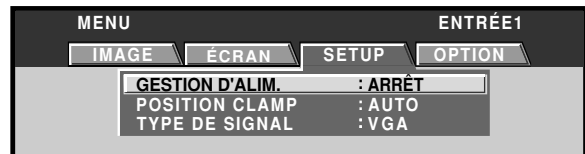
- En temps normal, laissez ce réglage sur [AUTO].



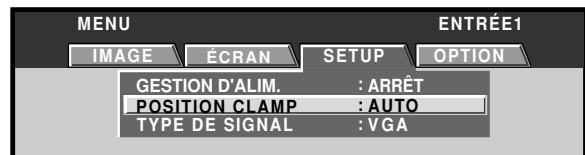
1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



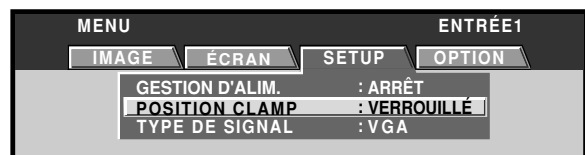
2 Utilisez les touches </> pour choisir l'option [SETUP].



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option [POSITION CLAMP].



4 Appuyez sur la touche SET pour choisir [VERROUILLÉ].



Le réglage par défaut effectué en usine est [AUTO]. Chaque pression sur la touche **SET**, modifie comme suit le mode choisi :



5 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Remarques

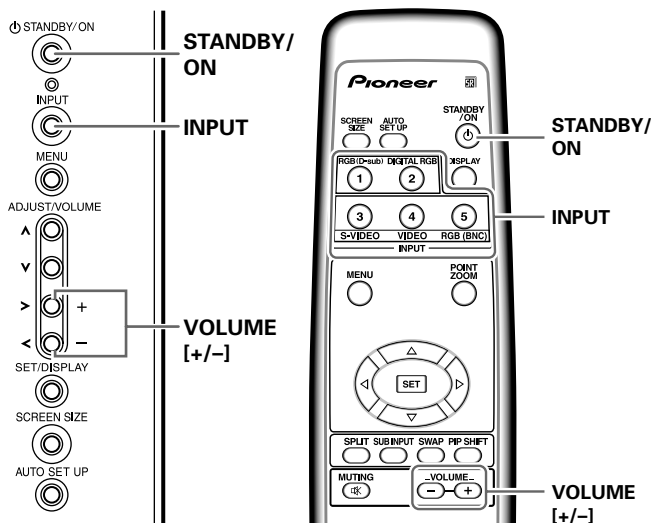
- Effectuez la mise en oeuvre [POSITION CLAMP] pour chaque entrée (PDA-5003 : INPUT1 ou INPUT5, PDA-5004 : INPUT1).
- Avant d'utiliser cette possibilité, vérifiez soigneusement le signal de sortie de l'appareil utilisé. Pour de plus amples détails concernant cette question, veuillez vous reporter au mode d'emploi de l'appareil en question.

Choix de la source d'entrée

Cette section explique le fonctionnement de base. Nous abordons, dans les pages qui suivent, la manière de mettre sous tension, ou hors tension, l'écran à plasma, de le mettre en service ou en veille, et de choisir un appareil parmi ceux qui sont connectés.

Avant tout, assurez-vous que:

- Vous avez effectué les raccordements entre cet écran et les composants audiovisuels ou l'ordinateur personnel, comme expliqué à la section "Installation et raccordements" qui débute à la page 6.
 - Les réglages de mise en oeuvre ont été réalisés, pour les appareils connectés à INPUT1, INPUT2 et INPUT5, conformément à la section "Paramétrages du système", page 18.
- Si aucun appareil n'est relié à ces prises, aucune mise en oeuvre n'est requise.



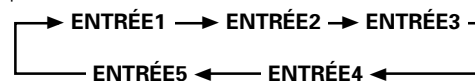
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

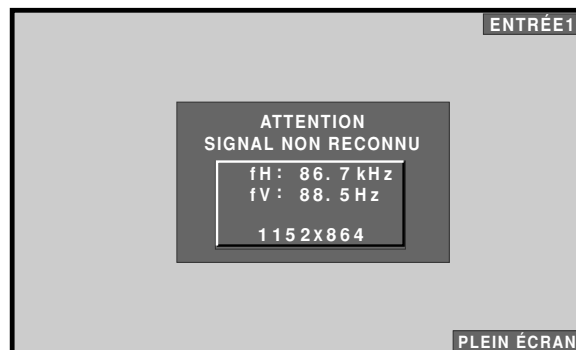
- 1 Réglez l'interrupteur MAIN POWER du panneau arrière sur ON (marche).**
Le témoin STANDBY du panneau avant s'allume en rouge.
- 2 Appuyez sur la touche STANDBY/ON pour mettre l'écran sous tension.**
Le témoin ON du panneau avant s'allume en vert.

3 Appuyez sur la touche INPUT de l'écran à plasma ou de la télécommande pour choisir l'entrée.

Chaque pression sur la touche **INPUT** de l'écran à plasma, modifie comme suit l'entrée :



- Si la page de menu est affichée, elle disparaît lorsque le signal d'entrée est modifié.
- Si le signal fourni par l'ordinateur n'est pas accepté par cet écran, le message suivant est affiché:



4 Utilisez les touches VOLUME +/- de la télécommande ou de l'écran à plasma pour régler le niveau d'écoute.

Si aucune signal sonore n'est appliqué à l'écran à plasma, cette opération est inutile.

5 Lorsque vous avez fini de regarder les images, appuyez sur la touche STANDBY/ON pour placer l'écran à plasma en veille.

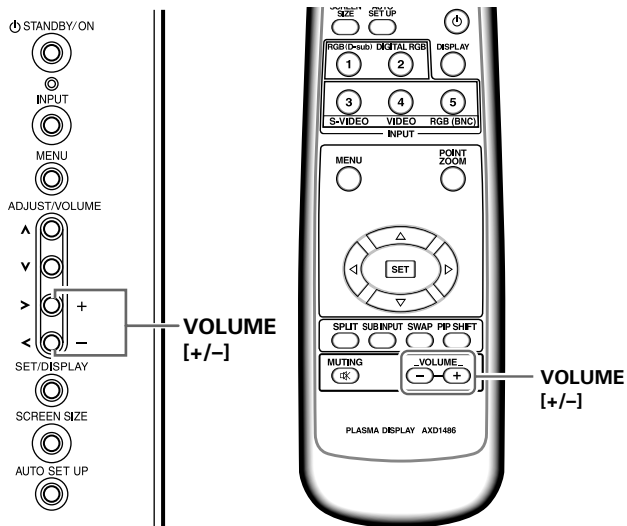
6 Réglez l'interrupteur MAIN POWER du panneau arrière sur OFF.

Le témoin STANDBY peut rester allumé pendant quelques instants après la mise hors tension. Ceci provient du courant électrique restant dans les circuits.

Remarque

Ne laissez pas la même image affichée sur l'écran pendant une longue période. Cela peut causer une détérioration de l'écran (on parle de "brûlage" de l'écran) qui se traduit par la persistance de cette image atténuée.

Réglage du volume sonore

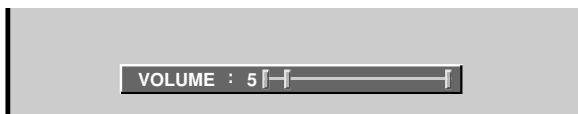


Panneau de commande de l'écran à plasma

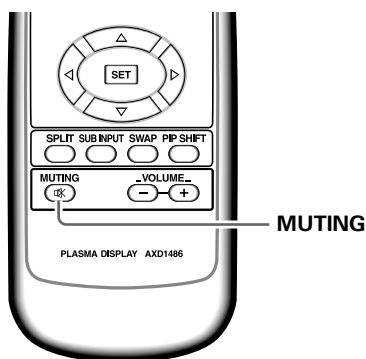
Télécommande

Appuyez sur les touches VOLUME.

Appuyez sur la touche [-] ou [+] pour réduire ou augmenter le volume du son provenant des enceintes.



Coupure des sons



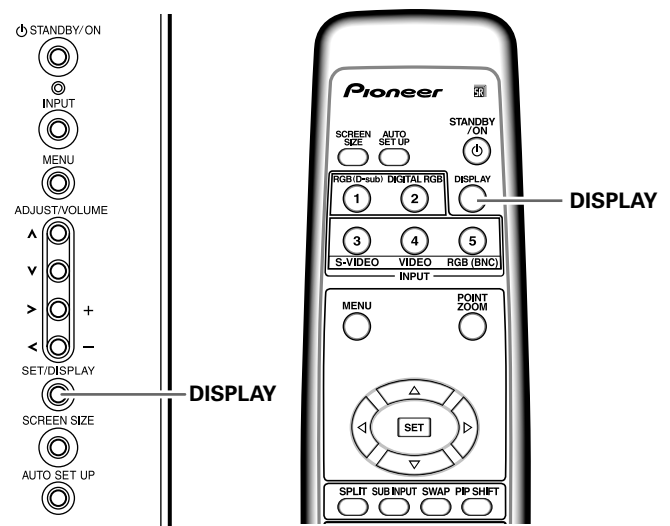
Appuyez sur la touche MUTING de la télécommande.

Appuyez une nouvelle fois sur la touche **MUTING** pour rétablir les sons.

La coupure des sons est automatiquement abandonnée environ 8 minutes après une action sur cette touche; les sons sont rétablis au niveau minimum.

Utilisez les touches **VOLUME +** ou **VOLUME -** pour régler le niveau d'écoute.

Vérification de l'état actuel



Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

Appuyez sur la touche DISPLAY.

Le nom de l'entrée choisie, le format de l'image et les fréquences de rafraîchissement seront affichés pendant 3 secondes environ.



Remarques

- Il se peut que les fréquences de rafraîchissement affichées soient légèrement différentes des valeurs réelles.
- Lorsque vous utilisez la fonction Agrandissement partiel de l'image (page 25) ou la fonction Multi-écran (page 26), la position et les informations d'entrée pour la zone d'écran agrandie seront affichées.
- Lorsque la fonction Gestion d'écran est activée, le message [GESTION ÉCRAN] sera également affiché dans le coin inférieur gauche de l'écran.

Changement de la taille de l'écran

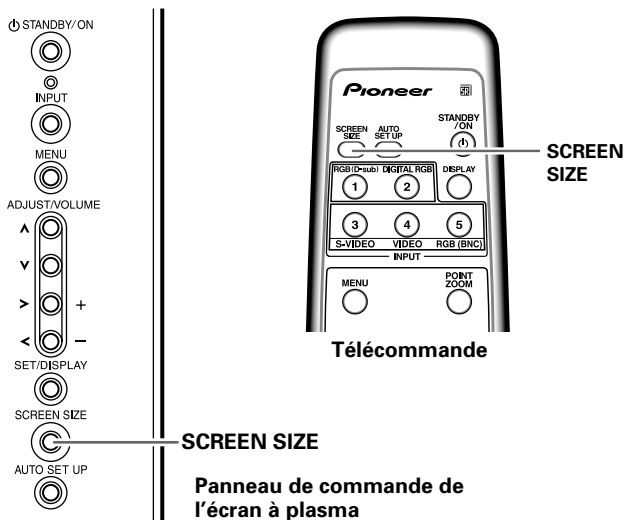
Cet écran à plasma est en mesure d'afficher des images ayant des hauteurs et des largeurs différentes. Nous vous conseillons de choisir le format correspondant le mieux à la source vidéo. Bien que ces modes aient été imaginés pour l'affichage d'une image sur grand écran, nous espérons que vous les emploierez en tenant compte des intentions qui ont prévalu à leur choix.

Choix d'un format d'image

Dans le cas des signaux vidéo

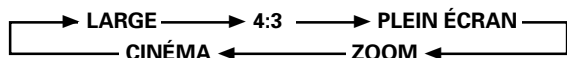
L'image affichée sur l'écran peut avoir un des 5 formats mentionnés dans le tableau ci-dessous.

Appuyez sur la touche **SCREEN SIZE** pour choisir le format.



Le format d'image change comme suit chaque fois que la touche **SCREEN SIZE** est actionnée.

- Il se peut que les modes d'écran pouvant être sélectionnés soient différents à INPUT1, INPUT2 (PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement) et INPUT5 selon le type du signal d'entrée. Pour plus de détails, consultez le "Supplément 1 : Tableau de compatibilité des signaux vidéo" (page 44).



Remarques

- Si vous utilisez un format grand écran tel que [LARGE], [ZOOM] ou [PLEIN ÉCRAN] pour afficher une image au format standard de 4/3, une portion de l'image peut être coupée ou déformée.
- Sachez que si l'écran sert à des applications commerciales ou des projections publiques, la sélection des modes [LARGE], [ZOOM], [CINÉMA] ou [PLEIN ÉCRAN] peut entraîner une infraction aux droits d'auteur, protégés par la législation.
- Lorsque le mode d'écran [4:3] est sélectionné, la position d'affichage est légèrement décalée à chaque mise sous tension afin d'éviter une rémanence de l'image sur l'écran.

Avec un signal d'entrée vidéo

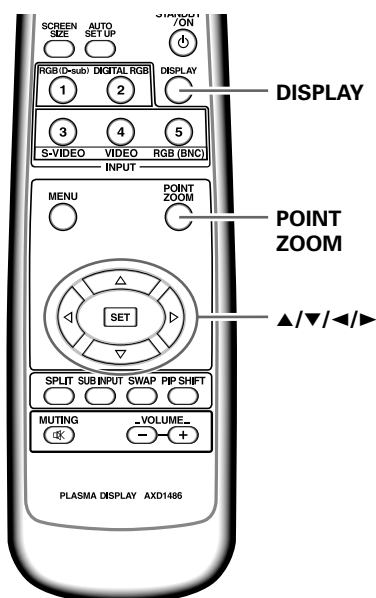
Représentation schématique de l'image	
LARGE 	Pour les informations et les reportages sportifs. Les films et les reportages sportifs donnent lieu à des images puissantes.
4:3 	Pour les informations et les comédies de situation. Le format d'un enregistrement vidéo n'est pas modifié.
PLEIN ÉCRAN 	Pour les images grand format (écrasement).
ZOOM 	Pour les films en Cinémascope et autres techniques voisines. L'image est vaste et puissante.
CINÉMA 	Pour regarder essentiellement des films en "Vista vision".

Reportez-vous au Mode d'emploi de l'écran à plasma en ce qui concerne le format d'image lors de l'entrée d'un signal d'ordinateur.

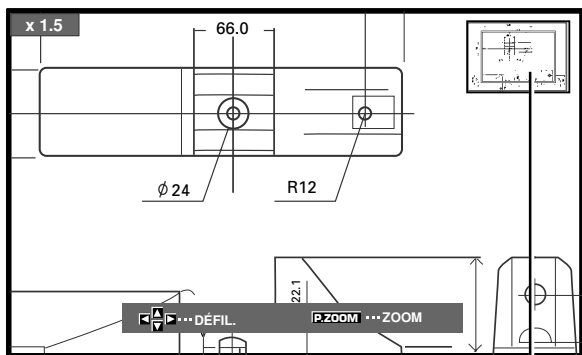
Agrandissement partiel de l'image (POINT ZOOM)

Cet écran à plasma permet un agrandissement de l'image à un rapport de [x 1.5], [x 2] ou [x 3]. Lorsque l'image est agrandie, la zone de sa vision peut être déplacée sur l'écran au moyen des touches ▲/▼/◀/▶.

- Il est possible de vérifier la plage de zoom disponible en observant le sous-écran Zoom-Navi dans le coin supérieur droit de l'écran principal. Le sous-écran Zoom-Navi est affiché pendant 3 secondes environ chaque fois que la touche **POINT ZOOM**, une des touches ▲/▼/◀/▶ ou la touche **DISPLAY** est actionnée.

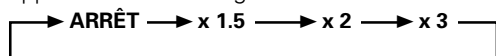


- 1 Appuyez sur la touche **POINT ZOOM** de la télécommande.



Sous-écran Zoom-Navi

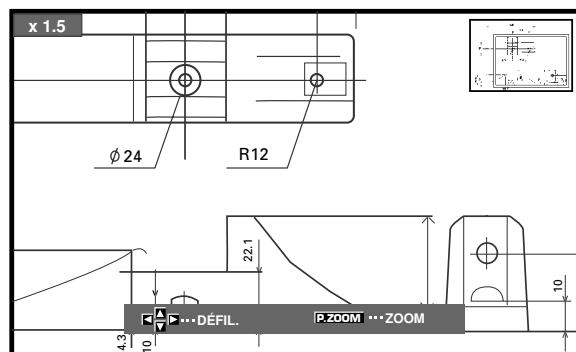
À chaque pression sur la touche **POINT ZOOM**, le rapport de zoom change dans l'ordre suivant :



Remarque

À l'emploi de la fonction POINT ZOOM, le format d'écran ne peut pas être modifié.

- 2 Utilisez les touches ▲/▼/◀/▶ pour déplacer l'écran à la partie souhaitée de l'image.



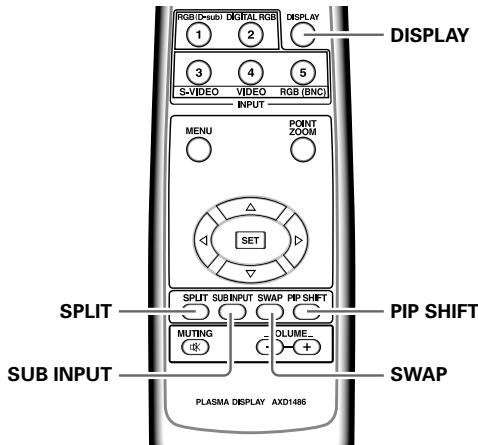
- Une nouvelle pression sur les touches **POINT ZOOM** et ▲/▼/◀/▶ changera le rapport de zoom et la position agrandie de l'écran.
- Si le signal d'entrée change, si la page de menu est affichée et que l'entrée est changée, ou si le mode multi-écran est sélectionné, la fonction Agrandissement partiel de l'image (POINT ZOOM) sera annulée.

Remarque

Sachez que, si l'écran est utilisé pour des diffusions commerciales ou publiques, la sélection des paramètres du mode [LARGE], [ZOOM], [CINÉMA] ou [PLEIN ÉCRAN] peut constituer une violation des droits d'auteur, protégés par la loi sur les copyrights.

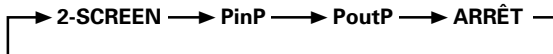
Affichage multi-écran

La fonction Multi-écran de cet écran à plasma autorise l'affichage simultané de deux entrées. L'affichage Multi-écran propose trois modes : 2-SCREEN (2 écrans), PinP (image dans l'image) et PoutP (image hors de l'image).



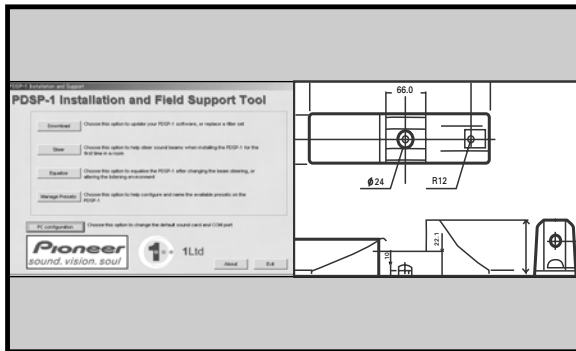
1 Appuyez sur la touche SPLIT de la télécommande.

À chaque pression sur la touche, l'affichage multi-écran change dans l'ordre suivant :



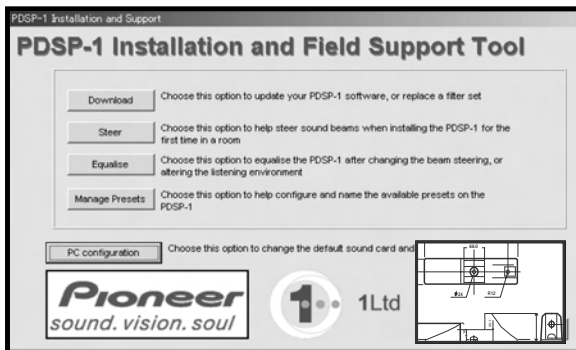
① 2-SCREEN (2 écrans)

L'écran principal apparaît sur la gauche et le sous-écran sur la droite.



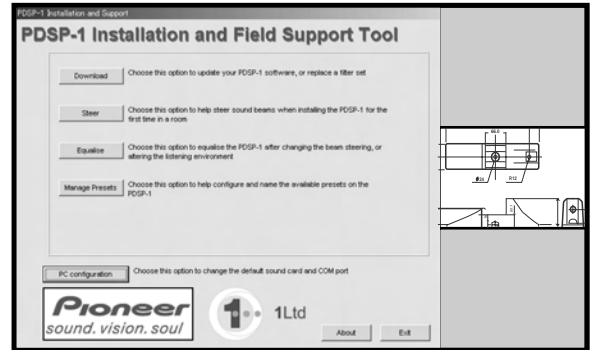
② PinP (Image dans l'image)

Le sous-écran est affiché dans un des quatre coins de l'écran principal.



③ PoutP (Image hors de l'image)

Le sous-écran est affiché à l'extérieur du côté droit de l'écran principal.



2 Appuyez sur la touche SUB INPUT de la télécommande pour sélectionner la source d'entrée du sous-écran.

Pour permuter les entrées à l'écran principal et au sous-écran

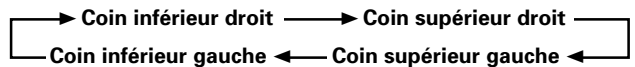
Appuyez sur la touche SWAP de la télécommande.

- Lorsque le mode 2-SCREEN est sélectionné : Les côtés droit et gauche de l'affichage permutent. Ce qui était affiché sur l'écran principal apparaît sur le sous-écran et vice versa.
- Lorsque le mode PinP ou PoutP est sélectionné : Ce qui était affiché sur l'écran principal apparaît en format réduit sur le sous-écran et vice versa.

Pour changer la position du sous-écran en mode PinP:

Appuyez sur la touche PIP SHIFT de la télécommande.

À chaque pression sur cette touche, la position du sous-écran change dans l'ordre suivant :



Pour afficher l'entrée actuellement sélectionnée

Appuyez sur la touche DISPLAY.

Si la touche DISPLAY est actionnée en mode Multi-écran, l'écran principal et le sous-écran afficheront respectivement leur entrée actuellement sélectionnée.

Remarques

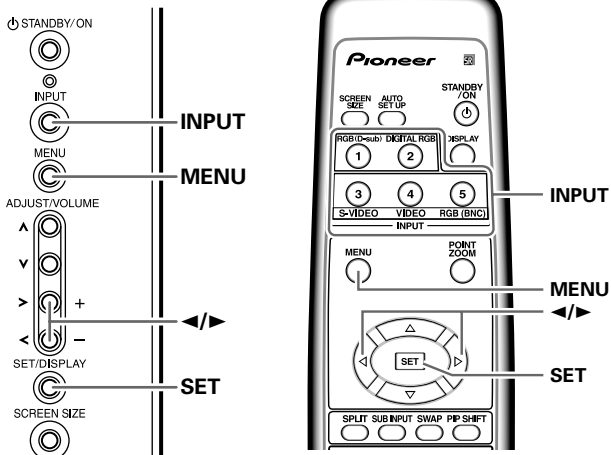
- Lorsque l'écran à plasma est utilisé pour une activité à but lucratif ou pour la présentation d'images en public, l'emploi de la fonction Format d'écran pour comprimer ou élargir une image peut entraîner une violation des copyrights des détenteurs des images.
- Si l'affichage multi-écran est laissé en service pendant longtemps ou si le même affichage multi-écran est utilisé quotidiennement de façon répétée et pendant de brèves périodes, une image rémanente risque de se former sur l'écran.
- En fonction de la source utilisée, l'image peut sembler un peu sommaire, lorsque vous sélectionnez le mode 2-SCREEN (2 écrans).
- Le mode multi-écran sera annulé si un menu est ouvert ou si la fonction Agrandissement partiel de l'image (POINT ZOOM) est utilisée.
- Le format d'écran ne peut pas être modifié pendant l'affichage Multi-écran.
- Le son de l'entrée sélectionnée sur l'écran principal est fourni lorsque vous utilisez la fonction Multi-écran.

Mise hors tension automatique (GESTION D'ALIM.)

L'écran à plasma est doté des fonctions de gestion de courant [GESTION D'ALIM.] et de mise hors tension automatique [ARRÊT AUTOMATIQUE]. Lorsqu'elles sont en service, ces fonctions mettent automatiquement l'appareil en mode d'attente ou hors tension lorsqu'aucun signal de synchronisation n'est détecté (un message avertisseur apparaît sur l'écran avant l'action de ces fonctions).

Remarques

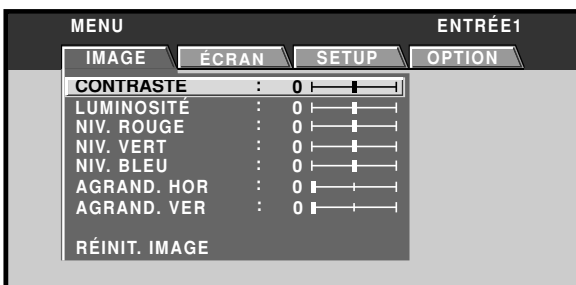
- Les réglages [GESTION D'ALIM.] sont pris en compte uniquement quand un signal d'ordinateur est fourni à INPUT1, INPUT2 ou INPUT5 (PDA-5003 seulement).
- La fonction Mise hors tension automatique peut agir seulement dans les cas autres que les entrées, utilisées à l'alinéa précédent.
- Coupez toujours d'interrupteur principal de l'écran à plasma lorsque vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une longue période.



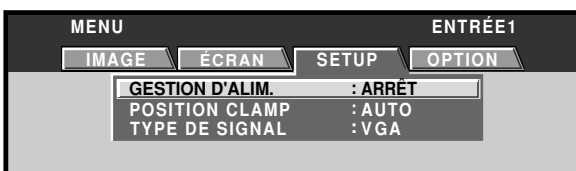
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



2 Utilisez les touches </> pour choisir l'option [SETUP]. [Quand un signal d'ordinateur est fourni à INPUT1, INPUT2 ou INPUT5 (PDA-5003 seulement)]



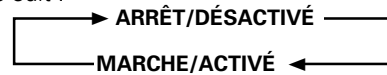
[Dans tous les autres cas]



3 Appuyez sur SET pour valider la sélection [GESTION D'ALIM.] ou [ARRÊT AUTOMATIQUE].

Le réglage par défaut effectué en usine est [ARRÊT/DÉSACTIVÉ].

À chaque pression sur la touche, le réglage change comme suit :



- **ARRÊT/DÉSACTIVÉ.....**

L'écran reste en mode de fonctionnement, qu'un signal de synchronisation soit présent ou non à l'entrée.

- **GESTION D'ALIM.: MARCHE.....**

Si un signal de synchronisation n'est pas détecté, un message d'avertissement est affiché pendant 8 secondes; ensuite, l'écran passe automatiquement au mode Veille et le voyant ON clignote en vert. Si un signal de synchronisation (*1) est à nouveau fourni ensuite, l'écran à plasma repasse automatiquement au mode de fonctionnement normal.

*1. Sauf quand le signal d'entrée est G ON SYNC ou SYNC composite.

- **ARRÊT AUTOMATIQUE: ACTIVÉ.....**

Si aucun signal de synchronisation n'est détecté pendant 8 minutes ou plus, un message d'avertissement est affiché pendant 30 secondes, puis l'alimentation de l'appareil est coupée.

4 Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez sur MENU pour quitter la page de menu.

Remarque

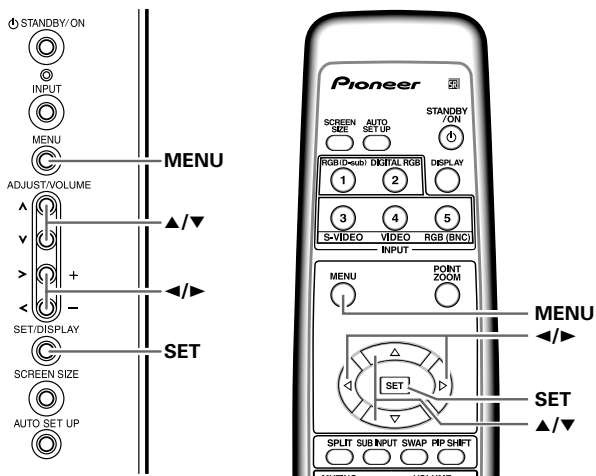
Les fonctions [GESTION D'ALIM.] et [ARRÊT AUTOMATIQUE] doivent être réglées individuellement pour chaque entrée (INPUT 1 à INPUT5).

Pour revenir au mode de fonctionnement :

- Pour repasser du mode Veille de la fonction [GESTION D'ALIM.] au mode de fonctionnement normal, faites fonctionner votre ordinateur ou appuyez sur la touche **INPUT** de l'écran à plasma ou de la télécommande.
- Pour repasser du mode [ARRÊT AUTOMATIQUE] au mode de fonctionnement normal: Appuyez sur la touche **STANDBY/ON** de l'écran à plasma ou de la télécommande.

Réglages de l'IMAGE et de l'ÉCRAN

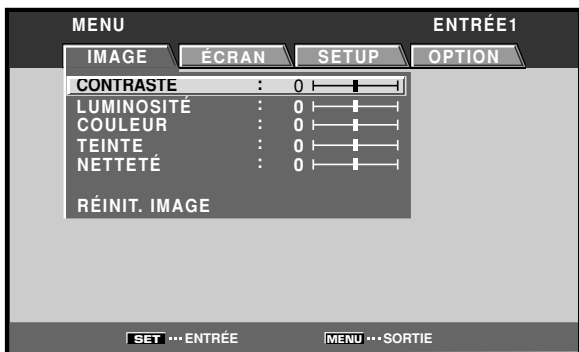
Réglage de l'IMAGE



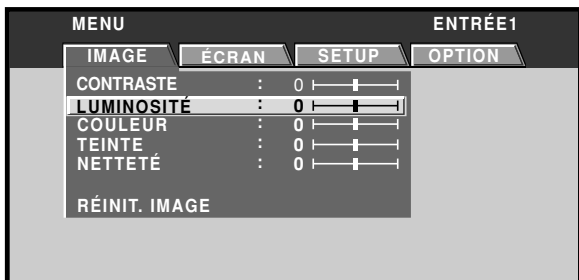
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

1 Appuyez sur la touche **MENU** pour afficher la page de menu.



2 Utilisez les touches **▲/▼** pour choisir le paramètre à régler puis appuyez sur la touche **SET**.



3 Réglez la qualité de l'image à l'aide des touches **◀/▶**.



4 Appuyez sur la touche **SET**.

En appuyant sur la touche **SET**, vous mettez en mémoire la valeur choisie et retournez à la page de l'opération 2.

5 Appuyez sur la touche **MENU** pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Remarque

Effectuez ces réglages pour chaque entrée (INPUT1 à INPUT5) et chaque signal.

Paramètres qui peuvent être réglés [IMAGE]

Voici de brèves explications sur les paramètres qui peuvent être réglés grâce à l'option [IMAGE].

- CONTRASTE Réglez le contraste en fonction de l'éclairage ambiant de manière que l'image soit bien visible.
- LUMINOSITÉ Réglez la luminosité de manière que les parties sombres de l'image soient bien visibles.
- COULEUR Réglez les couleurs pour obtenir une certaine profondeur. (Une certaine profondeur procure une sensation de naturel.)
- TEINTE Réglez la teinte pour que les couleurs de la peau paraissent naturelles.
- NETTETÉ En principe, choisissez la valeur centrale. Pour obtenir une image douce, choisissez une valeur à gauche; pour obtenir une image nette, choisissez une valeur à droite.

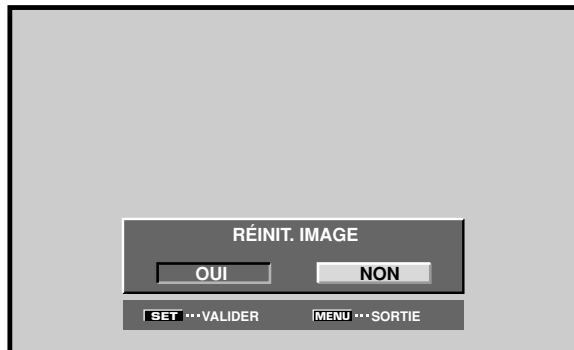
Remarque

Consultez le Mode d'emploi de votre écran à plasma à propos du réglage de l'option [IMAGE] lors de l'entrée de signaux d'ordinateur.

Pour rétablir les valeurs par défaut des paramètres de l'option [IMAGE]

Si les réglages effectués ne vous conviennent pas, il peut être souhaitable de rétablir les valeurs par défaut des différents paramètres de l'option [IMAGE] plutôt que de continuer à modifier les réglages.

1 Au cours de l'opération 2 ci-dessus, utilisez les touches **▲/▼** pour choisir l'option [RÉINIT. IMAGE] puis appuyez sur la touche **SET**.



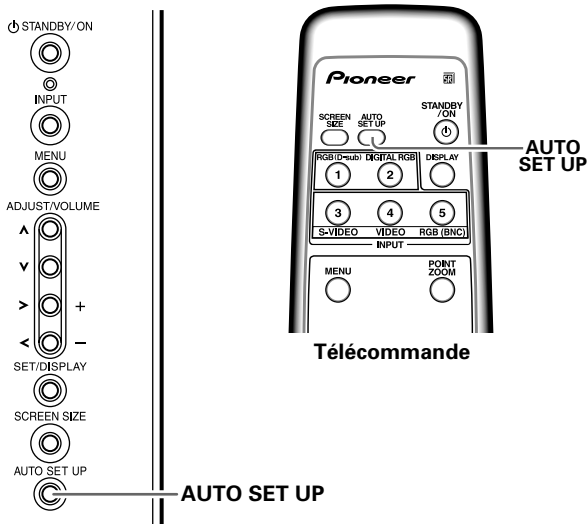
2 Utilisez les touches **◀/▶** pour choisir la valeur [OUI] puis appuyez sur la touche **SET**.

Les valeurs par défaut des paramètres de l'option [IMAGE] sont rétablies.

Réglage de la POSITION de l'écran, de l'HORLOGE et de la PHASE <Réglage automatique>

Une pression sur la touche **AUTO SET UP** de la télécommande ou du panneau de commande de l'écran à plasma (ou en sélectionnant [PARAMÉTRAGE AUTO.] sur le menu), l'appareil ajuste automatiquement la position de l'écran et de l'horloge pour convenir au mieux à l'entrée d'image actuelle.

Lorsque cette touche est actionnée, les paramètres idéaux sont automatiquement sélectionnés pour la source d'entrée actuelle.



Panneau de commande de l'écran à plasma

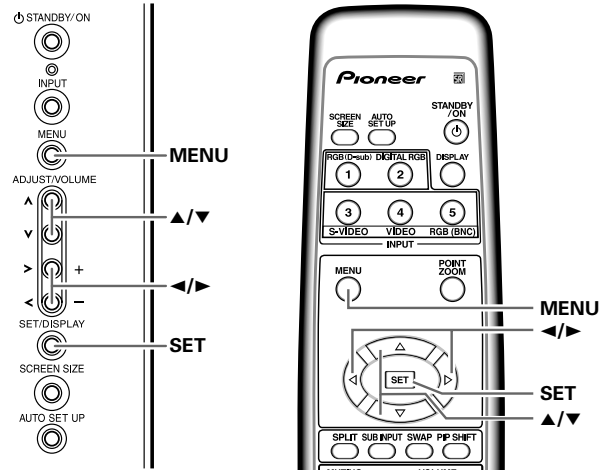
Appuyez sur la touche **AUTO SET UP** de l'appareil ou de la télécommande.



Remarques

- Ce paramètre est pris en compte uniquement quand un réglage d'ordinateur est raccordé à INPUT1 ou INPUT5.
- Effectuez ce réglage individuellement pour chaque fonction d'entrée (INPUT1 ou INPUT5) et pour chaque type de signal.
- Il se peut que les réglages optimaux ne soient pas obtenus avec des signaux à faible luminance ou certains autres types. Dans ces cas, utilisez les méthodes de réglage expliquées à la page suivante : "Réglage de la POSITION de l'écran, de l'HORLOGE et de la PHASE <Réglage manuel>."

Lorsque le mode de paramétrage automatique est sélectionné, l'appareil sera automatiquement ajusté aux paramètres idéaux lors de sa mise sous tension, lorsque la source d'entrée est changée ou que le type de signal d'entrée est modifié.



Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

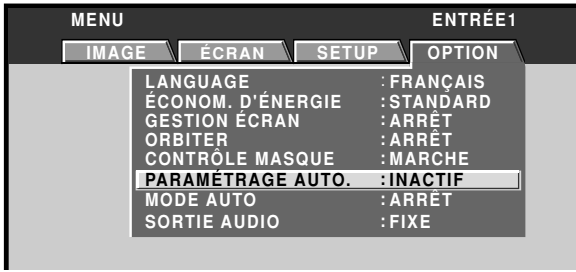
1 Appuyez sur la touche **MENU** pour afficher la page de menu.



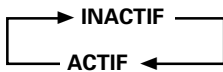
2 Utilisez les touches **◀/▶** pour sélectionner [OPTION].



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour sélectionner [PARAMÉTRAGE AUTO.].



4 Appuyez sur la touche SET pour valider le réglage. Le réglage par défaut effectué en usine est [INACTIF]. À chaque pression sur la touche, le réglage change comme suit :



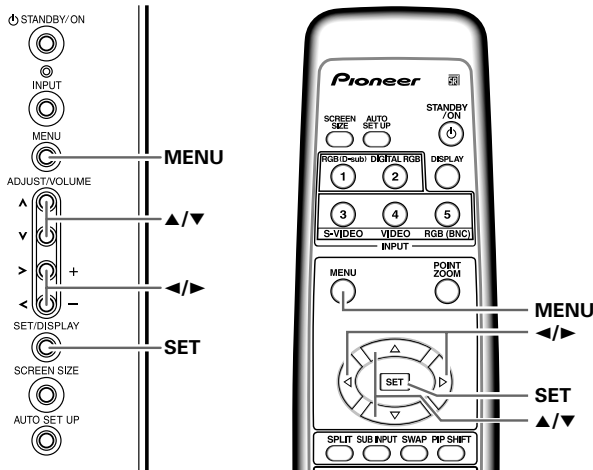
5 Lorsque que vous avez terminé les réglages, appuyez sur la touche MENU pour repasser à l'image de l'écran normal.

Remarques

- Ce paramètre est pris en compte uniquement quand un réglage d'ordinateur est raccordé à INPUT1 ou INPUT5.
- Il se peut que les réglages optimaux ne soient pas obtenus avec des signaux à faible luminance ou certains autres types. Dans ces cas, réglez le mode [PARAMÉTRAGE AUTO.] sur [INACTIF] et utilisez les méthodes de réglage manuel expliquées dans la section suivante : "**Réglage de la POSITION de l'écran, de l'HORLOGE et de la PHASE <Réglage manuel>**".

Réglage de la POSITION de l'écran, de l'HORLOGE et de la PHASE <Réglage manuel>

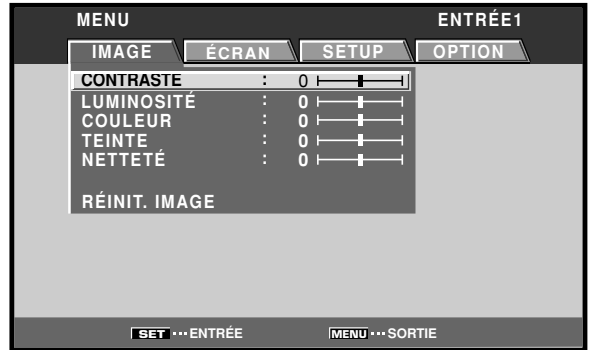
Ce réglage est possible quand un signal d'ordinateur est raccordé sur INPUT1, INPUT2 ou INPUT5.



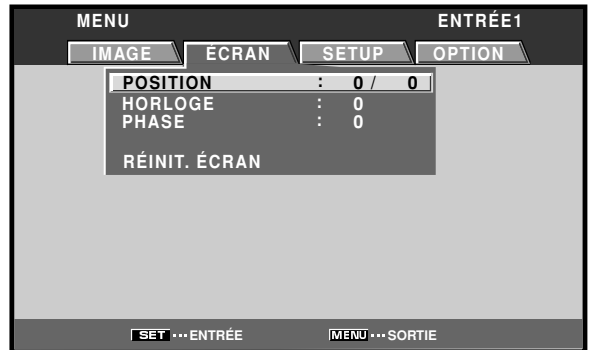
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

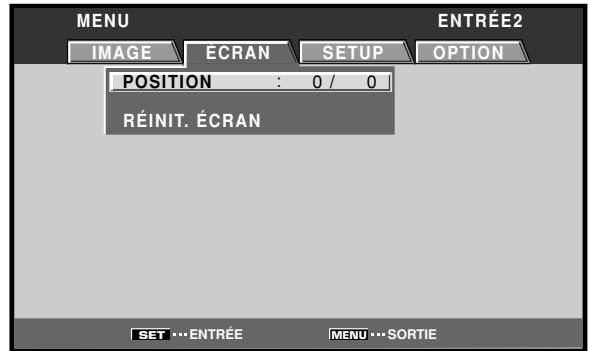
1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



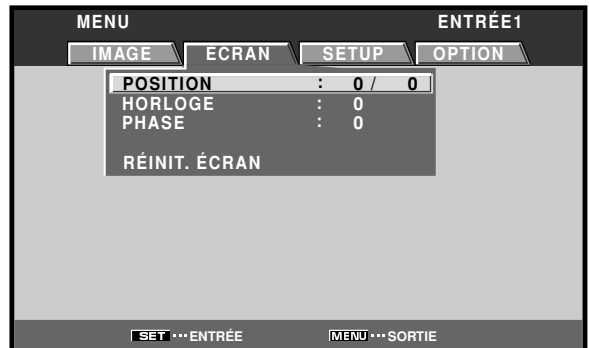
2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir l'option [ÉCRAN].



Si ENTRÉE2, ENTRÉE3 ou ENTRÉE4 est sélectionné, l'écran suivant apparaît et seul le réglage [POSITION] peut être sélectionné.

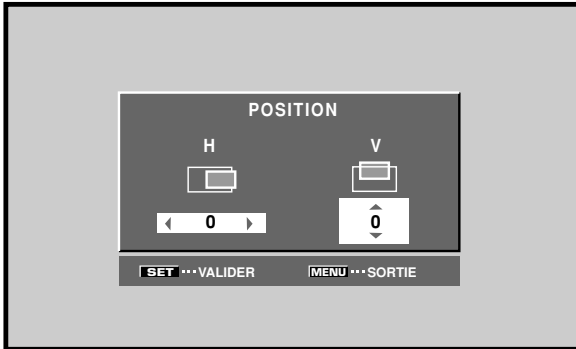


3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir le paramètre à régler puis appuyez sur la touche SET.



4 Utilisez les touches ◀/▶ et ▲/▼ pour sélectionner la valeur souhaitée.

- Lorsque la rubrique [POSITION] est sélectionnée, les touches ◀/▶ contrôlent le mouvement dans le sens horizontal (H) et les touches ▲/▼ dans le sens vertical (V).



- Utilisez les touches ◀/▶ pour le réglage des paramètres [HORLOGE] et [PHASE].



5 Appuyez sur la touche SET.

En appuyant sur la touche **SET**, vous mettez en mémoire la valeur choisie et retournez à la page de l'opération 3.

6 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Remarque

- Effectuez ces réglages pour chaque entrée (INPUT1 ou INPUT5) et chaque signal.
- Si ENTRÉE2 (INPUT2) est sélectionné, seul le paramètre [POSITION] peut être ajusté.

Paramètres qui peuvent être réglés [ÉCRAN]

Voici de brèves explications sur les paramètres qui peuvent être réglés grâce à l'option [ÉCRAN].

POSITION

H Réglage de la position latérale de l'image.

V Réglage de la position verticale de l'image.

HORLOGE Réglage des signaux et du bruit. Ce réglage agit sur la fréquence du signal de l'horloge interne en fonction du signal d'entrée vidéo.

PHASE Réglage du scintillement et des erreurs de couleur. Ce réglage agit sur la phase du signal de l'horloge interne dont la fréquence a été réglée au moyen du paramètre [HORLOGE].

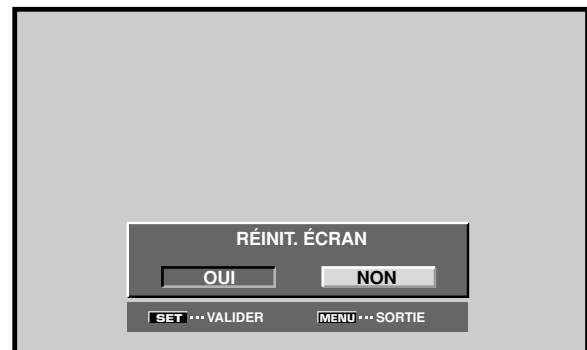
Remarques

- Les paramètres de réglage [HORLOGE] et [PHASE] sont pris en compte uniquement pour INPUT1 et INPUT5.
- Si la fréquence [HORLOGE] est changée, il se peut que l'option [H] de la commande [POSITION] doive être retouchée.
- Si les paramètres de l'option [ÉCRAN] ont des valeurs excessives, l'image peut être déformée.
- Lorsque [PARAMÉTRAGE AUTO.] est réglé sur [ACTIF], la sélection du mode de réglage [POSITION] ou [HORLOGE] fera s'afficher un message sur l'écran, mais le réglage est possible. Cependant, si la source est changée, la valeur mémorisée sera celle qui a été définie automatiquement par le mode de paramétrage automatique. Si vous désirez mémoriser une valeur manuellement définie, réglez le mode [PARAMÉTRAGE AUTO.] sur [INACTIF] (page 29) avant d'effectuer les réglages.

Pour rétablir les valeurs par défaut des paramètres de l'option [ÉCRAN]

Si les réglages effectués ne vous conviennent pas, il peut être souhaitable de rétablir les valeurs par défaut des différents paramètres de l'option [ÉCRAN] plutôt que de continuer à modifier les réglages.

1 Au cours de l'opération 3 ci-dessus, utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option [RÉINIT. ÉCRAN] puis appuyez sur la touche SET.



2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir la valeur [OUI] puis appuyez sur la touche SET.

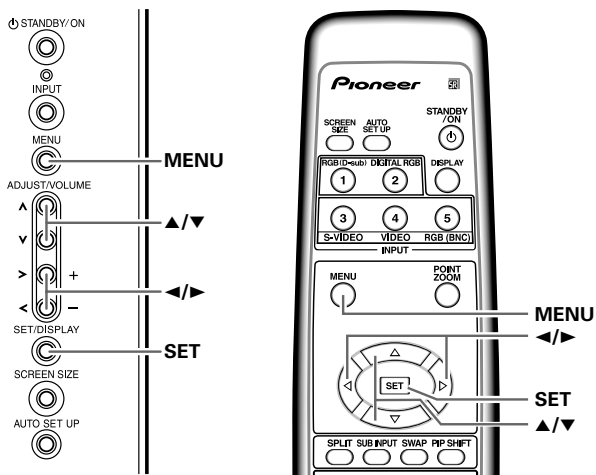
Les valeurs par défaut des paramètres de l'option [ÉCRAN] sont rétablies.

Réglage de l'orbiteur (ORBITER)

À intervalles déterminés (environ toutes les 8 minutes), cette fonction déplace automatiquement et progressivement la position d'affichage sur l'écran. Le mouvement sur l'écran est de 1 pixel dans le sens horizontal ou vertical.

Lorsqu'une image fixe doit être affichée, le fait de régler [ORBITER] sur [MARCHE] permettra d'éviter des "brûlures" de l'écran par suite d'une image rémanente.

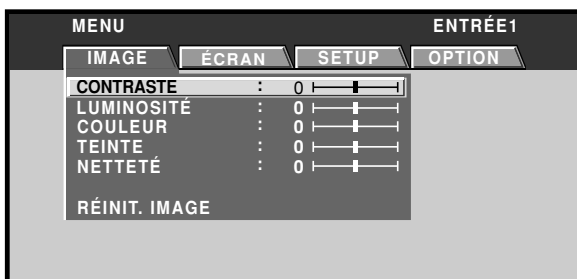
- Cette fonction n'est pas prise en compte à l'emploi de la fonction POINT ZOOM, de la fonction multi-écran ou de l'affichage du menu.



Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

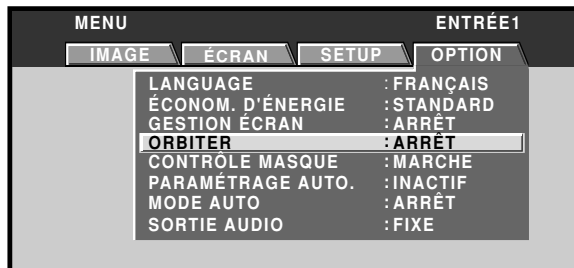
- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



- 2 Utilisez les touches <◀/▶> pour sélectionner [OPTION].



- 3 Utilisez les touches ▲/▼ pour sélectionner [ORBITER].



- 4 Appuyez sur la touche SET pour valider le réglage.

Le réglage par défaut effectué en usine est [ARRÊT]. À chaque pression sur la touche, le réglage change comme suit :



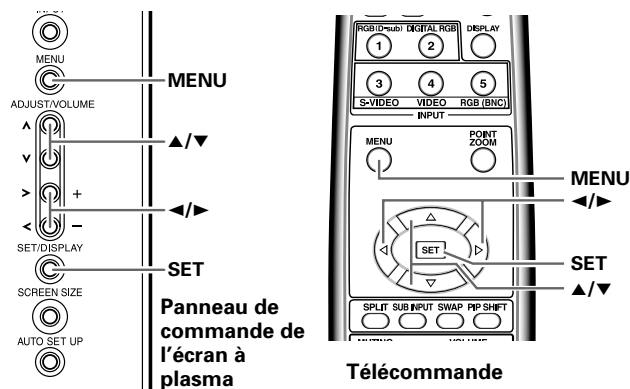
- 5 Lorsque les réglages sont terminés, appuyez sur la touche MENU pour repasser à l'image d'écran normal.

Remarque

Le paramètre [ORBITER] affecte toutes les sources d'entrée.

Position de masque latéral (CONTRÔLE MASQUE)

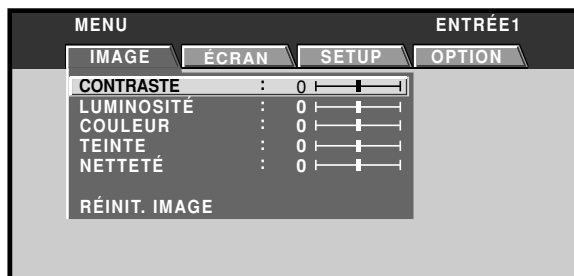
Lorsque le format d'écran est réglé sur [POINT PAR POINT] ou [4:3], ou à l'emploi de l'affichage multi-écran, la position des barres noires sur les côtés de l'écran et la position du sous-écran sont légèrement modifiées à chaque mise sous tension afin d'atténuer les "brûlures" causées par les images rémanentes sur l'écran.



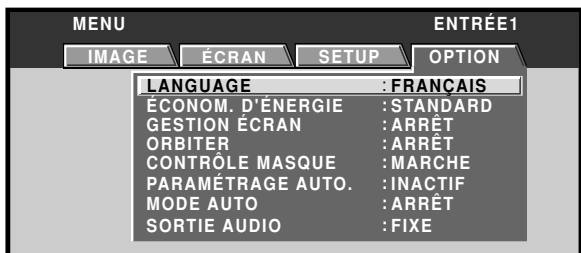
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

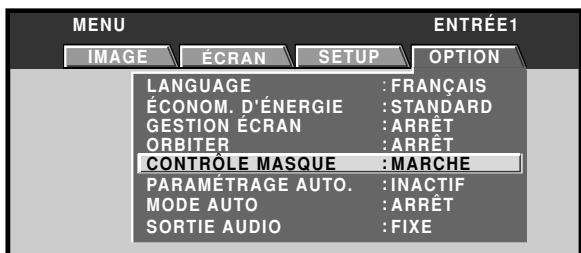
- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



- 2 Utilisez les touches ◀/▶ pour sélectionner [OPTION].



- 3 Utilisez les touches ▲/▼ pour sélectionner [CONTRÔLE MASQUE].



- 4 Appuyez sur la touche SET pour valider le réglage. Le réglage par défaut effectué en usine est [MARCHE]. À chaque pression sur la touche, le réglage change comme suit :

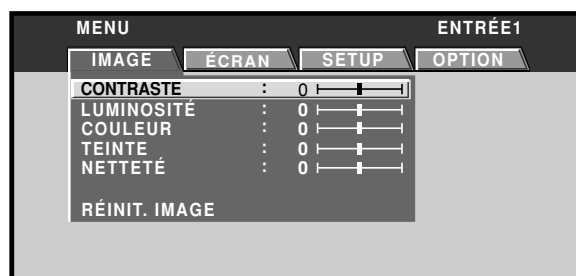


- 5 Lorsque les réglages sont terminés, appuyez sur la touche MENU pour repasser à l'image d'écran normal.

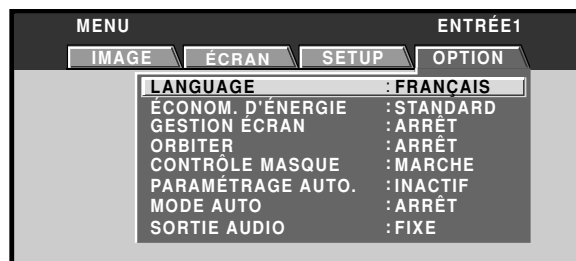
Remarque

Le paramètre [CONTRÔLE MASQUE] affecte toutes les sources d'entrée.

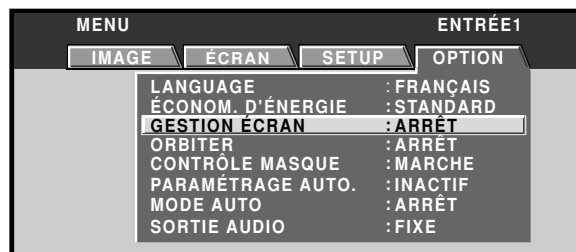
- 1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



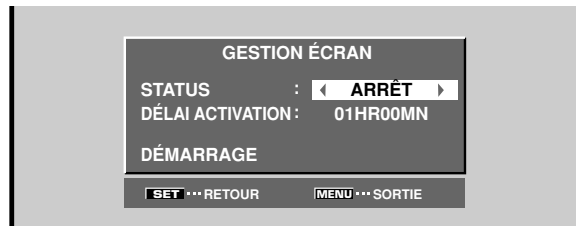
- 2 Utilisez les touches ◀/▶ pour sélectionner [OPTION].



- 3 Utilisez les touches ▲/▼ pour sélectionner [GESTION ÉCRAN], puis appuyez sur la touche SET.



- 4 Utilisez les touches ▲/▼ pour sélectionner [STATUS].



- 5 Utilisez les touches ◀/▶ pour sélectionner [UNE FOIS] ou [RÉPÉTITION].

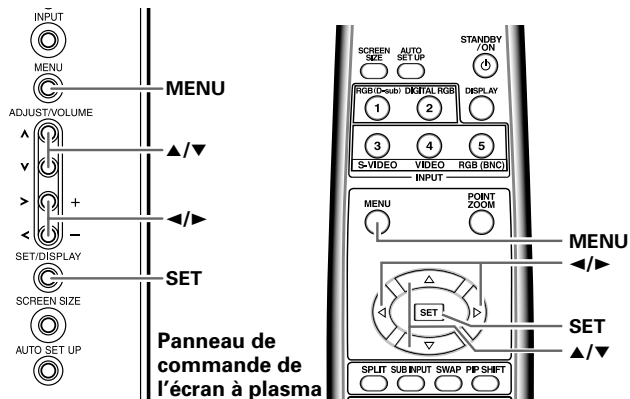
Le réglage par défaut effectué en usine est [ARRÊT]. À chaque pression sur la touche, le réglage change comme suit :



- UNE FOIS Le programme de gestion d'écran est exécuté une fois seulement.
- RÉPÉTITION... Le programme de gestion d'écran est exécuté de façon répétée (par cycle de 24 heures).
- ARRÊT Le programme de gestion d'écran est désactivé et une image d'écran normal est affichée de façon continue.

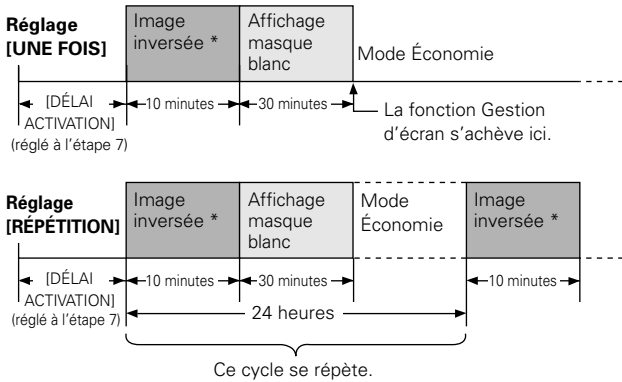
Réglages de gestion d'écran (GESTION ÉCRAN)

Afin d'éviter les brûlures causées par la rémanence d'images virtuelles, cet écran à plasma est doté d'un programme de gestion d'écran qui permet un déplacement de l'image affichée à intervalles réguliers. Le programme peut être réglé de manière à déterminer comment le cycle de gestion de l'écran sur 24 heures se répète. Pour des informations sur les paramètres de gestion de l'écran, consultez le technicien d'installation.



Télécommande

En vertu des paramétrages par défaut effectués en usine, le contenu de l'affichage d'écran change comme suit :

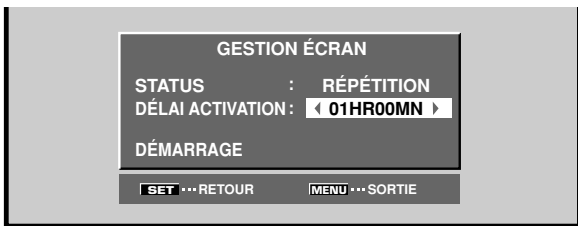


* Les couleurs et la luminosité de l'image actuelle sont affichées par valeurs inverses. Les niveaux de sortie des couleurs RVB respectives sont inversées, tandis que les zones claires paraissent sombres et les sombres paraissent claires.

Remarques

- Lors d'un réglage à [UNE FOIS], à la fin du programme de gestion d'écran, cette partie de l'affichage se change en un message [ARRÊT]. Si vous souhaitez continuer le programme de gestion d'écran, servez-vous des touches ◀▶ pour sélectionner à nouveau [UNE FOIS] ou changer à [RÉPÉTITION].
- Au cours de la gestion d'écran lors d'un réglage sur [UNE FOIS] ou [RÉPÉTITION], si l'interrupteur d'alimentation MAIN POWER est coupé, le programme de gestion d'écran s'arrêtera et cette partie de l'affichage indiquera le message [ARRÊT]. Si vous souhaitez continuer le programme de gestion d'écran, servez-vous des touches ◀▶ pour sélectionner à nouveau [UNE FOIS] ou [RÉPÉTITION].

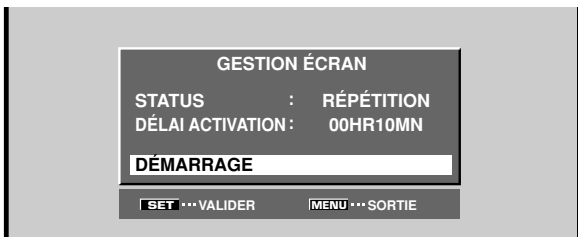
6 Utilisez les touches ▲/▼ pour sélectionner [DÉLAI ACTIVATION].



7 Utilisez les touches ◀▶ pour régler l'heure à laquelle vous souhaitez que le programme de gestion d'écran commence.

En agissant sur les touches ◀▶, il est possible de programmer le fonctionnement de la gestion d'écran entre 0 et 24 heures, par paliers de 10 minutes.

8 Utilisez les touches ▲/▼ pour sélectionner [DÉMARRAGE].



9 Appuyez sur la touche SET.

La valeur définie est mémorisée et l'écran repasse à celui qui est affiché à l'étape 2.

Le compte à rebours commence lorsque la touche SET est actionnée et après le passage de la durée définie à l'étape 7, le programme de gestion d'écran commence à fonctionner.

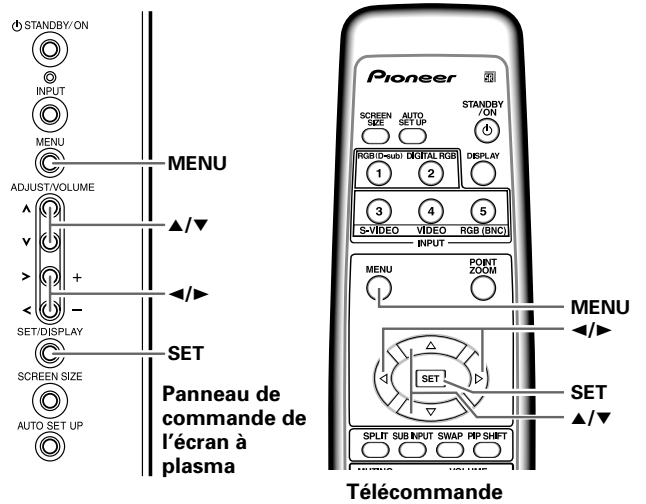
10 Lorsque le réglage est terminé, appuyez sur la touche MENU pour revenir à l'image d'écran normal.

Remarque

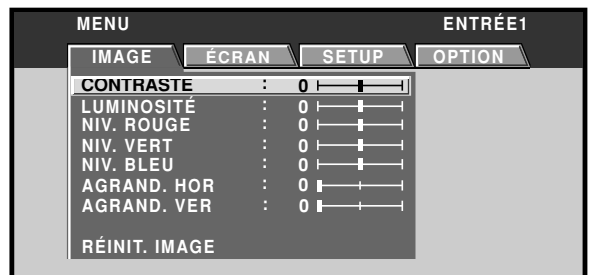
Le paramètre [GESTION ÉCRAN] affecte toutes les sources d'entrée.

Réglages d'économie d'énergie (ÉCONOM. D'ÉNERGIE)

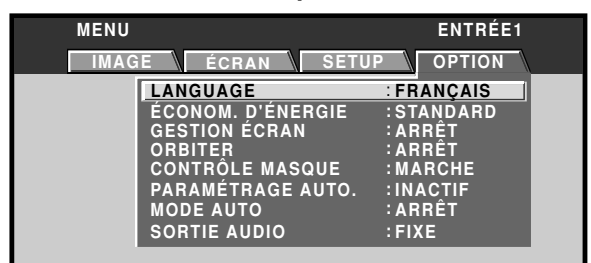
Cette fonction permet une atténuation de la luminosité de l'écran, un moyen de réduire la consommation de courant et d'éviter la détérioration de l'écran.



1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



2 Utilisez les touches ◀▶ pour choisir [OPTION].



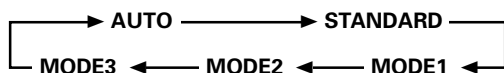
3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [ÉCONOM. D'ÉNERGIE].



4 Appuyez sur la touche SET pour choisir l'option [ÉCONOM. D'ÉNERGIE].

Le réglage par défaut effectué en usine est [STANDARD].

Le réglage change comme suit chaque fois que la touche **SET** est actionnée:



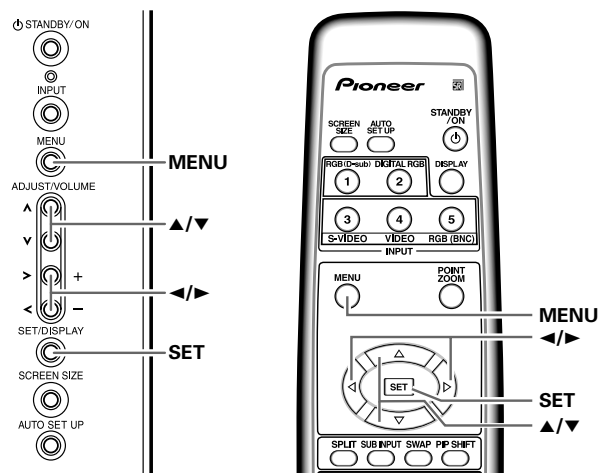
- STANDARD ... La luminosité est ajustée en fonction du signal d'entrée afin de produire des images claires et agréables à regarder.
- MODE1 La luminosité est ajustée en fonction du signal d'entrée, mais la consommation de courant est inférieure à celle du mode [STANDARD].
- MODE2 La luminosité est ajustée en fonction du signal d'entrée, mais la consommation de courant est inférieure à celle du mode [MODE1].
- MODE3 La luminosité reste à un niveau fixe, quel que soit le signal d'entrée, ce qui contribue à réduire la détérioration de l'écran par rémanence d'images virtuelles, etc.
- AUTO La luminosité se règle automatiquement en fonction des conditions de l'éclairage ambiant, de manière à produire des images optimales.

5 Une fois terminés ces réglages, appuyez sur la touche MENU pour repasser à l'écran normal.

Remarque

Le paramètre [ÉCONOM. D'ÉNERGIE] concerne toutes les sources d'entrée.

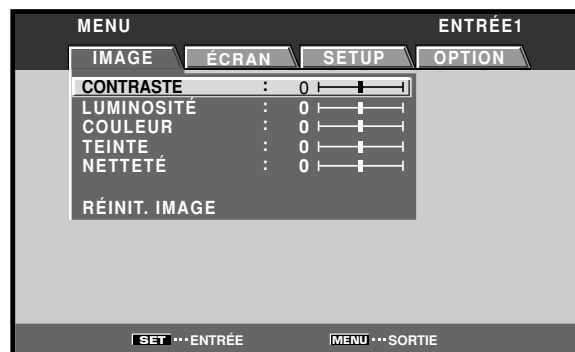
Changement de la température de couleur (TEMP. COULEUR)



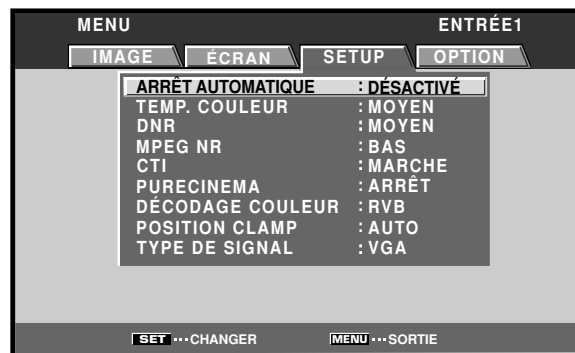
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



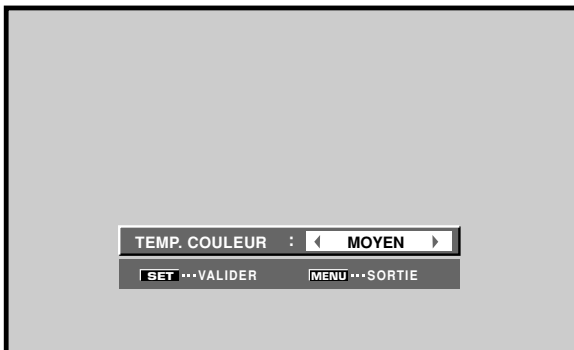
2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir [SETUP].



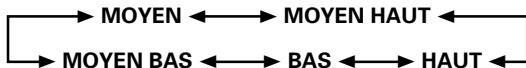
- 3** Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [TEMP. COULEUR], puis appuyez sur la touche SET.



- 4** Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir le réglage de température de couleur souhaité.



Le réglage par défaut effectué en usine est [MOYEN]. Le paramètre de température couleur change dans l'ordre suivant à chaque pression sur la touche :



- 5** Appuyez sur la touche SET. La fonction de température de couleur [TEMP. COULEUR] est réglée et l'écran revient à celui présenté à l'étape 4.

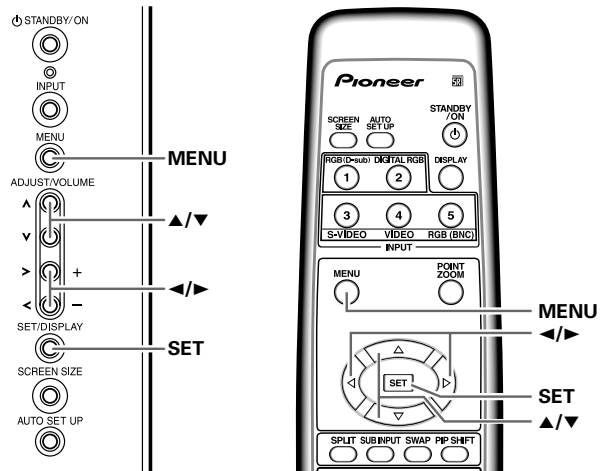
- 6** Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez à nouveau sur la touche MENU pour repasser à l'affichage normal.

Remarque

Les réglages [TEMP. COULEUR] sont pris en compte uniquement pour un signal d'entrée provenant d'un composant vidéo. Effectuez les réglages individuellement pour chaque entrée (INPUT1 à INPUT5) et pour chaque type de signal. (Pour INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)

Réduction du bruit vidéo (DNR)

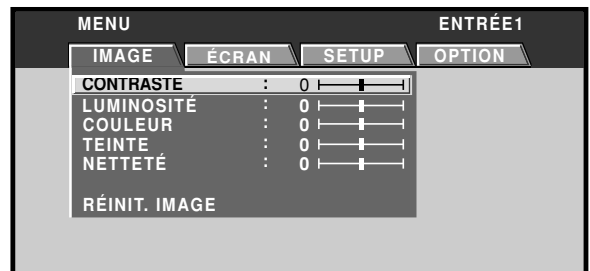
Effectuez ce réglage si le bruit vidéo n'est pas supportable.



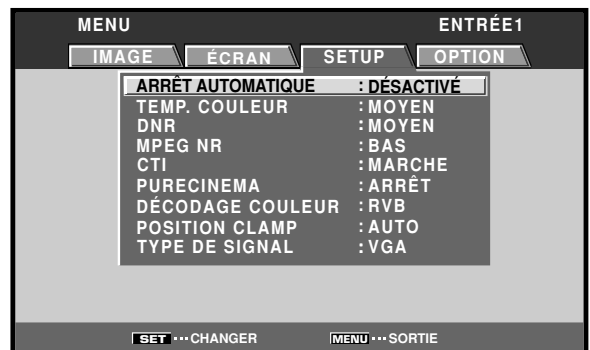
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

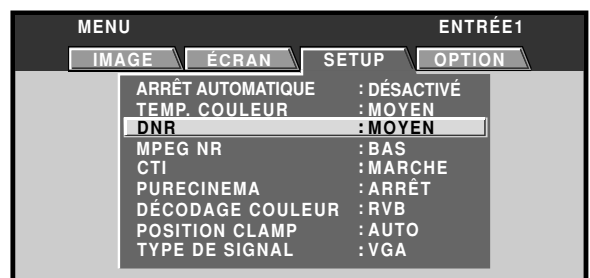
- 1** Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



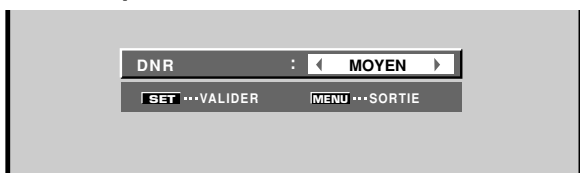
- 2** Utilisez sur les touches ◀/▶ pour choisir l'option [SETUP].



- 3** Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [DNR], puis appuyez sur la touche SET.



- 4** Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir le réglage souhaitée pour la réduction du bruit [DNR].



Le réglage par défaut effectué en usine est [MOYEN]. Le paramètre de réduction du bruit numérique change dans l'ordre suivant à chaque pression sur la touche :



- L'effet de réduction du bruit augmente dans l'ordre: BAS → MOYEN → HAUT

- 5** Appuyez sur la touche SET.

La fonction de température de couleur [DNR] est réglée et l'écran revient à celui présenté à l'étape 4.

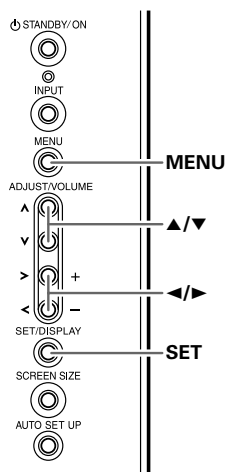
- 6** Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez à nouveau sur la touche MENU pour repasser à l'affichage normal.

Remarque

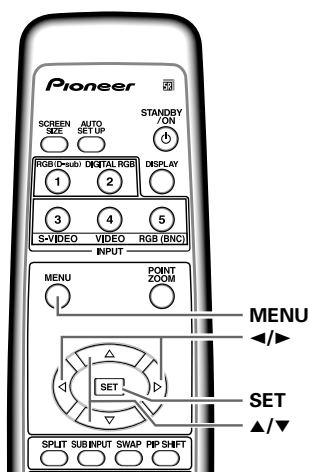
Les réglages [DNR] sont pris en compte uniquement pour un signal d'entrée provenant d'un composant vidéo. Effectuez les réglages individuellement pour chaque entrée (INPUT1 à INPUT5) et pour chaque type de signal. (Pour INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)

Réduction du bruit sur les images MPEG (MPEG NR)

Utilisez cette fonction si les émissions numériques ou les images de DVD et MPEG sont distordues par ce qu'on appelle du "bruit de moustique".

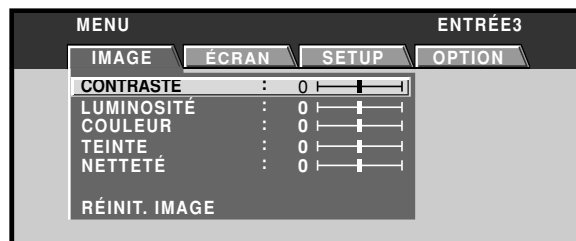


Panneau de commande de l'écran à plasma



Télécommande

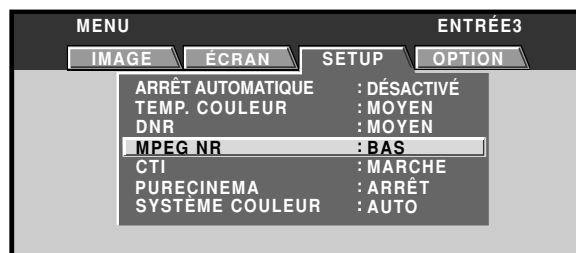
- 1** Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



- 2** Utilisez sur les touches ◀/▶ pour choisir l'option [SETUP].



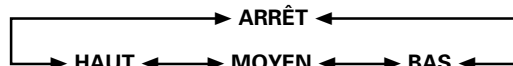
- 3** Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [MPEG NR], puis appuyez sur la touche SET.



- 4** Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir le réglage souhaitée pour [MPEG NR].



Le réglage par défaut effectué en usine est [BAS]. Le paramètre de réduction du bruit change dans l'ordre suivant à chaque pression sur la touche :



- L'effet de réduction du bruit augmente dans l'ordre: BAS → MOYEN → HAUT

- 5** Appuyez sur la touche SET.

La fonction de température de couleur [MPEG NR] est réglée et l'écran revient à celui présenté à l'étape 4.

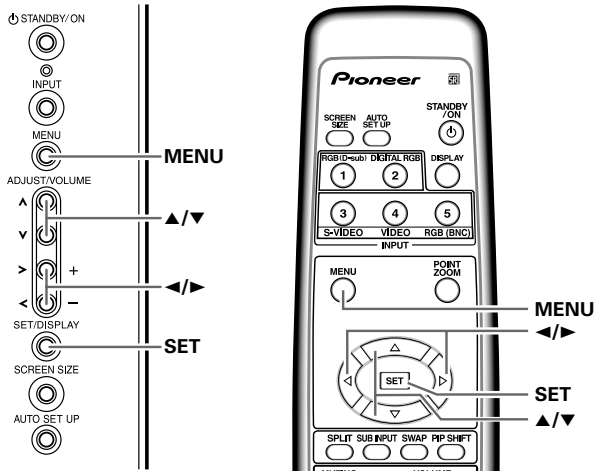
- 6** Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez à nouveau sur la touche MENU pour repasser à l'affichage normal.

Remarque

Les réglages [MPEG NR] sont pris en compte uniquement pour un signal d'entrée provenant d'un composant vidéo. Effectuez les réglages individuellement pour chaque entrée (INPUT1 à INPUT5) et pour chaque type de signal. (Pour INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)

Augmentation du contraste du bord de couleur (CTI)

Pour améliorer le contraste du contour des couleurs selon ses préférences.



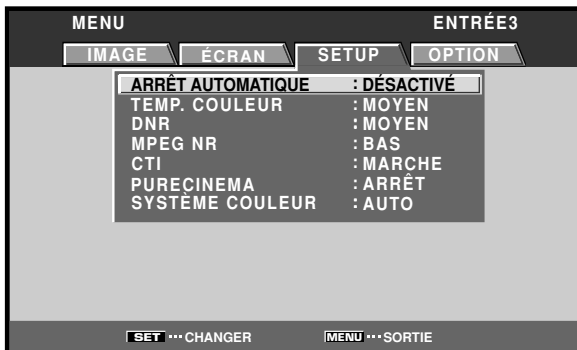
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

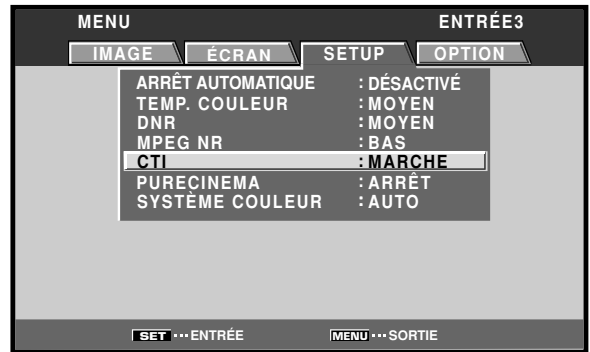
1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



2 Utilisez sur les touches ◀/▶ pour choisir l'option [SETUP].



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [CTI], puis appuyez sur la touche SET.



4 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir le réglage souhaitée pour [CTI].



Le réglage par défaut effectué en usine est [MARCHE]. À chaque poussée sur la touche, le réglage change dans l'ordre suivant :



5 Appuyez sur la touche SET.

La fonction de température de couleur [CTI] est réglée et l'écran revient à celui présenté à l'étape 4.

6 Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez à nouveau sur la touche MENU pour repasser à l'affichage normal.

Remarque

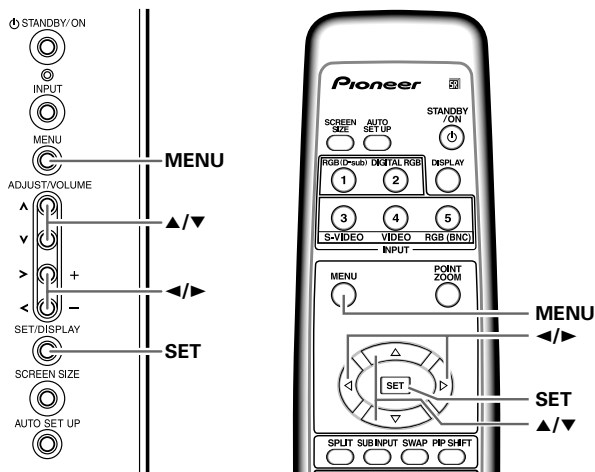
Les réglages [CTI] sont pris en compte uniquement pour un signal d'entrée provenant d'un composant vidéo. Effectuez les réglages individuellement pour chaque entrée (INPUT1 à INPUT5) et pour chaque type de signal. (Pour INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)

Réglage du mode PURECINEMA

Il permet une lecture DVD de l'enregistrement de films et d'autres images avec une fidélité améliorée.

Remarque

Effectuez les réglages individuellement pour chaque entrée (INPUT1 à INPUT5) et pour chaque type de signal. (Pour INPUT2, PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)



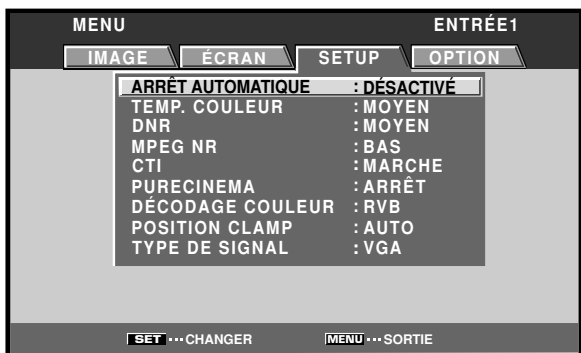
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

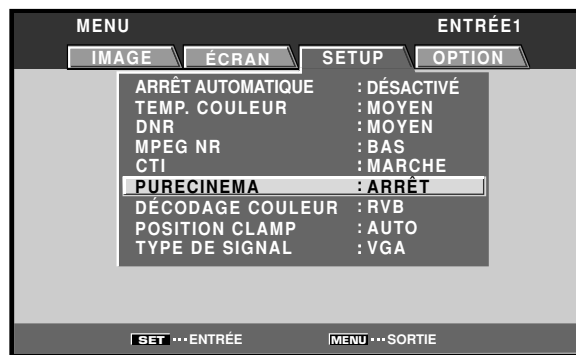
1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



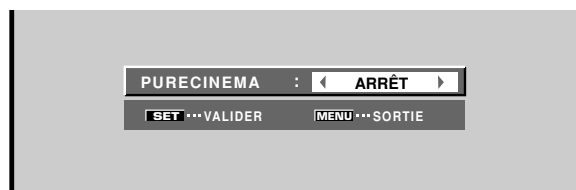
2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir l'option [SETUP].



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [PURECINEMA].



4 Utilisez les touches ◀/▶ pour sélectionner le mode [PURECINEMA] souhaité.



Le réglage par défaut effectué en usine est [ARRÊT]. À chaque poussée sur la touche, le réglage du mode d'écran change dans l'ordre suivant :



- ARRÊT La fonction [PURECINEMA] est désactivée.
- STANDARD A la lecture de DVD et d'images de film Hi-Vision enregistrés à 24 images/sec., les données enregistrées sont automatiquement détectées et les ajustements sont apportés pour fournir une restitution optimale de la beauté des images originales.
- AVANCÉ A la lecture de DVD où les images sont enregistrées à 24 images/sec., les informations vidéo enregistrées sont automatiquement détectées et les signaux sont convertis en 72 Hz pour la lecture, afin de recréer la fluidité de mouvement de l'écran d'une salle de cinéma et l'impression de véritable qualité visuelle du film.

Remarque

Pendant l'entrée des signaux vidéo, il se peut que les modes pouvant être sélectionnés soient différents selon le type du signal d'entrée. Pour plus de détails, consultez le "Supplément 3 : Tableau des compatibilités du signal PURECINEMA" (page 47).

5 Appuyez sur la touche SET.

La fonction [PURECINEMA] est réglée et l'écran revient à celui présenté à l'étape 4.

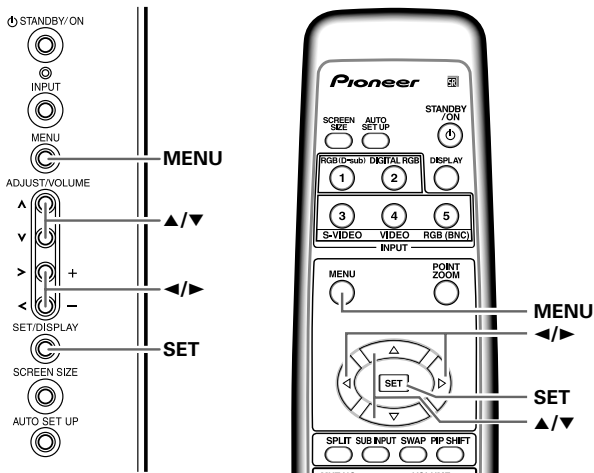
6 Lorsque ces réglages sont terminés, appuyez à nouveau sur la touche MENU pour repasser à l'affichage normal.

Réglage du système couleur (SYSTÈME COULEUR)

Les entrées INPUT3 et INPUT4 sont compatibles avec différents standards de télévision utilisés dans le monde; la détection du standard du signal télévisé est automatique. En principe, choisissez [SYSTÈME COULEUR: AUTO] de manière que la détection soit automatique. Toutefois, certains signaux résultant de copie ou de montage peuvent être affichés de manière erronée (perte de couleur, etc.). En ce cas, changez le standard en fonction du signal d'entrée.

Remarque

Le choix du standard est nécessaire pour chaque entrée (INPUT3 et INPUT4). Choisir le standard du signal télévisé appliqué à l'entrée, permet un traitement immédiat du signal et évite toute erreur dans la détection automatique du standard.



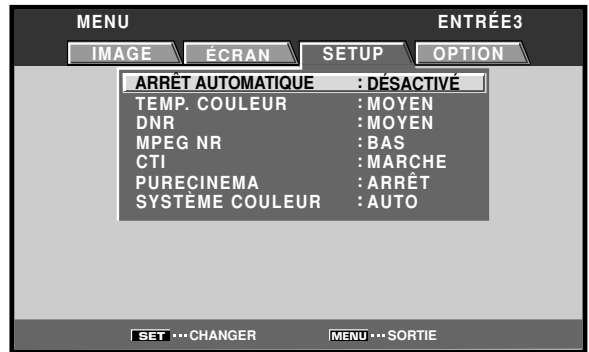
Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir l'option [SETUP].

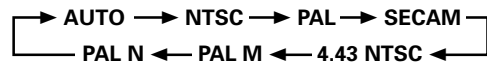


3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir l'option [SYSTÈME COULEUR].



4 Appuyez sur la touche SET de manière répétée jusqu'à ce que le standard convenable soit affiché.

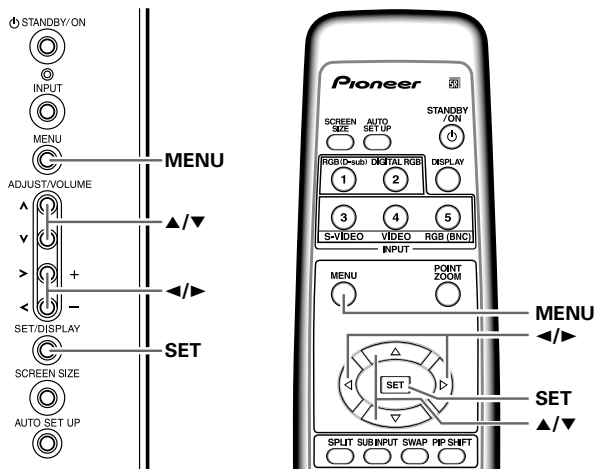
Le réglage par défaut effectué en usine est [AUTO]. Chaque pression sur la touche SET, modifie comme suit les indications affichées :



5 Appuyez sur la touche MENU pour abandonner la page de menu lorsque la mise en oeuvre est terminée.

Commutation d'entrée automatique (MODE AUTO)

Cet écran à plasma possède une fonction de détection [MODE AUTO]. Lorsqu'un signal est détecté à l'entrée sélectionnée, le sélecteur de fonction assure une commutation automatique à cette entrée.



Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir [OPTION].

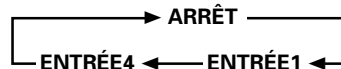


3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [MODE AUTO].



4 Appuyez sur la touche SET pour choisir le réglage souhaité pour [MODE AUTO].

Le réglage par défaut effectué en usine est [ARRÊT] (hors service). A chaque pression sur la touche **SET**, la fonction du sélecteur permute comme suit:



- ARRÊT Le paramètre [MODE AUTO] est désactivé.
- ENTRÉE1 ou ENTRÉE4...

- Si un signal est détecté à la prise d'entrée sélectionnée, la fonction d'entrée passera automatiquement à l'entrée sélectionnée.
- Après que la fonction [MODE AUTO] a provoqué le changement de l'entrée, la source d'entrée repassera à celle qui était sélectionnée avant l'action de la fonction [MODE AUTO] si le signal d'entrée n'est plus détecté.
- Si l'entrée change lorsque l'appareil est en mode [MODE AUTO], une pression sur la touche INPUT pour sélectionner une entrée différente fera que le mode [MODE AUTO] sera temporairement désactivé, mais il pourra à nouveau être activé en mettant l'appareil sous/hors tension.

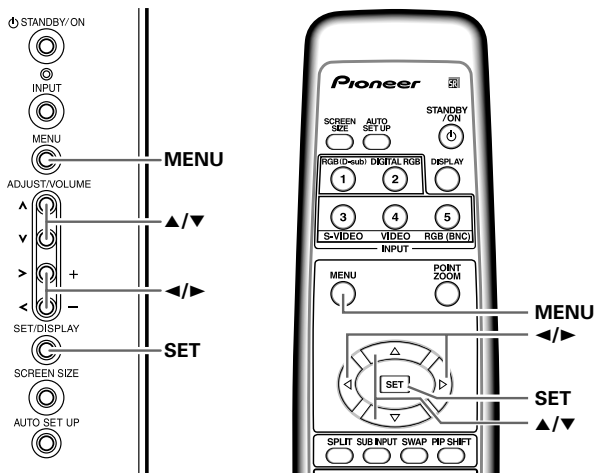
5 Une fois terminés ces réglages, appuyez sur la touche MENU pour repasser à l'écran normal.

Remarques

- Le paramètre [MODE AUTO] pour [ENTRÉE1] est supporté uniquement lorsqu'un signal RVB analogique SYNC séparé ou SYNC composite est fourni. (Lorsqu'un signal G ON SYNC ou un signal vidéo à composants est entré, la fonction [MODE AUTO] est désactivée.)
- Le paramètre [MODE AUTO] affecte toutes les sources d'entrée.

A propos de la sortie audio (SORTIE AUDIO) (PDP-504CMX/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S et le PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S seulement)

Au besoin, le niveau du signal fourni à la prise AUDIO (OUTPUT) peut être réglé sur [FIXE] ou [VARIABLE] (lié à la fonction VOLUME).



Panneau de commande de l'écran à plasma

Télécommande

1 Appuyez sur la touche MENU pour afficher la page de menu.



2 Utilisez les touches ◀/▶ pour choisir [OPTION].



3 Utilisez les touches ▲/▼ pour choisir [SORTIE AUDIO].



4 Appuyez sur SET pour choisir le réglage souhaité pour le niveau audio.

Le réglage par défaut effectué en usine est [FIXE]. A chaque pression sur la touche **SET**, la fonction change comme suit:



- **FIXE** Le volume de sortie audio ne change pas, même si les commandes VOLUME sont actionnées.
- **VARIABLE** Le volume de sortie audio change selon l'action exercée sur les commandes VOLUME.

5 Une fois terminés ces réglages, appuyez sur la touche MENU pour repasser à l'écran normal.

Remarques

- Le paramètre [SORTIE AUDIO] affecte toutes les sources d'entrée.
- Le volume de la sortie sonore obtenue au niveau de la borne AUDIO du PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 est [VARIABLE].

Caractéristiques techniques

Généralités

Dimensions hors tout

PDA-5003 301,5 (L) x 27,6 (H) x 148,9 (P) mm

PDA-5004 301,5 (L) x 27,6 (H) x 148,3 (P) mm

Poids 0,4 kg

Gamme de température de fonctionnement 0 à 40°C

■ PDA-5003

Entrée/sortie

Vidéo

INPUT3

Entrée

- Prise S (mini DIN 4 broches)
- Signal vidéo Y/C séparé
Y (luminance) 1 Vcc/75 Ohms, synchro négative
 - C (chrominance) ... 0,286 Vcc/75 Ohms (NTSC)
0,3 Vcc/75 Ohms (PAL)

INPUT4

Entrée

- Prise BNC
- Signal vidéo composite
1 Vcc/75 Ohms, synchro négative

Sortie

- Prise BNC
75 Ohms avec protection

INPUT5

Entrée

- Prise BNC (x 5)
- Signal RVB (Compatible G ON SYNC)
RVB ... 0,7 Vcc/75 Ohms/pas de synchro
HD/VS, VD ... Niveau TTL/polarités positive et négative/75 Ohms ou 2,2 kOhms (commutateur d'impédance)
G ON SYNC ...
1 Vcc/75 Ohms/synchro négative
 - Signal vidéo à composant
Y ... 1 Vcc / 75 Ohms, synchro négative
P_B/C_B, P_R/C_R ...
0,7 Vcc (couleur 100%)/75 Ohms

Audio

Entrée

- Entrée audio (pour INPUT3/4)
Fiche (x 2)
G/D ... 500 mV eff./plus de 10 kOhms

- Entrée audio (pour INPUT5)
Fiche (x 2)
G/D ... 500 mV eff./plus de 10 kOhms

■ PDA-5004

Entrée/sortie

Vidéo

INPUT3

Entrée

- Prise S (mini DIN 4 broches)
- Signal vidéo Y/C séparé
Y (luminance) 1 Vcc/75 Ohms, synchro négative
 - C (chrominance) ... 0,286 Vcc/75 Ohms (NTSC)
0,3 Vcc/75 Ohms (PAL)

INPUT4

Entrée

- Prise RCA
- Signal vidéo composite
1 Vcc/75 Ohms, synchro négative

Sortie

- Prise RCA
75 Ohms avec protection

INPUT5

Entrée

- Prise RCA
- Signal RVB (Compatible G ON SYNC)
RVB ... 0,7 Vcc/75 Ohms/pas de synchro
G ON SYNC ...
1 Vcc/75 Ohms/synchro négative
 - Signal vidéo à composant
Y ... 1 Vcc / 75 Ohms, synchro négative
P_B/C_B, P_R/C_R ...
0,7 Vcc (couleur 100%)/75 Ohms

Audio

Entrée

- Entrée audio (pour INPUT3)
Fiche (x 2)
G/D ... 500 mV eff./plus de 10 kOhms
- Entrée audio (pour INPUT4)
Fiche (x 2)
G/D ... 500 mV eff./plus de 10 kOhms
- Entrée audio (pour INPUT5)
Fiche (x 2)
G/D ... 500 mV eff./plus de 10 kOhms

Accessoires










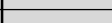
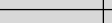





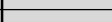
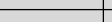
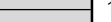












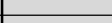
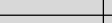



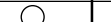
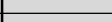
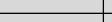









- Étiquette pour télécommande 1
- Étiquette d'identification de connecteur 1
- Vis 2
- Mode d'emploi 1

- Les caractéristiques et la présentation peuvent être modifiées sans avis préalable à fin d'amélioration.

Supplément 1

Tableau de compatibilité des signaux vidéo (INPUT1, INPUT5)

 : Non disponible









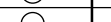















Fréquence de rafraîchissement		Format du signal	Format d'image					Remarques
Vertical fV (Hz)	Horizontal fH (kHz)		4:3	PLEIN ÉCRAN	ZOOM	CINEMA	LARGE	
50	15,625	Composante	○	○	○	○	○	625i (576i)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	○	
	28,13	Composante		○			○	1125i (1080i)/HDTV
		RVB		○			○	
	31,25	Composante	○	○	○	○	○	625p (576p)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	○	
	37,50	Composante		○			○	750p (720p)/HDTV
		RVB		○			○	
	56,20	Composante		○ ^{*2}				1125p (1080p)/HDTV
		RVB		○ ^{*2}				
	62,50	Composante		○ ^{*2}				1250p/HDTV
		RVB		○ ^{*2}				
60	15,734	Composante	○	○	○	○	○	525i (480i)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	○	
	31,5	Composante	○	○	○	○	○	525p (480p)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	○	
	33,75	Composante		○ ^{*1}			○	1125i (1080i)/HDTV
		RVB		○ ^{*1}			○	
	45,0	Composante		○			○	750p (720p)/HDTV
		RVB		○			○	
	67,5	Composante		○ ^{*2}				1125p (1080p)/HDTV
		RVB		○ ^{*2}				

*1: Peut être sélectionné depuis [FULL 1080i] ou [FULL 1035i].

*2: Une certaine distorsion visuelle peut se produire selon la combinaison des composants raccordés.

Tableau de compatibilité des signaux vidéo (INPUT2)
(PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)

 : Non disponible

Fréquence de rafraîchissement		Format du signal	Format d'image					Remarques
Vertical fV (Hz)	Horizontal fH (kHz)		4:3	PLEIN ÉCRAN	ZOOM	CINEMA	LARGE	
50	15,625	Composante	○	○	○	○	○	625i (576i)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	○	
	28,13	Composante		○			○	1125i (1080i)/HDTV
		RVB		○			○	
	31,25	Composante	○	○	○	○	○	625p (576p)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	○	
	37,50	Composante		○			○	750p (720p)/HDTV
		RVB		○			○	
60	15,734	Composante	○	○	○	○	○	525i (480i)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	○	
	31,5	Composante	○	○	○	○	○	525p (480p)/SDTV
		RVB	○	○	○	○	○	
	33,75	Composante		○ ^{*1}			○	1125i (1080i)/HDTV
		RVB		○ ^{*1}			○	
	45,0	Composante		○			○	750p (720p)/HDTV
		RVB		○			○	

*1: Peut être sélectionné depuis [FULL 1080i] ou [FULL 1035i].

Supplément 2

Tableau des compatibilités de signal d'ordinateur (lors d'un raccordement au PDP-505CMX/PDP-504CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S) (INPUT1, INPUT5) : Non disponible

Définition (Points x Lignes)	Fréquence de rafraîchissement		Format d'image (points x lignes)				Remarques
	Vertical	Horizontal	POINT PAR POINT	4:3	PLEIN ÉCRAN	PARTIEL	
640x400	56,4Hz	24,8kHz			○ 1280x768		NEC PC-9800
720x400	70,1Hz	31,5kHz			○ 1280x768		NEC PC-9800
	85,1Hz	37,9kHz			↑		
640x480	60Hz	31,5kHz	◎ 640x480	○ 1024x768	○ 1280x768		
	66,7Hz	35,0kHz	↑	↑	↑		Apple Macintosh 13"
	72,8Hz	37,9kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	37,5kHz	↑	↑	↑		
848x480	85Hz	43,3kHz	↑	↑	↑		
	60Hz	31,0kHz	◎ 848x480		○ 1280x768		
800x600	56Hz	35,2kHz	◎ 800x600	○ 1024x768	○ 1280x768		
	60Hz	37,9kHz	↑	↑	↑		(1072x600)
	72Hz	48,1kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	46,9kHz	↑	↑	↑		
832x624	85Hz	53,7kHz	↑	↑	↑		
	74,6Hz	49,7kHz	◎ 832x624	○ 1024x768	○ 1280x768		Apple Macintosh 16"
1024x768	60Hz	48,4kHz	◎ 1024x768		○ 1280x768		(1376 x 768)
	70Hz	56,5kHz	↑		↑		
	75Hz (74,9Hz)	60,0kHz (60,2kHz)	↑		↑		() Indique le moniteur Apple Macintosh 19"
	85Hz	68,7kHz	↑		↑		
1280x720	60Hz	44,7kHz	◎ 1280x720		○ 1280x768		
1280x768	56Hz	45,1kHz	◎ 1280x768				
	60Hz	47,8kHz	↑				
	70Hz	56,1kHz	↑				
1152x864	60Hz	53,7kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	72Hz	64,9kHz		↑	↑		
	75Hz	67,5kHz		↑	↑		
1152x870	75,1Hz	68,5kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		Apple Macintosh 21"
1152x900	66Hz	61,8kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		Sun Microsystems LO
	76Hz	71,7kHz		↑	↑		Sun Microsystems HI
1280x960	60Hz	60,0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x1024	60Hz	64,0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768	◎ 1280x768	
	75Hz	80,0kHz		↑	↑	↑	(1600x1024)
	85Hz	91,2kHz		↑	↑	↑	
1400x1050	60Hz	65,3kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	75Hz	82,3kHz		↑	↑		
	85Hz	93,9kHz		↑	↑		
1600x1200	60Hz	75,0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	65Hz	81,3kHz		↑	↑		
	70Hz	87,5kHz		↑	↑		
	75Hz	93,8kHz		↑	↑		
	85Hz	106,3kHz		↑	↑		

[Signification des symboles] ◎ : Image optimale. Un réglage de la position de l'image, de la fréquence de rafraîchissement, de la phase, etc. peut s'avérer nécessaire.

○ : L'image sera agrandie mais certains petits détails seront difficiles à voir.

△ : La reproduction est simple. Les détails ne sont pas reproduits.

Informations complémentaires

Tableau des compatibilités de signal d'ordinateur (lors d'un raccordement au PDP-434CMX/PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S) (INPUT1, INPUT5)

☐ : Non disponible

Définition (Points x Lignes)	Fréquence de rafraîchissement		Format d'image (points x lignes)				Remarques
	Vertical	Horizontal	POINT PAR POINT	4:3	PLEIN ÉCRAN	ZOOM	
640x400	56,4Hz	24,8kHz			○ 1024x768		NEC PC-9800
720x400	70,1Hz	31,5kHz			○ 1024x768		NEC PC-9800
	85,1Hz	37,9kHz			↑		
640x480	60Hz	31,5kHz	◎ 640x480	○ 768x768	○ 1024x768		
	66,7Hz	35,0kHz	↑	↑	↑		Apple Macintosh 13"
	72,8Hz	37,9kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	37,5kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	43,3kHz	↑	↑	↑		
848x480	60Hz	31,0kHz	◎ 848x480		○ 1024x768		
800x600	56Hz	35,2kHz	◎ 800x600	△ 768x768	○ 1024x768		
	60Hz	37,9kHz	↑	↑	↑		(1072x600)
	72Hz	48,1kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	46,9kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	53,7kHz	↑	↑	↑		
832x624	74,6Hz	49,7kHz	◎ 832x624	△ 768x768	○ 1024x768		Apple Macintosh 16"
1024x768	60Hz	48,4kHz	◎ 1024x768	△ 768x768			(1376 x 768)
	70Hz	56,5kHz	↑	↑			
	75Hz (74,9Hz)	60,0kHz (60,2kHz)	↑	↑			() Indique le moniteur Apple Macintosh 19"
	85Hz	68,7kHz	↑	↑			
1280x720	60Hz	44,7kHz			△ 1024x768		
1280x768	56Hz	45,1kHz			△ 1024x768		
	60Hz	47,8kHz			↑		
	70Hz	56,1kHz			↑		
1152x864	60Hz	53,7kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	72Hz	64,9kHz		↑	↑		
	75Hz	67,5kHz		↑	↑		
1152x870	75,1Hz	68,7kHz		△ 768x768	△ 1024x768		Apple Macintosh 21"
1152x900	66Hz	61,8kHz		△ 768x768	△ 1024x768		Sun Microsystems LO
	76Hz	71,7kHz		↑	↑		Sun Microsystems HI
1280x960	60Hz	60,0kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
1280x1024	60Hz	64,0kHz		△ 768x768	△ 1024x768	△ 1024x768	
	75Hz	80,0kHz		↑	↑	↑	(1600x1024)
	85Hz	91,2kHz		↑	↑	↑	
1400x1050	60Hz	65,3kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	75Hz	82,3kHz		↑	↑		
	85Hz	93,9kHz		↑	↑		
1600x1200	60Hz	75,0kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	65Hz	81,3kHz		↑	↑		
	70Hz	87,5kHz		↑	↑		
	75Hz	93,8kHz		↑	↑		
	85Hz	106,3kHz		↑	↑		


[Signification des symboles] ◎ : Image optimale. Un réglage de la position de l'image, de la fréquence de rafraîchissement, de la phase, etc. peut s'avérer nécessaire.

○ : L'image sera agrandie mais certains petits détails seront difficiles à voir.

△ : La reproduction est simple. Les détails ne sont pas reproduits.

Supplément 3

Tableau des compatibilités du signal PURECINEMA (INPUT1, INPUT5)

 : Non disponible



















Fréquence de rafraîchissement		Format du signal	PURECINEMA			Remarques
Vertical fv (Hz)	Horizontal fh (kHz)		ARRÊT	STANDARD	AVANCÉ	
50	15,625	Composante RVB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		625i (575i)/SDTV
	28,13	Composante RVB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		1125i (1080i)/HDTV
	31,25	Composante RVB				625p (575p)/SDTV
	37,50	Composante RVB				750p (720p)/HDTV
	56,25	Composante RVB				1125p (1080p)/HDTV
	62,50	Composante RVB				1250p/HDTV
60	15,734	Composante RVB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
	31,5	Composante RVB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	525p (480p)/SDTV
	33,75	Composante RVB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV 1125i (1035i)/HDTV
	45,0	Composante RVB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV
	67,5	Composante RVB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	1125p (1080p)/HDTV

Tableau des compatibilités du signal PURECINEMA (INPUT2)

(PDP-505CMX/PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 seulement)

 : Non disponible
















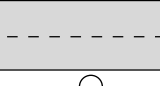






Fréquence de rafraîchissement		Format du signal	PURECINEMA			Remarques
Vertical fv (Hz)	Horizontal fh (kHz)		ARRÊT	STANDARD	AVANCÉ	
50	15,625	Composante RVB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		625i (575i)/SDTV
	28,13	Composante RVB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		1125i (1080i)/HDTV
	31,25	Composante RVB				625p (575p)/SDTV
	37,50	Composante RVB				750p (720p)/HDTV
60	15,734	Composante RVB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
	31,5	Composante RVB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	525p (480p)/SDTV
	33,75	Composante RVB	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV 1125i (1035i)/HDTV
	45,0	Composante RVB	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV

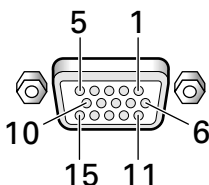
Tableau des compatibilités du signal PURECINEMA (INPUT3, INPUT4)

 : Non disponible

Fréquence de rafraîchissement		Format du signal	PURECINEMA			Remarques
Vertical fv (Hz)	Horizontal fh (kHz)		ARRÊT	STANDARD	AVANCÉ	
50	15.625	Composite S-vidéo	 	 		625i (575i)/SDTV
60	15.734	Composite S-vidéo	 	 	 	525i (480i)/SDTV

Supplément 4

Agencement des broches INPUT1 (Connecteur femelle mini D-sub à 15 broches)



No. broche	Entrée	Sortie
1	R	←
2	G	←
3	B	←
4	Réservé (pas de connexion)	←
5	Masse	←
6	Masse	←
7	Masse	←
8	Masse	←
9	DDC + 5 V	Réservé (pas de connexion)
10	Masse	←
11	Réservé (pas de connexion)	←
12	DDC SDA	Réservé (pas de connexion)
13	HD ou H/V SYNC	←
14	VD	←
15	DDC SCL	Réservé (pas de connexion)

Glossaire

Format d'image

Le rapport de la largeur à la hauteur de l'image donne son format. Dans le cas d'un téléviseur standard, ce format est égale à 4/3; dans le cas de la télévision haute définition il est égale à 16/9.

Prise S (Prise S VIDEO)

Cette prise permet de transmettre le signal vidéo sous la forme de deux signaux: la luminance (Y) et la chrominance (C). La qualité de l'image est meilleure qu'avec un signal composite.

Signal S-vidéo

Le signal vidéo se compose de deux signaux: le signal de chrominance (C) qui produit les couleurs, et le signal de luminance qui produit la luminosité. Dans le cas où ces signaux sont combinés pour n'en former qu'un, on parle de signal vidéo composite. Contrairement à cela, le signal S-vidéo maintient la séparation de la couleur et de la luminosité, ce qui permet une amélioration de la qualité de l'image.

Composantes vidéo

C'est un terme générique pour les signaux vidéo comprenant les éléments de luminance et de chrominance Y.CbCr, Y.PbPr, et Y.B-Y.R-Y.

On parle aussi de signaux de "différence de couleur".

G ON SYNC

La synchronisation du signal RVB est obtenue par l'addition d'un signal de synchronisation au signal du vert (G).

VGA

VGA est l'abréviation de "Video Graphics Array". En général, la définition VGA est de 640 points x 480 lignes.

WVGA

WVGA est l'abréviation de "Wide Video Graphics Array". En général, la définition WVGA est de 848 points x 480 lignes.

XGA

XGA est l'abréviation de "eXtended Graphics Array". En général, la définition XGA est de 1024 points x 768 lignes.

WXGA

WXGA est l'abréviation de "Wide eXtended Graphics Array". En général, la définition WXGA est de 1280 points x 768 lignes.

SXGA

SXGA est l'abréviation de "Super eXtended Graphics Array". En général, la définition SXGA est de 1280 points x 1024 lignes.

SXGA+

SXGA+ est l'abréviation de "Super eXtended Graphics Array plus". En général, la définition SXGA+ est de 1400 points x 1050 lignes.

DVI

DVI est l'abréviation de "Digital Visual Interface" (Interface visuelle numérique). C'est l'interface standard, proposée par Digital Display Working Group (DDWG) pour les écrans numériques.

HDCP

HDCP est l'abréviation de "High-bandwidth Digital Content Protection". HDCP est un procédé de cryptage, mis au point par Intel afin de protéger le contenu de signaux vidéo numériques. Les signaux fournis par des connecteurs de sortie DVI conformes à HDCP installés sur des composants audiovisuels (lecteurs DVD, etc.) sont cryptés au moyen du procédé HDCP afin de protéger le contenu, soumis à des droits d'auteur.

*Comme police d'affichage d'écran, ce composant utilise Font Avenue de NEC.
Font Avenue est une marque déposée de NEC.
Power Management est une marque déposée de Sun Microsystems Inc.
TMDS est une marque déposée de Silicon Image Inc.
Apple et Macintosh sont des marques déposées par Apple Computer, Inc.
Microsoft est une marque déposée par Microsoft Corporation.
VGA et XGA sont des marques déposées de International Business Machines Co., Inc.
VESA et DDC sont des marques déposées par Video Electronics Standards Association.*

Sicherheitsmaßnahmen

WICHTIG



Das Blitzsymbol in einem Dreieck weist den Benutzer darauf hin, dass eine Berührungsfahrgefahr mit nicht isolierten Teilen im Geräteinneren, die eine gefährliche Spannung führen, besteht. Die Spannung kann so hoch sein, dass sie die Gefahr eines elektrischen Schlages birgt.

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN

ACHTUNG:
UM SICH NICHT DER GEFAHR EINES ELEKTRISCHEN SCHLAGES AUSZUSETZEN, DÜRFEN SIE NICHT DEN DECKEL (ODER DIE RÜCKSEITE) ENTFERNEN. IM GERÄTEINNEREN BEFINDEN SICH KEINE VOM BENUTZER REPARIERBAREN TEILE. ÜBERLASSEN SIE REPARATUREN DEM QUALIFIZIERTEN KUNDENDIENST.



Ein Ausrufezeichen in einem Dreieck weist den Benutzer auf wichtige Bedienungs- und Wartungsanweisungen in den Dokumenten hin, die dem Gerät beiliegen.

D3-4-2-1-1_Ge

Wir danken Ihnen für das Vertrauen, das Sie Pioneer mit dem Kauf dieses Produkts erwiesen haben. Bitte lesen Sie vor der Inbetriebnahme die „Sicherheitsmaßnahmen“ auf dieser Seite sowie die übrigen Abschnitte dieser Bedienungsanleitung vollständig durch, um eine fehlerfreie Bedienung des Plasma-Displays zu gewährleisten. Bewahren Sie diese Anleitung an einem sicheren Ort auf. Sie wird Ihnen in Zukunft nützliche Dienste leisten.

WARNUNG: Dieses Gerät ist nicht wasserdicht. Zur Vermeidung der Gefahr von Brand und Stromschlag dieses Gerät weder Regen noch Nässe aussetzen, und keine Behälter mit Flüssigkeiten, z.B. Blumenvasen und -töpfe, Kosmetikbehälter und Medizinflaschen, in die Nähe des Gerätes bringen.

D3-4-2-1-3_Ge

Dieses Produkt entspricht den EMV-Richtlinien (89/336/EEC, geändert durch 92/31/EEC und 93/68/EEC).

D3-4-2-1-9b_Ge

Um eine ausreichende Belüftung zu gewährleisten, sollte das Gerät in einem Mindestabstand von 10 cm von anderen Geräten, Wänden usw. aufgestellt werden. Vermeiden Sie die nachstehenden Installationsarten, die die Ventilationsschlitze blockieren könnten. Dadurch könnte im Inneren des Gerätes ein Wärmestau entstehen, der wiederum einen Brandausbruch verursachen kann.

- Stellen Sie das Gerät nicht in engen Räumen mit unzureichender Belüftung auf.
- Wenn Sie eine spezielle Installation beabsichtigen, z.B. unmittelbar an einer Wand, in horizontaler Position usw., lassen Sie sich vorher von Ihrem Pioneer-Fachhändler beraten.

Hinweis zur Installation:

Dieses Produkt ist für die Installation durch einen Fachmann bestimmt. Der Käufer muss dieses Produkt entweder von einem qualifizierten Techniker oder vom Fachhändler installieren und einrichten lassen. PIONEER übernimmt keinerlei Haftung für Schäden, die auf unsachgemäße Installation oder Befestigung, zweckentfremdeten Gebrauch, Nachgestaltung oder Naturkatastrophen zurückzuführen sind.

Hinweis für den Fachhändler:

Achten Sie nach der Installation darauf, dem Kunden diese Anleitung auszuhändigen und ihm die Handhabung des Produkts zu erklären.

Die unten abgebildeten Symbole befinden sich auf Aufklebern, die am Gerät angebracht sind. Sie dienen dazu, Benutzer und Wartungspersonal auf potentielle Gefahrenquellen aufmerksam zu machen.

⚠️ WARNUNG

Dieses Symbol warnt vor einer gefährlichen oder unsicheren Vorgehensweise, die Verletzungen und Sachschäden verursachen kann.

⚠️ VORSICHT

Dieses Symbol warnt vor einer gefährlichen oder unsicheren Vorgehensweise, die schwere Verletzungen mit möglicherweise tödlichem Ausgang zur Folge haben kann.

Bei der PDA-5003/PDA-5004 handelt es sich um eine Videokarte, die ausschließlich für den Gebrauch mit Pioneers Plasma-Display PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (oder PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S) vorgesehen ist. Das Plasma-Display PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (oder PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S) wurde ursprünglich als Monitor für Personalcomputer konzipiert, doch stehen nach Installation der optionalen Videokarte PDA-5003/PDA-5004 die folgenden ergänzenden Funktionen zur Verfügung:

1. Die zusätzlichen Eingangsbuchsen (INPUT3, INPUT4 und INPUT5) unterstützen S-Video-, FBAS-, Komponenten-Video- und analoge RGB-Signale.
2. Ein breites Angebot an optionalen Videogeräten kann angeschlossen werden.

Sicherheitsmaßnahmen	i
Vor der Inbetriebnahme	2
Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs	2
Verwendung dieser Anleitung	2
Bezeichnungen und Funktionen der Teile	4
Anschlussleiste	4
Installation und Anschlüsse	6
Installieren der Videokarte	6
Eingangsbuchsen am Plasma-Display bei installierter Videokarte	7
Anschlüsse an INPUT1 und INPUT5	7
Anschluss an INPUT1 oder INPUT5	8
Anschluss an INPUT2	13
Anschluss an INPUT3	13
Anschluss an INPUT4	13
Hinweise zum Anschluss einer DTV-Top Box	14
Audio-Anschlüsse	15
Verlegung der Kabel	17
Systemeinstellungen	18
Einstellen der Sprache der eingeblendeten Menüs	18
Einstellungen nach dem Anschließen	19
Bedienung	22
Wahl der Eingangssignalquelle	22
Einstellen der Lautstärke	23
Stummschaltung	23
Überprüfen der Anzeigeparameter	23
Ändern des Bildschirmformats	24
Vergrößern eines Bildausschnitts (POINT ZOOM)	25
Mehrbildanzeige	26
Abschaltautomatik (ENERGIEMANAGEMENT)	27
BILD/BILDSCHIRM-Einstellung	28
BILD-Einstellung	28
Einstellen von POSITION, CLOCK (Taktsignal) und PHASE des Bilds <automatische Einstellung>	29
Einstellen von POSITION, CLOCK (Taktsignal) und PHASE des Bilds <manuelle Einstellung>	30
Weitere Funktionen	32
Einstellen der Orbiter-Funktion (ORBITER)	32
Seitenmasken-Position (MASK CONTROL)	32
Bildschirm-Verwaltung (BILD MANAGEMENT)	33
Leistungsregelung (ENERGIESPARMODUS)	34
Ändern der Farbtemperatur (FARB TEMP.)	35
Vermindern des Videorauschens (DNR)	36
Vermindern des Rauschens in MPEG-Bildern (MPEG NR)	37
Erhöhen des Farbbrillanzkontrasts (CTI)	38
Einstellen des PURECINEMA-Modus	39
Einstellen von FARBSYSTEM	40
Automatische Eingangswahl (AUTO FUNCTION)	41
Hinweise zum Tonausgang (AUDIO AUSGANG) (nur Modelle PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S und PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S)	42
Zusätzliche Informationen	43
Technische Daten	43
Anhang 1	44
Anhang 2	45
Anhang 3	47
Anhang 4	48
Glossar	49

Überprüfen des mitgelieferten Zubehörs

Bitte vergewissern Sie sich nach dem Auspacken, dass die nachstehend aufgeführten Zubehörteile vollständig vorhanden sind.

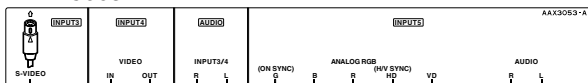
① Aufkleber für Fernbedienung PDA-5003

S-VIDEO VIDEO RGB (BNC)

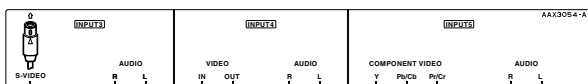
PDA-5004

S-VIDEO VIDEO COMPONENT

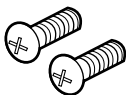
② Aufkleber für Buchsenkennzeichnung PDA-5003



PDA-5004



③ Schraube x 2 (Befestigungsschrauben für Videokarte)



● Vorliegende Bedienungsanleitung

Verwendung dieser Anleitung

Die in dieser Anleitung enthaltenen Hinweise sind in einer Reihenfolge angeordnet, die der logischen Vorgehensweise bei Setup und Bedienung entspricht, nachdem die Videokarte PDA-5003/PDA-5004 im Plasma-Display installiert worden ist.

Entfernen Sie die Videokarte aus ihrer Verpackung und vergewissern Sie sich anhand der Liste auf der folgenden Seite, dass alle Zubehörteile vollständig vorhanden sind. Bitte beziehen Sie sich bei Installation und Setup der Videokarte auf den Abschnitt „Bezeichnungen und Funktionen der Teile“ auf Seite 4 dieser Anleitung sowie auf die Bedienungsanleitung des Plasma-Displays. Dies dient dazu, sich mit den Bedienungselementen des Plasma-Displays und der Fernbedienung vertraut zu machen, da diese Tasten in der vorliegenden Anleitung häufig erwähnt werden.

Der Abschnitt „Installation und Anschlüsse“, der auf Seite 6 beginnt, enthält alle Informationen, die zur Installation der Videokarte im Plasma-Display erforderlich sind, sowie detaillierte Hinweise zum Anschließen verschiedener Videogeräte.

Der auf Seite 18 beginnende Abschnitt „Systemeinstellungen“ erläutert die Einstellungen, in den eingblendeten Menüs vorgenommen werden müssen, um einen korrekten Betrieb des Plasma-Displays und der daran angeschlossenen Geräte zu gewährleisten. Abhängig von den jeweils vorgenommenen Anschlüssen kann dieser Abschnitt u.U. übergangen werden.

Die übrigen Abschnitte dieser Anleitung enthalten Erläuterungen der grundlegenden Bedienungsschritte zur Wahl der Eingangsquelle sowie weiterführender Bedienungsvorgänge, mit deren Hilfe Sie die für die jeweils angeschlossenen Geräte und Ihre Anforderungen optimalen Bildeinstellungen am Plasma-Display vornehmen können.

Abbildungen von Menüanzeigen

Die Beispiele von Menüanzeigen, die in diesem Handbuch abgebildet sind, beziehen sich auf das Modell PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S. Die Menüanzeigen des Modells PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S unterscheiden sich von den Abbildungen wie folgt:

Bitte beachten Sie, dass der Inhalt der Menüanzeigen beim PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S und PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S identisch ist. Der Inhalt bestimmter Menüanzeigen der Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 unterscheidet sich von dem der Modelle PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S.

Beispiel einer Menüanzeige des PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S:



Beispiel einer Menüanzeige des PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S:



Hinweise zu den Erläuterungen der Bedienungsschritte

Die jeweils auszuführenden Bedienungsschritte werden in dieser Anleitung in numerischer Reihenfolge aufgeführt. Die überwiegende Anzahl der angegebenen Schritte bezieht sich auf den Gebrauch der Fernbedienung, es sei denn, das betreffende Bedienungselement ist nur am Plasma-Display vorhanden. Wenn ein Bedienungselement des Plasma-Displays jedoch die gleiche oder eine ähnliche Bezeichnung wie ein Bedienungselement an der Fernbedienung aufweist, kann dieses ebenfalls zur Ausführung des jeweiligen Bedienungsschritts betätigt werden.

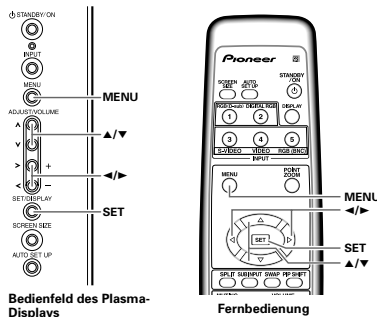
Das nachstehende Beispiel enthält die Beschreibungen der Bedienungsschritte, die im Abschnitt „BILD-Einstellung“ auszuführen sind. Die auf jeden Schritt folgenden Abbildungen der Bildschirmanzeigen ermöglichen Ihnen eine Kontrolle darüber, dass Sie jeden Bedienungsvorgang korrekt ausgeführt haben.

Hinweis

Bei den Abbildungen in dieser Bedienungsanleitung handelt es sich um typische Beispiele von Bildschirmanzeigen. Je nach der gewählten Eingangssignalquelle und den vorgenommenen Einstellungen weicht der Inhalt der tatsächlichen Menüanzeigen möglicherweise von den Abbildungen ab.

BILD/BILDSCHIRM-Einstellung

BILD-Einstellung



1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl des Eintrags, dessen Einstellung geändert werden soll, und drücken Sie dann SET.



3 Betätigen Sie ◀/▶, um die Bildqualität wunschgemäß einzustellen.



4 Drücken Sie SET.

Nach Drücken von SET wird die neue Einstellung gespeichert, wonach das in Schritt 2 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

5 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

Diese Einstellungen müssen für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) und jedes Signal separat ausgeführt werden.

Einträge im [BILD]-Modus

Die Optionen, die im [BILD]-Modus eingestellt werden können, sind nachstehend mit einer kurzen Erläuterung aufgelistet.

KONTRAST Stellen Sie den Kontrast je nach der Umgebungshelligkeit so ein, dass das Bild klar zu erkennen ist.

HELLIGKEIT Stellen Sie die Helligkeit so ein, dass die dunklen Bildbereiche deutlich zu erkennen sind.

SÄTTIGUNG Stellen Sie die gewünschte Farbintensität ein (mit einer Einstellung auf einen etwas tieferen Farbton kann ein natürlich wirkendes Bild erzielt werden).

TINT Nehmen Sie die Einstellung so vor, dass Hauttöne natürlich wirken.

SCHÄRFE Wählen Sie normalerweise die Mittelposition. Um ein etwas weicher gezeichnetes Bild zu erhalten, wählen Sie eine Einstellung links von der Mitte. Eine Einstellung rechts von der Mitte ergibt ein schärferes Bild.

Hinweis

Bitte schlagen Sie bezüglich der [BILD]-Einstellungen bei Zuleitung des Signals eines Personalcomputers in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays nach.

Zurücksetzen der Einträge im [BILD]-Modus auf ihre Standardwerte

Wenn die Einstellungen dieser Einträge stark verändert wurden oder das Bild unnatürlich wirkt, ist es u.U. praktischer, sämtliche Standardwerte des [BILD]-Modus wiederherzustellen, anstatt zu versuchen, die verschiedenen Einstellungen einzeln zu justieren.

1 Betätigen Sie in Schritt 2 des obigen Verfahrens ▲/▼ zur Wahl von [BILD RESET] und drücken Sie dann SET.



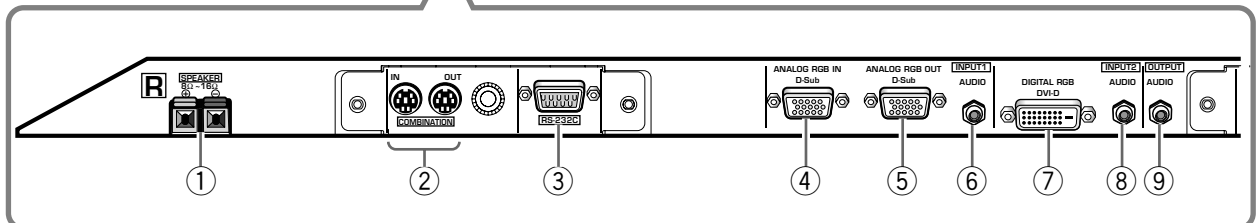
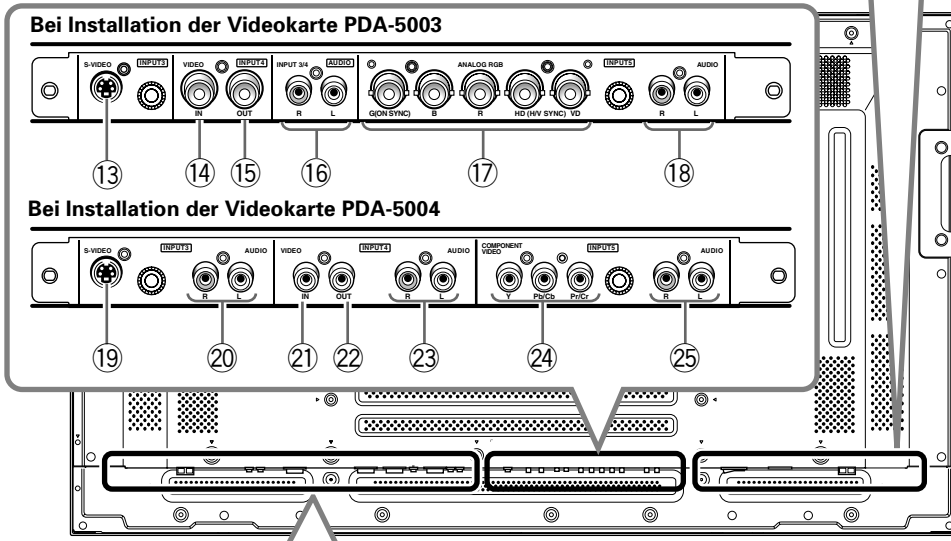
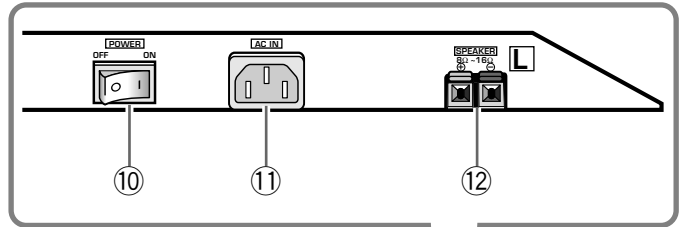
2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [JA] und drücken Sie dann SET.

Danach werden alle Einträge des [BILD]-Modus auf ihre Standardwerte zurückgesetzt.

Bezeichnungen und Funktionen der Teile

Anschlussleiste

Die nachstehende Abbildung zeigt das Modell PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S.



Bereich für Plasma-Display

Das Plasma-Display verfügt über zwei Video-Eingangsbuchsen, eine Video-Ausgangsbuchse, Audio-Eingangs-/Ausgangsbuchsen sowie Lautsprecherklemmen.

Nach Installation dieser Videokarte im Plasma-Display stehen drei zusätzliche Paare von Video-Eingangsbuchsen (d.h. insgesamt 5 Video-Eingänge) sowie eine zusätzliche Video-Ausgangsbuchse (d.h. insgesamt 2 Video-Ausgänge) zur Verfügung. Einzelheiten zu den Anschlüssen, die an den verschiedenen Buchsen vorgenommen werden, finden Sie auf den in Klammern angegebenen Seiten oder in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays.

- ① **SPEAKER (R) (Klemmen für rechten Lautsprecher)**
An diese Klemmen wird der rechte externe Lautsprecher angeschlossen. Schließen Sie einen Lautsprecher mit einer Impedanz von 8–16 Ohm an.
- ② **COMBINATION IN/OUT (Kombi-Eingang/Ausgang)**
Stellen Sie AUF KEINEN FALL ohne vorherige Konsultation des technischen Personals von Pioneer einen Anschluss an diesen Buchsen her! Diese Buchsen werden für Setup-Justierungen des Plasma-Displays verwendet.
- ③ **RS-232C (RS-232C-Schnittstelle)**
Stellen Sie AUF KEINEN FALL ohne vorherige Konsultation des technischen Personals von Pioneer einen Anschluss an dieser Buchse her! Diese Buchse wird für Setup-Justierungen des Plasma-Displays verwendet.

- ④ **ANALOG RGB IN (INPUT1) (15-polige Mini-D-Sub-Buchse) (Video-Eingang 1)**
Diese Buchsen dienen zum Anschluss eines Gerätes mit RGB-Ausgangsbuchsen, z.B. eines Personalcomputers oder externen RGB-Decoders, oder zum Anschluss eines Gerätes mit Komponentensignal-Ausgangsbuchsen, z.B. eines DVD-Recorders. Vergewissern Sie sich, dass die vorgenommenen Anschlüsse mit dem Signalausgabe-Format des angeschlossenen Gerätes übereinstimmen (Seite 7 bis 10).
- ⑤ **ANALOG RGB OUT (INPUT1) (15-polige Mini-D-Sub-Buchse) (Video-Ausgangsbuchse)**
Verwenden Sie die Buchse ANALOG RGB OUT (INPUT1) zur Ausgabe des Videosignals an einen externen Monitor oder an ein anderes Gerät.
Hinweis: Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet (Seite 10), wird das Videosignal nicht von der Buchse ANALOG RGB OUT (INPUT1) ausgegeben.
- ⑥ **AUDIO (INPUT1) (Stereo-Minibuchse) (Audio-Eingang1)**
Diese Buchse dient zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT1 gewählt ist. Verbinden Sie diese Buchse mit der Audio-Ausgangsbuchse des an INPUT1 des Plasma-Displays angeschlossenen Gerätes (Seite 15).
- ⑦ **DIGITAL RGB (INPUT2) (DVI-D-Buchse) (Video-Eingang 2)**
Diese Buchse dient zum Anschluss eines Personalcomputers. Bei den Modellen PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 kann diese Buchse auch zum Anschluss einer AV-Komponente (HDCP-kompatibel) mit DVI-Ausgang verwendet werden.

Hinweis: Die Modelle PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S und PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S bieten keine Unterstützung der Anzeige von HDCP- oder anderen mit Kopierschutz codierten Videosignalen (Seite 13).

⑧ **AUDIO (INPUT2) (Stereo-Minibuchse) (Audio-Eingang2)**

Diese Buchse dient zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT2 gewählt ist. Verbinden Sie diese Buchse mit der Audio-Ausgangsbuchse des an INPUT2 des Plasma-Displays angeschlossenen Gerätes (Seite 15).

⑨ **AUDIO (OUTPUT) (Stereo-Minibuchse) (Audio-Ausgang)**

Von dieser Buchse kann das Tonsignal der gewählten, an das Plasma-Display angeschlossenen Signalquelle an einen AV-Verstärker oder ein ähnliches Gerät ausgegeben werden.

Hinweis: Bei Einstellung des MAIN POWER-Schalters auf „OFF“ oder „ON“ (Energiesparmodus) erfolgt keine Tonausgabe über die Buchse AUDIO (OUTPUT) (Seite 15).

⑩ **MAIN POWER (Hauptschalter)**

Mit diesem Schalter wird die Stromzufuhr des Plasma-Displays ein- und ausgeschaltet.

⑪ **AC IN (Netzeingang)**

Ein Netzkabel gehört zum Lieferumfang des Plasma-Displays. Schließen Sie das eine Ende des Netzkabels an diesen Netzeingang, das andere Ende an eine Netzsteckdose an.

⑫ **SPEAKER (L) (Klemmen für linken Lautsprecher)**

An diese Klemmen wird der linke externe Lautsprecher angeschlossen. Schließen Sie einen Lautsprecher mit einer Impedanz von 8–16 Ohm an.

Bereich für Videokarte <PDA-5003>

Die Videokarte verfügt über drei Video-Eingangsbuchsen, eine Video-Ausgangsbuchse und zwei Audio-Eingangsbuchsen. Einzelheiten zu den Anschlüssen, die an den verschiedenen Buchsen vorgenommen werden, finden Sie auf den in Klammern angegebenen Seiten.

⑬ **S-VIDEO (INPUT3) (S-VIDEO-Buchse) (Video-Eingang 3)**

Diese Buchse dient zum Anschluss eines Gerätes mit S-Video-Ausgangsbuchse, z.B. eines Videorecorders, einer Videokamera, eines LaserDisc-Spielers oder eines DVD-Recorders (Seite 13).

⑭ **VIDEO IN (INPUT4) (BNC-Buchse) (Video-Eingang 4)**

Diese Buchse dient zum Anschluss eines Gerätes mit FBAS-Ausgangsbuchse, z.B. eines Videorecorders, einer Videokamera, eines LaserDisc-Spielers oder eines DVD-Recorders (Seite 13).

⑮ **VIDEO OUT (INPUT4) (BNC-Buchse) (Video-Ausgangsbuchse)**

Verwenden Sie die Buchse VIDEO OUT (INPUT4) zur Ausgabe des Videosignals an einen externen Monitor oder an ein anderes Gerät.

Hinweis: Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet (Seite 13), wird das Videosignal nicht von der Buchse VIDEO OUT (INPUT4) ausgegeben.

⑯ **AUDIO R/L (INPUT3/4)**

(Cinchbuchsen) (Audio-Eingang 3/4)

Diese Buchsen dienen zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT3 oder INPUT4 gewählt ist. Verbinden Sie diese Buchsen mit den Audio-Ausgangsbuchsen des an INPUT3 oder INPUT4 der Videokarte angeschlossenen Gerätes (Seite 16).

⑰ **ANALOG RGB (INPUT5)**

(BNC-Buchsen) (Video-Eingang 5)

Diese Buchsen dienen zum Anschluss eines Gerätes mit RGB-Ausgangsbuchsen, z.B. eines Personalcomputer

oder externen RGB-Decoders, oder zum Anschluss eines Gerätes mit Komponentensignal-Ausgangsbuchsen, z.B. eines DVD-Recorders. Vergewissern Sie sich, dass die vorgenommenen Anschlüsse mit dem Signalausgabe-Format des angeschlossenen Gerätes übereinstimmen (Seite 7 bis 10).

⑱ **AUDIO R/L (INPUT5) (Cinchbuchsen) (Audio-Eingang 5)**

Diese Buchsen dienen zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT5 gewählt ist. Verbinden Sie diese Buchsen mit den Audio-Ausgangsbuchsen des an INPUT5 der Videokarte angeschlossenen Gerätes (Seite 15).

Bereich für Videokarte <PDA-5004>

Die Videokarte verfügt über drei Video-Eingangsbuchsen, eine Video-Ausgangsbuchse und drei Audio-Eingangsbuchsen. Einzelheiten zu den Anschlüssen, die an den verschiedenen Buchsen vorgenommen werden, finden Sie auf den in Klammern angegebenen Seiten.

⑲ **S-VIDEO (INPUT3) (S-VIDEO-Buchse) (Video-Eingang 3)**

Diese Buchse dient zum Anschluss eines Gerätes mit S-Video-Ausgangsbuchse, z.B. eines Videorecorders, einer Videokamera, eines LaserDisc-Spielers oder eines DVD-Recorders (Seite 11).

⑳ **AUDIO R/L (INPUT3) (Cinchbuchsen) (Audio-Eingang 3)**

Diese Buchsen dienen zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT3 gewählt ist. Verbinden Sie diese Buchsen mit den Audio-Ausgangsbuchsen des an INPUT3 der Videokarte angeschlossenen Gerätes (Seite 16).

㉑ **VIDEO IN (INPUT4) (Cinchbuchsen) (Video-Eingang 4)**

Diese Buchse dient zum Anschluss eines Gerätes mit FBAS-Ausgangsbuchse, z.B. eines Videorecorders, einer Videokamera, eines LaserDisc-Spielers oder eines DVD-Recorders (Seite 13).

㉒ **VIDEO OUT (INPUT4) (Cinchbuchsen) (Video-Ausgangsbuchse)**

Verwenden Sie die Buchse VIDEO OUT (INPUT4) zur Ausgabe des Videosignals an einen externen Monitor oder an ein anderes Gerät.

Hinweis: Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet (Seite 13), wird das Videosignal nicht von der Buchse VIDEO OUT (INPUT4) ausgegeben.

㉓ **AUDIO R/L (INPUT4) (Cinchbuchsen) (Audio-Eingang 4)**

Diese Buchsen dienen zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT4 gewählt ist. Verbinden Sie diese Buchsen mit den Audio-Ausgangsbuchsen des an INPUT4 der Videokarte angeschlossenen Gerätes (Seite 16).

㉔ **COMPONENT VIDEO (INPUT5) (Komponenten-Videosignaleingang) (Cinchbuchsen)**

Diese Buchsen dienen zum Anschluss eines Gerätes mit Komponentensignal-Videoausgangsbuchsen, z.B. eines DVD-Recorders (Seite 7 und 8).

㉕ **AUDIO R/L (INPUT5) (Cinchbuchsen) (Audio-Eingang 5)**

Diese Buchsen dienen zur Eingabe des Tonsignals, wenn der Eingang INPUT5 gewählt ist. Verbinden Sie diese Buchsen mit den Audio-Ausgangsbuchsen des an INPUT5 der Videokarte angeschlossenen Gerätes (Seite 15).

Installieren der Videokarte

Hinweis für den Käufer:

Dieses Produkt ist für die Installation durch einen Fachmann bestimmt.

Hinweis für den Fachhändler:

Das Verfahren zur Installation der Videokarte wird nachstehend beschrieben. Falls bei der Installation eine Schraube oder ein anderer Gegenstand in das Innere des Plasma-Displays fällt, nehmen Sie bitte unverzüglich Kontakt mit einer Pioneer-Kundendienststelle auf. Wird der Betrieb in diesem Zustand fortgesetzt, kann dies Funktionsstörungen verursachen. Dieses Produkt ist zur Installation in Pioneers Plasma-Display PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (oder PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S) vorgesehen. Zur Installation gehen Sie wie folgt vor:

Führen Sie ggf. die folgenden Schritte aus, bevor Sie mit der Installation der Videokarte beginnen:

- Trennen Sie das Plasma-Display vom Computer und allen anderen evtl. angeschlossenen Geräten.
- Trennen Sie das Netzkabel des Plasma-Displays von der Netzsteckdose.

Hinweise zur Installation:

- Achten Sie beim Entfernen der Abdeckplatte über dem Videokarten-Steckplatz sorgfältig darauf, keine Schrauben oder anderen Gegenstände in das Innere des Plasma-Displays fallen zu lassen. Anderenfalls kann das Display beschädigt werden, oder es tritt eine Funktionsstörung auf.
- Wenn das Plasma-Display zur Installation der Videokarte mit dem Bildschirm nach unten weisend platziert werden soll, muss die Unterlage waagrecht und eben sein. Legen Sie das Verpackungsmaterial des Displays, eine Decke oder ein anderes weiches Material auf die Unterlage, bevor Sie das Display darauf legen, um den Bildschirm zu schützen. Achten Sie bei der Arbeit darauf, dass das Display nicht durch Werkzeuge oder andere Gegenstände zerkratzt wird. Legen Sie das Display auf keinen Fall so auf eine Unterlage, dass der Bildschirm das gesamte Gewicht des Gerätes trägt.
- Diese Videokarte ist ausschließlich für den Gebrauch mit Pioneers Plasma-Display PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S (oder PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S) vorgesehen. Versuchen Sie auf keinen Fall, irgendeine Modifikation oder Nachgestaltung vorzunehmen, da dies zu Funktionsstörungen und Beschädigung führen kann.
- Die Bauteile der Karte dürfen auf keinerlei Weise modifiziert werden und sind sorgfältig gegen Beschädigung zu schützen.
- Leiten Sie vor der Installation statische Aufladung von Ihrem Körper ab. Vermeiden Sie eine Berührung der gedruckten Schaltungen und anderen Bauteile der Karte.
- Diese Karte ist nicht zum Ausbau und einer anschließenden Neuinstallation vorgesehen. Nachdem die Karte im Plasma-Display installiert worden ist, darf sie nicht mehr aus diesem entfernt werden, da der Ausbau eine Beschädigung verursachen kann.
- Bei Installation der Videokarte PDA-5003 muss u.U. die Einstellung des Impedanz-Wahlschalters geändert werden. Überprüfen Sie diesen Punkt vor der Installation der Karte (Seite 10 und 12).
- Die Videokarte PDA-5002 darf nicht in einem Plasma-Display PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S oder PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S installiert werden.

Installationsverfahren

Die Abbildungen zeigen das Modell PDA-5003.

- 1 Entfernen Sie die Abdeckplatte über dem Videokarten-Steckplatz von der Anschlussleiste des Plasma-Displays.



Abdeckplatte

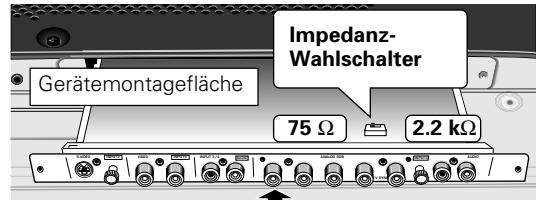
6

Ge

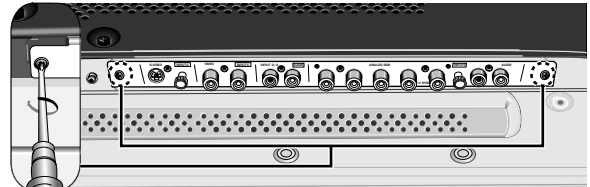
- 2 Richten Sie die Videokarte auf die beiden Schienen aus, die im Steckplatz sichtbar sind, und schieben Sie die Karte sacht in den Steckplatz ein.

Hinweise

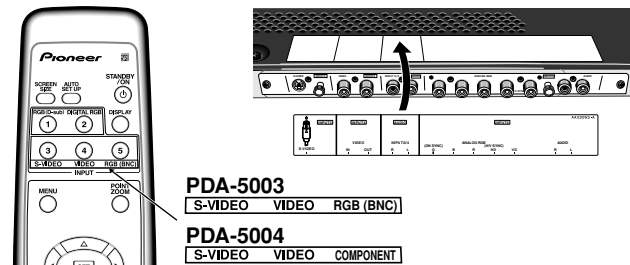
- Gehen Sie beim Einsetzen der Karte mit größter Sorgfalt vor. Richten Sie die Karte so aus, dass ihre Gerätemontagefläche auf die Rückseite des Plasma-Displays hin weist, und achten Sie UNBEDINGT darauf, die Karte unverkantet in den Steckplatz einzuschieben. Wird die Karte verkantet oder gewaltsam eingeschoben, kann dies eine Beschädigung von Karte oder Display verursachen.
- Der Impedanz-Wahlschalter ist nur am Modell PDA-5003 vorgesehen.



- 3 Schieben Sie die Videokarte bis zum Anschlag in den Steckplatz ein, vergewissern Sie sich, dass sie fest im Steckplatz sitzt, und sichern Sie sie dann mit den in Schritt 1 entfernten Schrauben.



- 4 Bringen Sie den mitgelieferten Aufkleber für Buchsenkennzeichnung am Plasma-Display und den mitgelieferten Aufkleber für Fernbedienung an der Fernbedienung des Plasma-Displays an.

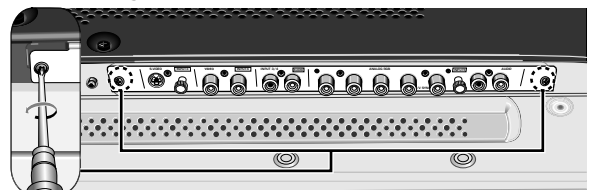


Hinweis

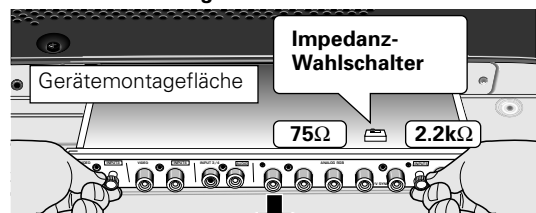
Reiben Sie Staub oder Schmutzflecken sacht mit einem weichen Tuch von der Oberfläche ab, bevor Sie den Aufkleber daran befestigen.

Ausbau der Videokarte (Die Videokarte sollte prinzipiell nicht ausgebaut werden!)

- 1 Entfernen Sie die beiden Schrauben, mit denen die Videokarte gesichert ist.



- 2 Halten Sie die Videokarte an den beiden inneren Laschen und ziehen Sie sie gerade heraus.



■ Bei Verwendung des Modells PDA-5003

Eingangsbuchsen am Plasma-Display bei installierter Videokarte

Bitte orientieren Sie sich an der nachstehenden Tabelle, wenn Sie Anschlüsse am Plasma-Display herstellen, nachdem diese Videokarte im Plasma-Display installiert worden ist (Seite 7 bis 16).

Eingangsbuchse	INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
AV-Komponente					
Analoges RGB-Signal	○				○
Komponenten-Videosignal	○				○
S-Videosignal			○		
FBAS-Signal				○	
Digitales RGB-Signal		○*5			
Personalcomputer					
Analoges RGB-Signal	○*2				○
S-Videosignal			○*3		
FBAS-Signal				○*3	
Digitales RGB-Signal		○*4			

- *1 Obwohl die Eingänge INPUT1/INPUT5 mit verschiedenen Signaltypen kompatibel sind, muss nach Herstellung der Anschlüsse ein Setup mit Hilfe der eingeblendeten Menüs ausgeführt werden, um eine Anpassung an die Charakteristik der angeschlossenen Signalquelle vorzunehmen (Seite 18 bis 21).
- *2 Der Eingang INPUT1 ist mit der Plug & Play-Funktion von Microsoft (VESA DDC 1/2B) kompatibel.
- *3 Je nach Ausführung der Video-Ausgangsplatine des angeschlossenen Personalcomputers steht diese Anschlussart u.U. nicht zur Verfügung.
- *4 Der Eingang INPUT2 ist mit der Plug & Play-Funktion von Microsoft (VESA DDC 2B) kompatibel.
- *5 Unterstützt nur die Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.

■ Bei Verwendung des Modells PDA-5004

Eingangsbuchsen am Plasma-Display bei installierter Videokarte

Bitte orientieren Sie sich an der nachstehenden Tabelle, wenn Sie Anschlüsse am Plasma-Display herstellen, nachdem diese Videokarte im Plasma-Display installiert worden ist (Seite 7 bis 16).

Eingangsbuchse	INPUT 1*1	INPUT 2	INPUT 3	INPUT 4	INPUT 5*1
AV-Komponente					
Analoges RGB-Signal	○				○
Komponenten-Videosignal	○				○
S-Videosignal			○		
FBAS-Signal				○	
Digitales RGB-Signal		○*5			
Personalcomputer					
Analoges RGB-Signal	○*2				○
S-Videosignal			○*3		
FBAS-Signal				○*3	
Digitales RGB-Signal		○*4			

Anschlüsse an INPUT1 und INPUT5

An die INPUT1- und INPUT5-Buchsen können verschiedene Arten von Geräten angeschlossen werden. Nach Herstellung der Anschlüsse muss ein Setup mit Hilfe der eingeblendeten Menüs ausgeführt werden, um eine Anpassung an die Charakteristik des jeweils angeschlossenen Gerätes vorzunehmen. Einzelheiten zum Setup nach dem Anschluss finden Sie auf Seite 18 bis 21.

INPUT5-Buchse	[ON SYNC] G	B	R	[H/V SYNC] HD	VD
Ausgangsbuchse	○	○	○	×	×
	○	○	○	○	×
Ausgangs-signalquelle	G ON SYNC	B	R	×	×
	G	B	R	H/V SYNC	×
Videogerät/ Personalcomputer mit RGB-Ausgang	○	○	○	○	○
	G	B	R	HD	VD
Videogerät mit Komponenten-Videosignalausgang	○	○	○	×	×
	Y	Pb/Cb	Pr/Cr	×	×

× : Keinen Anschluss vornehmen. ○ : An diese Buchse anschließen.

Hinweis

Ein mit INPUT1 kompatibles Gerät ist auch mit INPUT5 kompatibel. Bitte schlagen Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays nach, wenn Sie einen Anschluss an INPUT1 herstellen.

Einzelheiten zu den von INPUT1 und INPUT5 unterstützten Eingangssignalen und Bildschirmformaten finden Sie in Anhang 1 und 2 (Seite 44 bis 46).

- *1 Obwohl die Eingänge INPUT1/INPUT5 mit verschiedenen Signaltypen kompatibel sind, muss nach Herstellung der Anschlüsse ein Setup mit Hilfe der eingeblendeten Menüs ausgeführt werden, um eine Anpassung an die Charakteristik der angeschlossenen Signalquelle vorzunehmen (Seite 18 bis 21).
- *2 Der Eingang INPUT1 ist mit der Plug & Play-Funktion von Microsoft (VESA DDC 1/2B) kompatibel.
- *3 Je nach Ausführung der Video-Ausgangsplatine des angeschlossenen Personalcomputers steht diese Anschlussart u.U. nicht zur Verfügung.
- *4 Der Eingang INPUT2 ist mit der Plug & Play-Funktion von Microsoft (VESA DDC 2B) kompatibel.
- *5 Unterstützt nur die Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.

■ Bei Verwendung des Modells PDA-5004

Anschlüsse an INPUT1 und INPUT5

An die INPUT1- und INPUT5-Buchsen können verschiedene Arten von Geräten angeschlossen werden. Nach Herstellung der Anschlüsse muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden, um eine Anpassung an die Charakteristik des jeweils angeschlossenen Gerätes vorzunehmen. Einzelheiten zum Setup nach dem Anschluss finden Sie auf Seite 18 bis 21.

INPUT5-Buchse \ Ausgangssignalquelle	Y	PB/CB	PR/CR
Videogerät/ Personalcomputer mit RGB-Ausgang	G ON SYNC	B	R
Videogerät mit Komponenten-Videosignalausgang	Y	PB/CB	PR/CR

○ : An diese Buchse anschließen.

Hinweis

Bitte schlagen Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays nach, wenn Sie einen Anschluss an INPUT1 herstellen.

Einzelheiten zu den von INPUT1 unterstützten Eingangssignalen und Bildschirmformaten finden Sie in Anhang 1 und 2 (Seite 44 bis 46).

Anschluss an INPUT1 oder INPUT5

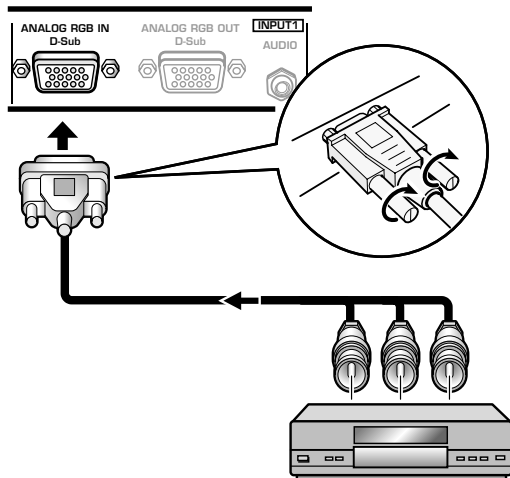
■ Bei Verwendung des Modells PDA-5003

Anschluss an AV-Komponenten

Anschluss an eine AV-Komponente mit Komponenten-Videosignalausgang

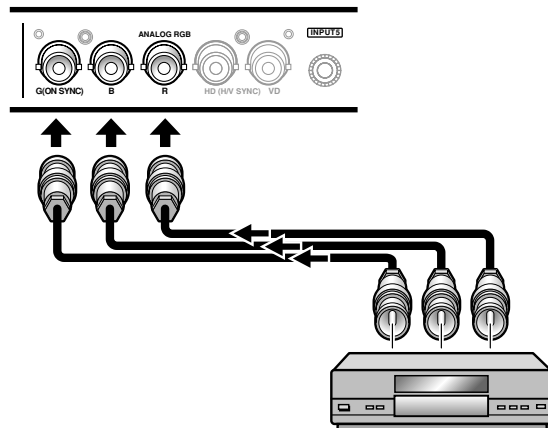
Anschlüsse für Komponenten-Videosignale können für AV-Komponenten hergestellt werden, die mit Buchsen für Komponenten-Videosignale ausgestattet sind.

Bei Anschluss an ANALOG RGB IN (INPUT1)



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Bei Anschluss an ANALOG RGB (INPUT5)



Verbinden Sie das Y-Signal mit der G-Buchse, das PB/CB-Signal mit der B-Buchse, und das PR/CR-Signal mit der R-Buchse.

Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Alle INPUT5-Buchsen besitzen eine BNC-Ausführung. Verwenden Sie bei Bedarf einen im Fachhandel erhältlichen BNC-Cinch-Übergangstecker zum Herstellen der Anschlüsse.

Hinweis

Das Plasma-Display und diese Videokarte sind auf die Unterstützung von Komponenten-Videosignalen mit einem normgerechten, stabilen Signalpegel sowie von Synchronsignalen ausgelegt. Daher kann ein gewisses Ausmaß von Bildunterbrechungen auftreten, wenn die Spezialeffekt-Funktionen von Videogeräten verwendet werden.

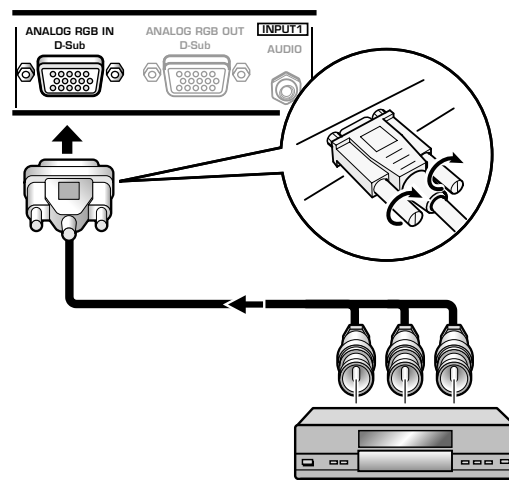
■ Bei Verwendung des Modells PDA-5004

Anschluss an AV-Komponenten

Anschluss an eine AV-Komponente mit Komponenten-Videosignalausgang

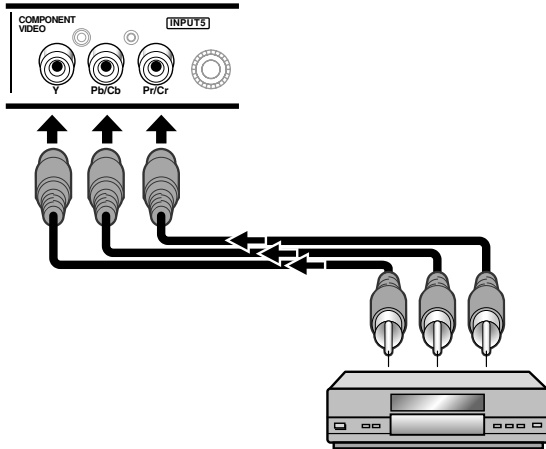
Anschlüsse für Komponenten-Videosignale können für AV-Komponenten hergestellt werden, die mit Buchsen für Komponenten-Videosignale ausgestattet sind.

Bei Anschluss an ANALOG RGB IN (INPUT1)



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Bei Anschluss an COMPONENT VIDEO (INPUT5)



Verbinden Sie das Y-Signal mit der Y-Buchse, das Pb/Cb-Signal mit der Pb/Cb-Buchse, und das Pr/Cr-Signal mit der Pr/Cr-Buchse.

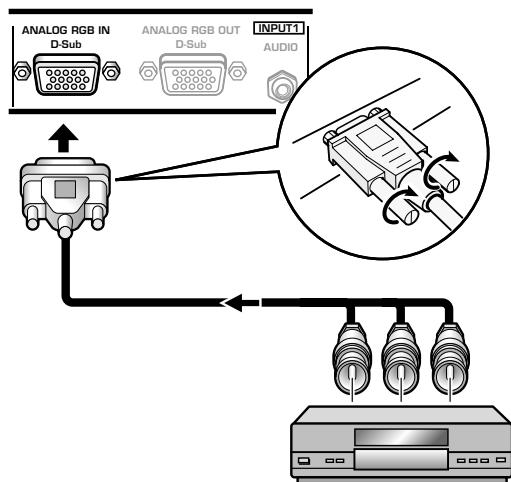
Hinweis

Das Plasma-Display und diese Videokarte sind auf die Unterstützung von Komponenten-Videosignalen mit einem normgerechten, stabilen Signalpegel sowie von Synchronsignalen ausgelegt. Daher kann ein gewisses Ausmaß von Bildunterbrechungen auftreten, wenn die Spezialeffekt-Funktionen von Videogeräten verwendet werden.

Anschluss einer analogen G ON SYNC RGB-Signalquelle

Nachstehend wird der G ON SYNC-Anschluss für ein Gerät gezeigt, in dessen Ausgangssignal das Synchronsignal dem Grün-Signal überlagert ist.

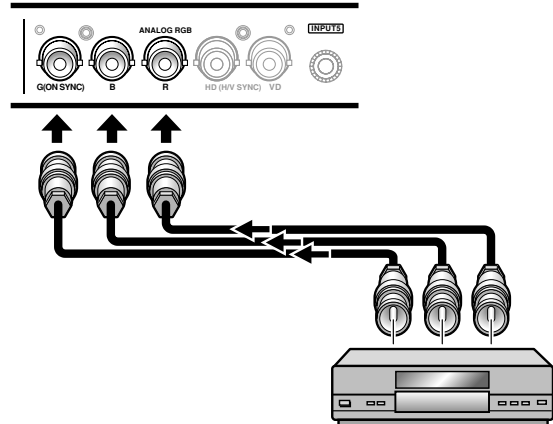
Bei Anschluss an ANALOG RGB IN (INPUT1)



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Bei Anschluss an ANALOG RGB (INPUT5)

[Anschlüsse für das Modell PDA-5003]



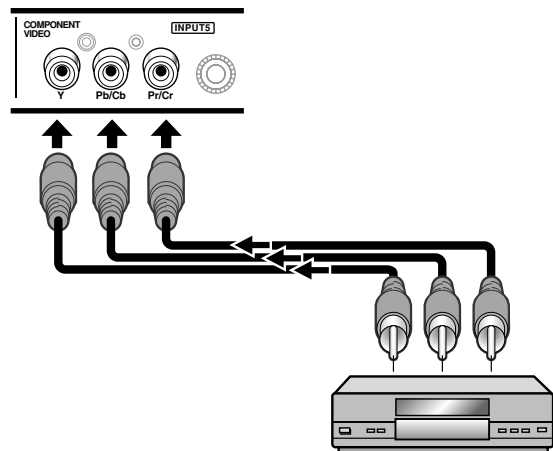
Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Hinweis

Wenn ein G ON SYNC-Anschluss hergestellt worden ist, dürfen keine Anschlüsse an der VD- oder der HD-Buchse vorgenommen werden. Anderenfalls wird das Bild u.U. nicht einwandfrei angezeigt.

Bei Anschluss an COMPONENT VIDEO (INPUT5)

[Anschlüsse für das Modell PDA-5004]



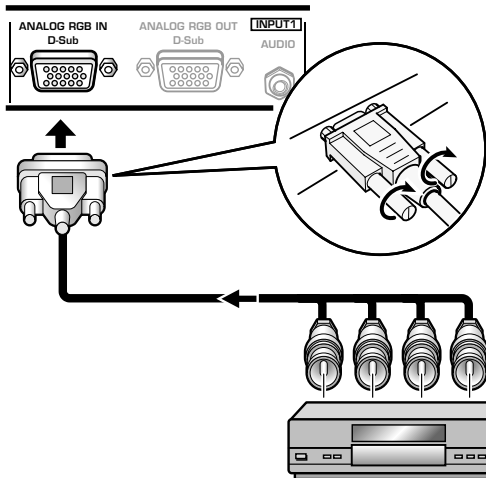
Verbinden Sie das G ON SYNC-Signal mit der Y-Buchse, das B-Signal mit der Pb/Cb-Buchse, und das R-Signal mit der Pr/Cr-Buchse.

Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Anschluss einer analogen RGB-Signalquelle mit zusammengesetztem Synchronsignal

Nachstehend wird der Anschluss für ein Gerät gezeigt, in dessen Ausgangssignal das vertikale Synchronsignal dem horizontalen Synchronsignal überlagert ist.

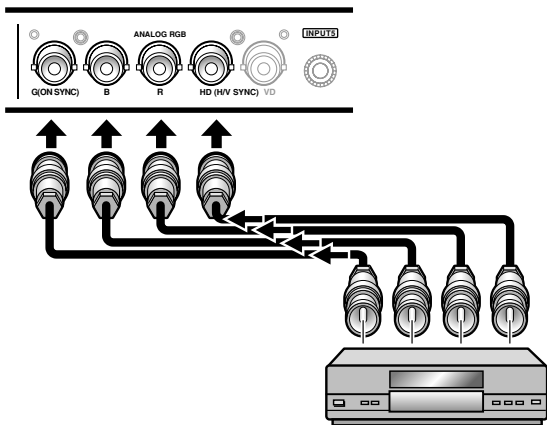
Bei Anschluss an ANALOG RGB IN (INPUT1)



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Bei Anschluss an ANALOG RGB (INPUT5)

[Anschlüsse für das Modell PDA-5003]



Bei Anschluss an INPUT5 muss die Einstellung des Wahlschalters für Synchronsignal-Impedanz der Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des angeschlossenen Gerätes angepasst werden. Wenn die Ausgangsimpedanz des Synchronsignals weniger als 75 Ohm beträgt, entfernen Sie die Videokarte, und bringen Sie den Impedanz-Wahlschalter dann in die Stellung "75 Ω" (Seite 6). Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Hinweis

Wenn ein Anschluss für ein zusammengesetztes Synchronsignal hergestellt worden ist, darf kein Anschluss an der VD-Buchse vorgenommen werden. Anderenfalls wird das Bild u.U. nicht einwandfrei angezeigt.

Anschluss an einen Personalcomputer

Das Anschlussverfahren ist je nach Ausführung des Personalcomputers verschieden. Bitte schlagen Sie vor dem Anschließen in der Bedienungsanleitung Ihres PC nach.

Vergewissern Sie sich, dass die Stromzufuhr des Personalcomputers und der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet sind, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse herstellen.

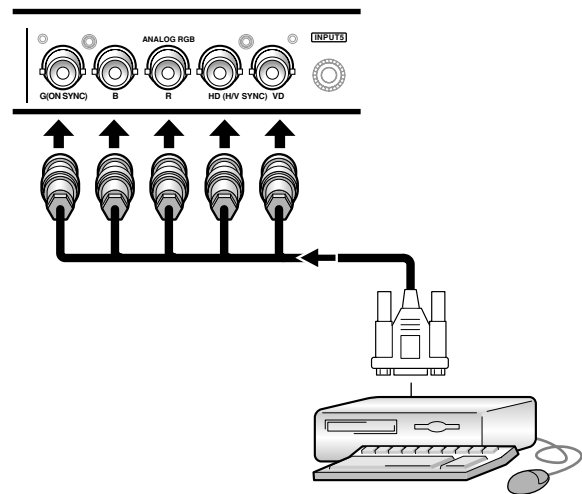
Informationen zu den PC-Eingangssignalen und den Bildschirmformaten, mit denen das Plasma-Display kompatibel ist, finden Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays.

Anschluss einer analogen RGB-Signalquelle mit getrenntem Synchronsignal

Stellen Sie einen Anschluss für ein getrenntes Synchronsignal her, wenn das RGB-Ausgangssignal des verwendeten Personalcomputers in 5 Ausgangssignale getrennt wird: Grün-Signal, Blau-Signal, Rot-Signal, horizontales Synchronsignal und vertikales Synchronsignal.

Bei Anschluss an ANALOG RGB (INPUT5)

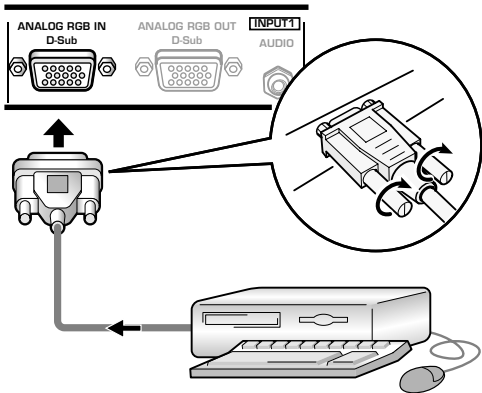
[Anschlüsse für das Modell PDA-5003]



Bei Anschluss an INPUT5 muss die Einstellung des Wahlschalters für Synchronsignal-Impedanz der Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des angeschlossenen Personalcomputers angepasst werden. Wenn die Ausgangsimpedanz des Synchronsignals weniger als 75 Ohm beträgt, entfernen Sie die Videokarte, und bringen Sie den Impedanz-Wahlschalter dann in die Stellung "75 Ω" (Seite 6).

Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Bei Anschluss an ANALOG RGB IN (INPUT1)



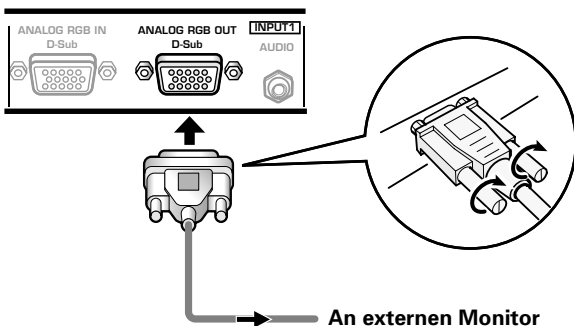
Richten Sie die Steckverbinder beim Anschließen des Kabels korrekt auf die Eingangs- und Ausgangsbuchse am Plasma-Display und auf die Ausgangsbuchse am Personalcomputer aus. Ziehen Sie die Schrauben an, um die Steckverbinder in den Buchsen zu sichern.

Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Hinweis

Je nach Ausführung der Ausgangsbuchse am anzuschließenden Personalcomputer ist u.U. der Gebrauch eines Wandlersteckers oder Adapters usw. erforderlich, der entweder zum Lieferumfang des Computers gehört oder separat im Fachhandel erhältlich ist. Einzelheiten hierzu sind der Bedienungsanleitung Ihres Computers zu entnehmen, oder Sie können sich an den PC-Hersteller bzw. an Ihren Computer-Fachhändler wenden.

Anschluss an ANALOG RGB OUT (INPUT1)



Bei diesem Plasma-Display besteht die Möglichkeit, das Videosignal von der Buchse ANALOG RGB OUT (INPUT1) an einen externen Monitor oder ein anderes Gerät auszugeben.

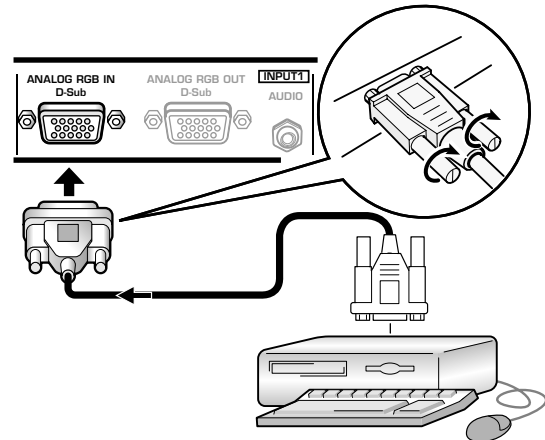
Hinweis

Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet, wird das Videosignal nicht von der Buchse ANALOG RGB OUT (INPUT1) ausgegeben.

Anschluss einer analogen G ON SYNC RGB-Signalquelle

Stellen Sie den nachstehend gezeigten G ON SYNC-Anschluss für einen Personalcomputer her, in dessen Ausgangssignal das Synchronsignal dem Grün-Signal überlagert ist.

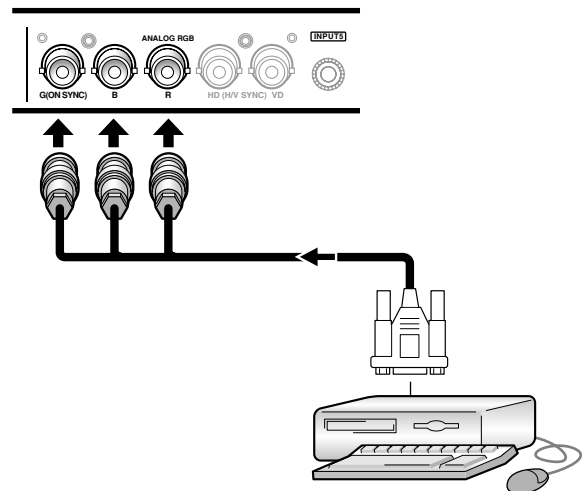
Bei Anschluss an ANALOG RGB IN (INPUT1)



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Bei Anschluss an ANALOG RGB (INPUT5)

[Anschlüsse für das Modell PDA-5003]



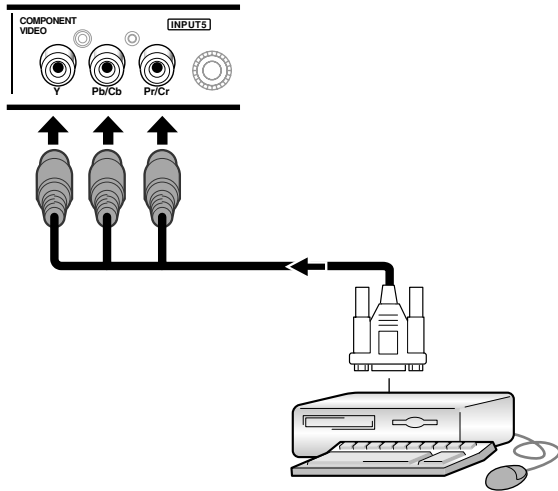
Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Hinweis

Wenn ein G ON SYNC-Anschluss hergestellt worden ist, dürfen keine Anschlüsse an der VD- oder der HD-Buchse vorgenommen werden. Anderenfalls wird das Bild u.U. nicht einwandfrei angezeigt.

Bei Anschluss an COMPONENT VIDEO (INPUT5)

[Anschlüsse für das Modell PDA-5004]

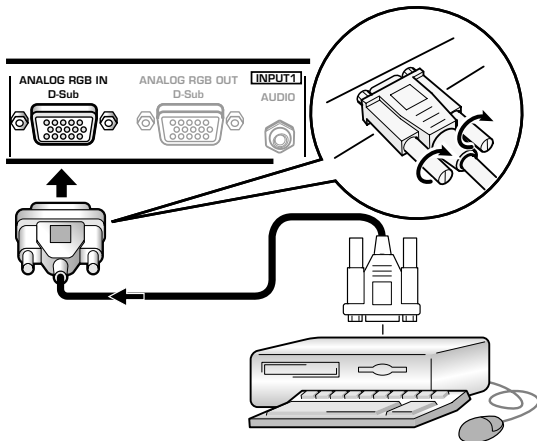


Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Anschluss einer analogen RGB-Signalquelle mit zusammengesetztem Synchronsignal

Stellen Sie den nachstehend gezeigten zusammengesetzten Synchronsignal-Anschluss für einen Personalcomputer her, in dessen Ausgangssignal das vertikale Synchronsignal dem horizontalen Synchronsignal überlagert ist.

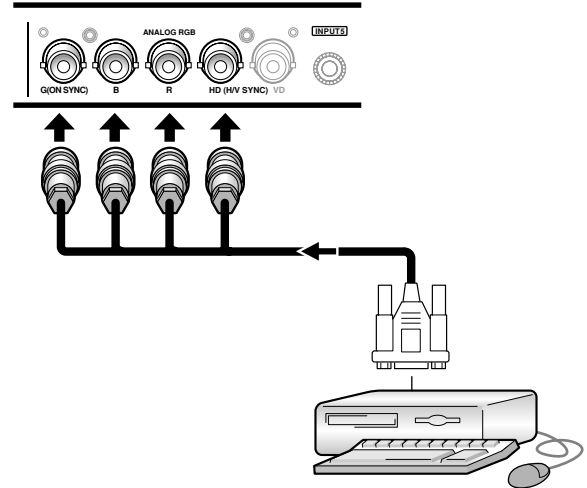
Bei Anschluss an ANALOG RGB IN (INPUT1)



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Bei Anschluss an ANALOG RGB (INPUT5)

[Anschlüsse für das Modell PDA-5003]



Bei Anschluss an INPUT5 muss die Einstellung des Impedanz-Wahlschalters der Ausgangsimpedanz des Synchronsignals des angeschlossenen Personalcomputers angepasst werden.

Wenn die Ausgangsimpedanz des Synchronsignals weniger als 75 Ohm beträgt, entfernen Sie die Videokarte, und bringen Sie den Impedanz-Wahlschalter dann in die Stellung "75 Ω " (Seite 6).

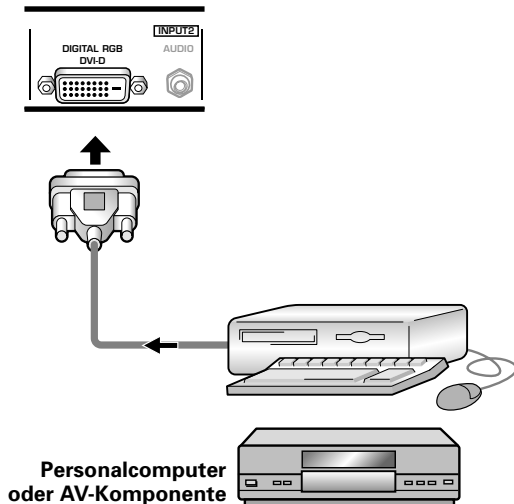
Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 21.

Hinweise

- Wenn ein Anschluss für ein zusammengesetztes Synchronsignal hergestellt worden ist, darf kein Anschluss an der VD-Buchse vorgenommen werden. Anderenfalls wird das Bild u.U. nicht einwandfrei angezeigt.
- Bestimmte von Apple Computer, Inc. hergestellte Computergeräte geben sowohl ein G ON SYNC- als auch ein zusammengesetztes Synchronsignal aus. Bei Verwendung eines derartigen Gerätes stellen Sie den auf Seite 11 gezeigten G ON SYNC-Anschluss her.

Anschluss an INPUT2

Ein Personalcomputer mit DVI-Ausgang (digitales RGB-Signal) oder eine AV-Komponente mit DVI-Ausgang (nur die Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 werden unterstützt) kann an die DVI-Buchse (HDCP-kompatibel) des Plasma-Displays angeschlossen werden.



Nach dem Anschluss muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Siehe Seite 18 bis 20.

Hinweise

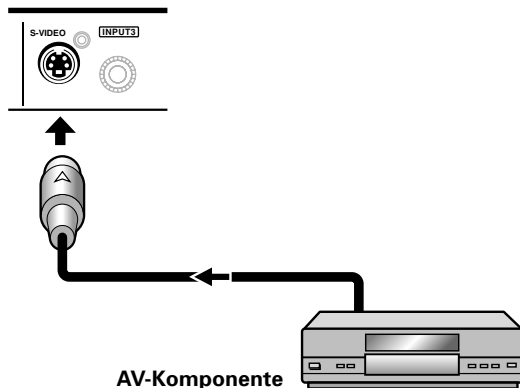
- Verwenden Sie ein 24-poliges DVI-D-Kabel (nur für Digitalsignale bestimmt) für den Anschluss.
- Die Modelle PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S und PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S bieten keine Unterstützung der Anzeige von Videosignalen, die mit Kopierschutz codiert sind.

ZUR BEACHTUNG

- Der Eingang INPUT2 ist mit der Plug & Play-Funktion von Microsoft (VESA DDC 2B) kompatibel.
- Einzelheiten zu den von INPUT2 unterstützten Bildschirmformaten und Eingangssignalen finden Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays sowie in Anhang 1 dieser Bedienungsanleitung (nur Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11).

Anschluss an INPUT3

An die Eingangsbuchse S-VIDEO (INPUT3) der Videokarte kann eine AV-Komponente mit S-Video-Ausgangsbuchse angeschlossen werden.



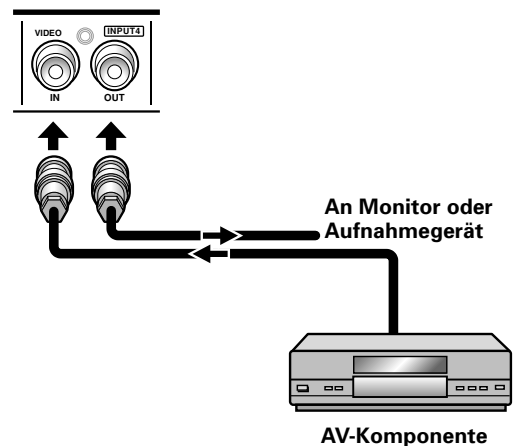
Anschluss an INPUT4

An die INPUT4-Buchse der Videokarte kann eine AV-Komponente mit Video-Ausgangsbuchse angeschlossen werden. Die Buchse VIDEO OUT (INPUT4) kann zur Ausgabe des Videosignals an einen separaten Monitor, ein Aufnahmegerät oder ein anderes Gerät mit Video-Eingang verwendet werden.

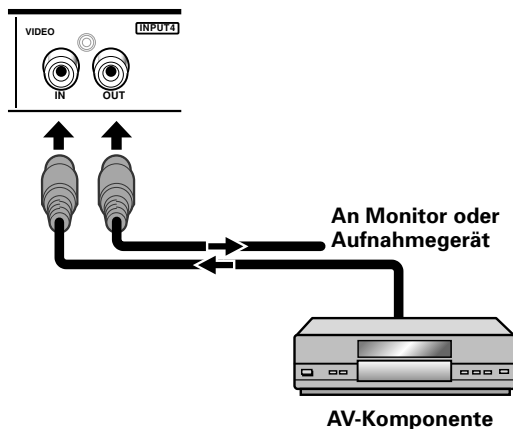
Hinweis

Wenn der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet ist oder sich dieses im Bereitschaftszustand befindet, wird das Videosignal nicht von der Buchse VIDEO OUT (INPUT4) ausgegeben.

[Bei Verwendung des Modells PDA-5003]



[Bei Verwendung des Modells PDA-5004]



Die Buchsen INPUT3 und INPUT4 sind mit Signalen der folgenden Fernsehsysteme kompatibel: NTSC, PAL, SECAM, 4.43NTSC, PAL M und PAL N. Einzelheiten hierzu finden Sie im Abschnitt „Einstellen von FARBSYSTEM“ auf Seite 40.

Hinweise zum Anschluss einer DTV-Top Box

Bitte lesen Sie die mit der DTV-Top Box gelieferte Bedienungsanleitung aufmerksam durch, um einen korrekten Anschluss zu gewährleisten.

Die Ausgangssignale der Top Box, mit denen dieses Plasma-Display kompatibel ist, sind in der nachstehenden Tabelle aufgelistet.

Videosignal-Typ	Videosignal	Videosignal-Format	Buchsen, an denen ein Anschluss möglich ist				
			INPUT1	INPUT2*	INPUT3	INPUT4	INPUT5
HDTV	1125i (1080i) 750p (720p)	Komponentensignal	⊙				⊙
		RGB-Signal	⊙	⊙			⊙
SDTV	525i (480i) 625i (575i)	FBAS-Signal				⊙	
		S-Videosignal			⊙		
		Komponentensignal	⊙				⊙
		RGB-Signal	⊙	⊙			⊙
	525p (480p) 625p (575p)	Komponentensignal	⊙				⊙
		RGB-Signal	⊙	⊙			⊙

*nur Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11

Audio-Anschlüsse

Vergewissern Sie sich, dass die Stromzufuhr der Audio-Komponente und der MAIN POWER-Schalter des Plasma-Displays ausgeschaltet sind, bevor Sie irgendwelche Anschlüsse herstellen.

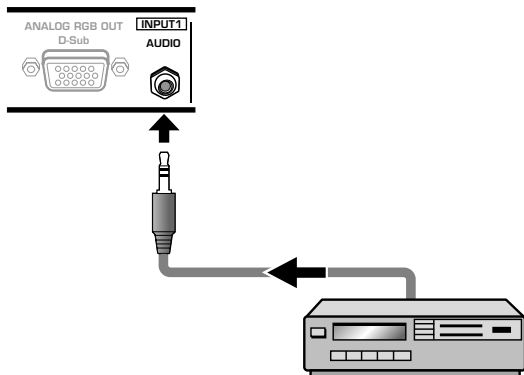
Schließen Sie eine Audio-Komponente an einen Audio-Eingang des Plasma-Displays mit installierter Videokarte an.

Bei installierter Videokarte verfügt das Plasma-Display über vier bzw. fünf Audio-Eingänge und einen Audio-Ausgang. Ermitteln Sie den richtigen Audio-Eingang für jeden Video-Eingang aus der nachstehenden Tabelle.

Video-Eingang	Audio-Eingangsbuchsen	Tonsignalausgabe
INPUT1	Stereo-Minibuchse (L/R)	Der Ton der gewählten Video-Eingangsquelle liegt an den folgenden Buchsen an: • SPEAKER-Klemmen (L/R) • Stereo-Minibuchse (L/R)
INPUT2	Stereo-Minibuchse (L/R)	
INPUT5	Cinchbuchsen (L/R)	
INPUT3	Cinchbuchsen (L/R) *1	
INPUT4	Cinchbuchsen (L/R) *1	

*1 Beim Modell PDA-5003 teilen sich INPUT3 und INPUT4 in die gleichen Audio-Eingangsbuchsen.

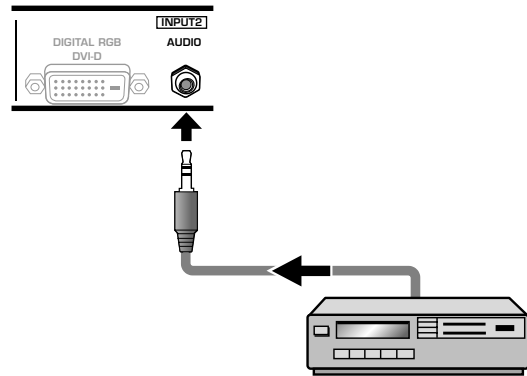
Audio-Anschluss für ein an INPUT1 angeschlossenes Gerät



Das Tonsignal eines an INPUT1 angeschlossenen Gerätes kann der Buchse AUDIO (INPUT1) (Stereo-Minibuchse) des Plasma-Displays über ein Kabel mit Stereo-Ministeckern zugeleitet werden.

Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO (OUTPUT) (Stereo-Minibuchse) als auch über die SPEAKER-Klemmen (L/R) ausgegeben.

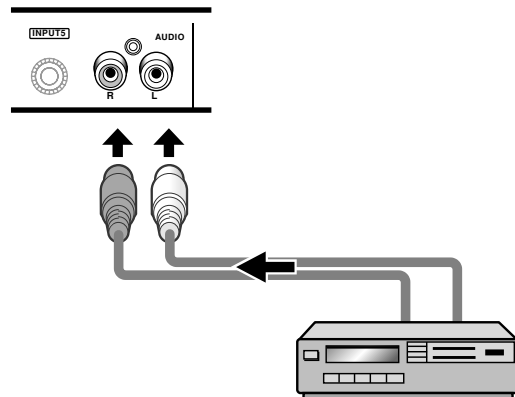
Audio-Anschluss für ein an INPUT2 angeschlossenes Gerät



Das Tonsignal eines an INPUT2 angeschlossenen Gerätes kann der Buchse AUDIO (INPUT2) (Stereo-Minibuchse) des Plasma-Displays über ein Kabel mit Stereo-Ministeckern zugeleitet werden.

Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO (OUTPUT) (Stereo-Minibuchse) als auch über die SPEAKER-Klemmen (L/R) ausgegeben.

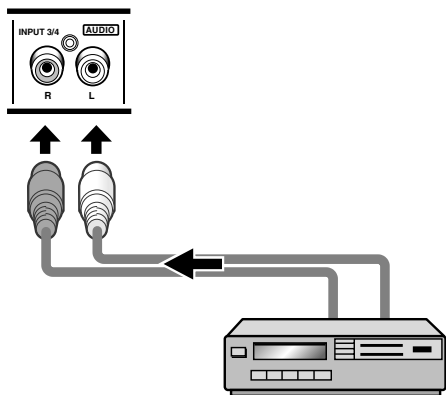
Audio-Anschluss für ein an INPUT5 angeschlossenes Gerät



Das Tonsignal einer an INPUT5 angeschlossenen Video-Signalquelle kann den Cinchbuchsen AUDIO R/L (INPUT5) zugeleitet werden.

Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO (OUTPUT) (Stereo-Minibuchse) als auch über die SPEAKER-Klemmen (L/R) ausgegeben.

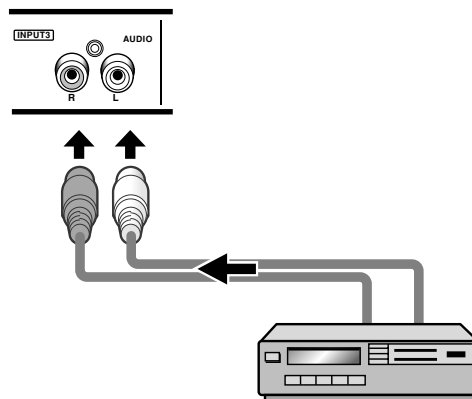
[Bei Verwendung des Modells PDA-5003] Audio-Anschluss für ein an INPUT3 oder INPUT4 angeschlossenes Gerät



Den Cinchbuchsen AUDIO R/L (INPUT3/4) kann das Tonsignal sowohl von der an INPUT3 als auch von der an INPUT4 angeschlossenen Video-Signalquelle zugeleitet werden.

Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO (OUTPUT) (Stereo-Minibuchse) als auch über die SPEAKER-Klemmen (L/R) ausgegeben.

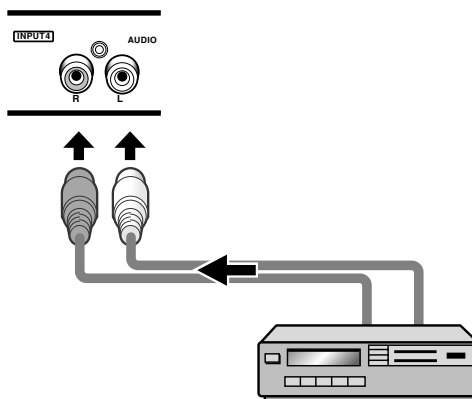
[Bei Verwendung des Modells PDA-5004] Audio-Anschluss für ein an INPUT3 angeschlossenes Gerät



Das Tonsignal einer an INPUT3 angeschlossenen Video-Signalquelle kann den Cinchbuchsen AUDIO R/L (INPUT3) zugeleitet werden.

Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO (OUTPUT) (Stereo-Minibuchse) als auch über die SPEAKER-Klemmen (L/R) ausgegeben.

Audio-Anschluss für ein an INPUT4 angeschlossenes Gerät



Das Tonsignal einer an INPUT4 angeschlossenen Video-Signalquelle kann den Cinchbuchsen AUDIO R/L (INPUT4) zugeleitet werden.

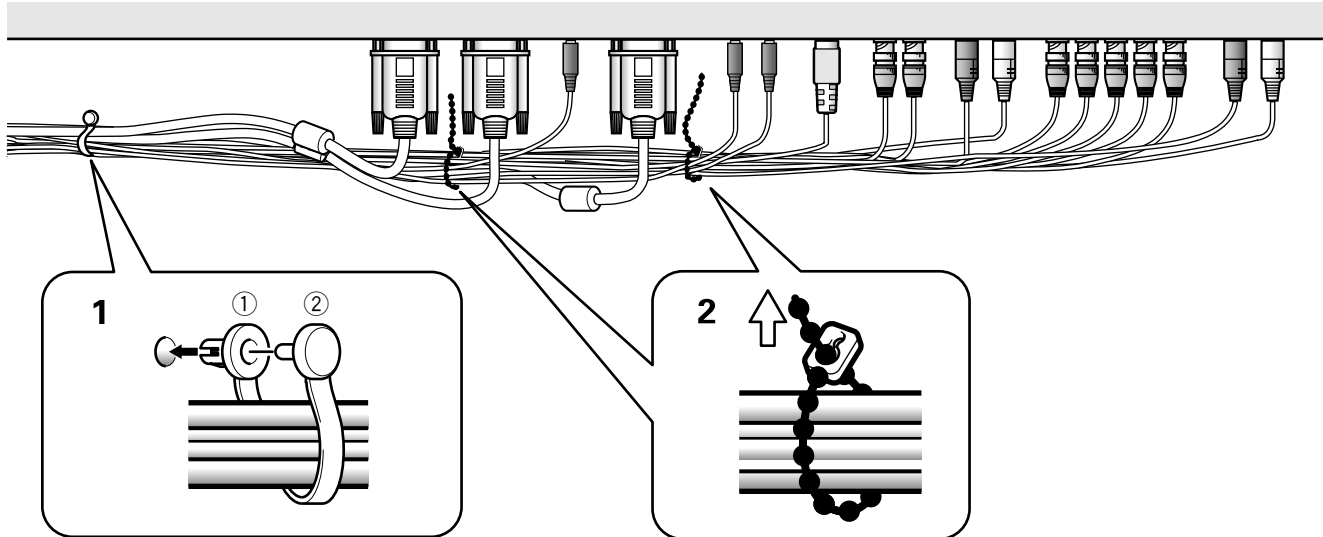
Das Tonsignal der gewählten Video-Eingangsquelle wird sowohl über die Buchse AUDIO (OUTPUT) (Stereo-Minibuchse) als auch über die SPEAKER-Klemmen (L/R) ausgegeben.

Verlegung der Kabel

Schnellverschluss-Kabelbänder und Kugelbänder zum Bündeln der Kabel gehören zum Lieferumfang des Plasma-Displays. Nachdem alle Anschlüsse hergestellt worden sind, verlegen Sie die Kabel anhand des nachstehend erläuterten Verfahrens.

Die nachstehenden Abbildungen zeigen das Plasma-Display PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S mit installierter Videokarte PDA-5003.

* Ansicht von der Rückseite des Plasma-Displays.



1 Fassen Sie die verschiedenen Kabel mit Hilfe der mitgelieferten Schnellverschluss-Kabelbänder zusammen.

Schieben Sie Teil ① in das dafür vorgesehene Loch an der Rückseite des Gerätes und stecken Sie dann Stift ② in das Loch an der Rückseite von Teil ①, um das Kabelband zu sichern.

Schnellverschluss-Kabelbänder sind so ausgelegt, dass sie nach dem Anbringen nur noch schwer gelöst werden können. Gehen Sie daher bei der Befestigung sorgfältig vor.

2 Bündeln Sie getrennt verlaufende Kabel und sichern Sie sie mit den mitgelieferten Kugelbändern.

Sorgen Sie dafür, dass die Kabelenden keiner starken Belastung ausgesetzt sind.

Hinweis

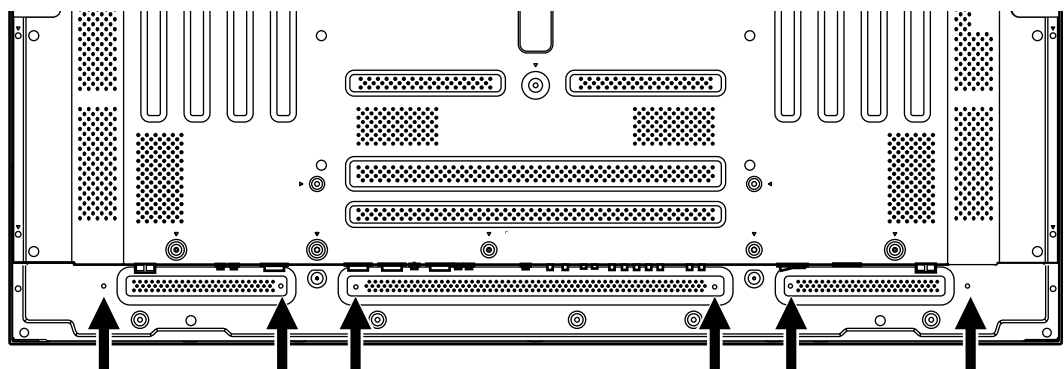
Kabel können wahlweise auf der rechten oder linken Seite verlegt werden.

Die nachstehenden Abbildungen zeigen das Plasma-Display PDP-50MXE10/PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S mit installierter Videokarte PDA-5003.

* Ansicht von der Rückseite des Plasma-Displays.

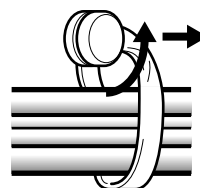
Befestigen der Schnellverschluss-Kabelbänder am Plasma-Display

Verwenden Sie die 6 in der nachstehenden Abbildung mit „O“ gekennzeichneten Löcher, um die Schnellverschluss-Kabelbänder nach Bedarf am Plasma-Display zu befestigen.



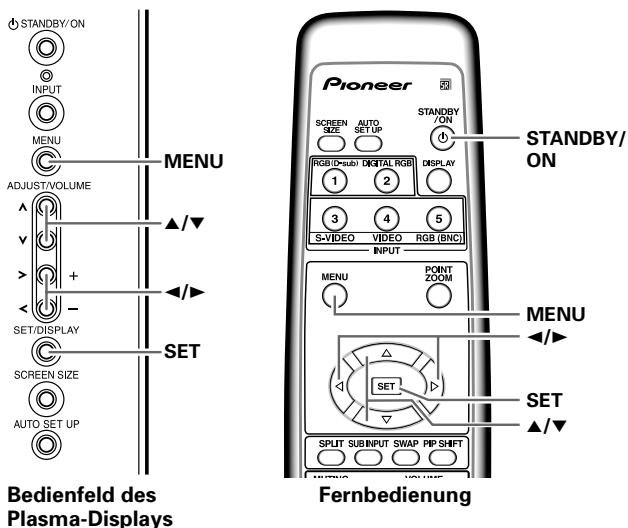
Entfernen der Schnellverschluss-Kabelbänder

Drehen Sie den Verschluss mit einer Zange um 90 Grad und ziehen Sie das Kabelband dann nach außen, um den Verschluss zu öffnen. Im Lauf der Zeit kann es vorkommen, dass sich ein Kabelband abnutzt und beim Entfernen beschädigt wird.



Einstellen der Sprache der eingeblendeten Menüs

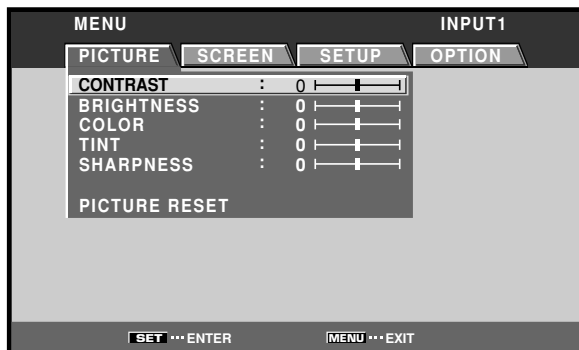
In der Standardeinstellung des Displays ist Englisch als Sprache für die eingeblendeten Menüs eingestellt. Um eine andere Sprache zu wählen, muss die Einstellung des betreffenden Eintrags der Menüanzeige geändert werden. Dazu gehen Sie wie folgt vor.



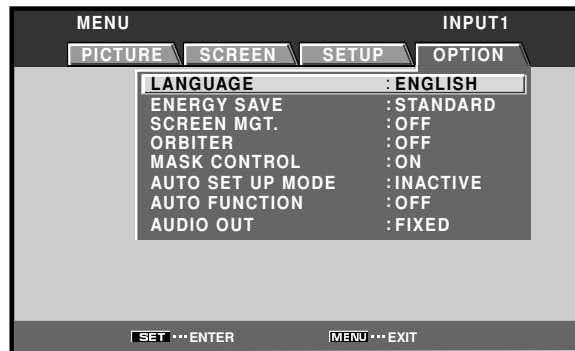
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

- 1 **Bringen Sie den MAIN POWER-Schalter an der Anschlussleiste in die Stellung „ON“, um die Stromzufuhr des Plasma-Displays einzuschalten.** Die STANDBY-Anzeige an der Frontplatte leuchtet rot auf.
- 2 **Drücken Sie STANDBY/ON, um das Plasma-Display in den Betriebsmodus zu schalten.** Die ON-Anzeige an der Frontplatte leuchtet grün auf.
- 3 **Betätigen Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.**



- 4 **Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [OPTION].**

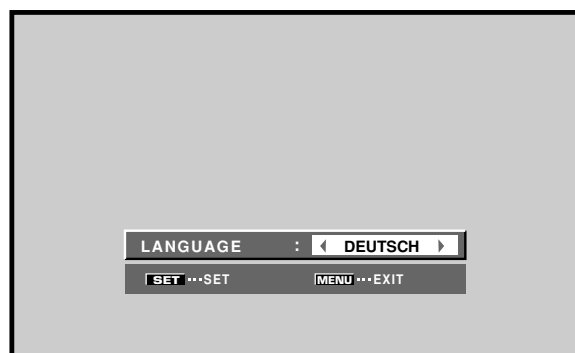


- 5 **Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [LANGUAGE], und drücken Sie dann SET.**



- 6 **Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl der gewünschten Sprache.**

Bei jeder Betätigung von ◀/▶ wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen umgeschaltet:



- 7 **Wenn die gewünschte Sprache angezeigt wird, drücken Sie SET.** Die gewählte Einstellung der Sprache wird gespeichert, wonach das in Schritt 4 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.
- 8 **Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.**

Hinweis

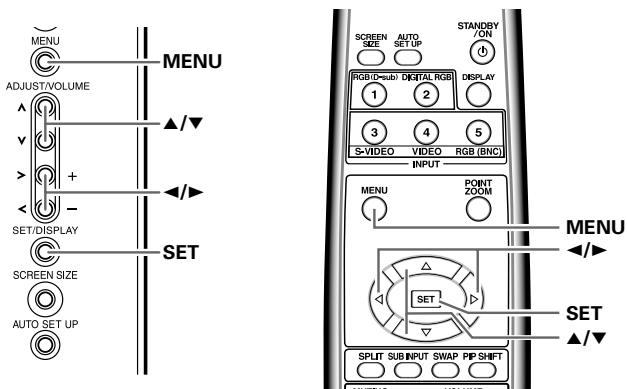
Wenn die Sprache der eingeblendeten Menüs für einen der Eingänge von INPUT1 bis INPUT5 eingestellt worden ist, wird die gleiche Sprache für alle übrigen Eingänge eingestellt.

Einstellungen nach dem Anschließen

Nachdem ein Gerät an INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 angeschlossen worden ist, muss ein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt werden. Gehen Sie wie nachstehend erläutert vor, um die für das jeweils angeschlossene Gerät erforderlichen Einstellungen vorzunehmen.

Setup für [DVI SELECT] (nur Modelle PDP-50MXE10/ PDP-50MXE11)

Wählen Sie den Typ der Komponente (entweder [PC] oder [VIDEO]), die an INPUT2 angeschlossen werden soll.



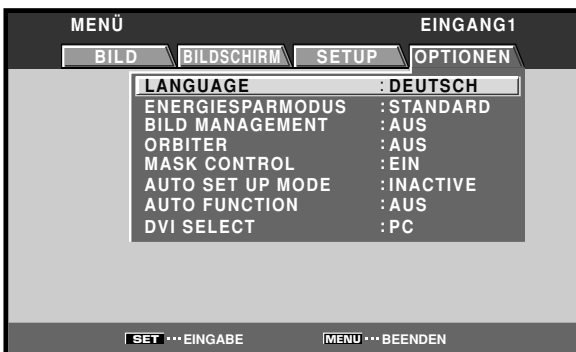
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie </> zur Wahl von [OPTIONEN].



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [DVI SELECT].



4 Drücken Sie SET, und wählen Sie dann den Typ der anzuschließenden Komponente aus.

Die werkseitige Voreinstellung ist [PC].

Bei jeder Betätigung von **SET** wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



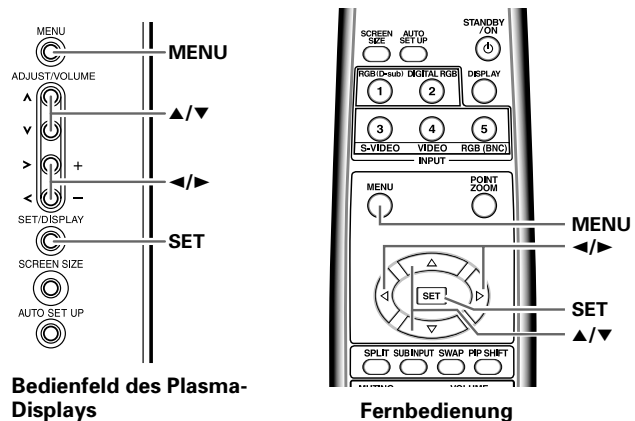
- PC Wählen Sie diese Einstellung für den Anschluss eines Personalcomputers.
- VIDEO Wählen Sie diese Einstellung für den Anschluss einer AV-Komponente.

5 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

Nachdem die Einstellungen abgeschlossen worden sind, schalten Sie die angeschlossene Komponente ein, oder führen Sie einen System-Neustart (im Falle eines Personalcomputers) aus. Falls die Einstellungen geändert wurden, während die angeschlossene Komponente eingeschaltet war, erfolgt u.U. keine Signalausgabe, oder die Signal werden in einem falschen Format ausgegeben.

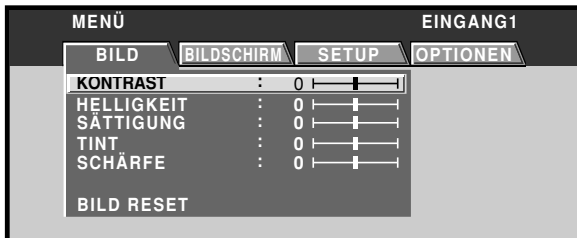
Setup für [SIGNAL FORMAT]/ [COLOR DECODING]



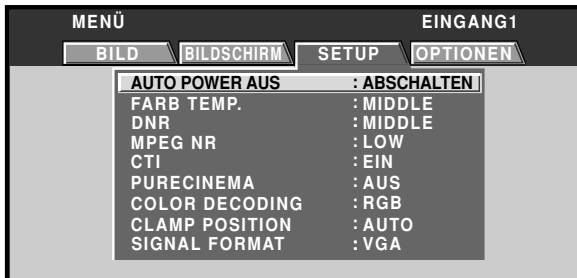
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

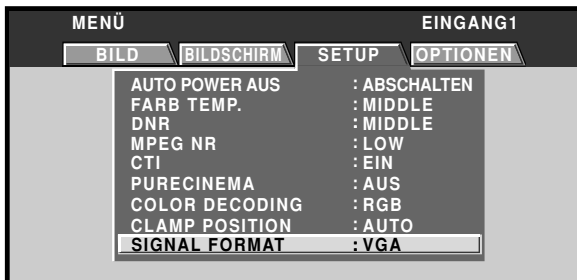
- 1 Wählen Sie INPUT1, INPUT2 oder INPUT5.
- 2 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



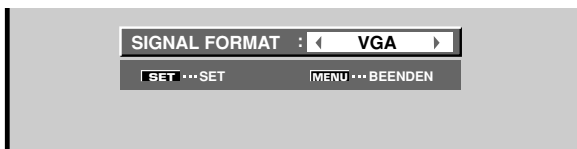
- 3 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [SETUP].



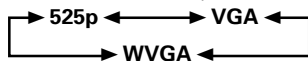
- 4 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [SIGNAL FORAMT] und drücken Sie dann SET.



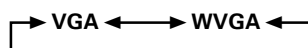
- 5 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl des gewünschten Anzeigemodus.



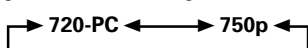
- ① Wenn das Eingangssignal mit einer Horizontalfrequenz von 31,5 kHz und einer Vertikalfrequenz von 60 Hz übermittelt wird, wechselt der Anzeigemodus bei jeder Betätigung von ◀/▶ in der folgenden Reihenfolge: Bei Verwendung von INPUT1, INPUT5 oder INPUT2 (nur Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11):



Bei Verwendung von INPUT2 (nur Modelle PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S und PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S):

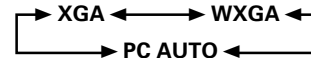


- ② Wenn das Eingangssignal mit einer Horizontalfrequenz von 45 kHz und einer Vertikalfrequenz von 60 Hz übermittelt wird, wechselt der Anzeigemodus bei jeder Betätigung von ◀/▶ abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen:



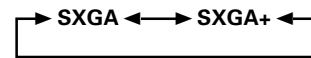
- Die Einstellung [720-PC] entspricht einer Auflösung von 1280 x 720 Pixeln.

- ③ Wenn das Eingangssignal mit einer Horizontalfrequenz von 48,4 kHz und einer Vertikalfrequenz von 60 Hz oder einer Horizontalfrequenz von 56,1 kHz und einer Vertikalfrequenz von 70 Hz übermittelt wird, wechselt der Anzeigemodus bei jeder Betätigung von ◀/▶ in der folgenden Reihenfolge:



Wenn bei Verwendung der obigen PC-Eingangssignale die Einstellung [PC AUTO] gewählt wird, wechselt der Anzeigemodus automatisch zwischen [XGA] und [WXGA].

- ④ Wenn das Eingangssignal mit einer Horizontalfrequenz von 64 kHz und einer Vertikalfrequenz von 60 Hz, einer Horizontalfrequenz von 80 kHz und einer Vertikalfrequenz von 75 Hz oder einer Horizontalfrequenz von 91,2 kHz und einer Vertikalfrequenz von 85 Hz übermittelt wird, wechselt der Anzeigemodus bei jeder Betätigung von ◀/▶ in der folgenden Reihenfolge:



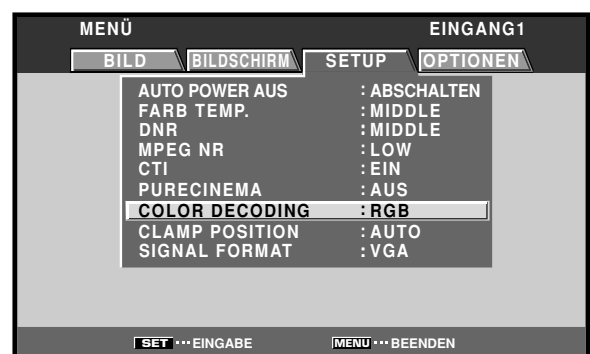
Hinweise

- Diese Einstellung ist nur dann erforderlich, wenn das Eingangssignal mit einer der folgenden Kombinationen von Horizontal- und Vertikalfrequenz übermittelt wird: ① 31,5 kHz horizontal/60 Hz vertikal; ② 45 kHz horizontal/60 Hz vertikal; ③ 48,4 kHz horizontal/60 Hz vertikal oder 56,1 kHz horizontal/70 Hz vertikal; ④ 64 kHz horizontal/60 Hz vertikal, 80 kHz horizontal/75 Hz vertikal oder 91,2 kHz horizontal/85 Hz vertikal. Bei Eingangssignalen mit anderen Horizontal- und Vertikalfrequenzen ist kein manuelles Setup erforderlich, da diese Einstellung in solchen Fällen automatisch vorgenommen wird (der Eintrag [SIGNAL FORMAT] erscheint nicht).
- Die Einstellung [PC AUTO] unterstützt eine automatische Signalwahl nur bei Zuleitung von separaten RGB-Synchronsignalen.
- Bei Zuleitung eines G ON SYNC- oder zusammengesetztes Synchronsignals wird nach Wahl der Einstellung [PC AUTO] lediglich der Anzeigemodus [XGA] eingestellt.
- Wenn ein G ON SYNC- oder ein zusammengesetztes Synchronsignal bei Zuleitung von WXGA-Signalen verwendet wird, stellen Sie [SIGNAL FORMAT] manuell auf [WXGA] ein.

6 Drücken Sie SET.

Die neue Einstellung wird gespeichert, wonach das in Schritt 4 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

7 Wenn ein anderes Gerät als ein Computer angeschlossen, betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [COLOR DECODING] (INPUT1 oder INPUT5).



8 Betätigen Sie SET zur Wahl des Eingangssignalformats.

Bei jeder Betätigung von **SET** wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Eingangssignalformaten umgeschaltet:



Die Tabelle auf der nächsten Seite zeigt die geeigneten Einstellungen, die für den jeweils hergestellten Anschluss zur Verfügung stehen.

Stellen Sie die Einträge [SIGNAL FORMAT] und [COLOR DECODING] unter Bezugnahme auf die nachstehende Tabelle ein.

Bitte gehen Sie beim Herstellen dieser Einstellungen mit größter Sorgfalt vor. Durch eine falsche Einstellung kann das Plasma-Display beeinträchtigt werden.

Ange-schlossenes Gerät	SETUP	SIGNAL FORMAT	COLOR DECODING
Komponenten-Videoausgangssignal eines DVD-Players usw.		525p	KOMPONENTE1
Komponenten-Videoausgangssignal eines Digitaltuners usw.		750p	KOMPONENTE2
RGB-Videoausgang eines Videorecorders usw. mit RGB-Ausgang		525p	RGB
DVI-Videoausgang einer AV-Komponente mit DVI-Ausgang (nur Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11)		525p, 750p	RGB
RGB-Videoausgang eines Personalcomputers		VGA, WVGA, 720-PC, XGA, WXGA, SXGA, SXGA+	Nicht unterstützt

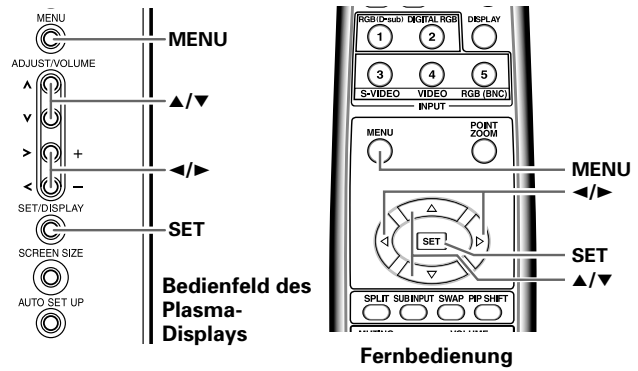
9 Drücken Sie nach beendetem Setup MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweise

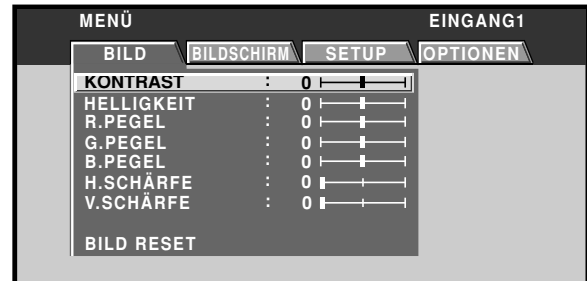
- Die Einstellung der Einträge [SIGNAL FORMAT] und [COLOR DECODING] muss für jeden Eingang (INPUT1, INPUT2 oder INPUT5) separat ausgeführt werden.
- Wenn das Signal eines Personalcomputers zugeleitet wird oder im Eintrag [SIGNAL FORMAT] eine andere Einstellung als [525p] oder [750p] gewählt wurde, steht der Eintrag [COLOR DECODING] nicht zur Verfügung.

Setup für [CLAMP POSITION]

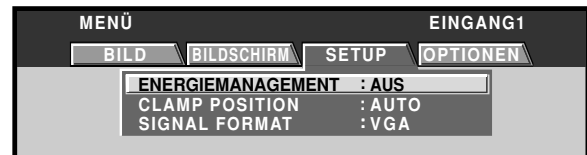
Je nach Eingangssignal kann es bei analogen RGB-Signalen vorkommen, dass die Bildschirmanzeige einen ausgeprägten Weiß- oder Grünanteil annimmt. In einem solchen Fall wählen Sie im Eintrag [CLAMP POSITION] die Einstellung [GESPERRT]. Normalerweise sollte die Einstellung [AUTO] beibehalten werden.



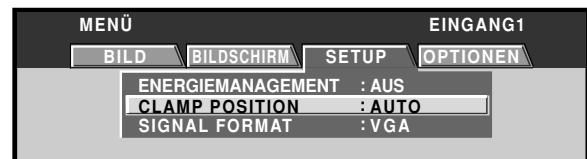
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



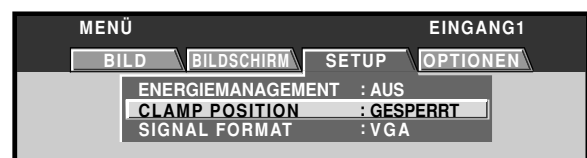
2 Betätigen Sie </> zur Wahl von [SETUP].



3 Betätigen Sie \updownarrow zur Wahl von [CLAMP POSITION].



4 Drücken Sie SET zur Wahl von [GESPERRT].



Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [AUTO]. Bei jeder Betätigung von **SET** wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



5 Drücken Sie nach beendetem Setup MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweise

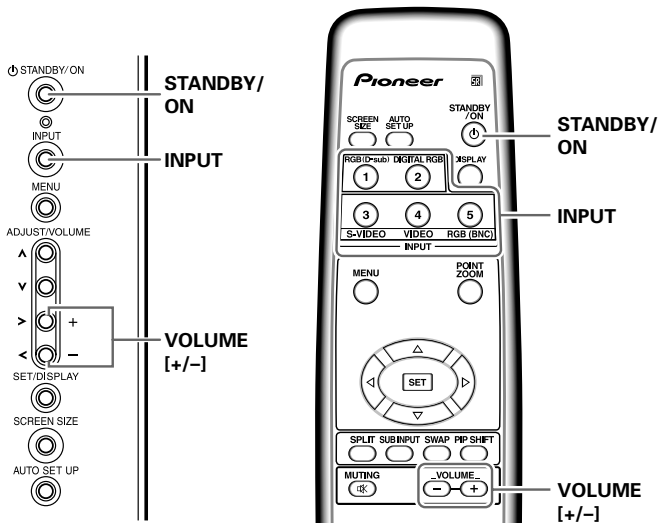
- Die Einstellung des Eintrags [CLAMP POSITION] muss für jeden betreffenden Eingang (PDA-5003: INPUT1 oder INPUT5, PDA-5004: INPUT1) separat ausgeführt werden.
- Bei Verwendung dieses Setups muss die Signalausgabe des angeschlossenen Gerätes sorgfältig überprüft werden. Einzelheiten hierzu finden Sie in der Bedienungsanleitung des jeweiligen Gerätes.

Wahl der Eingangssignalquelle

In diesem Abschnitt wird die grundlegende Bedienung des Plasma-Displays erläutert. Auf den folgenden Seiten werden die Bedienungsschritte zum Ein- und Ausschalten der Stromzufuhr, zum Umschalten in den Betriebs- und Bereitschaftsmodus und zur Wahl der angeschlossenen Geräte beschrieben.

Vergewissern Sie sich zunächst, dass:

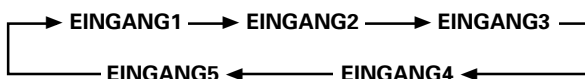
- Sie die Anschlüsse zwischen dem Plasma-Display und AV-Komponenten oder einem Personalcomputer wie im Abschnitt „Installation und Anschlüsse“, der auf Seite 6 beginnt, beschrieben hergestellt haben.
- Sie das Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs wie im Abschnitt „Systemeinstellungen“ auf Seite 18 beschrieben für die an INPUT1, INPUT2 und INPUT5 angeschlossenen Geräte ausgeführt haben. Wenn keine Anschlüsse an diesen Eingängen hergestellt wurden, braucht kein Setup mit Hilfe der eingblendeten Menüs ausgeführt zu werden.



Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

- 1 Bringen Sie den MAIN POWER-Schalter an der Anschlussleiste in die Stellung "ON", um die Stromzufuhr des Plasma-Displays einzuschalten.**
Die STANDBY-Anzeige an der Frontplatte leuchtet rot auf.
- 2 Drücken Sie STANDBY/ON, um das Plasma-Display in den Betriebsmodus zu schalten.**
Die ON-Anzeige an der Frontplatte leuchtet grün auf.
- 3 Betätigen Sie INPUT an der Fernbedienung oder am Bedienfeld des Plasma-Displays zur Wahl des gewünschten Eingangs.**
Bei jeder Betätigung von INPUT wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Eingängen umgeschaltet:



- Falls momentan eine Menüanzeige erscheint, verschwindet diese vom Bildschirm, wenn auf einen anderen Eingang umgeschaltet wird.
- Wenn das von einem Personalcomputer zugeleitete Signal nicht von diesem Plasma-Display unterstützt wird, erscheint die folgende Fehlermeldung auf dem Bildschirm:

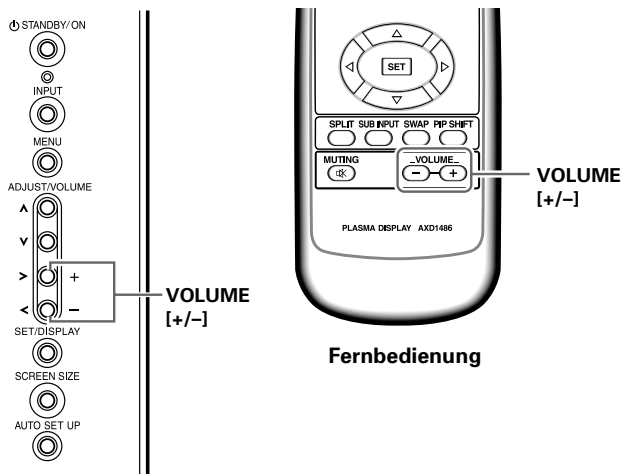


- 4 Betätigen Sie VOLUME (+/-) an der Fernbedienung oder am Bedienfeld des Plasma-Displays, um die Lautstärke wunschgemäß einzustellen.**
Wenn keine Audio-Anschlüsse am Plasma-Display hergestellt wurden, erübrigt sich diese Einstellung.
- 5 Drücken Sie nach beendeter Wiedergabe STANDBY/ON, um das Display in den Bereitschaftsmodus umzuschalten.**
- 6 Bringen Sie den MAIN POWER-Schalter an der Anschlussleiste in die Stellung "OFF", um die Stromzufuhr des Plasma-Displays auszuschalten.**
Die STANDBY-Anzeige leuchtet u.U. auch nach Ausschalten des MAIN POWER-Schalters noch einige Sekunden lang. Dies ist auf eine elektrische Restlast zurückzuführen, die auf die Schaltung einwirkt, doch erlischt die Anzeige kurz danach.

Hinweis

Bitte vermeiden Sie es, das gleiche Bild längere Zeit über auf dem Bildschirm anzeigen zu lassen. Anderenfalls kann ein "Geisterbild" durch Einbrennen verursacht werden, das sich nicht mehr vom Bildschirm beseitigen lässt.

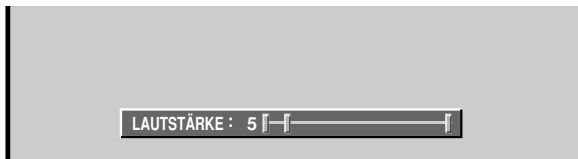
Einstellen der Lautstärke



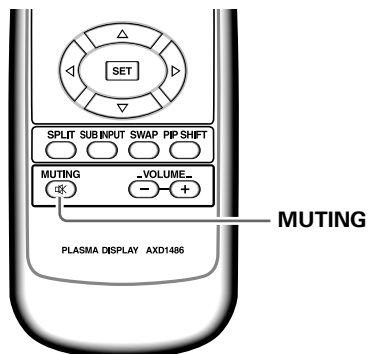
Bedienfeld des Plasma-Displays

Betätigen Sie VOLUME.

Verwenden Sie [+] oder [-], um den Lautstärkepegel der angeschlossenen Lautsprecher wunschgemäß einzustellen.



Stummschaltung



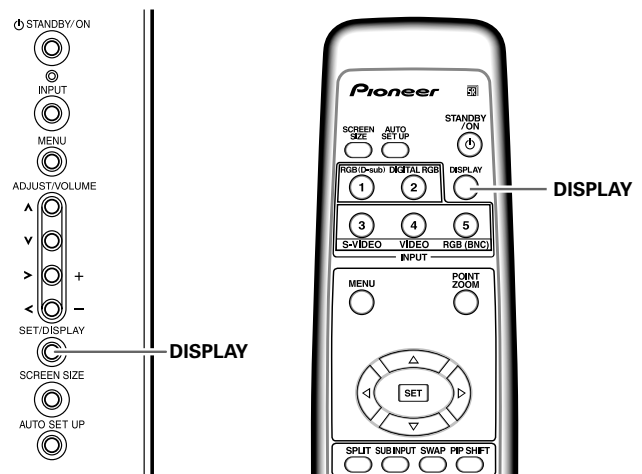
Drücken Sie MUTING an der Fernbedienung.

Um die Stummschaltung aufzuheben, drücken Sie **MUTING** erneut.

Die Stummschaltung wird ca. 8 Minuten nach Drücken der Taste automatisch wieder aufgehoben, wonach die Lautstärke auf den Minimalpegel eingestellt wird.

Betätigen Sie anschließend **VOLUME +** oder **VOLUME -**, um die gewünschte Lautstärke einzustellen.

Überprüfen der Anzeigeparameter



Bedienfeld des Plasma-Displays

Drücken Sie DISPLAY.

Danach werden der momentan gewählte Eingang, das aktuelle Bildschirmformat sowie Horizontal- und Vertikalfrequenz des Eingangssignals ca. 3 Sekunden lang auf dem Bildschirm angezeigt.



Hinweise

- Die angezeigten Horizontal- und Vertikalfrequenzen weichen u.U. geringfügig von den tatsächlichen Werten ab.
- Bei Verwendung der POINT ZOOM-Funktion (Seite 25) oder der Mehrbildanzeige-Funktion (Seite 26) werden Informationen über Position und Eingang des vergrößerten Bildschirmbereichs angezeigt.
- Bei aktivierter Bild-Management-Funktion wird die Meldung [BILD MANAGEMENT] ebenfalls links unten auf dem Bildschirm angezeigt.

Ändern des Bildschirmformats

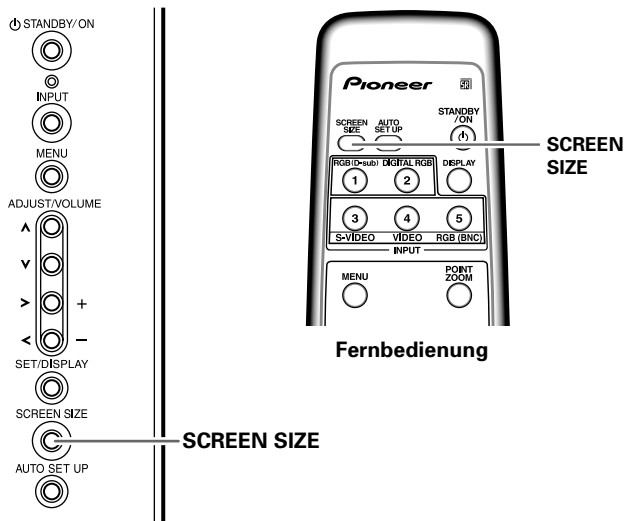
Der auf den Bildschirm projizierte Bereich kann zwischen vier verschiedenen Formaten mit jeweils unterschiedlichem Bildseitenverhältnis umgeschaltet werden. Für optimale Wiedergabe empfiehlt sich die Wahl des Bildschirmformats, das mit dem zu betrachtenden Videomaterial übereinstimmt. Obwohl diese Formate auf eine volle Anzeige im Breitbild-Modus ausgelegt sind, sollten Sie die jeweils am besten für das Bildmaterial geeignete Einstellung wählen.

Verändern des Bildschirmformats

Für Videosignale

Die Bildgröße bzw. der auf den Bildschirm projizierte Bereich kann zwischen den 5 Bildschirmformaten umgeschaltet werden, die in der Tabelle unten auf dieser Seite aufgelistet sind.

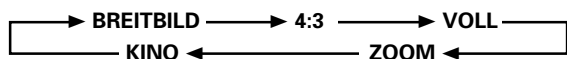
Betätigen Sie SCREEN SIZE zur Wahl des gewünschten Bildschirmformats.



Bedienfeld des Plasma-Displays

Bei jeder Betätigung von **SCREEN SIZE** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Bildschirmformaten umgeschaltet:

- Je nach Art des Eingangssignals stehen u.U. unterschiedliche Bildformate für INPUT1, INPUT2 (nur Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11) und INPUT5 zur Verfügung. Einzelheiten hierzu finden Sie in „Anhang 1: Tabelle zur Kompatibilität der Videosignale“ (Seite 44).



Hinweise

- Wenn die Einstellung [BREITBILD], [ZOOM] oder [VOLL] dazu verwendet wird, ein Standbild mit einem Bildseitenverhältnis von 4:3 auf einem Breitbildschirm wiederzugeben, kann ein Teil des Bilds abgeschnitten sein oder deformiert erscheinen.
- Bitte beachten Sie, dass bei Verwendung dieses Plasma-Displays für kommerzielle Zwecke oder öffentliche Veranstaltungen Urheberrechte durch Wahl des [BREITBILD]-, [ZOOM], [KINO]- oder [VOLL]-Modus verletzt werden können.
- Bei Wahl des Bildschirmformats [4:3] verschiebt sich die Anzeigeposition automatisch bei jedem Einschalten der Stromzufuhr geringfügig, um ein Einbrennen des Bilds zu verhindern.

Bei Zuleitung eines Videosignals

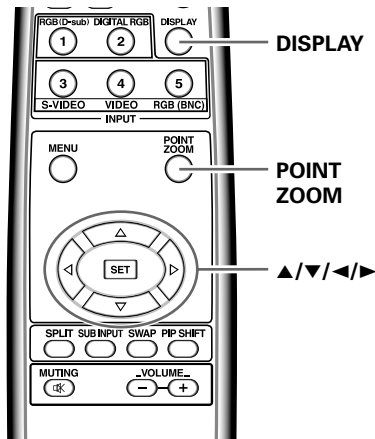
Darstellungsweise des Bilds	
<p>BREITBILD</p>	Dieses Format eignet sich für Nachrichten oder Sportsendungen. Auch bei Filmen und Sportübertragungen wird ein weiträumiges, ausdrucksstarkes Bild erhalten.
<p>4:3</p>	Dieses Format eignet sich für Nachrichten und Situationskomödien. Die Video-Software kann im Original-Abbildungsformat betrachtet werden.
<p>VOLL</p>	Dieses Format ist für eine Breitbild-Darstellung vorgesehen (Quetschung).
<p>ZOOM</p>	Dieser Modus eignet sich hauptsächlich für Cinemascope und ähnliche Filmformate. Bei Wahl dieser Einstellung wird ein weiträumiges, ausdrucksstarkes Bild erhalten.
<p>KINO</p>	Dieser Modus eignet sich hauptsächlich für „Vista vision“-Filmformate.

Informationen zum Bildschirmformat bei Zuleitung des Signals eines Personalcomputers finden Sie in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays.

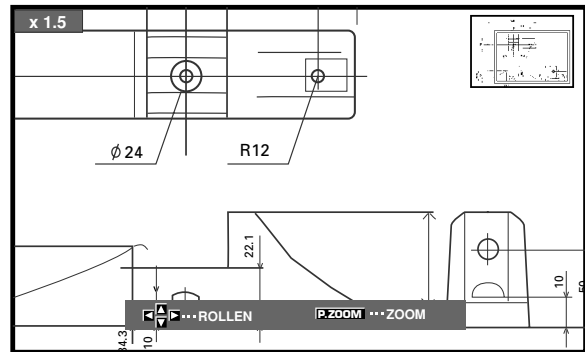
Vergrößern eines Bildausschnitts (POINT ZOOM)

Dieses Plasma-Display gestattet es Ihnen, einen gewünschten Bildausschnitt mit einem Vergrößerungsmaßstab von 1,5x [x 1.5], 2x [x 2] oder 3x [x 3] anzeigen zu lassen. Beim Vergrößern mit Hilfe der POINT ZOOM-Funktion können Sie die Pfeiltasten (▲/▼/◀/▶) verwenden, um den vergrößerten Bildausschnitt in der entsprechenden Richtung auf dem Bildschirm zu verschieben.

- Der Bereich der möglichen Vergrößerung kann anhand des Zoom-Navigations-Nebenbilds überprüft werden, das rechts oben in das Hauptbild eingebildet wird.
- Nach einer Betätigung von **POINT ZOOM, DISPLAY** oder einer der Pfeiltasten (▲/▼/◀/▶) erscheint das Zoom-Navigations-Nebenbild ca. 3 Sekunden lang auf dem Bildschirm.



2 Betätigen Sie ▲/▼/◀/▶ zur Festlegung des gewünschten Bildausschnitts.

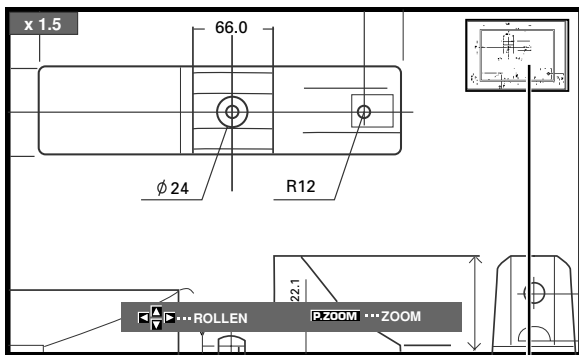


- Nach erneutem Drücken von **POINT ZOOM** und einer der Pfeiltasten (▲/▼/◀/▶) wechselt der Vergrößerungsmaßstab, und die Position des vergrößerten Bildausschnitts ändert sich.
- Die POINT ZOOM-Funktion wird aufgehoben, wenn die Eingangssignalquelle gewechselt, die Menüanzeige aufgerufen und der Eingang umgeschaltet oder ein Mehrbildanzeige-Modus gewählt wird.

Hinweis

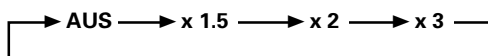
Bitte beachten Sie, dass bei Verwendung des Plasma-Displays für kommerzielle Zwecke oder öffentliche Veranstaltungen durch Wahl des [BREITBILD]-, [ZOOM]-, [KINO]- oder [VOLL]-Modus Urheberrechte verletzt werden können.

1 Drücken Sie POINT ZOOM an der Fernbedienung.



Zoom-Navigations-Nebenbild

Bei jeder Betätigung von **POINT ZOOM** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Vergrößerungsmaßstäben umgeschaltet:

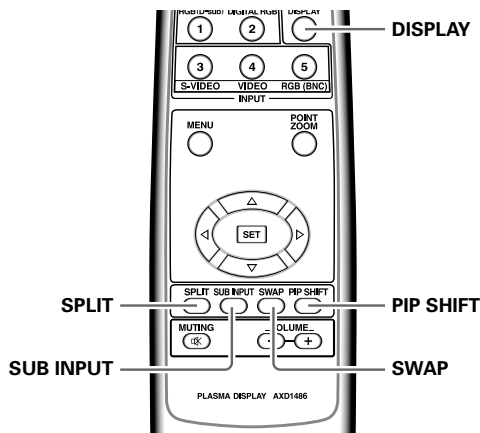


Hinweis

Bei aktivierter POINT ZOOM-Funktion kann das Bildschirmformat nicht verändert werden.

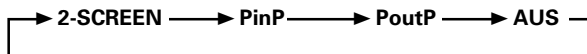
Mehrbildanzeige

Die Mehrbildanzeige-Funktion dieses Plasma-Displays gestattet die gleichzeitige Anzeige von zwei Eingangssignalen. Diese Funktion umfasst drei Modi: 2-SCREEN, PinP und PoutP.



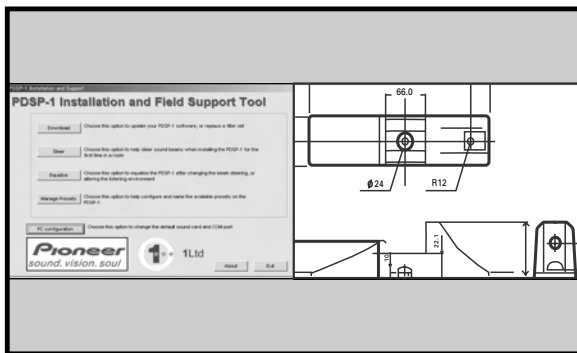
1 Drücken Sie SPLIT an der Fernbedienung.

Bei jeder Betätigung der Taste wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Mehrbildanzeige-Modi umgeschaltet:



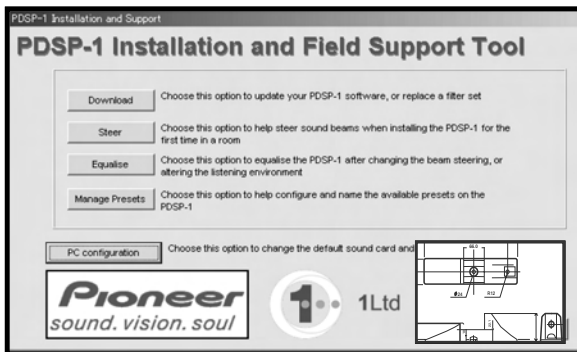
① 2-SCREEN

Das Hauptbild wird in der linken Hälfte des Bildschirms, das Nebenbild in der rechten Hälfte angezeigt.



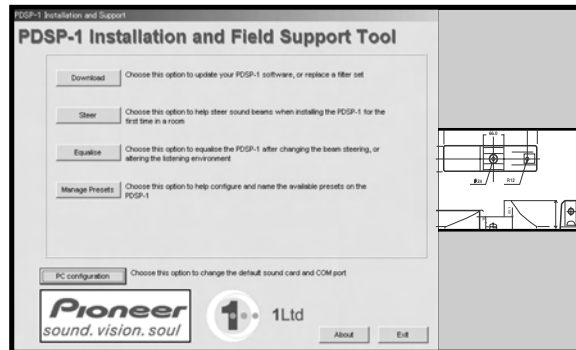
② PinP

Das Nebenbild wird in eine der vier Ecken des Hauptbilds eingeblendet.



③ PoutP

Das Nebenbild wird außerhalb des Hauptbilds am rechten Bildschirmrand angezeigt.



2 Betätigen Sie SUB INPUT an der Fernbedienung zur Wahl der Eingangssignalquelle für das Nebenbild.

Vertauschen der Eingangssignalquellen von Hauptbild und Nebenbild

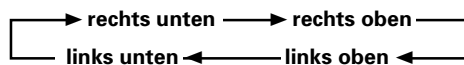
Drücken Sie SWAP an der Fernbedienung.

- Bei Wahl von „2-SCREEN“:
Der Inhalt der linken und rechten Bildschirmhälfte wird vertauscht, so dass das bisherige Hauptbild jetzt als Nebenbild erscheint und umgekehrt.
- Bei Wahl von „PinP“ oder „PoutP“:
Das bisherige Hauptbild erscheint jetzt als verkleinertes Nebenbild und sinngemäß umgekehrt.

Ändern der Anzeigeposition des Nebenbilds im „PinP“-Modus:

Drücken Sie PIP SHIFT an der Fernbedienung.

Bei jeder Betätigung der Taste wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Anzeigepositionen umgeschaltet:



Anzeigen des momentan gewählten Eingangssignals: Drücken Sie DISPLAY.

Wenn DISPLAY bei aktivierter Mehrbildanzeige-Funktion gedrückt wird, erscheint jeweils das momentan gewählte Eingangssignal als Hauptbild und Nebenbild.

Hinweise

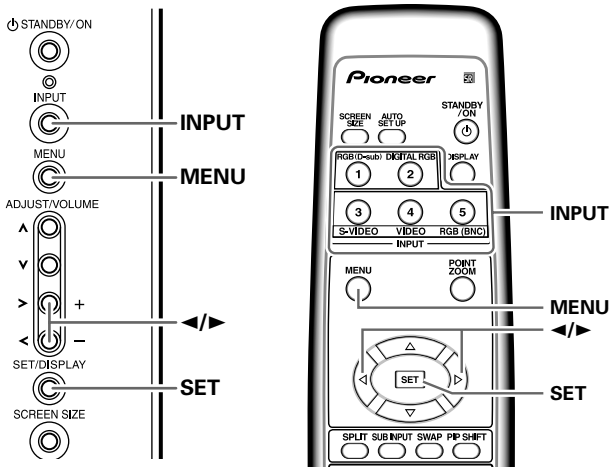
- Bitte beachten Sie, dass bei Verwendung dieses Plasma-Displays für kommerzielle Zwecke oder öffentliche Veranstaltungen Urheberrechte verletzt werden können, wenn das Bild mit Hilfe der Funktion für Einstellung des Bildschirmformats komprimiert oder ausgedehnt wird.
- Wenn die Mehrbildanzeige unverändert mehrere Stunden hintereinander oder die gleiche Mehrbildanzeige täglich jeweils für kurze Zeit angezeigt wird, kann ein Geisterbild (Nachbild) aufgrund von Einbrennen des fluoreszierenden Materials auf dem Bildschirm zurückbleiben.
- Bei Wahl des „2-SCREEN“-Modus kann es je nach Eingangssignalquelle vorkommen, dass das Bild etwas grobkörniger erscheint.
- Beim Öffnen einer Menüanzeige oder Vergrößern eines Bildausschnitts mit Hilfe der POINT ZOOM-Funktion wird der Mehrbildanzeige-Modus aufgehoben.
- Bei Mehrbildanzeige kann das Bildschirmformat nicht verändert werden.
- Bei Verwendung der Mehrbildanzeige-Funktion wird der Ton des im Hauptbild gewählten Eingangs ausgegeben.

Abschaltautomatik (ENERGIEMANAGEMENT)

Dieses Plasma-Display verfügt über die Funktionen [ENERGIEMANAGEMENT] und [AUTO POWER AUS], die dafür sorgen, dass das Plasma-Display automatisch in den Bereitschaftsmodus schaltet bzw. ausgeschaltet wird, wenn innerhalb einer bestimmten Zeitdauer kein Synchronsignal erfasst wird (eine Warnmeldung erscheint auf dem Bildschirm, bevor diese Funktionen aktiviert werden).

Hinweise

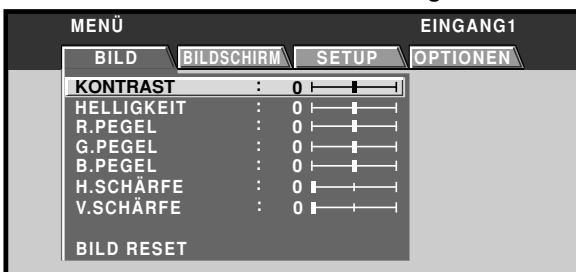
- Die [ENERGIEMANAGEMENT]-Funktion steht nur zur Verfügung, wenn das Signal eines Personalcomputers INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 (nur Modell PDA-5003) zugeleitet wird.
- Die Abschaltautomatik ist in allen anderen als den beiden oben erwähnten Situationen wirksam.
- Achten Sie stets darauf, den MAIN POWER-Schalter auszuschalten, wenn das Plasma-Display längere Zeit nicht verwendet werden soll.



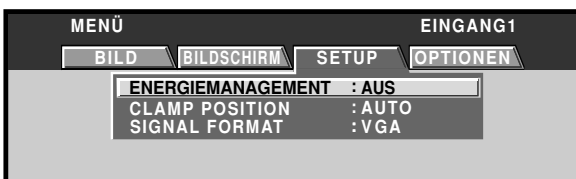
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

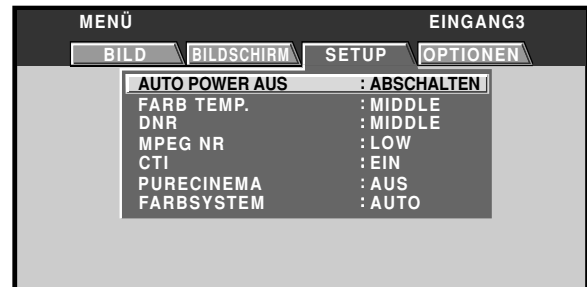
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie </> zur Wahl von [SETUP]. [Bei Zuleitung des Signals eines Personalcomputers an INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 (nur Modell PDA-5003)]



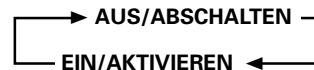
[In allen anderen Fällen]



3 Drücken Sie SET, um die Wahl von [ENERGIEMANAGEMENT] bzw. [AUTO POWER AUS] zu bestätigen.

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [AUS/ABSCHALTEN].

Bei jeder Betätigung der Taste wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



- AUS/ABSCHALTEN...**
Verbleibt das Plasma-Display auch dann im Betriebsmodus, wenn kein Synchronsignal zugeleitet wird.
- ENERGIEMANAGEMENT: EIN...**
Wenn kein Synchronsignal erfasst wird, erscheint 8 Sekunden lang eine Warnmeldung, wonach das Display automatisch in den Energiesparmodus umschaltet und die ON-Anzeige grün zu blinken beginnt. Sobald dem Plasma-Display danach wieder ein Synchronsignal (*1) zugeleitet wird, schaltet dieses automatisch wieder in den Betriebsmodus.
*1: Außer bei einem Eingangssignal mit G ON SYNC-Signal oder zusammengesetztem Synchronsignal.
- AUTO POWER AUS: AKTIVIEREN...**
Wenn 8 Minuten lang kein Synchronsignal erfasst wird, erscheint eine Warnmeldung 30 Sekunden lang auf dem Bildschirm, wonach das Plasma-Display in den Abschaltmodus schaltet.

4 Drücken Sie nach beendetem Setup MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

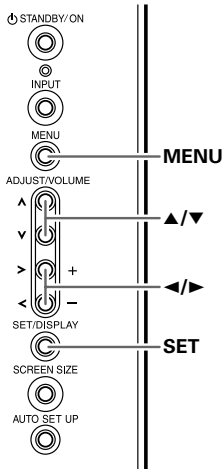
Die Einstellungen der Einträge [ENERGIEMANAGEMENT] und [AUTO POWER AUS] müssen für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) separat ausgeführt werden.

Zurückschalten in den Betriebsmodus:

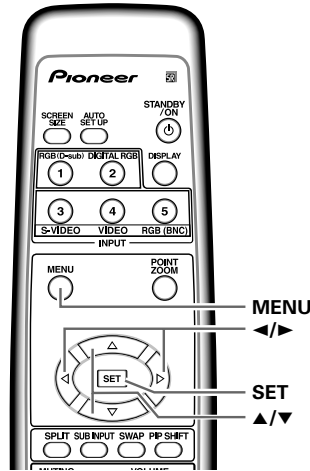
- Um aus dem Energiesparmodus der [ENERGIEMANAGEMENT]-Funktion in den Betriebsmodus zurückzuschalten, betätigen Sie entweder den Personalcomputer, oder drücken Sie **INPUT** am Bedienfeld des Plasma-Displays bzw. an der Fernbedienung.
- Um aus dem Abschaltmodus der [AUTO POWER AUS]-Funktion in den Betriebsmodus zurückzuschalten: Drücken Sie **STANDBY/ON** am Bedienfeld des Plasma-Displays oder an der Fernbedienung.

BILD/BILDSCHIRM-Einstellung

BILD-Einstellung



Bedienfeld des Plasma-Displays



Fernbedienung

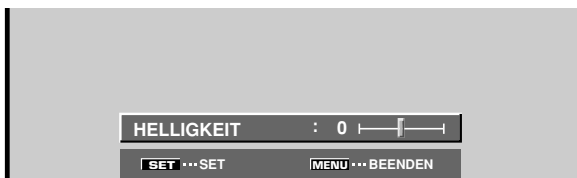
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl des Eintrags, dessen Einstellung geändert werden soll, und drücken Sie dann SET.



3 Betätigen Sie ◀/▶, um die Bildqualität wunschgemäß einzustellen.



4 Drücken Sie SET.

Nach Drücken von **SET** wird die neue Einstellung gespeichert, wonach das in Schritt 2 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

5 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

Diese Einstellungen müssen für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) und jedes Signal separat ausgeführt werden.

Einträge im [BILD]-Modus

Die Optionen, die im [BILD]-Modus eingestellt werden können, sind nachstehend mit einer kurzen Erläuterung aufgelistet.

KONTRAST Stellen Sie den Kontrast je nach der Umgebungshelligkeit so ein, dass das Bild klar zu erkennen ist.

HELLIGKEIT Stellen Sie die Helligkeit so ein, dass die dunklen Bildbereiche deutlich zu erkennen sind.

SÄTTIGUNG Stellen Sie die gewünschte Farbintensität ein (mit einer Einstellung auf einen etwas tieferen Farbton kann ein natürlich wirkendes Bild erzielt werden).

TINT Nehmen Sie die Einstellung so vor, dass Hauttöne natürlich wirken.

SCHÄRFE Wählen Sie normalerweise die Mittelposition. Um ein etwas weicher gezeichnetes Bild zu erhalten, wählen Sie eine Einstellung links von der Mitte. Eine Einstellung rechts von der Mitte ergibt ein schärferes Bild.

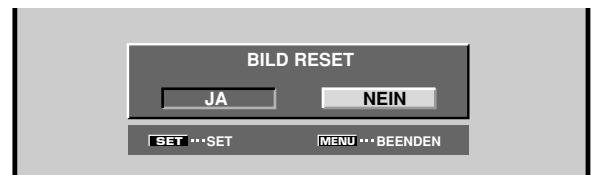
Hinweis

Bitte schlagen Sie bezüglich der [BILD]-Einstellungen bei Zuleitung des Signals eines Personalcomputers in der Bedienungsanleitung des Plasma-Displays nach.

Zurücksetzen der Einträge im [BILD]-Modus auf ihre Standardwerte

Wenn die Einstellungen dieser Einträge stark verändert wurden oder das Bild unnatürlich wirkt, ist es u.U. praktischer, sämtliche Standardwerte des [BILD]-Modus wiederherzustellen, anstatt zu versuchen, die verschiedenen Einstellungen einzeln zu justieren.

1 Betätigen Sie in Schritt 2 des obigen Verfahrens ▲/▼ zur Wahl von [BILD RESET] und drücken Sie dann SET.



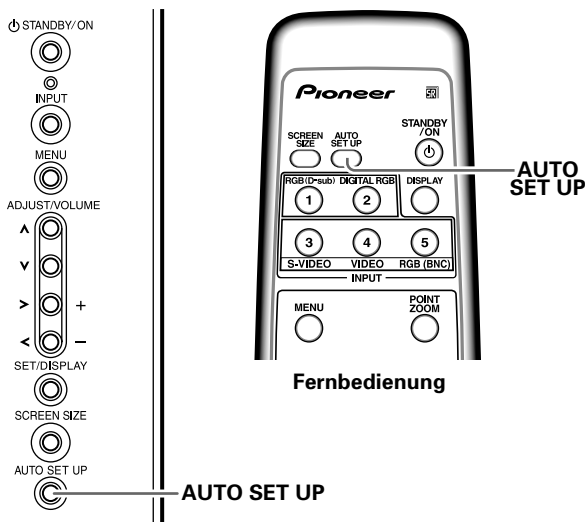
2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [JA] und drücken Sie dann SET.

Danach werden alle Einträge des [BILD]-Modus auf ihre Standardwerte zurückgesetzt.

Einstellen von POSITION, CLOCK (Taktsignal) und PHASE des Bilds <automatische Einstellung>

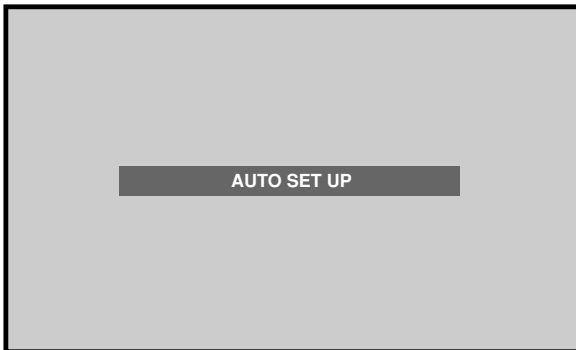
Durch Drücken von **AUTO SET UP** an der Fernbedienung oder am Bedienfeld des Plasma-Displays (oder durch Wahl von [AUTO SET UP MODE] in der Menüanzeige) werden die Position der Bildschirmanzeige und das Taktsignal automatisch auf die für das momentan zugeleitete Bildsignal optimalen Werte eingestellt.

Nach Drücken der Taste werden die für die **aktuelle Eingangssignalquelle optimalen Einstellungen automatisch gewählt.**



Bedienfeld des Plasma-Displays

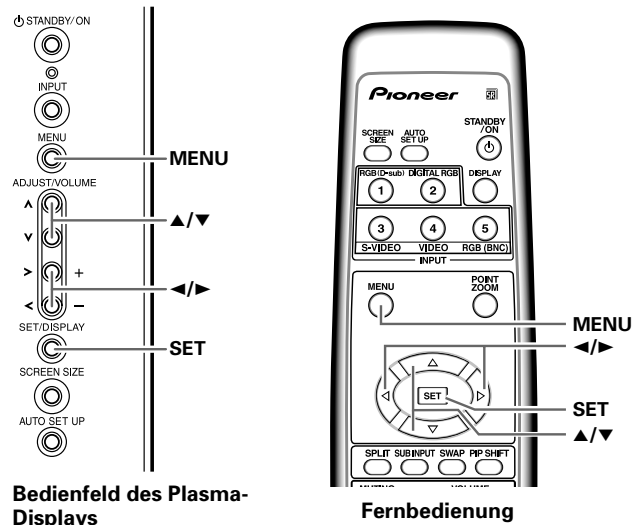
Drücken Sie **AUTO SET UP** entweder am Bedienfeld des Plasma-Displays oder an der Fernbedienung.



Hinweise

- Diese Einstellung wird nur dann unterstützt, wenn INPUT1 oder INPUT5 das Signal eines Personalcomputers zugeleitet wird.
- Nehmen Sie diese Einstellung für jeden Eingang (INPUT1 oder INPUT5) und jeden Signaltyp separat vor.
- Bei Eingangssignalen mit niedriger Luminanz und bestimmten anderen Signalarten ist u.U. keine optimale automatische Einstellung möglich. In einem solchen Fall gehen Sie wie im Abschnitt „**Einstellen von POSITION, CLOCK (Taktsignal) und PHASE des Bilds <manuelle Einstellung>**“ auf der nächsten Seite beschrieben vor, um eine präzise Einstellung manuell vorzunehmen.

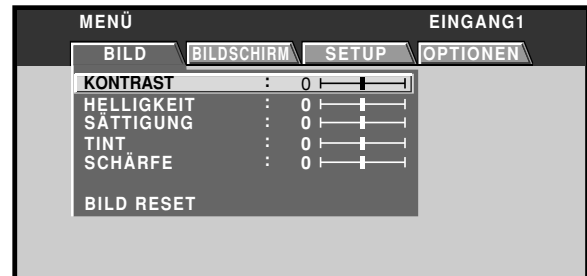
Nach Wahl des automatischen Setup-Modus führt das Gerät die optimalen Bildeinstellungen jedes Mal dann automatisch aus, wenn die Stromzufuhr eingeschaltet, die Eingangssignalquelle gewechselt oder der Typ des Eingangssignals gewechselt wird.



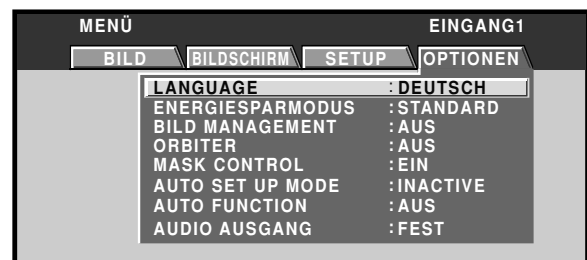
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

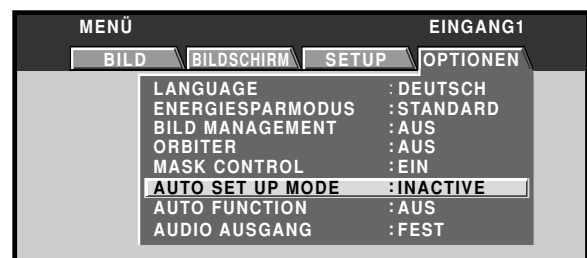
1 Drücken Sie **MENU**, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie **◀/▶** zur Wahl von [OPTIONEN].



3 Betätigen Sie **▲/▼** zur Wahl von [AUTO SET UP MODE].



4 Drücken Sie SET, um die gewünschte Einstellung zu aktivieren.

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [INACTIVE].

Bei jeder Betätigung der Taste wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



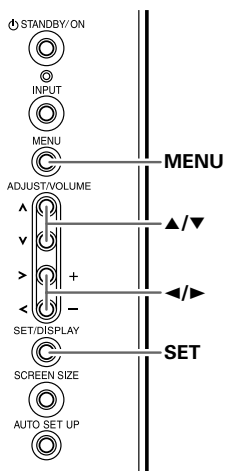
5 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweise

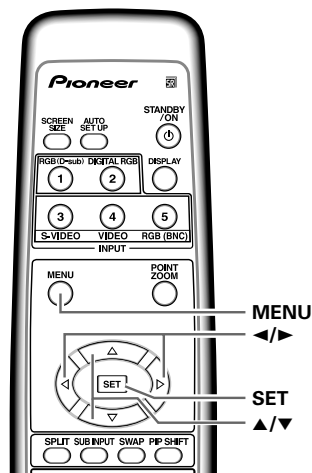
- Diese Einstellung wird nur dann unterstützt, wenn INPUT1 oder INPUT5 das Signal eines Personalcomputers zugeleitet wird.
- Bei Eingangssignalen mit niedriger Luminanz und bestimmten anderen Signalarten ist u.U. keine optimale automatische Einstellung möglich. In einem solchen Fall stellen Sie den Eintrag [AUTO SET UP MODE] auf [INACTIVE] ein, und gehen Sie dann wie im folgenden Abschnitt „Einstellen von POSITION, CLOCK (Taktsignal) und PHASE des Bilds <manuelle Einstellung>“ beschrieben vor, um eine präzise Einstellung manuell vorzunehmen.

Einstellen von POSITION, CLOCK (Taktsignal) und PHASE des Bilds <manuelle Einstellung>

Diese Einstellung kann vorgenommen werden, wenn INPUT1, INPUT2 oder INPUT5 das Signal eines Personalcomputers zugeleitet wird.



Bedienfeld des Plasma-Displays



Fernbedienung

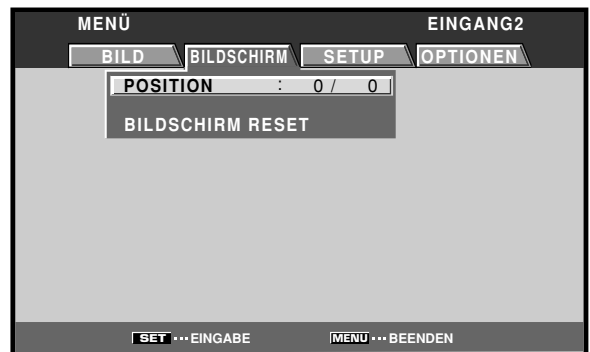
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



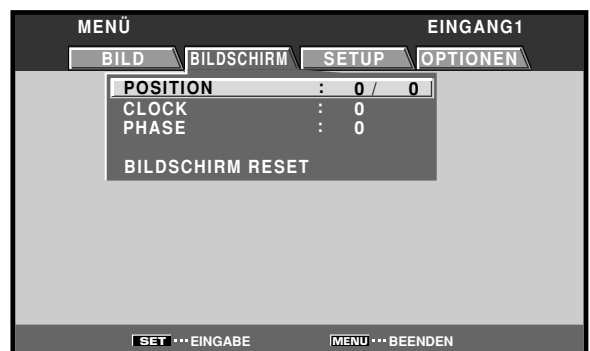
2 Betätigen Sie <left>/<right> zur Wahl von [BILDSCHIRM].



Bei Wahl von EINGANG2, EINGANG3 oder EINGANG4 erscheint das folgende Menü, das nur den Eintrag [POSITION] enthält.

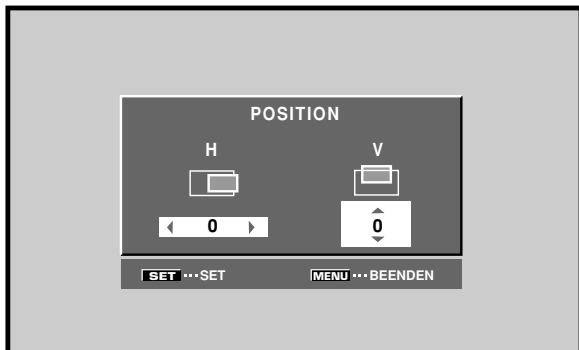


3 Betätigen Sie <up>/<down> zur Wahl des Eintrags, dessen Einstellung geändert werden soll, und drücken Sie dann SET.

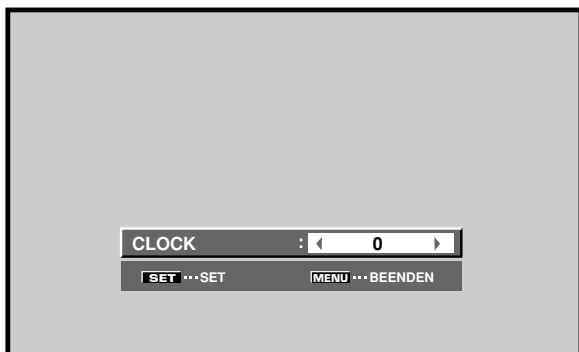


4 Betätigen Sie ◀/▶ und ▲/▼, um die gewünschten Werte einzustellen.

- Bei Wahl des Eintrags [POSITION] dienen ◀/▶ zum Verschieben der Bildposition in horizontaler Richtung (H), und ▲/▼ zum Verschieben in vertikaler Richtung (V).



- Zur Einstellung der Einträge [CLOCK] und [PHASE] werden ◀/▶ verwendet.



5 Drücken Sie SET.

Nach Drücken von **SET** wird die neue Einstellung gespeichert, wonach das in Schritt 3 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

6 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweise

- Diese Einstellungen müssen für jeden Eingang (INPUT1 oder INPUT5) und jedes Signal separat ausgeführt werden.
- Bei Wahl von INPUT2 (EINGANG2) kann nur der Eintrag [POSITION] eingestellt werden.

Einträge im [BILDSCHIRM]-Modus

Die Optionen, die im [BILDSCHIRM]-Modus eingestellt werden können, sind nachstehend mit einer kurzen Erläuterung aufgelistet.

- POSITION
- H Dient zur Verschiebung der Bildposition nach links oder rechts.
 - V Dient zur Verschiebung der Bildposition nach oben oder unten.
- CLOCK Dient zur Korrektur von Buchstaben-Zersplitterung oder Bildstörungen. Mit dieser Einstellung wird die Frequenz des internen Taktsignals des Plasma-Displays justiert, die mit dem Video-Eingangssignal übereinstimmen muss.
- PHASE Nehmen Sie diese Einstellung so vor, dass das Bildschirmflimmern auf das Mindestmaß reduziert wird und die Farben korrekt ausgerichtet sind. Mit dieser Einstellung wird die Phase des im Eintrag [CLOCK] eingestellten Taktsignals justiert.

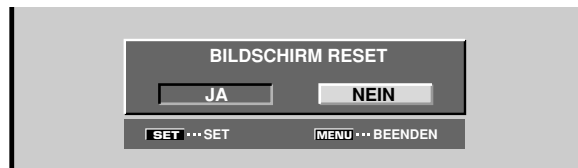
Hinweise

- Die Einstellung der Einträge [CLOCK] und [PHASE] wird nur für INPUT1 und INPUT5 unterstützt.
- Nach einer Änderung der Frequenz im Eintrag [CLOCK] muss die Horizontalpositions-Option [H] des Eintrags [POSITION] möglicherweise ebenfalls geändert werden.
- Wenn die Einstellungen der Einträge des [BILDSCHIRM]-Modus zu stark verändert werden, wird das Bild u.U. nicht einwandfrei angezeigt.
- Bei Einstellung des Eintrags [AUTO SET UP MODE] auf [ACTIVE] erscheint nach Aktivieren des [POSITION]- oder [CLOCK]-Einstellmodus eine Meldung auf dem Bildschirm, doch kann die Einstellung der Bildposition ausgeführt werden. Nach Umschalten der Eingangssignalquelle jedoch wird der jeweils gespeicherte Einstellwert automatisch hergestellt, wenn der automatische Setup-Modus aktiviert wird. Um einen manuell eingestellten Wert zu speichern, stellen Sie den Eintrag [AUTO SET UP MODE] auf [INACTIVE] ein (Seite 29), bevor Sie die manuelle Einstellung der Bildposition ausführen.

Zurücksetzen der Einträge im [BILDSCHIRM]-Modus auf ihre Standardwerte

Wenn die Einstellungen dieser Einträge stark verändert wurden oder das Bild unnatürlich wirkt, ist es u.U. praktischer, sämtliche Standardwerte des [BILDSCHIRM]-Modus wiederherzustellen, anstatt zu versuchen, die verschiedenen Einstellungen einzeln zu justieren.

- 1 Betätigen Sie in Schritt 3 des obigen Verfahrens ▲/▼ zur Wahl von [BILDSCHIRM RESET] und drücken Sie dann SET.**



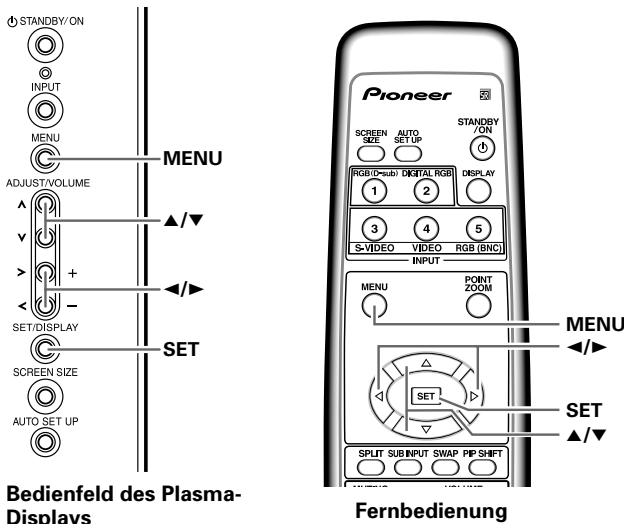
- 2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [JA] und drücken Sie dann SET.**

Danach werden alle Einträge des [BILDSCHIRM]-Modus auf ihre Standardwerte zurückgesetzt.

Einstellen der Orbiter-Funktion (ORBITER)

Diese Funktion sorgt dafür, dass die Anzeigeposition des Bilds in einem bestimmten Zeitintervall (etwa einmal alle 8 Minuten) automatisch geringfügig auf dem Bildschirm verschoben wird. Die Verschiebung des Bilds erfolgt um jeweils 1 Pixel in horizontaler oder vertikaler Richtung. Bei Anzeige eines Standbilds kann ein Einbrennen des Bilds (Nachbild) verhindert werden, indem der Eintrag [ORBITER] auf [EIN] eingestellt wird.

- Bei aktivierter POINT ZOOM- oder Mehrbildanzeigefunktion und wenn die Menüanzeige auf dem Bildschirm erscheint, steht diese Funktion nicht zur Verfügung.



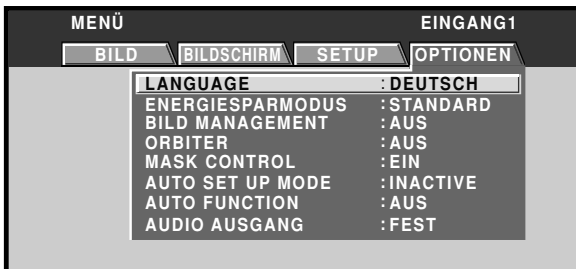
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

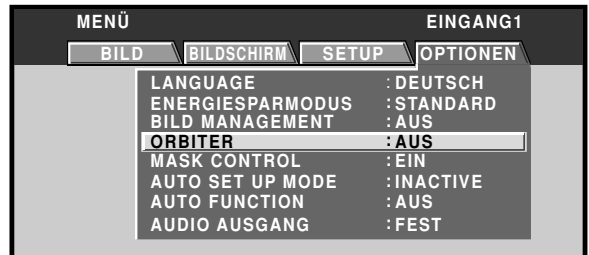
- 1 Betätigen Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



- 2 Betätigen Sie </> zur Wahl von [OPTIONEN].

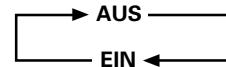


- 3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [ORBITER].



- 4 Drücken Sie SET, um die gewünschte Einstellung zu aktivieren.

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [AUS]. Bei jeder Betätigung der Taste wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



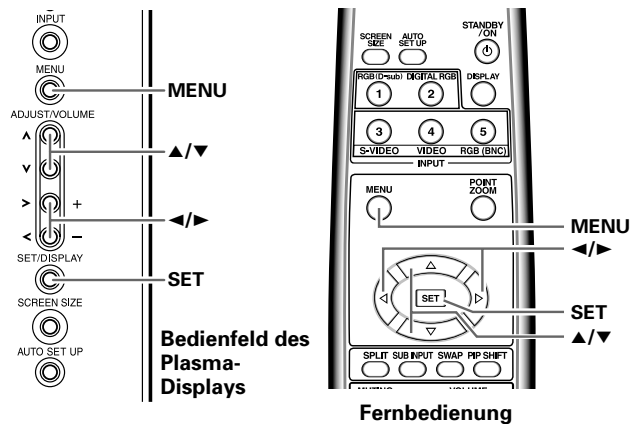
- 5 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

Die Einstellung des Eintrags [ORBITER] ist für alle Eingangssignalquellen wirksam.

Seitenmasken-Position (MASK CONTROL)

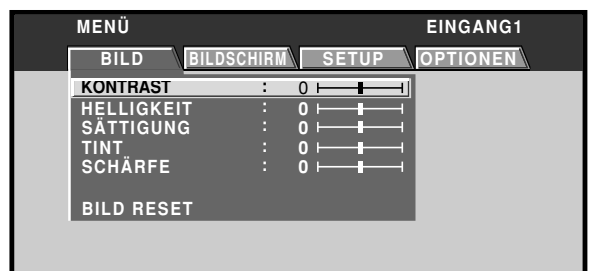
Bei Wahl des Bildschirmformats [PUNKT FÜR PUNKT] oder [4:3] sowie bei Verwendung der Mehrbildanzeige werden die Position der schwarzen Balken am Bildschirmrand und die Anzeigeposition des Nebenbilds auf dem Bildschirm bei jedem Einschalten der Stromzufuhr geringfügig verändert, um ein Einbrennen des Bilds (Nachbild) zu verhindern.



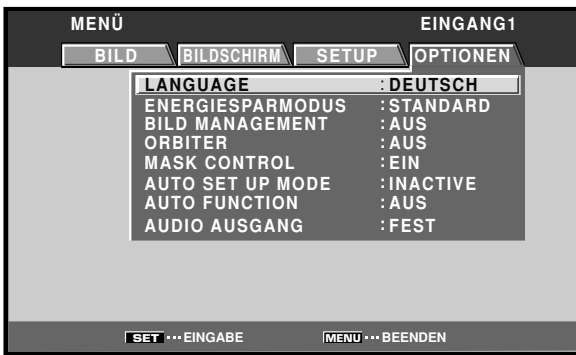
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

- 1 Betätigen Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [OPTIONEN].

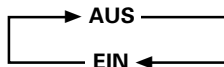


3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [MASK CONTROL].



4 Drücken Sie SET, um die gewünschte Einstellung zu aktivieren.

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [EIN]. Bei jeder Betätigung der Taste wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



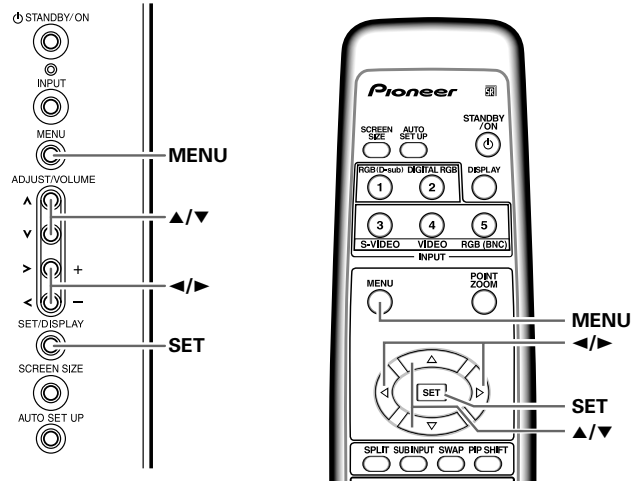
5 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

Die Einstellung des Eintrags [MASK CONTROL] ist für alle Eingangssignalquellen wirksam.

Bildschirm-Verwaltung (BILD MANAGEMENT)

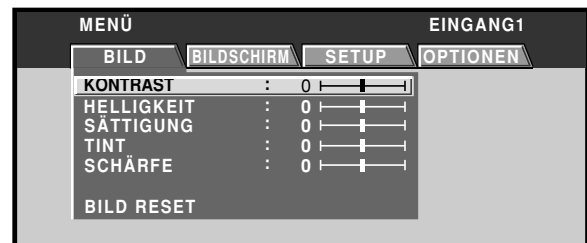
Um ein Einbrennen des Bilds in den Bildschirm (Nachbild) zu verhindern, ist dieses Plasma-Displays mit einem Programm ausgestattet, das eine automatische Umschaltung des angezeigten Bilds in einem bestimmten Zeitintervall ermöglicht. Die Art und Weise der Wiederholung des 24-stündigen Bildschirm-Verwaltungszyklus kann über eine entsprechende Einstellung des Programms festgelegt werden. Detaillierte Informationen zu den Einstellungen des Bildschirm-Verwaltungsprogramms sind von Pioneers technischem Personal erhältlich.



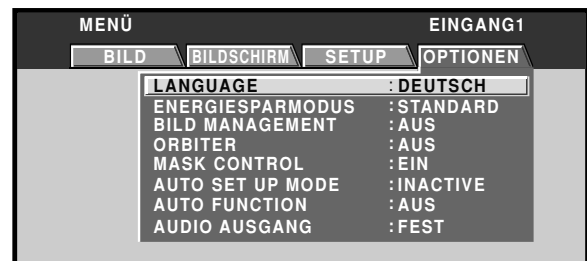
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

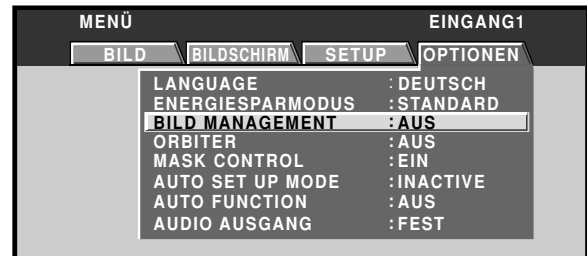
1 Betätigen Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [OPTIONEN].



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [BILD MANAGEMENT], und drücken Sie dann SET.



4 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [STATUS].



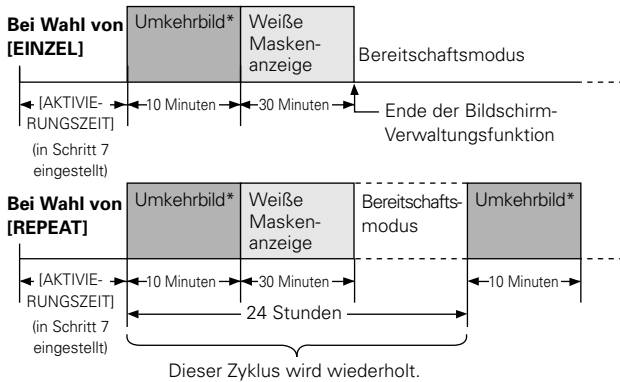
5 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [EINZEL] oder [REPEAT].

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [AUS]. Bei jeder Betätigung von ◀/▶ wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen umgeschaltet:



- EINZEL Das Bildschirm-Verwaltungsprogramm wird nur ein einziges Mal ausgeführt.
- REPEAT Das Bildschirm-Verwaltungsprogramm wird wiederholt (in einem 24-stündigen Zyklus) ausgeführt.
- AUS Das Bildschirm-Verwaltungsprogramm ist gesperrt, und die normale Bildanzeige erscheint ständig auf dem Bildschirm.

In der Standardeinstellung des Plasma-Displays ändert sich der Inhalt der Bildschirmanzeige wie folgt:



* Die Farbe und Helligkeit des aktuellen Bilds werden mit umgekehrten Werten dargestellt. Die entsprechenden RGB-Farbausgabepiegel werden umgekehrt, so dass helle Bildstellen dunkel, und dunkle Bildstellen hell dargestellt werden.

Hinweise

- Bei Einstellung auf [EINZEL] wechselt dieser Teil der Bildschirmanzeige nach beendeter Ausführung des Bildschirm-Verwaltungsprogramms auf die Meldung [AUS]. Wenn das Bildschirm-Verwaltungsprogramm fortgesetzt werden soll, betätigen Sie ◀/▶ erneut zur Wahl von [EINZEL], oder ändern Sie die Einstellung auf [REPEAT].
- Wenn der MAIN POWER-Schalter an der Anschlussleiste in die Stellung „OFF“ gebracht wird, während das Bildschirm-Verwaltungsprogramm bei Einstellung auf [EINZEL] oder [REPEAT] ausgeführt wird, endet die Ausführung des Programms, und dieser Teil der Bildschirmanzeige wechselt auf die Meldung [AUS]. Wenn das Bildschirm-Verwaltungsprogramm fortgesetzt werden soll, betätigen Sie ◀/▶ erneut zur Wahl von [EINZEL] bzw. [REPEAT].

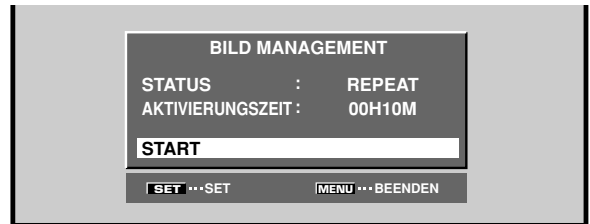
6 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [AKTIVIERUNGSZEIT].



7 Verwenden Sie ◀/▶ zur Einstellung der Zeit, zu der die Ausführung des Bildschirm-Verwaltungsprogramms beginnen soll.

Durch Betätigen von ◀/▶ können Sie die Betriebszeit der Bildschirm-Verwaltung in Schritten von 10 Minuten zwischen 0 und 24 Stunden einstellen.

8 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [START].



9 Drücken Sie SET.

Die gewählte Einstellung wird gespeichert, wonach das in Schritt 2 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt. Nach Drücken von SET läuft der Timer an, und die Ausführung des Bildschirm-Verwaltungsprogramms beginnt, nachdem das in Schritt 7 eingestellte Zeitintervall verstrichen ist.

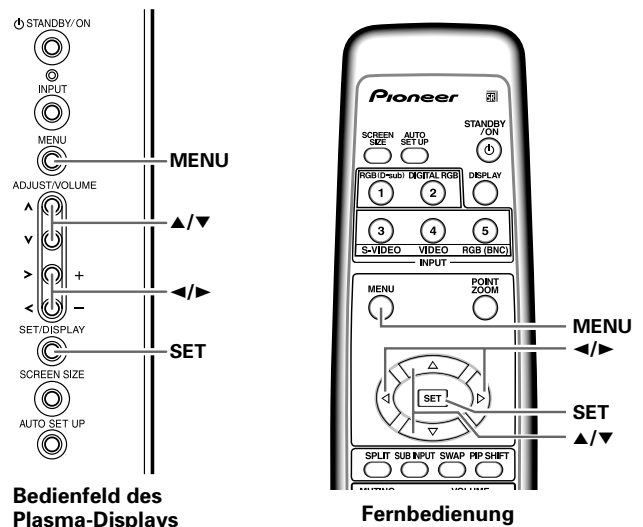
10 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

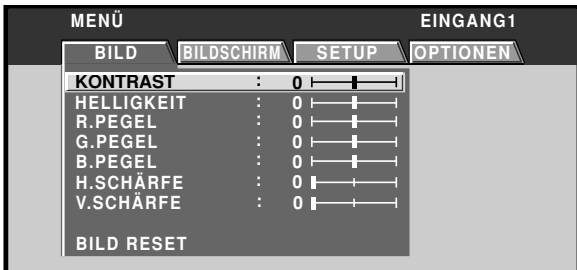
Die Einstellung des Eintrags [BILD MANAGEMENT] ist für alle Eingangssignalquellen wirksam.

Leistungsregelung (ENERGIESPARMODUS)

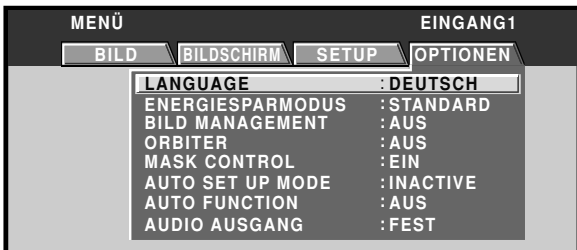
Die Leistungsregelungs-Funktion ermöglicht es, die Helligkeit der Bildschirmanzeige zu verringern, um die Leistungsaufnahme zu reduzieren und die Lebensdauer des Bildschirms zu verlängern.



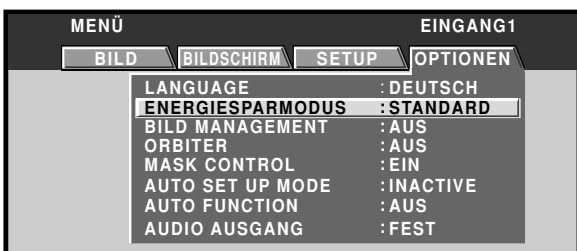
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie </> zur Wahl von [OPTIONEN].

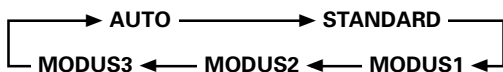


3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [ENERGIESPARMODUS].



4 Drücken Sie SET zur Wahl der Einstellung [ENERGIESPARMODUS].

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [STANDARD]. Bei jeder Betätigung von **SET** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen dieser Funktion umgeschaltet:



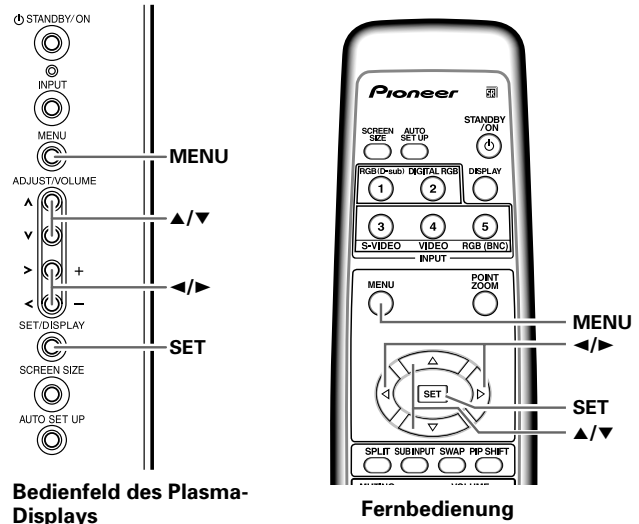
- **STANDARD** ... Die Bildschirmhelligkeit wird dem Eingangssignal entsprechend geregelt, um ein helles, leicht ablesbares Bild zu erhalten.
- **MODUS1** Die Bildschirmhelligkeit wird dem Eingangssignal entsprechend geregelt, doch mit einer stärkeren Reduzierung der Leistungsaufnahme als im [STANDARD]-Modus.
- **MODUS2** Die Bildschirmhelligkeit wird dem Eingangssignal entsprechend geregelt, doch mit einer noch stärkeren Reduzierung der Leistungsaufnahme als im [MODUS1]-Modus.
- **MODUS3** Die Bildschirmhelligkeit bleibt ungeachtet des Eingangssignals auf einen festen Wert eingestellt. Diese Einstellung ist sehr praktisch, um die Lebensdauer des Bildschirms dadurch zu verlängern, dass ein Einbrennen des Bilds usw. verhindert wird.
- **AUTO** Die Bildschirmhelligkeit wird automatisch den herrschenden Lichtverhältnissen angepasst, um die für die aktuelle Beleuchtung am Aufstellungsort des Plasma-Displays optimale Bildanzeige zu erhalten.

5 Drücken Sie nach beendeter Einstellung MENU, um die Menüanzeige vom Bildschirm zu löschen.

Hinweis

Die Einstellung des Eintrags [ENERGIESPARMODUS] ist für alle Eingangssignalquellen wirksam.

Ändern der Farbtemperatur (FARB TEMP.)



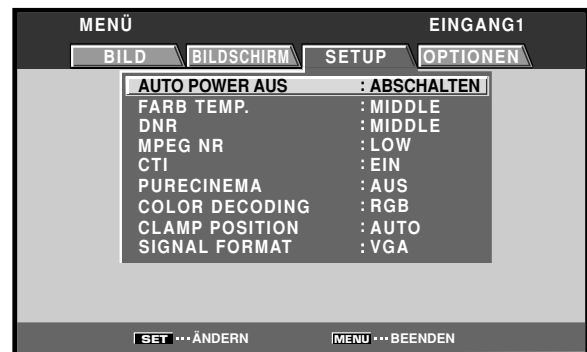
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

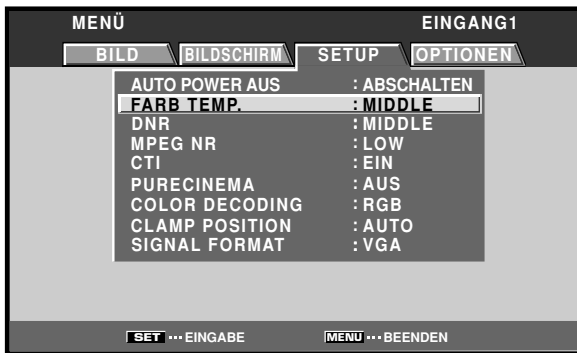
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



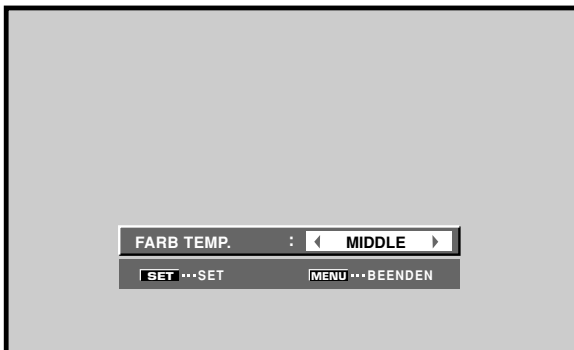
2 Betätigen Sie </> zur Wahl von [SETUP].



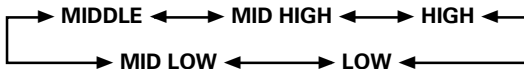
- 3** Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [FARB TEMP.], und drücken Sie dann SET.



- 4** Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl der gewünschten Einstellung der Farbtemperatur [FARB TEMP.].



Die werkseitige Voreinstellung ist [MIDDLE] (mittlere Farbtemperatur). Bei jeder Betätigung von ◀/▶ wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen der Farbtemperatur umgeschaltet:



- 5** Drücken Sie SET.

Die [FARB TEMP.]-Funktion wird eingestellt, wonach das in Schritt 4 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

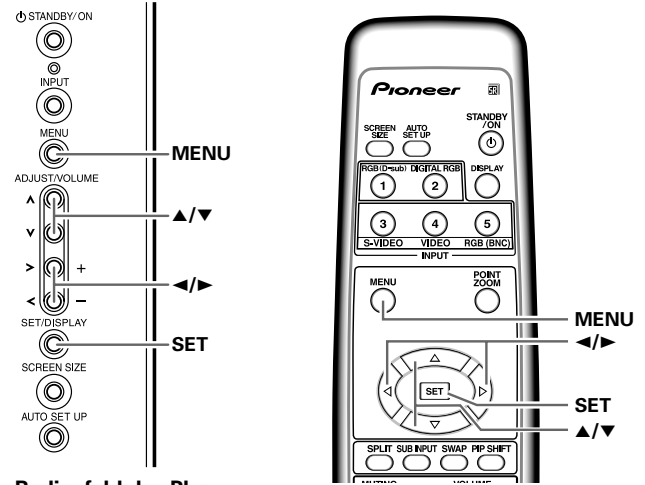
- 6** Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Hinweis

Die [FARB TEMP.]-Einstellung steht nur bei Signalen zur Verfügung, die von Videogeräten zugeleitet werden. Die Einstellung muss für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) und für jeden Signaltyp separat vorgenommen werden. (Gilt nur für INPUT2 beim Modell PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.)

Vermindern des Videorauschens (DNR)

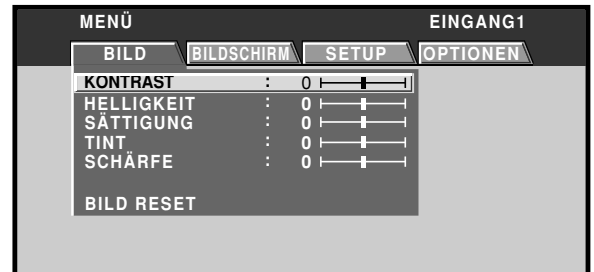
Nehmen Sie diese Einstellung vor, wenn das Videobild verrauscht ist.



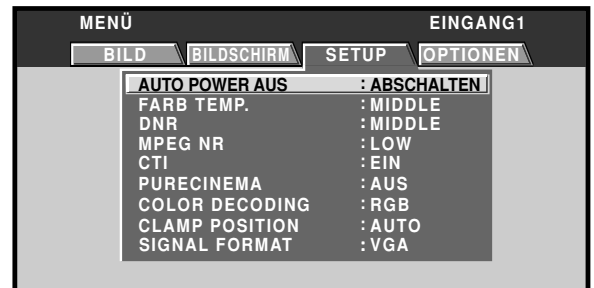
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

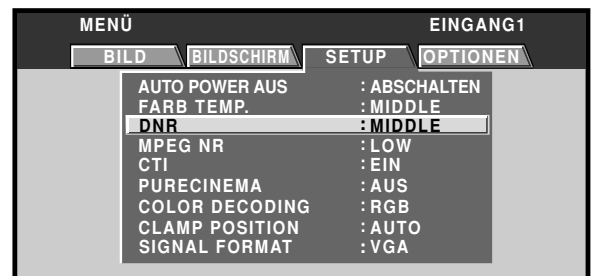
- 1** Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



- 2** Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [SETUP].



- 3** Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [DNR], und drücken Sie dann SET.



4 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl der gewünschten Einstellung der digitalen Rauschminderung [DNR].



Die werkseitige Voreinstellung der Rauschminderung ist [MIDDLE] (niedriges Ausmaß). Bei jeder Betätigung von ◀/▶ wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen der Rauschminderung umgeschaltet:



- Das Ausmaß der Rauschminderung nimmt in der Reihenfolge LOW → MIDDLE → HIGH zu.

5 Drücken Sie SET.

Die [DNR]-Funktion wird eingestellt, wonach das in Schritt 4 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

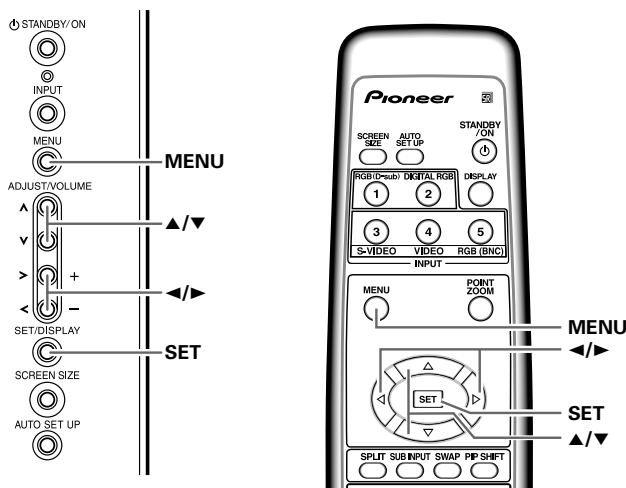
6 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Hinweis

Die [DNR]-Einstellung steht nur bei Signalen zur Verfügung, die von Videogeräten zugeleitet werden. Die Einstellung muss für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) und für jeden Signaltyp separat vorgenommen werden. (Gilt nur für INPUT2 beim Modell PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.)

Vermindern des Rauschens in MPEG-Bildern (MPEG NR)

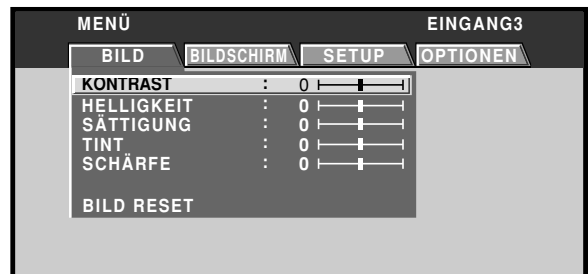
Nehmen Sie diese Einstellung vor, wenn digitale Sendungen, DVD- oder andere MPEG-Bilder durch sog. Moskito-Rauschen gestört sind.



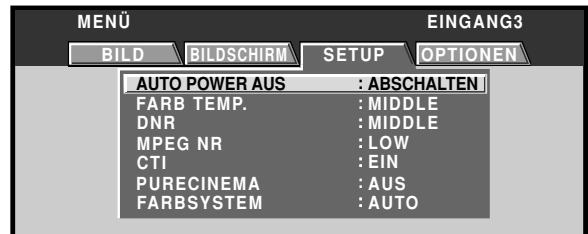
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

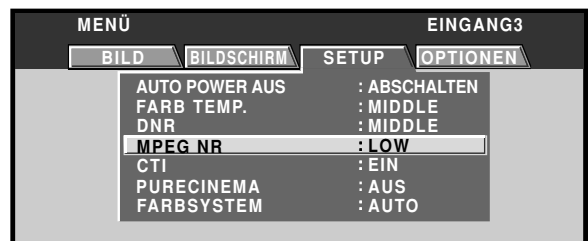
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [SETUP].



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [MPEG NR], und drücken Sie dann SET.



4 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl der gewünschten Einstellung [MPEG NR].



Die werkseitige Voreinstellung der Rauschminderung ist [LOW] (niedriges Ausmaß). Bei jeder Betätigung von ◀/▶ wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen der Rauschminderung umgeschaltet:



- Das Ausmaß der Rauschminderung nimmt in der Reihenfolge LOW → MIDDLE → HIGH zu.

5 Drücken Sie SET.

Die [MPEG NR]-Funktion wird eingestellt, wonach das in Schritt 4 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

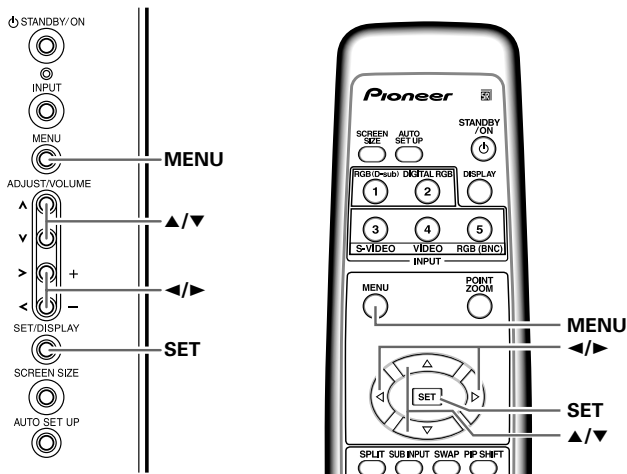
6 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Hinweis

Die [MPEG NR]-Einstellung steht nur bei Signalen zur Verfügung, die von Videogeräten zugeleitet werden. Die Einstellung muss für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) und für jeden Signaltyp separat vorgenommen werden. (Gilt nur für INPUT2 beim Modell PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.)

Erhöhen des Farbbrandkontrasts (CTI)

Diese Funktion gestattet eine wunschgemäÙe Justierung des Kontrasts der Farbkonturen.



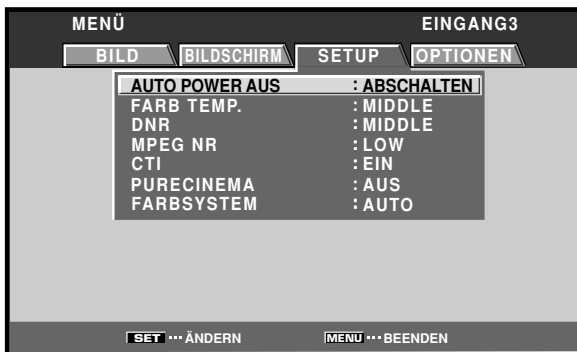
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

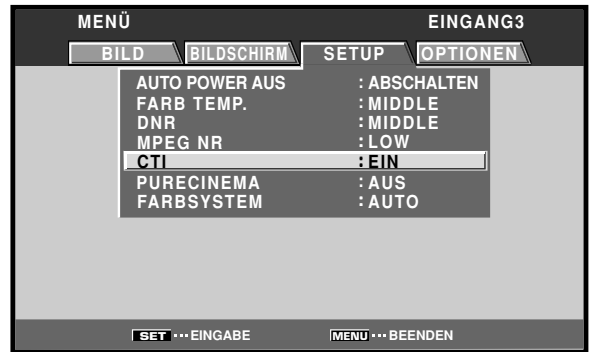
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



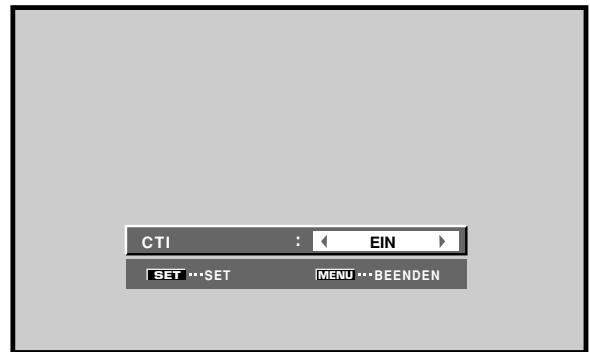
2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [SETUP].



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [CTI], und drücken Sie dann SET.



4 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl der gewünschten Einstellung [CTI].



Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [EIN].

Bei jeder Betätigung von ◀/▶ wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



5 Drücken Sie SET.

Die [CTI]-Funktion wird eingestellt, wonach das in Schritt 4 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

6 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Hinweis

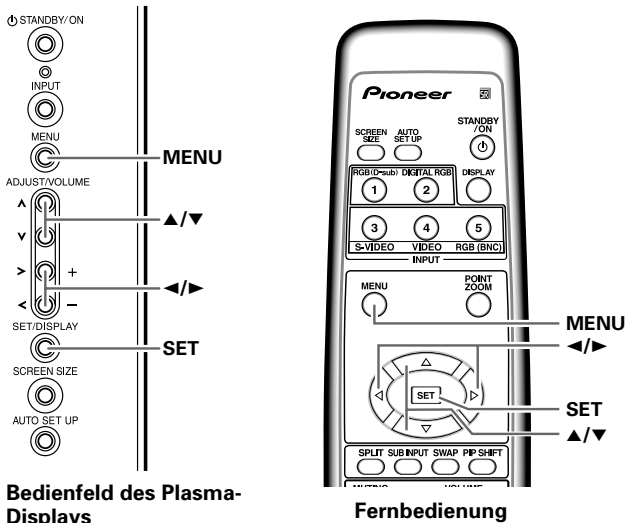
Die [CTI]-Einstellung steht nur bei Signalen zur Verfügung, die von Videogeräten zugeleitet werden. Die Einstellung muss für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) und für jeden Signaltyp separat vorgenommen werden. (Gilt nur für INPUT2 beim Modell PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.)

Einstellen des PURECINEMA-Modus

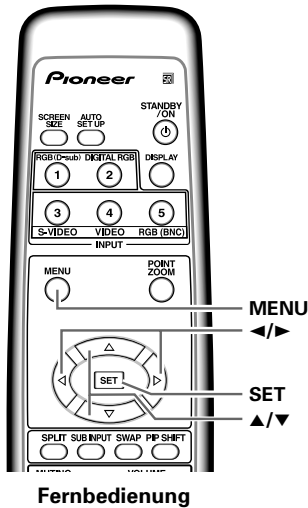
Dieser Modus gestattet eine originalgetreue Wiedergabe von Filmen und anderem Bildmaterial auf DVDs.

Hinweis

Die Einstellung muss für jeden Eingang (INPUT1 bis INPUT5) und für jeden Signaltyp separat vorgenommen werden. (Gilt nur für INPUT2 beim Modell PDP-50MXE10/PDP-50MXE11.)



Bedienfeld des Plasma-Displays

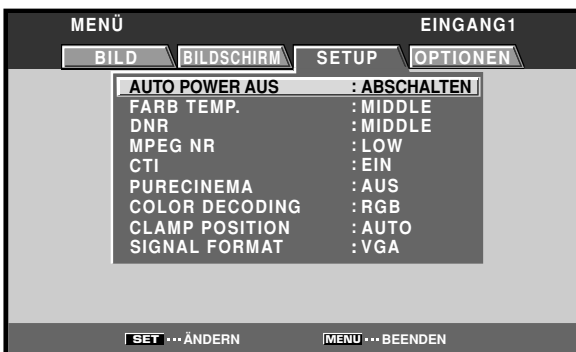


Fernbedienung

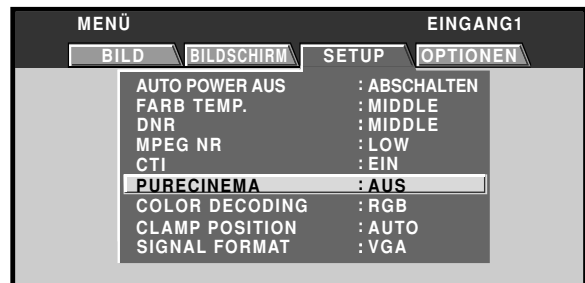
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



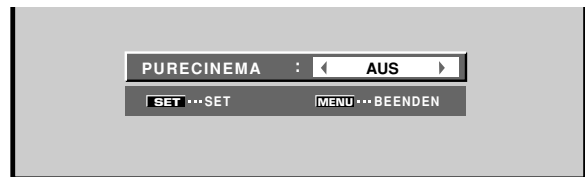
2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [SETUP].



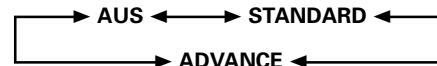
3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [PURECINEMA].



4 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl des gewünschten [PURECINEMA]-Modus.



Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [AUS]. Bei jeder Betätigung von ◀/▶ wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen umgeschaltet:



- AUS Die [PURECINEMA]-Funktion ist gesperrt.
- STANDARD Bei Wiedergabe von DVDs und Filmen im Format Hi-Vision, die mit 24 Vollbildern pro Sekunde aufgezeichnet wurden, werden die aufgezeichneten Daten automatisch erfasst und die Abtasteinstellungen so geändert, dass der Betrachter in den optimalen Genuss der hohen Qualität des Originalbilds kommt.
- ADVANCE Bei Wiedergabe von DVDs mit Filmen, die mit 24 Vollbildern pro Sekunde aufgezeichnet wurden, werden die Videoinformationen automatisch erfasst und die Videosignale auf 72 Hz umgewandelt, um die flüssigen Bewegungen auf dem Bildschirm eines Filmtheaters und den visuellen Originaleindruck des Films optimal zu reproduzieren.

Hinweis

Bei Zuleitung von Videosignalen stehen je nach Art des Eingangssignals u.U. unterschiedliche Bildformate zur Verfügung. Einzelheiten hierzu finden Sie in „Anhang 3: Tabelle zur Kompatibilität der PURECINEMA-Signale“ (Seite 47).

5 Drücken Sie SET.

Die [PURECINEMA]-Funktion wird eingestellt, wonach das in Schritt 4 gezeigte Menü auf den Bildschirm zurückkehrt.

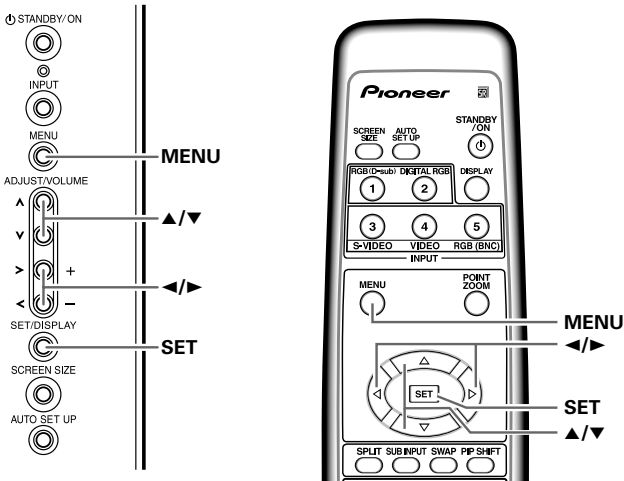
6 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Einstellen von FARBSYSTEM

INPUT3 und INPUT4 sind mit einer Reihe von weltweit gebräuchlichen Fernsehnormen kompatibel, die vom Plasma-Display automatisch erkannt werden können. Wählen Sie normalerweise die Einstellung [FARBSYSTEM: AUTO], um eine automatische Erkennung zu gewährleisten. Bei Wahl dieser Einstellung kann es jedoch vorkommen, dass gewisse Videosignale überspielt wurden oder nicht einwandfrei angezeigt werden (Farbverlust usw.). In einem solchen Fall muss die Einstellung dem Eingangssignal manuell angepasst werden.

Hinweis

Die Einstellung der Fernsehnorm muss für jeden Eingang (INPUT3 und INPUT4) separat vorgenommen werden. Eine korrekte Zuordnung und ausschließliche Verwendung entsprechend der Fernsehnorm des Eingangssignals ermöglicht eine problemlose Verarbeitung der Signale, reduziert den Zeitaufwand bei der Eingangswahl und beseitigt mögliche Fehlerquellen bei der Erkennung der Signale.



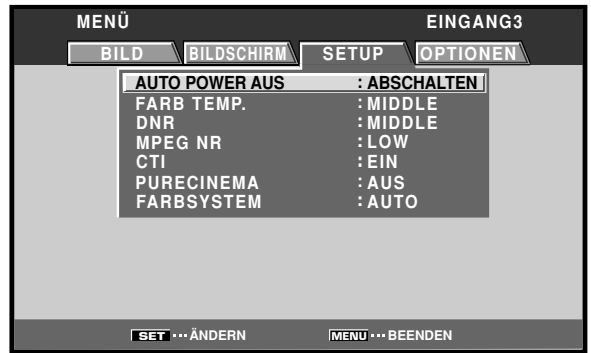
Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

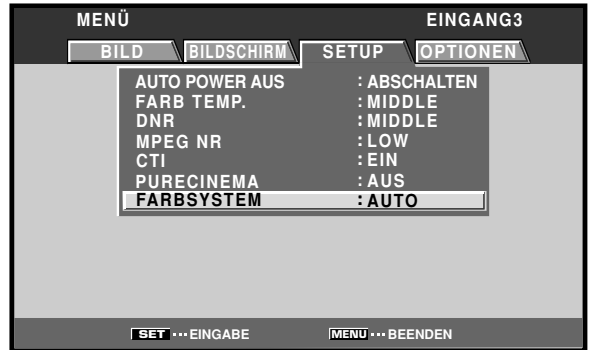
1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [SETUP].



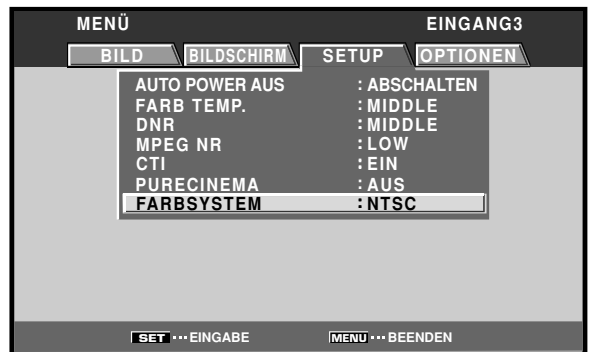
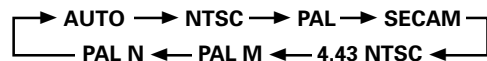
3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [FARBSYSTEM].



4 Betätigen Sie SET zur Wahl der gewünschten Fernsehnorm-Einstellung.

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [AUTO].

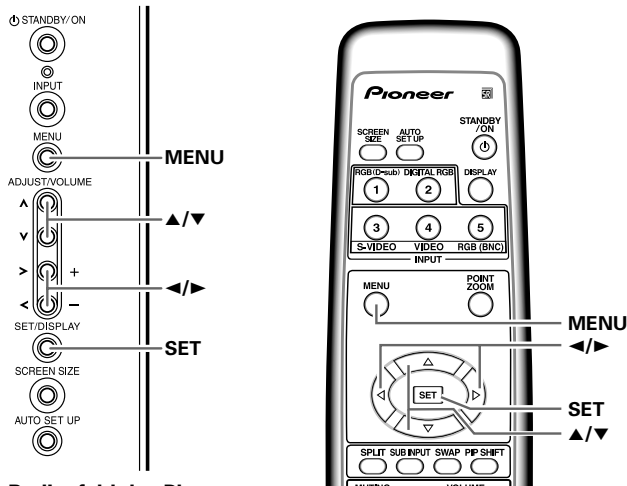
Bei jeder Betätigung von SET wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen der Fernsehnorm umgeschaltet:



5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Automatische Eingangswahl (AUTO FUNCTION)

Das Plasma-Display ist mit einer [AUTO FUNCTION]-Erkennungsfunktion ausgestattet; sobald ein Signal am gewählten Eingang erfasst wird, schaltet der Funktionswähler automatisch auf diesen Eingang um.



Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie ◀/▶ zur Wahl von [OPTIONEN].



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [AUTO FUNCTION].



4 Betätigen Sie SET zur Wahl der gewünschten Einstellung der [AUTO FUNCTION]-Funktion.

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [AUS]. Bei jeder Betätigung von **SET** wird in der folgenden Reihenfolge zwischen den verschiedenen Einstellungen dieser Funktion umgeschaltet:



- AUS Der [AUTO FUNCTION]-Modus ist gesperrt.
- EINGANG1 oder EINGANG4...
 - Wenn ein Signal an der gewählten Eingangsbuchse erfasst wird, schaltet die Eingangsfunktion automatisch auf den gewählten Eingang um.
 - Wenn an der INPUT1-Buchse kein Eingangssignal mehr erfasst wird, nachdem der [AUTO FUNCTION]-Modus den Eingang umgeschaltet hat, wird automatisch auf die Eingangssignalquelle zurückgeschaltet, die vor Aktivierung des [AUTO FUNCTION]-Modus gewählt war.
 - Wenn der Eingang bei aktiviertem [AUTO FUNCTION]-Modus umgeschaltet wird, führt eine Betätigung von INPUT dazu, dass der [AUTO FUNCTION]-Modus vorübergehend gesperrt wird. Dieser Modus kann jedoch erneut freigegeben werden, indem die Stromzufuhr einmal aus- und wieder eingeschaltet wird.

5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

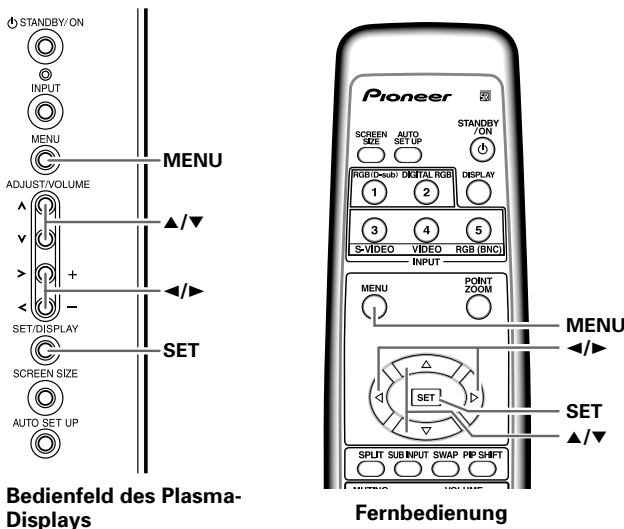
Hinweise

- [AUTO FUNCTION] für [EINGANG1] wird nur bei Zuleitung eines getrennten Synchronsignals, eines zusammengesetzten Synchronsignals oder eines analogen RGB-Signals aktiviert. (Bei Zuleitung eines G ON SYNC- oder eines zusammengesetzten Synchronsignals ist der [AUTO FUNCTION]-Modus gesperrt.)
- Die Einstellung des Eintrags [AUTO FUNCTION] ist für alle Eingangssignalquellen wirksam.

Hinweise zum Tonausgang (AUDIO AUSGANG)

(nur Modelle PDP-50MXE1/
PDP-50MXE1-S und PDP-43MXE1/
PDP-43MXE1-S)

Der Ausgangspegel des an der Buchse AUDIO (OUTPUT) anliegenden Signals kann wahlweise auf [FEST] oder [VARIABLE] (mit der VOLUME-Einstellung verknüpft) eingestellt werden.



Bedienfeld des Plasma-Displays

Fernbedienung

1 Drücken Sie MENU, um die Menüanzeige aufzurufen.



2 Betätigen Sie <|/> zur Wahl von [OPTIONEN].



3 Betätigen Sie ▲/▼ zur Wahl von [AUDIO AUSGANG].



4 Betätigen Sie SET zur Wahl der gewünschten Einstellung des Tonausgabepegels.

Die werkseitige Voreinstellung dieser Funktion ist [FEST]. Bei jeder Betätigung von **SET** wird abwechselnd zwischen den beiden folgenden Einstellungen umgeschaltet:



- FEST Der Tonausgabepegel ändert sich auch bei einer Betätigung von VOLUME (+/-) nicht.
- VARIABLE Der Tonausgabepegel ändert sich entsprechend der mit VOLUME (+/-) vorgenommenen Einstellung.

5 Nach beendeter Einstellung drücken Sie MENU, um auf die normale Anzeige zurückzukehren.

Hinweise

- Die Einstellung des Eintrags [AUDIO AUSGANG] ist für alle Eingänge wirksam.
- Bei den Modellen PDP-50MXE10/PDP-50MXE11 ist der Tonausgabepegel des an der Buchse AUDIO anliegenden Signals [VARIABLE].

Technische Daten

Allgemeine Daten

Außenabmessungen

PDA-5003 301,5 (B) x 27,6 (H) x 148,9 (T) mm

PDA-5004 301,5 (B) x 27,6 (H) x 148,3 (T) mm

Gewicht 0,4 kg

Betriebstemperaturbereich 0 °C bis 40 °C

■ PDA-5003

Eingänge/Ausgänge

Video

INPUT3

- (Eingang) S-VIDEO-Buchse (4-polige Mini-DIN-Buchse)
- Getrenntes Y/C-Videosignal
- Y ... 1 Vss, 75 Ω, negative Synchronisation
C ... 0,286 Vss, 75 Ω (NTSC)
0,3 Vss, 75 Ω (PAL)

INPUT4

- (Eingang) BNC-Buchse
- FBAS-Videosignal
- 1 Vss, 75 Ω, negative Synchronisation

(Ausgang)

- BNC-Buchse
75 Ω, mit Puffer

INPUT5

- (Eingang) BNC-Buchse x 5
- RGB-Signal (G ON SYNC-kompatibel)
- RGB... 0,7 Vss, 75 Ω, keine Synchronisation
HD/VS, VD ... TTL-Pegel,
positive und negative Polarität,
75 Ω oder 2,2 kΩ
(Impedanz-Wahlschalter)
G ON SYNC ...
1 Vss, 75 Ω, negative Synchronisation- Komponenten-Videosignal

Y ... 1 Vss, 75 Ω, negative Synchronisation
PB/CB, PR/CR ...
0,7 Vss (Farbe 100 %), 75 Ω

Audio

- (Eingang) AUDIO INPUT (für INPUT3/4)
Cinchbuchse x 2
L/R ... 500 mV eff., höher als 10 kΩ
- AUDIO INPUT (für INPUT5)
Cinchbuchse x 2
L/R ... 500 mV eff., höher als 10 kΩ

■ PDA-5004

Eingänge/Ausgänge

Video

INPUT3

- (Eingang) S-VIDEO-Buchse (4-polige Mini-DIN-Buchse)
- Getrenntes Y/C-Videosignal
- Y ... 1 Vss, 75 Ω, negative Synchronisation
C ... 0,286 Vss, 75 Ω (NTSC)
0,3 Vss, 75 Ω (PAL)

INPUT4

- (Eingang) Cinchbuchse
- FBAS-Videosignal
- 1 Vss, 75 Ω, negative Synchronisation

(Ausgang)

- Cinchbuchse
75 Ω, mit Puffer

INPUT5

- (Eingang) Cinchbuchse
- RGB-Signal (G ON SYNC-kompatibel)
- RGB... 0,7 Vss, 75 Ω, keine Synchronisation
G ON SYNC ...
1 Vss, 75 Ω, negative Synchronisation- Komponenten-Videosignal

Y ... 1 Vss, 75 Ω, negative Synchronisation
PB/CB, PR/CR ...
0,7 Vss (Farbe 100 %), 75 Ω

Audio

- (Eingang) AUDIO INPUT (für INPUT3)
Cinchbuchse x 2
L/R ... 500 mV eff., höher als 10 kΩ
- AUDIO INPUT (für INPUT4)
Cinchbuchse x 2
L/R ... 500 mV eff., höher als 10 kΩ
- AUDIO INPUT (für INPUT5)
Cinchbuchse x 2
L/R ... 500 mV eff., höher als 10 kΩ

Zubehör

- Aufkleber für Fernbedienung 1
Aufkleber für Buchsenkennzeichnung 1
Schraube 2
Bedienungsanleitung 1

- Änderungen der technischen Daten und äußeren Aufmachung im Sinne der ständigen Produktverbesserung bleiben jederzeit vorbehalten.

Anhang 1

Tabelle zur Kompatibilität der Videosignale (INPUT1, INPUT5)

 : Nicht verfügbar

Vertikalfrequenz fv (Hz)	Horizontalfrequenz fh (kHz)	Signalformat	Bildschirmformat					Bemerkungen
			4:3	VOLL	ZOOM	KINO	BREITBILD	
50	15,625	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	625i (576i)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	28,13	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	31,25	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	625p (576p)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	37,50	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	56,20	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125p (1080p)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	62,50	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1250p/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
60	15,734	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	31,5	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525p (480p)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	33,75	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	45,0	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	67,5	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125p (1080p)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

*1: Wahl zwischen [VOLL1080i] und [VOLL1035i].

*2: In Abhängigkeit von der Kombination der angeschlossenen Komponenten kann ein gewisses Ausmaß an Bildverzerrungen auftreten.

Tabelle zur Kompatibilität der Videosignale (INPUT2)
(nur Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11)

 : Nicht verfügbar

Vertikalfrequenz fv (Hz)	Horizontalfrequenz fh (kHz)	Signalformat	Bildschirmformat					Bemerkungen
			4:3	VOLL	ZOOM	KINO	BREITBILD	
50	15,625	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	625i (576i)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	28,13	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	31,25	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	625p (576p)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
37,50	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV	
	RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
60	15,734	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	31,5	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525p (480p)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	33,75	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	45,0	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

*1: Wahl zwischen [VOLL1080i] und [VOLL1035i].

Anhang 2

Tabelle zur Kompatibilität der PC-Signale (bei Anschluss an PDP-50MXE10/
PDP-50MXE11/PDP-50MXE1/PDP-50MXE1-S) (INPUT1, INPUT5)

☐ : Nicht verfügbar


Auflösung (Punkte x Zeilen)	Vertikal- frequenz	Horizontal- frequenz	Bildschirmformat (Punkte x Zeilen)				Bemerkungen
			PUNKT FÜR PUNKT	4:3	VOLL	PARTIAL	
640x400	56,4Hz	24,8kHz			○ 1280x768		NEC PC-9800
720x400	70,1Hz	31,5kHz			○ 1280x768		NEC PC-9800
	85,1Hz	37,9kHz			↑		
640x480	60Hz	31,5kHz	◎ 640x480	○ 1024x768	○ 1280x768		
	66,7Hz	35,0kHz	↑	↑	↑		Apple Macintosh 13"
	72,8Hz	37,9kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	37,5kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	43,3kHz	↑	↑	↑		
848x480	60Hz	31,0kHz	◎ 848x480		○ 1280x768		
800x600	56Hz	35,2kHz	◎ 800x600	○ 1024x768	○ 1280x768		
	60Hz	37,9kHz	↑	↑	↑		(1072x600)
	72Hz	48,1kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	46,9kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	53,7kHz	↑	↑	↑		
832x624	74,6Hz	49,7kHz	◎ 832x624	○ 1024x768	○ 1280x768		Apple Macintosh 16"
1024x768	60Hz	48,4kHz	◎ 1024x768		○ 1280x768		(1376 x 768)
	70Hz	56,5kHz	↑		↑		
	75Hz (74,9Hz)	60,0kHz (60,2kHz)	↑		↑		Die in Klammern gesetzten Angaben beziehen sich auf den 19-Zoll Apple Macintosh.
	85Hz	68,7kHz	↑		↑		
1280x720	60Hz	44,7kHz	◎ 1280x720		○ 1280x768		
1280x768	56Hz	45,1kHz	◎ 1280x768				
	60Hz	47,8kHz	↑				
	70Hz	56,1kHz	↑				
1152x864	60Hz	53,7kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	72Hz	64,9kHz		↑	↑		
	75Hz	67,5kHz		↑	↑		
1152x870	75,1Hz	68,5kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		Apple Macintosh 21"
1152x900	66Hz	61,8kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		Sun Microsystems LO
	76Hz	71,7kHz		↑	↑		Sun Microsystems HI
1280x960	60Hz	60,0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
1280x1024	60Hz	64,0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768	◎ 1280x768	
	75Hz	80,0kHz		↑	↑	↑	(1600x1024)
	85Hz	91,2kHz		↑	↑	↑	
1400x1050	60Hz	65,3kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	75Hz	82,3kHz		↑	↑		
	85Hz	93,9kHz		↑	↑		
1600x1200	60Hz	75,0kHz		△ 1024x768	△ 1280x768		
	65Hz	81,3kHz		↑	↑		
	70Hz	87,5kHz		↑	↑		
	75Hz	93,8kHz		↑	↑		
	85Hz	106,3kHz		↑	↑		

[Bedeutung der Symbole] ◎ : Optimales Bild. Eine Einstellung von Bildposition, Vertikalfrequenz, horizontalfrequenz, Phase usw. kann erforderlich sein.
○ : Bild wird vergrößert, doch sind kleine Details schwer zu sehen.
△ : Einfache Wiedergabe. Kleinere Details werden nicht reproduziert.

Zusätzliche Informationen

Tabelle zur Kompatibilität der PC-Signale

(bei Anschluss an PDP-43MXE1/PDP-43MXE1-S) (INPUT1, INPUT5)

 : Nicht verfügbar

Auflösung (Punkte x Zeilen)	Vertikal- frequenz	Horizontal- frequenz	Bildschirmformat (Punkte x Zeilen)				Bemerkungen
			PUNKT FÜR PUNKT	4:3	VOLL	ZOOM	
640x400	56,4Hz	24,8kHz			○ 1024x768		NEC PC-9800
720x400	70,1Hz	31,5kHz			○ 1024x768		NEC PC-9800
	85,1Hz	37,9kHz			↑		
640x480	60Hz	31,5kHz	◎ 640x480	○ 768x768	○ 1024x768		
	66,7Hz	35,0kHz	↑	↑	↑		Apple Macintosh 13"
	72,8Hz	37,9kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	37,5kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	43,3kHz	↑	↑	↑		
848x480	60Hz	31,0kHz	◎ 848x480		○ 1024x768		
800x600	56Hz	35,2kHz	◎ 800x600	△ 768x768	○ 1024x768		
	60Hz	37,9kHz	↑	↑	↑		(1072x600)
	72Hz	48,1kHz	↑	↑	↑		
	75Hz	46,9kHz	↑	↑	↑		
	85Hz	53,7kHz	↑	↑	↑		
832x624	74,6Hz	49,7kHz	◎ 832x624	△ 768x768	○ 1024x768		Apple Macintosh 16"
1024x768	60Hz	48,4kHz	◎ 1024x768	△ 768x768			(1376 x 768)
	70Hz	56,5kHz	↑	↑			
	75Hz (74,9Hz)	60,0kHz (60,2kHz)	↑	↑			Die in Klammern gesetzten Angaben beziehen sich auf den 19-Zoll Apple Macintosh.
	85Hz	68,7kHz	↑	↑			
1280x720	60Hz	44,7kHz			△ 1024x768		
1280x768	56Hz	45,1kHz			△ 1024x768		
	60Hz	47,8kHz			↑		
	70Hz	56,1kHz			↑		
1152x864	60Hz	53,7kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	72Hz	64,9kHz		↑	↑		
	75Hz	67,5kHz		↑	↑		
1152x870	75,1Hz	68,7kHz		△ 768x768	△ 1024x768		Apple Macintosh 21"
1152x900	66Hz	61,8kHz		△ 768x768	△ 1024x768		Sun Microsystems LO
	76Hz	71,7kHz		↑	↑		Sun Microsystems HI
1280x960	60Hz	60,0kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
1280x1024	60Hz	64,0kHz		△ 768x768	△ 1024x768	△ 1024x768	
	75Hz	80,0kHz		↑	↑	↑	(1600x1024)
	85Hz	91,2kHz		↑	↑	↑	
1400x1050	60Hz	65,3kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	75Hz	82,3kHz		↑	↑		
	85Hz	93,9kHz		↑	↑		
1600x1200	60Hz	75,0kHz		△ 768x768	△ 1024x768		
	65Hz	81,3kHz		↑	↑		
	70Hz	87,5kHz		↑	↑		
	75Hz	93,8kHz		↑	↑		
	85Hz	106,3kHz		↑	↑		

[Bedeutung der Symbole] ◎ : Optimales Bild. Eine Einstellung von Bildposition, Vertikalfrequenz, Horizontalfrequenz, Phase usw. kann erforderlich sein.

○ : Bild wird vergrößert, doch sind kleine Details schwer zu sehen.

△ : Einfache Wiedergabe. Kleinere Details werden nicht reproduziert.

Anhang 3

Tabelle zur Kompatibilität der PURECINEMA-Signale (INPUT1, INPUT5)

 : Nicht verfügbar























































Vertikalfrequenz fv (Hz)	Horizontalfrequenz fh (kHz)	Signalformat	PURECINEMA			Bemerkungen
			AUS	STANDARD	ADVANCE	
50	15,625	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		625i (575i)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	28,13	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		1125i (1080i)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	31,25	Komponentensignal				625p (575p)/SDTV
		RGB-Signal				
37,50	Komponentensignal				750p (720p)/HDTV	
	RGB-Signal					
56,25	Komponentensignal				1125p (1080p)/HDTV	
	RGB-Signal					
62,50	Komponentensignal				1250p/HDTV	
	RGB-Signal					
60	15,734	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	31,5	Komponentensignal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	525p (480p)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	33,75	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV 1125i (1035i)/HDTV
RGB-Signal		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
45,0	Komponentensignal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV	
	RGB-Signal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
67,5	Komponentensignal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	1125p (1080p)/HDTV	
	RGB-Signal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		

Tabelle zur Kompatibilität der PURECINEMA-Signale (INPUT2)

(nur Modelle PDP-50MXE10/PDP-50MXE11)

 : Nicht verfügbar


Vertikalfrequenz fv (Hz)	Horizontalfrequenz fh (kHz)	Signalformat	PURECINEMA			Bemerkungen
			AUS	STANDARD	ADVANCE	
50	15,625	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		625i (575i)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	28,13	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		1125i (1080i)/HDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
31,25	Komponentensignal				625p (575p)/SDTV	
	RGB-Signal					
37,50	Komponentensignal				750p (720p)/HDTV	
	RGB-Signal					
60	15,734	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	525i (480i)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	31,5	Komponentensignal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	525p (480p)/SDTV
		RGB-Signal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
33,75	Komponentensignal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1125i (1080i)/HDTV 1125i (1035i)/HDTV	
	RGB-Signal	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
45,0	Komponentensignal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	750p (720p)/HDTV	
	RGB-Signal	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		

Deutsch

Zusätzliche Informationen

Zusätzliche Informationen

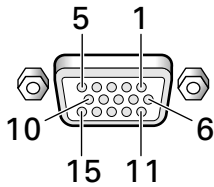
Tabelle zur Kompatibilität der PURECINEMA-Signale (INPUT3, INPUT4)

 : Nicht verfügbar

Vertikalfrequenz f _v (Hz)	Horizontalfrequenz f _H (kHz)	Signalformat	PURECINEMA			Bemerkungen
			AUS	STANDARD	ADVANCE	
50	15,625	FBAS-Signal	○	○		625i (575i)/SDTV
		S-Videosignal	○	○		
60	15,734	FBAS-Signal	○	○	○	525i (480i)/SDTV
		S-Videosignal	○	○	○	

Anhang 4

Stiftbelegung von INPUT1 (15-polige D-Sub-Minibuchse)



Stift-Nr.	Eingang	Ausgang
1	R	←
2	G	←
3	B	←
4	Ohne Funktion	←
5	Masse	←
6	Masse	←
7	Masse	←
8	Masse	←
9	DDC + 5V	Ohne Funktion
10	Masse	←
11	Ohne Funktion	←
12	DDC SDA	Ohne Funktion
13	HD oder H/V SYNC	←
14	VD	←
15	DDC SCL	Ohne Funktion

Glossar

Bildseitenverhältnis

Beim Bildseitenverhältnis handelt es sich um das Verhältnis von Breite und Höhe der Bildschirmanzeige. Bei einem herkömmlichen Fernsehgerät beträgt dieses 4:3, bei Breitformat- und HD-Fernsehgeräten (High Definition) beträgt es 16:9.

S-Buchse (S-VIDEO-Buchse)

Diese Buchse trennt das Videosignal und übermittelt es als zwei Signale, ein Helligkeitssignal (Y) und ein Farbsignal (C). Dies führt zu einer Bildqualität, die weit höher ist als die eines herkömmlichen FBAS-Signals.

S-Videosignal

Dieses Videosignal setzt sich aus zwei Signalen zusammen, einem Chromasignal (Farbsignal) und einem Luminanzsignal (Helligkeitssignal). Bei herkömmlichen Videogeräten werden diese beiden Signale zu einem einzigen Signal zusammengesetzt, das als „FBAS-Signal“ bezeichnet wird. Beim S-Videosignal dagegen werden diese beiden Signale getrennt verarbeitet. Da sie nicht wie beim FBAS-Signal kombiniert werden, bleibt die hohe Qualität des Chroma- und des Luminanzsignals erhalten.

Komponenten-Videosignal

Dabei handelt es sich um einen allgemeinen Begriff für ein Videosignal-Format, das sich aus den Farbsignal- und Luminanzsignalenkomponenten Y.CbCr, Y.PbPr und Y.B-Y.R-Y zusammensetzt. Das Komponenten-Videosignal wird auch als „Farbdifferenzsignal“ bezeichnet.

G ON SYNC

Dieser Ausdruck bezeichnet ein Videosignal, das in Form eines Synchronsignals dem G-Signal (Grün) des RGB-Signals überlagert ist.

VGA

Akronym von „Video Graphics Array“, das gewöhnlich eine Auflösung von 640 Punkten x 480 Zeilen kennzeichnet.

WVGA

Akronym von „Wide Video Graphics Array“, das gewöhnlich eine Auflösung von 848 Punkten x 480 Zeilen kennzeichnet.

XGA

Abkürzung von „eXtended Graphics Array“, das gewöhnlich eine Auflösung von 1.024 Punkten x 768 Zeilen kennzeichnet.

WXGA

Abkürzung von „Wide eXtended Graphics Array“, das gewöhnlich eine Auflösung von 1.280 Punkten x 768 Zeilen kennzeichnet.

SXGA

Abkürzung von „Super eXtended Graphics Array“, das gewöhnlich eine Auflösung von 1.280 Punkten x 1.024 Zeilen kennzeichnet.

SXGA+

Abkürzung von „Super eXtended Graphics Array plus“, das gewöhnlich eine Auflösung von 1.400 Punkten x 1.050 Zeilen kennzeichnet.

DVI

Akronym von „Digital Visual Interface“, eine Schnittstellen-Norm, die vom DDWG-Gremium (Digital Display Working Group) für Digitaldisplays entwickelt wurde.

HDCP

Abkürzung von „High-bandwidth Digital Content Protection“. Bei HDCP handelt es sich um ein Verfahren zur Verschlüsselung von digitalen Videosignalen, das von Intel zum Schutz des Signalinhalts entwickelt wurde. Die von den HDCP-kompatiblen DVI-Ausgängen von AV-Komponenten der Verbraucherelektronik (DVD-Player usw.) ausgehenden Signale werden mit HDCP verschlüsselt, um den Schutz der Urheberrechte am Inhalt zu gewährleisten.

*Diese Komponente verwendet Font Avenue von NEC als Schriftart für den Text der Bildschirmanzeigen.
„Font Avenue“ ist ein eingetragenes Warenzeichen von NEC.
„Power Management“ ist ein eingetragenes Warenzeichen von Sun Microsystems Inc.
„TMDS“ ist ein eingetragenes Warenzeichen von Silicon Image Inc.
„Apple“ und „Macintosh“ sind eingetragene Warenzeichen von Apple Computer, Inc.
„Microsoft“ ist ein eingetragenes Warenzeichen von Microsoft Corporation.
„VGA“ und „XGA“ sind eingetragene Warenzeichen von International Business Machines Co., Inc.
„VESA“ und „DDC“ sind eingetragene Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.*

Veröffentlicht von Pioneer Corporation.
Urheberrechtlich geschützt © 2005 Pioneer Corporation.
Alle Rechte vorbehalten.

AFTER-SALES SERVICE FOR PIONEER PRODUCTS

Please contact the dealer or distributor from where you purchased the product for its after-sales service (including warranty conditions) or any other information. In case the necessary information is not available, please contact the Pioneer's subsidiaries (regional service headquarters) listed below:

PLEASE DO NOT SHIP YOUR PRODUCT TO THE COMPANIES at the addresses listed below for repair without advance contact, for these companies are not repair locations.

AMERICA

PIONEER ELECTRONICS (USA) INC.
Customer Support Division
PO BOX 1760 Long Beach, Ca. 90801-1760, U.S.A
Tel: 1-800-421-1625

EUROPE

PIONEER EUROPE NV
European Service Division
Haven 1087, Keetberglaan 1, 9120 Melsele, Belgium
Tel: 32-(0)3-570-0511

ASEAN

PIONEER ELECTRONICS ASIACENTRE, PTE.LTD.
Technical Support Department, Service Division
253, Alexandra Road, #04-01, Singapore 159936
Tel: 65-6472-1111

OCEANIA

PIONEER ELECTRONICS AUSTRALIA PTY.LTD.
Pioneer Service&Spares
2211 Princess HWY, Mulgrave VIC3170, Australia
Tel: 61-(0)3 9586 6380
Tel: 1-800-988-268

MIDDLE EAST

PIONEER GULF FZE
Service Division
Lob 11-017, P.O.Box 61226 Jebel Ali, Dubai, U.A.E.
Tel: 971-4-8815756

JAPAN and Others

PIONEER SERVICE NETWORK Co.
BS Service Division
4-15-5, Ohmori-nishi Otaku Tokyo, 143-8564
Tel:81-(0)3-3763-3129

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

Printed on recycled paper.

Imprimé sur papier recyclé.

Gedruckt auf Recyclingpapier.

© 2005 パイオニア株式会社 禁無断転載

Published by Pioneer Corporation.
Copyright © 2005 Pioneer Corporation.
All rights reserved.

パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

PIONEER CORPORATION 4-1, Meguro 1-Chome, Meguro-ku, Tokyo 153-8654, Japan

PIONEER ELECTRONICS (USA) INC. P.O.BOX 1540, Long Beach, California 90801-1540, U.S.A., TEL: 1-310-952-2111

PIONEER ELECTRONICS OF CANADA, INC. 300 Allstate Parkway, Markham, Ontario L3R OP2, Canada TEL: 1-905-479-4411

PIONEER EUROPE NV MULTIMEDIA DIVISION Pioneer House Hollybush Hill, Stoke Poges, Slough SL2 4QP, U.K., TEL: 44-1753-789-789

PIONEER ELECTRONICS AUSTRALIA PTY.LTD. 178-184 Boundary Road, Braeside, Victoria 3195, Australia, TEL: 61-39-586-6300

PIONEER ELECTRONICS ASIACENTRE PTE. LTD. 253 Alexandra Road #04-01, Singapore 159936, TEL: 65-6472-1111

PIONEER HIGH FIDELITY TAIWAN CO., LTD. 13FL., No44 Chung Shan North Road, Sec.2. Taipei, Taiwan, TEL: 886-2-2521-3588

PIONEER (HK) LIMITED Suite 901-906, 9th Floor World Commerce Centre, Harbour City 11 Canton Road, Tsim Sha Tsui Kowloon, Hong Kong
TEL: 852-2848-6488

PIONEER GULF FZE Lob 11-017, Jebel Ali Free Zone P.O. BOX 61226, Jebel Ali, Dubai TEL: 971- 4-8815756